取扱説明書

技術基準適合認証品

このたびは、ネットコミュニティシステムαGX typeLをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

● お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意
本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い
- ●この取扱説明書は、ネットコミュニティシステムαGX標準電話機36キータイプを例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（☛P9）にしたがって消去願います。
- ●本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- ●電話機操作について簡易取扱説明書をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- ●商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

⚠ 危険

●蓄電池は密閉空間には設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池は火気の近くには設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池を使用する場合は、次のことを必ず守ってください。蓄電池の損傷により、火災・感電の原因となることがあります。
- 電池のプラス端子とマイナス端子間を針金などの金属類で接続しない。
- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 金属工具を使用する場合は、ビニールテープなどで絶縁したものを使用する。

●蓄電池を改造または分解しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。電池の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

●蓄電池は定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。電池の交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池を単体では充電しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

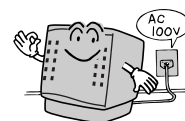
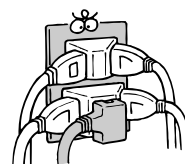
設置について

⚠ 警告

- ●本商品（モジュラージャックや電話配線等を含むシステム全体）のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置や電話機に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

- ●本商品（モジュラージャックや電話配線等を含むシステム全体）は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
  - 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
  - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
  - 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかる恐れがある場所。
  - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- ●主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
  - 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
  - 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
  - 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
  - 主装置にテーブルクロスなどをかける。
  - 主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

お取り扱いについて

- ●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- ●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- ●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤動作の原因となることもあります。

- ●お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

⚠ **警告**

●万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品（モジュラージャックや電話配線等を含むシステム全体）に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一、本商品（モジュラージャックや電話配線等を含むシステム全体）に水などの液体が入った場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、電話配線をモジュラージャックから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

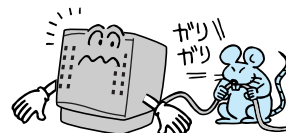
●電話配線（モジュラープラグ）に水などの液体がかかった場合は、乾いても使わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

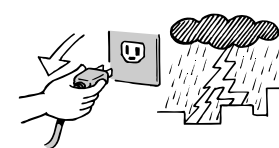
●主装置や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置は修理に応じられない場合があります）。

●主装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●主装置や充電器の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置の電源を切ってご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

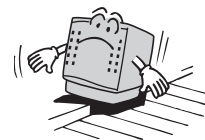
●コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●お客様が用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

設置について

⚠注意

●主装置や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

●主装置や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け金具によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠注意

●ビル等の電源系統の点検の際は、はじめに最も下の段の主装置の電源プラグを電源コンセントから抜き、次に残りの全ての主装置の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。点検終了後は、まず最も下の段以外の全ての主装置の電源プラグを電源コンセントに接続し、最後に最も下の段の主装置の電源プラグを電源コンセントに接続してください。

●主装置や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

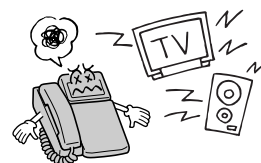
●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

●主装置や電話機を電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。

●電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

●主装置や電話機などをベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。
- 他の内線電話機は使えません。
- ドアホンは使えません。
- 発信電話番号表示機能は使えません。

●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

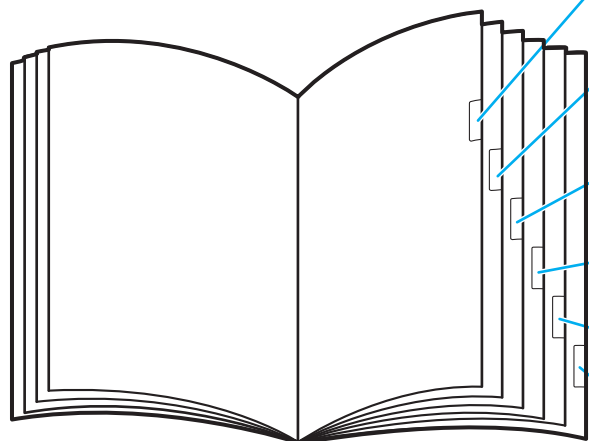
●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

■廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表にしたがって消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
発信履歴	P41を参照し、発信履歴をすべて消去してください。
着信履歴	P43を参照し、着信履歴をすべて消去してください。
個別電話帳登録	P49を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。
共通電話帳登録	P49を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。
ワンタッチボタン登録	P45を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて消去してください。
転送先登録	P89を参照し、転送先登録をすべて消去してください。
Web通話履歴	当社のサービス取扱所にご相談ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成

1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 より便利に使う
1～2章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

4 各種登録／設定
内線電話機の操作で、または主装置に接続したパソコンを操作して行う登録や設定について説明しています。

5 オプションを使う
ドアホンなどのオプションをお使いのときの操作などを説明しています。

6 ご参考に
付属品や添付品の説明、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

電話機イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示しています。

ディスプレイ表示
各操作中または操作のあとに、電話機のディスプレイに表示される内容を示しています。
内線番号などのディスプレイ表示は一例です。

IP電話機あるいはIPディジタルシステムコードレス接続装置を用いて接続したコードレス電話機からお使いいただける機能にこのマークを付けています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。
見出しの枠を次のように区別しています。

- （黒枠）：お買い求めいただいてすぐにご利用になれる機能
- （白枠）：「システム設定」によりご利用になれる機能

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。
次の3種類のマークで項目を区別しています。

- ●：お買い求めいただいてすぐにご利用いただける機能の補足説明
- （パソコンマーク）：「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明
- ○：その他の補足説明

お願いまたはお知らせ
〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

特番（〜用の特番）
機能ボタン、決定ボタンなどのあとに押して、各種機能を利用できるようにする番号です。
特番は、「システム設定」で変更することもできます。
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

〈例〉
会議招集用の番号（1 1 [　　]）を押します。

- 1 1：お買い求め時の番号
- [　　]：「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目　次

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 より便利に使う

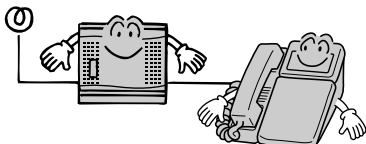
4 各種登録／設定

5 オプションを使う

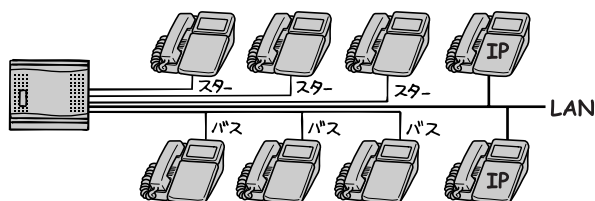
6 ご参考に

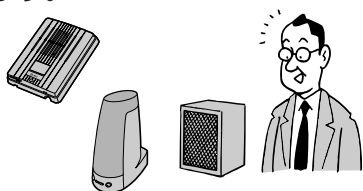
特　長

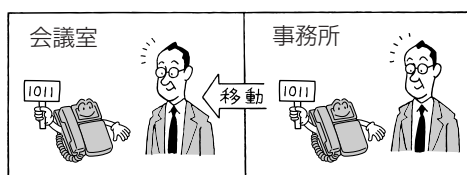
接続可能な電話機台数

ネットコミュニティシステムαGX typeLの主装置には、基本構成で内線電話機を最大80台接続できます。また、ビルディングブロック方式により主装置を増設する（最大5つ）ことにより、最大480台の内線電話機を接続することが可能になります。

3とおりの接続方法

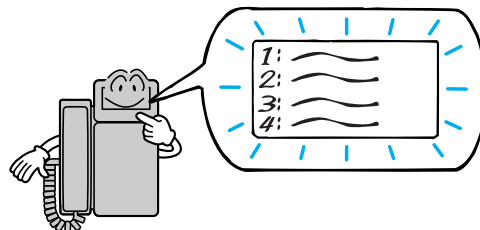
電話機の主装置への接続の方法を、下記の3とおりご用意しています。

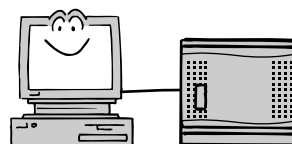
・主装置から1本の線を出して、その線に最大10台の電話機を接続するバス型。
・主装置と電話機を1本の線で直接接続するスター型。
・主装置とLAN接続されたネットワーク上にIP電話機を接続するLAN型。

必要に応じて接続できる多彩なオプション

さまざまなご利用形態に合わせて、ご希望のシステム構成ができるように多彩なオプションをご用意しています。

電話機の移動が可能（端末ポータビリティ）

LAN型、バス型およびスター型に接続されている電話機は、電話機を移動して別の場所に接続しても、内線番号などの各電話機への設定内容を変更することなくすぐに使うことができます。ただし、お話し中の通話は切れてしまいます。

わかりやすく見やすい大型液晶ディスプレイ表示

漢字も表示できる大型液晶ディスプレイを使って、電話帳の登録や呼び出しなどが簡単なメニュー操作で行えます。また、ディスプレイをより見やすくするバックライトの点灯を電話機ごとに設定できます。

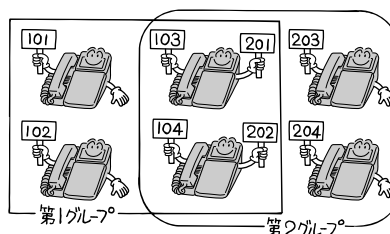
十字キーにより電話帳、発信履歴および着信履歴の読み出しがスムーズに行えます。

パソコンを使って行えるWebシステム設定

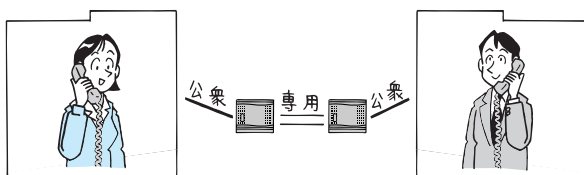
主装置をLANに接続することにより、LANに接続したパソコンを使って、個々の内線電話機や内線電話機共通の登録・設定が行えます。また、発信、着信の履歴を管理することもできます。

IP電話機によるIP電話サービス

IPネットワーク上にIP電話機を接続することで、音声とデータの回線を統合して、ネットワーク管理コストの低減をはかることができます。給電HUB等と組み合わせることにより音声を優先的に制御し、従来と遜色のない通話を行うことができます。

PBXとボタン電話機の融合

基本内線番号に付加内線番号が付けられます。マルチアピアランスが可能です。

内線放送着信が可能なので、PBXとボタン電話機が一本化されたシステムが構築できます。

ISDN回線やディジタル専用線、IP専用線など、豊富なネットワーク機能

ISDN回線やディジタル専用線、IP専用線も、一般回線と同様に接続できます。専用線で2つのネットワークコミュニティシステムαGX typeLを接続すると、システム間での内線通話、外線通話の転送が行えます。また、専用線接続や公専公接続などのルーティング機能が充実しています。また、エコーキャンセラや増幅機能により、高品質な音声で通話することができます。

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）対応

電話に出る前に、相手の方の電話番号を確認できるなど、便利な機能を利用することができます。（☛P106）また、オプションによりネーム・ディスプレイ（発信企業名（氏名）情報通知サービス）もご利用できます。このサービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

ホテルサービス機能

主装置に接続したホテルコンソールやホテル管理装置を利用して、客室のチェックイン／チェックアウトの設定／解除、モーニングコール、フロントメッセージの登録／解除などのホテル業務を行うことができます。また、ホテルコンソールの客室ボタンのランプ状態や、ホテル管理装置から、これらの状況を一目で把握することができます。

手放しでお話しできるハンズフリー通話

電話機のハンドセットを置いたままお話しすることができます。

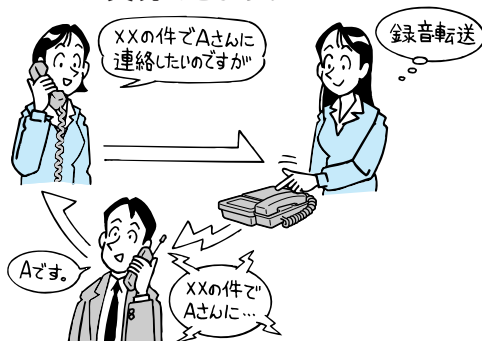
オートアテンダント

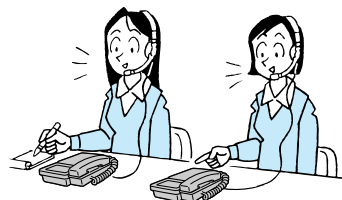
自動応答音声機能を用いて、ガイダンスで応対し、接続先や情報案内等を選択できるようにすることができます。

発信元への自動コールバック

特定の電話番号からの着信に対し、システムが自動的にコールバックする機能を利用すると、外出先からでも事業所（システム設置所）の料金負担で通話できます。（☛P116）

主装置内蔵型音声メール

主装置内蔵型音声メールで、さまざまな音声メールサービスが実現できます。

自動着信呼分配機能

コールセンタなどのように複数の相手から一斉に電話を受ける場合、自動着信呼分配機能を利用すると、電話を効率よく受けることができます。また、コミュニケータ業務支援装置から着信の状況などを一目で把握したり、集計することができます。

トラブルのレベルがひと目でわかるアラーム表示

システムに異常が発生した場合には、主装置のアラームランプが点灯し、アラームレベルを表す数字（1～9）がデジタル表示され、異常の程度や対応方法がわかります。

SIP端末収容

SIP端末を内線電話機として収容することができます。

主装置ファームウェア更新機能

「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機から最新ファームウェアがあるかどうかを手動でチェックし、最新ファームウェアがある場合は手動で更新することができます。（☛P154）

転送電話

転送電話の転送先3か所を特番およびメニュー設定から設定することができます。（☛P88）
また、転送先が不在等の場合、次に設定された転送先を順次呼び出すことができます。（☛P91）

構成図

外線

DP回線／PB回線
電話回線／PBX／CES／INSネット64／INSネット1500／VoIP回線
専用線（アナログ／ディジタル／IP）

主装置

◎停電バックアップ装置

AC100V

○給電HUB

○IP電話機

○標準電話機（18キータイプ／24キータイプ／36キータイプ／バス／スター）

○停電用電話機（18キータイプ／24キータイプ／36キータイプ／バス／スター／一般回線／ISDN回線）

○カールコードレス電話機（24キータイプ／36キータイプ／バス／スター）

○録音電話機（バス／スター）

○標準電話機
○録音ジャックユニット

●通話録音装置

○標準電話機
○録音ジャックユニット

○音声会議装置

○外線表示盤

○状態表示盤

○防水電話機（バス／スター）

○単体電話機アダプタ（バス／スター）

◎単体電話機

○標準電話機
○録音ジャックユニット

◎外部アンプスピーカ

○音声メール

○双方向アンプユニット

◎外部音源

○ドアホン

○カラーカメラドアホン

●施錠コントロール

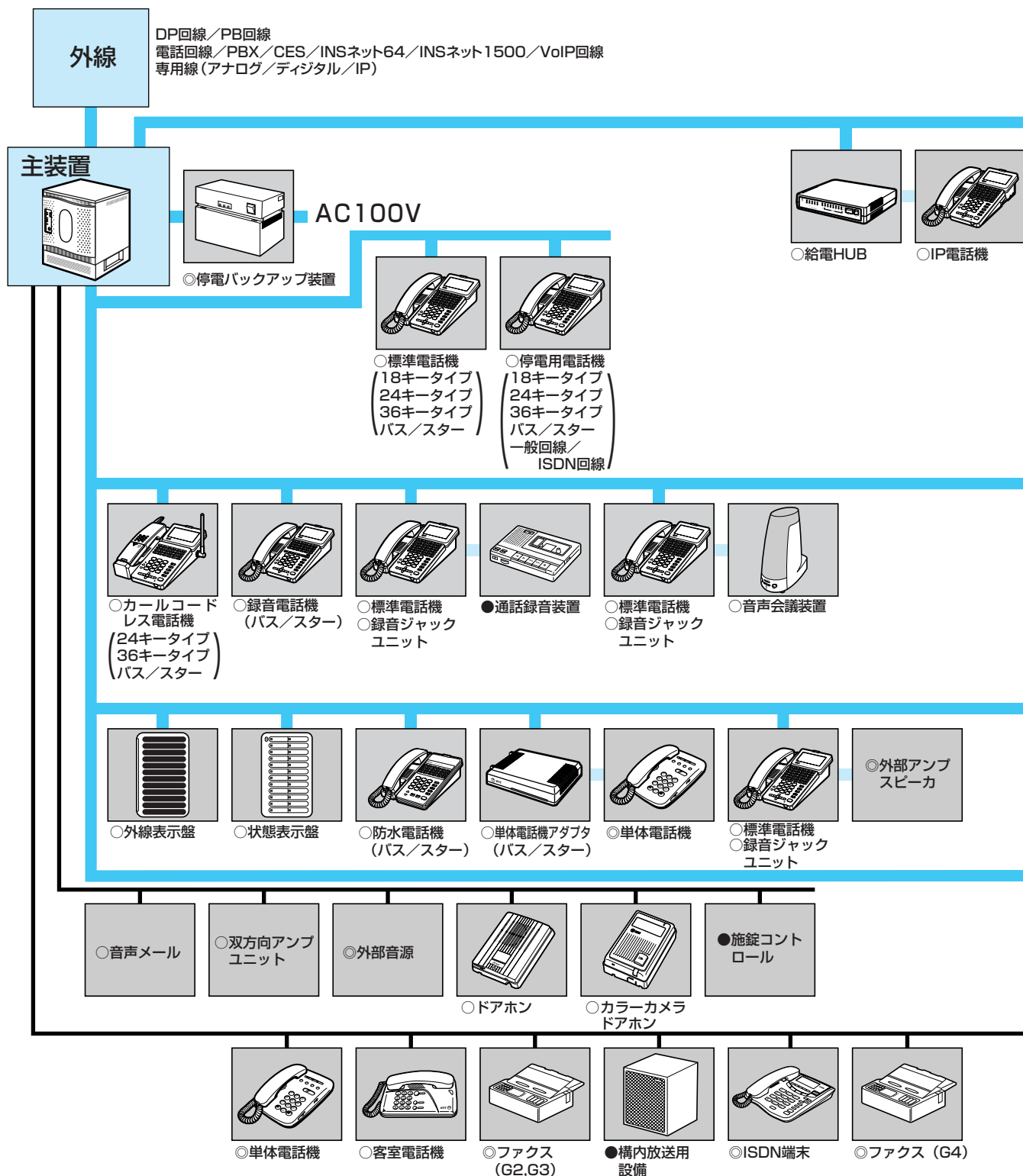
◎単体電話機

○客室電話機

◎ファクス（G2,G3）

●構内放送用設備

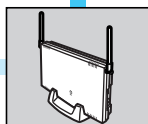
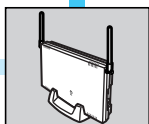
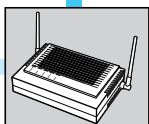
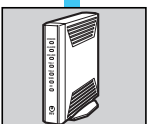
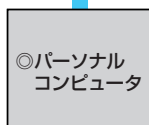
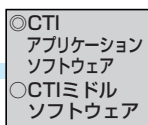
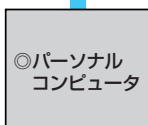
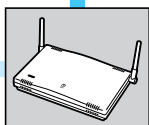
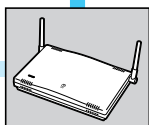
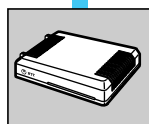
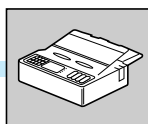
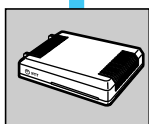
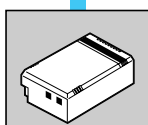
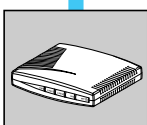
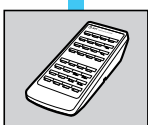
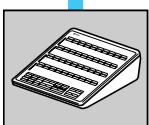
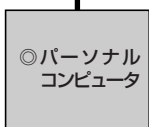
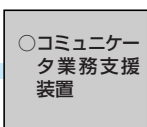
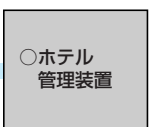
◎ISDN端末

◎ファクス（G4）

お知らせ

● バス型接続とスター型接続を併用しているシステムでは、バス型に接続されている電話機をスター型に、また、スター型に接続されている電話機をバス型に接続することはできません。誤って電話機を接続すると、ご利用になれません。また、IP電話機はLAN型接続のみご利用になれます。

●ホテル管理装置、コミュニケータ業務支援装置は、アプリケーション用品です。詳細については当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

● 停電バックアップ装置、外線表示盤、状態表示盤、単体電話機アダプタ、ディジタルシステムコードレス接続装置、ディジタルシステムコードレス電話機、カールコードレス電話機、パソコンアダプタ、内線延長装置、αLANルータ、音声メール、双方向アンプユニット、外部音源、ドアホン、カラーカメラドアホン、構内放送用設備、ホテルプリンタ、客室電話機、ホテルコンソールは、オプション品です。詳細については当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

LAN

○ディジタルシステムKT形コードレス電話機
○IPディジタルシステムコードレス接続装置
○ディジタルシステムコードレス電話機
○IPディジタルシステムコードレス接続装置
○IPコードレス電話機
○ワイヤレスアクセスポイント
●無線LAN対応FOMA
○IP電話機能内蔵ターミナルアダプタVG210

LAN

◎パーソナルコンピュータ
◎CTIアプリケーションソフトウェア
○CTIミドルソフトウェア
◎パーソナルコンピュータ
○DESKPORT for αGX
○CTIミドルソフトウェア

○標準電話機
○ヘッドセット
○ディジタルシステムKT形コードレス電話機
○ディジタルシステムコードレス接続装置
○ディジタルシステムコードレス電話機
○ディジタルシステムコードレス接続装置

○単体電話機アダプタ（バス／スター）
◎ファクス（G2,G3）
○パソコンアダプタ（バス／スター）
◎パーソナルコンピュータ

○内線延長装置
○電話機等
○αLANルータ
●イーサネットLAN
○コンソール（バス／スター）
○ホテルコンソール

◎パーソナルコンピュータ
○コミュニケータ業務支援装置
◎ホテルプリンタ
◎パーソナルコンピュータ
○ホテル管理装置

ワンポイント

○オプションについて

○：当社で用意しています。

◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

●：お客さまでご用意していただきます。

各部の名前

標準電話機（36キータイプ）

【前面】

回線ボタン※1
外線ボタンやワンタッチボタンを割り当てたり、サービスボタンなどの機能を設定することができます。

内線ボタン
内線でお話しするときや、いろいろな登録操作をするときに使います。

機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときに使います。

フックボタン
外へ再発信するとき、PBX で転送するときなどに使います。

マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままでハンズフリー通話をするときに使います。（☛P78）

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

音量調節ボタン
スピーカやハンドセットからの音量を調節するときに使います。

クリアボタン
文字を消去するときや、メニュー設定を中止するときに使います。

メニューボタン
メニュー設定を行うときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

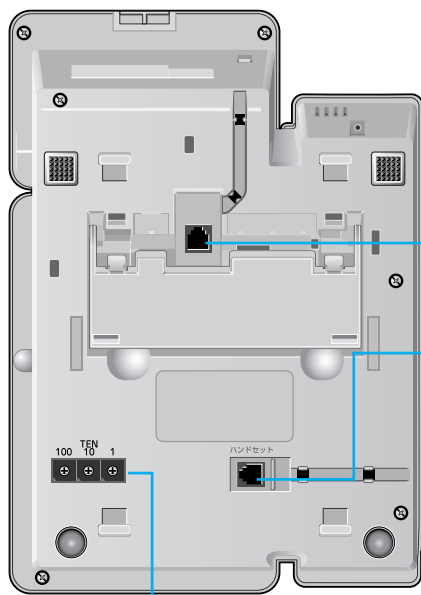
上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

- **上ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを上に移動するときや、電話帳メニューを表示させるときなどに使います。
- **下ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを下に移動するときや、電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- **左ボタン、着信履歴／戻るボタン**
  カーソルを左に移動するときや1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **右ボタン、発信履歴ボタン**
  カーソルを右に移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

決定ボタン
選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

※1：回線ボタンへの、外線ボタン／ワンタッチボタンの割り当てや、サービスキー（索線ボタン、パーク保留ボタン、ダイレクトボタンなど）機能の設定は、「システム設定」によって変更できます。お買い求め時には、下2列の回線ボタンにはワンタッチボタン、その他の回線ボタンには外線ボタンが割り当てられています。

※2：ダイヤルボタン JKL5 と音量調節ボタンの大の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

【底面】

電話機コード差込口
電話機コードを差し込みます。

ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込みます。

工事者設定用スイッチ

お願い

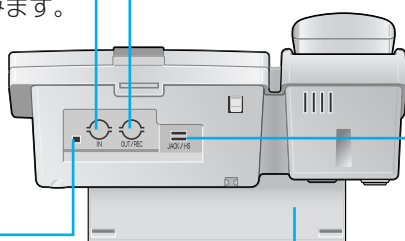
工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

【背面】

入力端子差込口
音声会議装置の出力端子を差し込みます。

出力端子差込口
通話録音装置やテープデッキなどの録音装置を接続したり、音声会議装置の入力端子を差し込むときに使います。

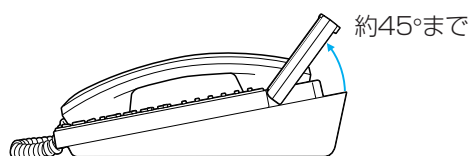
入力切替スイッチ
ハンドセットから入力する場合と、外付けの入力装置を使う場合で切り替えます。

外部アンプ接続用コード通し口
外部アンプスピーカなどを接続するときに、ここから接続用コードを出します。

角度調節足

ワンポイント

○**コンソールを接続しているときは**
コンソールの各ボタンも、標準電話機のボタンと同様にお使いになれます。

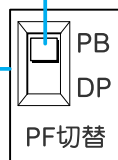
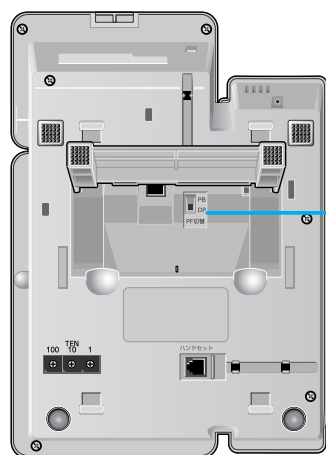
○**電話機の設置角度を調節するには**
底面にある角度調節足を出して調節します。

○**ディスプレイ部分の角度を変えたいときは**
ディスプレイ部分を約45°まで任意の角度で起こすことができます。ディスプレイは無理に起こしたり動かしたりしないでください。

お知らせ

●音声会議装置、通話録音装置、外部アンプスピーカなどを接続する場合は、録音ジャックユニット（オプション）が必要です。
●音声会議装置を接続する場合は、入力切替スイッチを「JACK」に切り替えてください。

各部の名前

停電用電話機（36キータイプ）

【底面】

DP／PB切替スイッチ
停電用電話機のダイヤル種別を切り替えます（工事者が設定します。設定を変更すると停電時に使えなくなることがあります）。

ワンポイント

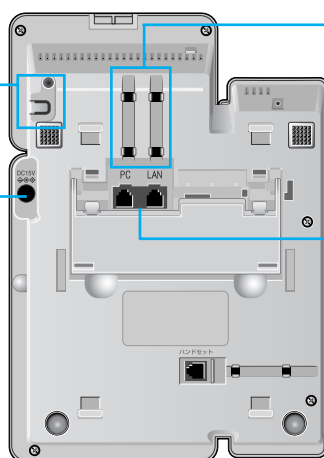
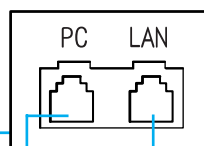
○**標準電話機と停電用電話機の違い**
停電用電話機の外観は標準電話機と同じですが、底面にDP／PB切替スイッチがあります。
また、停電時に外から電話がかかってきたことを知らせるブザーが付いています。

○**停電になったときは**
自動的に停電用電話機に切り替わり、お使いになれます。（☛P198）

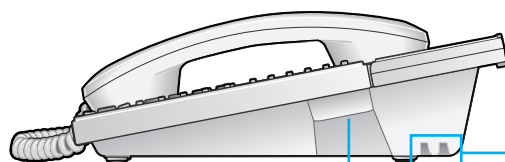
IP電話機（36キータイプ）

【底面】

電源アダプタコード固定用溝
電源アダプタコードをU字形の溝に引っかけて固定します。

電源アダプタコード差込口
電源アダプタコードを差し込みます。

LANケーブル固定用溝
LANケーブルを溝に引っかけて固定します。

LANポート
LANケーブル（10BASE-T／100BASE-TX）を差し込み、給電HUBなどに接続します。

PCポート
パソコンを接続します。

【右側面】

電源アダプタコード差込口
電源アダプタコードを差し込みます。

電源アダプタコード固定用溝
電源アダプタコードをU字形の溝に引っかけて固定します。

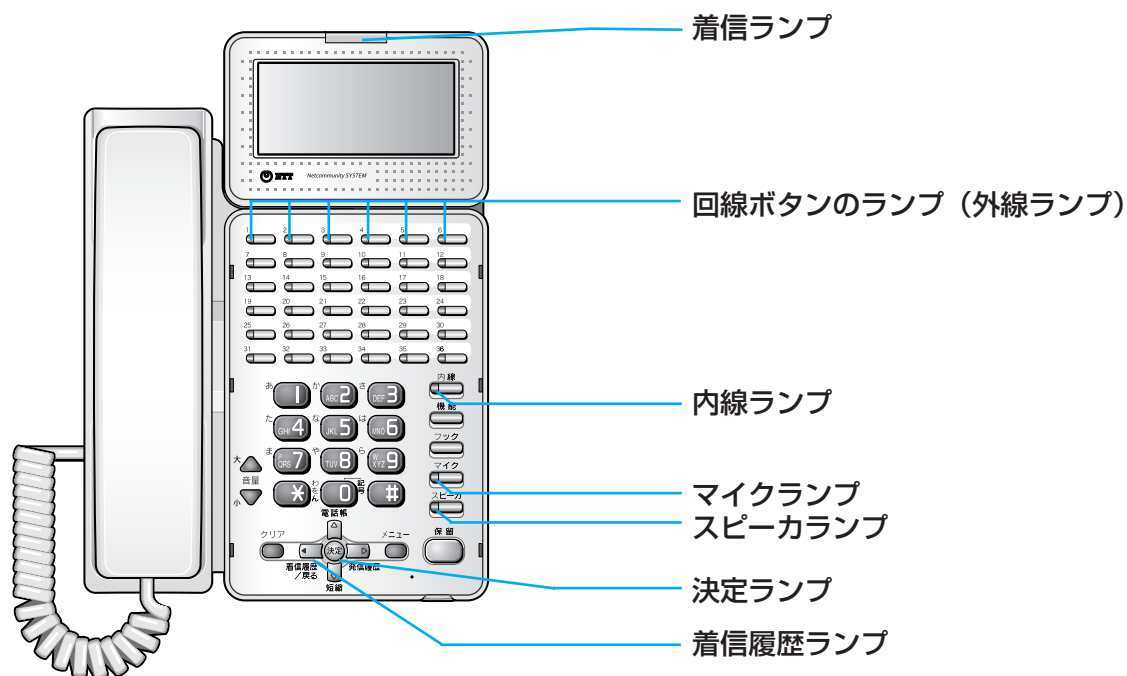
ワンポイント

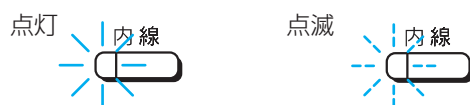
●**標準電話機とIP電話機の違い**
IP電話機の外観は標準電話機とほぼ同じですが、底面にLAN/PCポートと電源アダプタコード差込口があります。

●**IP電話機をお使いのときは**
LANケーブル固定用溝にLANケーブルを固定しても電話機がぐらつく場合は、スタンドを立ててお使いください。

お知らせ

給電HUBを使用できないときは、電源アダプタ（オプション）を使用してください。

【ランプ表示】

■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	電話機の状態
着信ランプ	点滅　（赤）	電話がかかってきたとき
外線ランプ（外線ボタン機能を割り当てられた回線ボタンのランプ）	2回消える　（緑）	自分の電話機でお話し中のとき
	点灯　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
	点滅　（緑）	外線通話の転送によって呼び出されているとき
	点滅　（赤）※1	電話がかかってきたとき
	遅い点滅　（赤）	他の内線電話機で保留中のとき
	2回点灯　（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	点滅　（赤）	内線で呼び出されているとき
	2回消える　（緑）	自分の電話機で内線通話をしているとき
	2回点灯　（緑）	自分の電話機で内線通話を保留中のとき
マイクランプ	点灯　（赤）	マイクがオンのとき
決定ランプ	点灯　（赤）	通話を保留中で、転送できないとき
着信履歴ランプ	点灯　（赤）	ディスプレイに着信履歴を表示しているとき
	2回点灯※2　（赤）	不在着信があるとき
スピーカランプ	点灯　（赤）	スピーカを使用しているとき

※1 保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります。
※2 点灯させる／させないを設定することができます。（☛P43）

各部の名前

コンソール（例：標準電話機（36キータイプ）＋コンソール）

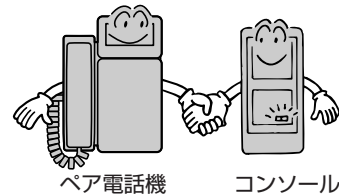
特　長

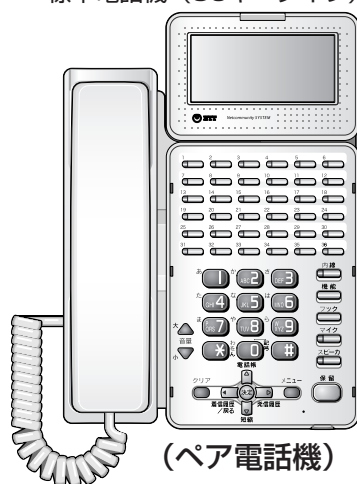
コンソールは、各主装置の内線電話機とペアを組んで使用するオプション装置です。コンソールには40個の回線ボタンがあり、「システム設定」によって内線電話機の回線ボタンと同じように以下のような各種の用途に使い分けることができます。

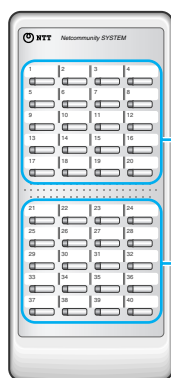
特定内線電話機を呼び出せる（ダイレクトボタン）
ダイレクトボタンは、特定の内線電話機と対応しているボタンです。ダイレクトボタンを押すだけで内線電話を呼び出したり、相手の内線電話機の状態を確認することができます。

複数のボタン操作をまとめて実行できる（ワンタッチボタン）
ワンタッチボタンは、複数のボタン操作をまとめて登録しておくことができます。ワンタッチボタンを押すだけで登録した操作を実行できます。
たとえば、よく使う電話番号を登録しておけば、ワンタッチボタンを押すだけで電話番号をダイヤルできます。

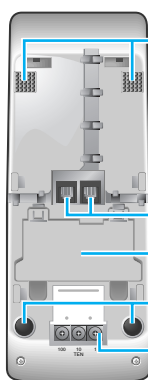
音声メールの操作が行える（音声メール操作用ボタン）
音声メール操作用ボタンで再生、録音などの操作を行ったり、ランプ表示によってメールの有無を確認することができます。

外線の発信・着信が行える（外線ボタン）
ペア電話機の外線ボタンに加え、より多くの外線を個別に操作することができます。

【前面】

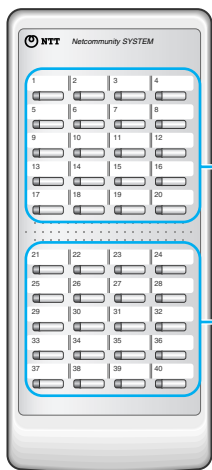
標準電話機（36キータイプ）

（ペア電話機）

コンソール

回線ボタン
回線ボタンは、「システム設定」で次のいずれかの用途に設定されます。

- **ダイレクトボタン**
  登録されている内線電話機が呼び出せます。
- **ワンタッチボタン**
  あらかじめ登録した操作がワンタッチで行えます。
- **外線ボタン**
  外線の発信・着信が行えます。
- **音声メール操作用ボタン**
  音声メールの各種操作が行えます。
  音声メールの機能や、各ボタンの使いかたについては、「ネットコミュニティシステム　αGX typeL音声メール取扱説明書」をご覧ください。

【底面】

STOP お願い

工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

【ランプ表示】

回線ボタンにはランプがあり、点灯・点滅して各種の状態を知らせます。点灯・点滅の意味は、ボタンの用途によって異なります。

■ダイレクトボタンのランプ表示

ランプのつきかた（色）	状　態
点灯　（赤）	相手内線電話機がお話し中
消灯	相手内線電話機が使用されていない
点滅　（赤）	相手内線電話機から着信中

■外線ボタンのランプ表示

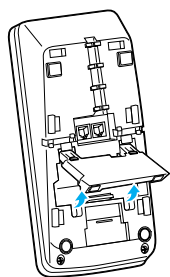
標準電話機の外線ボタンのランプ表示と同じです。
（☛P21）

■音声メール操作用ボタンのランプ表示

「ネットコミュニティシステム　αGX typeL音声メール取扱説明書」をご覧ください。

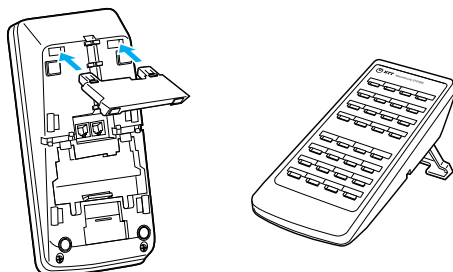
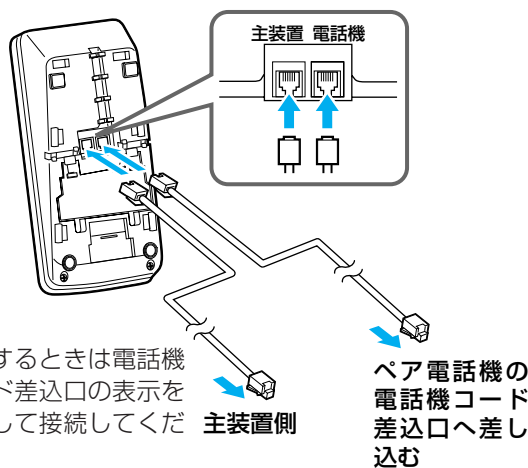
ワンポイント

○コンソールの設置角度を調節するには

①底面から、角度調節足を外します。

②溝に角度調節足をはめこみます。

○スターコンソールを接続するには

接続するときは電話機コード差込口の表示を確認して接続してください。

各部の名前

【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ご利用の回線によって異なります。この取扱説明書では、特に断りがない限りダイヤル回線をご利用の場合を例として説明していきます。

＜日付・時刻・自分の内線番号表示例＞

```
9月19日(月) 午後 3:05
1001
```

＜通話時間表示例＞

```
9月19日(月) 午後 3:05
                  0-05
PB
```

■ ディスプレイの表示例

状態	表示	説明
待機中	9月19日(月) 午後 3:05 1001	待機中のときに表示されます。
外線発信（DP回線）	外線	ダイヤル回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（PB回線）	外線 PB	プッシュ回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（ISDN回線）	外線 ISDN	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（VoIP回線）	外線 VoIP	IP電話サービスで外に電話をかけるときに表示されます。
外線通話（DP回線）	9月19日(月) 午後 3:05 0-05 PB	ダイヤル回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（PB回線）	9月19日(月) 午後 3:05 0-05 PB	プッシュ回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（ISDN回線）	9月19日(月) 午後 3:05 0-05 PB ISDN	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（VoIP回線）	9月19日(月) 午後 3:05 0-05 PB VoIP	IP電話サービスで外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
キーパッド送出	ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ送出ﾓｰﾄﾞ ISDN	キーパッド送出が可能なときに表示されます。

ワンポイント

○ ディスプレイのバックライトを点灯させるには

ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。常時点灯させておくほか、ボタン操作をしたときに点灯するように設定することもできます。(☛P137)

＜バックライト消灯＞

＜バックライト点灯＞

○ ディスプレイの表示をクリアするには（表示クリア）

クリアボタンを押すと、表示内容をクリアすることができます。ただし、ディスプレイにピクトグラム（PB、ISDN、不在着信転送など）表示中の場合は、ピクトグラムの表示はクリアされません。

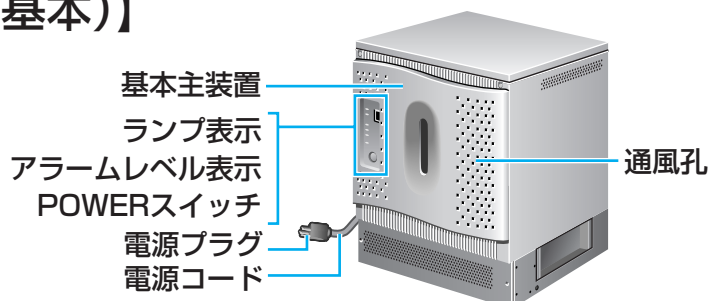
○「システム設定」とは

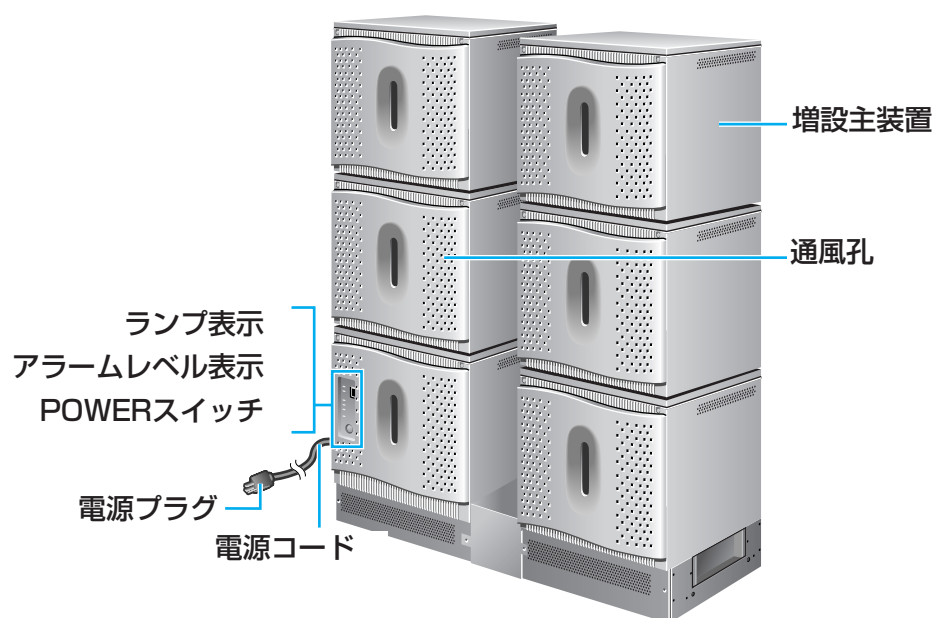
ネットコミュニティシステムαGX typeLの設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。(☛P189)

お知らせ

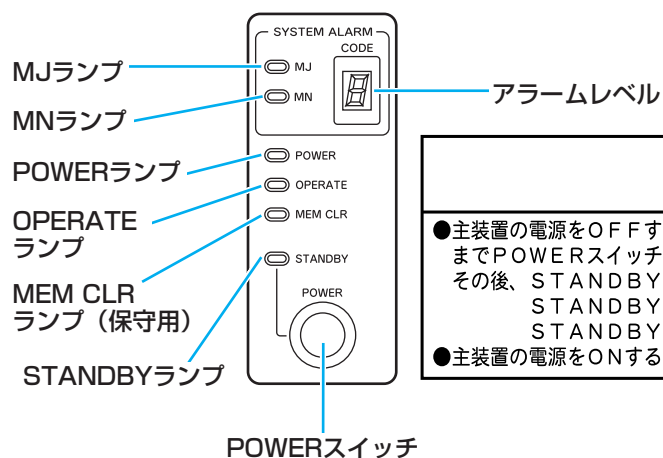
- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留などを行うといったんクリアされます。ただし、保留を行った電話機で保留を解除すると、保留時間も含めて、継続して表示されます。
- VoIP回線とは、ブロードバンド回線を使って電話の発着信がご利用になれる回線のことです。VoIP回線をご利用になるには、フレッツADSLやBフレッツ等のブロードバンド回線とプロバイダ等との利用契約が必要となります。
- 通話時間は、国際電話のとき、専用線をお使いのときにも表示されます。
- 「システム設定」により、マイラインまたはマイラインプラスの契約内容に対応した発信規制を行うことができます。

主装置

【主装置（基本）】

【主装置（最大）】

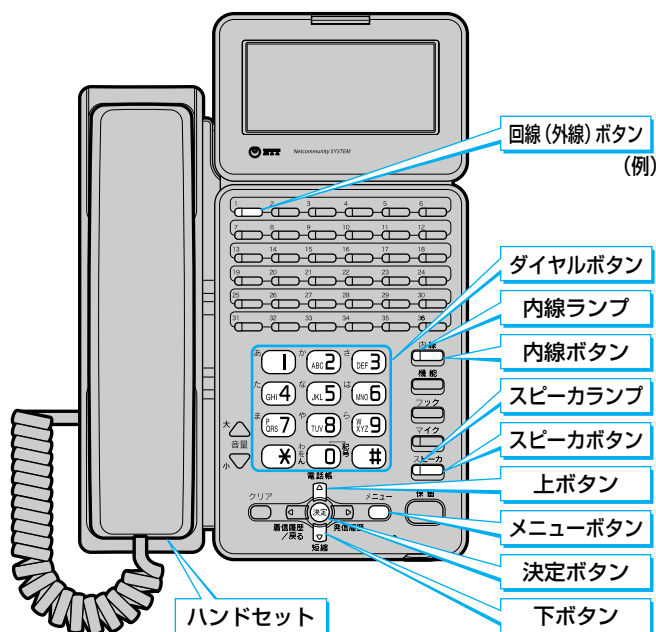
※ビルディングブロック方式により、増設主装置を最大5つまで増設できます。

ワンポイント

○ランプ表示、アラームレベル表示について

POWERランプ、OPERATEランプは、運転中に緑で点灯します。
アラームランプにはMJ（重要故障）とMN（故障）があり、それぞれにアラームレベル1～9がデジタル表示されます。
MJランプ／MNランプが点灯した場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へデジタル表示内容を含めて連絡ください。なお、MNランプが点灯した場合には、主装置の再立上げにより回復することがあります。（☛P201）

⚠注意

●主装置の電源をＯＦＦする場合には、ＳＴＡＮＤＢＹランプが点滅を始めるまでＰＯＷＥＲスイッチを押し続けて（５秒以上）ください。
その後、ＳＴＡＮＤＢＹランプが点灯状態となるまでお待ちください。
ＳＴＡＮＤＢＹランプ点滅：システムシャットダウン中
ＳＴＡＮＤＢＹランプ点灯：システム電源ＯＦＦ
●主装置の電源をＯＮする場合には、ＰＯＷＥＲスイッチを押してください。

日付、時刻を合わせます

「システム管理者」に設定されている特定の電話機から年月日を設定することができます。

ワンポイント

●**同様の設定を行うには**

Webシステム設定　：可（☛P150）

特番操作　：可（下記参照）

●**特番操作で設定するには**

①内線ボタンを押す

②決定ボタンを押す

③日付設定用の特番［　　］ⓧ ⑦ を押す

④手順5～7の操作を行う

⑤決定ボタンを押す

⑥スピーカボタンを押す

お知らせ

●「特番操作で設定するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

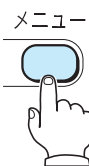
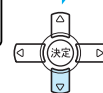
●プリセレクションサービスとは、「システム設定」により、ハンドセットを置いたまま外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。

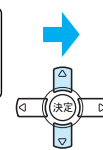
●曜日は、日付設定時に自動的に設定されます。うるう年も自動的に判定し設定されます。

日付を設定する

<例>2005年9月19日に合わせるとき

1 メニューボタンを押します。

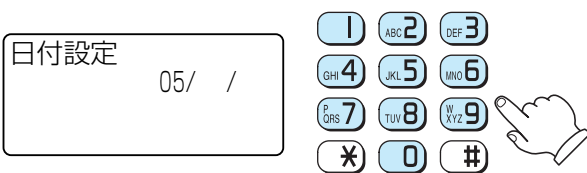
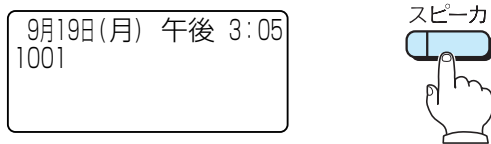
1:電話機毎設定
2:システム一括設定

2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号(2)をダイヤルボタンで押してもかまいません。

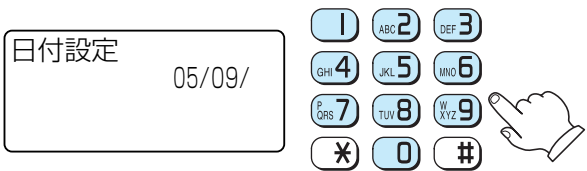
3 上下ボタンで「5：時計／アラーム」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号(5)をダイヤルボタンで押してもかまいません。

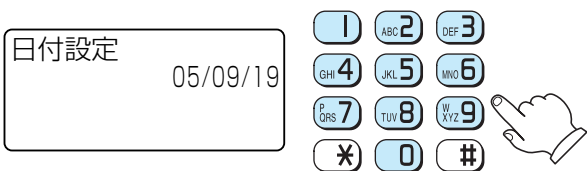
4 決定ボタンを押します。

項目番号(1)をダイヤルボタンで押してもかまいません。

5 西暦の下2桁（00～99）をダイヤルボタンで押します。

日付設定
05/　/

6 月（01～12）をダイヤルボタンで押します。

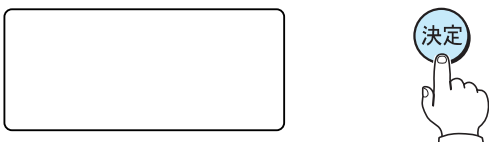
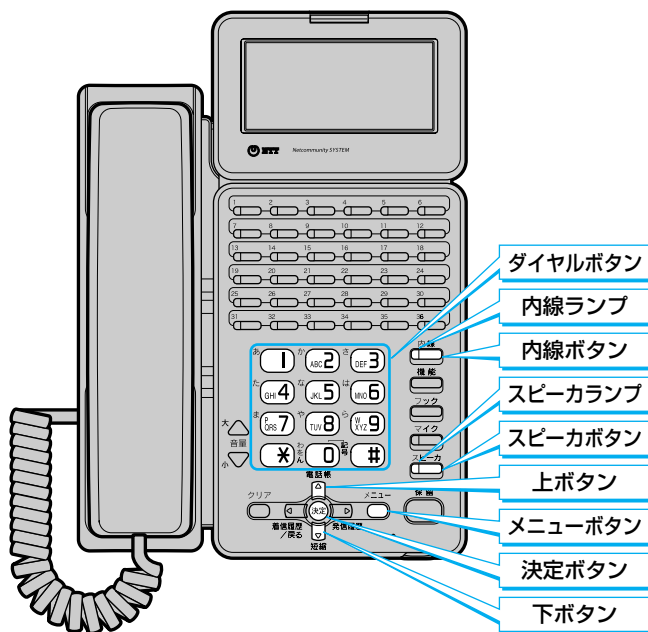
日付設定
05/09/

7 日（01～31）をダイヤルボタンで押します。

日付設定
05/09/19

8 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、日付が設定されます。

9 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日(月)　午後　3:05
1001

日付、時刻を合わせます

ワンポイント

●同様の設定を行うには

Webシステム設定　：可（☛P150）
特番操作　　　　　：可（下記参照）

●特番操作で設定するには

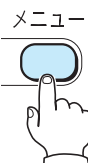
①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③時刻設定用の特番［　　　］ ＊ 8 を押す
④時刻をダイヤルボタンで押す
⑤決定ボタンを押す
⑥スピーカボタンを押す

お知らせ

●「特番操作で設定するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
●時刻表示に誤差が生じることがあります。この場合は、再度設定を行ってください。
●時刻の設定は、手順6で決定ボタンを押した時点で確定し、反映されます。

時刻を設定する

<例>午後3時5分に合わせるとき

1 メニューボタンを押します。

2 下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

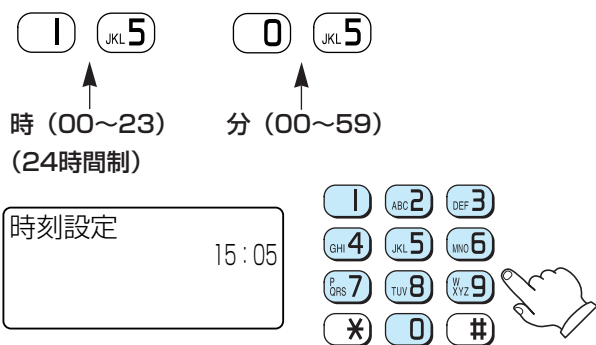
3 上下ボタンで「5:時計／アラーム」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（5）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 下ボタンで「2：時刻設定」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

5 時刻をダイヤルボタンで押します。

時刻設定
15：05

6 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、時刻が設定されます。

7 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日（月） 午後 3：05
1001

音量を調節します

着信音量を調節する

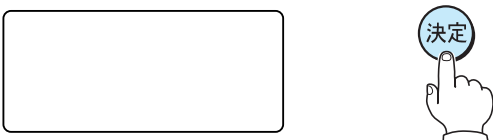
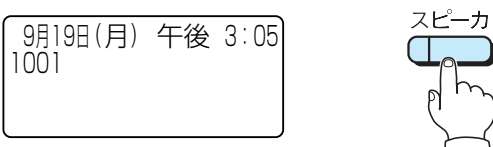
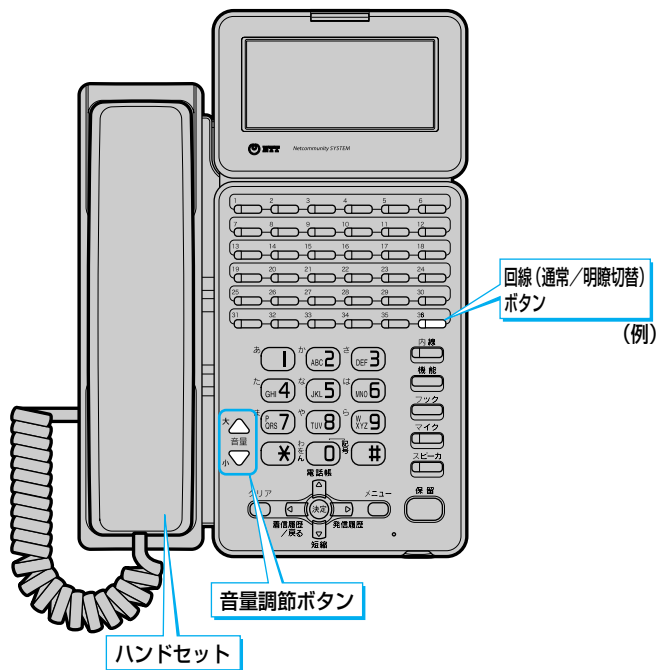
各内線電話機ごとに、外線や内線の着信音量を3段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに設定状態が約2秒間表示されます。

1 ハンドセットを置いたまま、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。

着信音量の設定状態が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
1001
着信音 <<<

9月19日(月) 午後 3:05
1001
着信音 <<

9月19日(月) 午後 3:05
1001
着信音 <

ワンポイント

○**音量が最大のときまたは最小のときは**
最大のときに大ボタンを、最小のときに小ボタンを押しても音量、ディスプレイの表示は変わりません。
また、ダイヤル確認音も鳴りません。

○**受話音量をさらに大きくするには（通常/明瞭切替）**
ハンドセットの受話音量を大きくしても聞き取れないときなどは、さらに大きな音量にすることができます。
相手の方の声を7段階に調節することができます。
①ハンドセットを上げて大ボタンを長く押す（サービスキーに登録している場合は、サービスキー（通常／明瞭切替）を押してもかまいません。）
②音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押す（小ボタンを長く押すと、明瞭から通常に戻ります。サービスキーに登録している場合は、サービスキー（通常／明瞭切替）を押しても戻せます。）

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。音量調節ボタンを使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、音量のレベルを確認してからご利用ください。

スピーカ音量を調節する

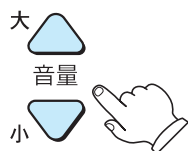
各内線電話機ごとに、スピーカ受話中にスピーカ音量を8段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに設定状態が約2秒間表示されます。

1 スピーカ受話中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。

スピーカ音量の設定状態が表示されます。

9月19日(月)　午後　3:05
1002
ｽﾋﾟ-ｶ音　<<<<<<<<

小ボタン ↓ : ↑ 大ボタン

9月19日(月)　午後　3:05
1002
ｽﾋﾟ-ｶ音　<<<<

小ボタン ↓ : ↑ 大ボタン

9月19日(月)　午後　3:05
1002
ｽﾋﾟ-ｶ音　<

ハンドセット受話音量を調節する

ハンドセットでお話し中に、相手の方の声を4段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに設定状態が約2秒間表示されます。

1 お話し中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。

受話音量の設定状態が表示されます。

9月19日(月)　午後　3:05
1002
受話音　<<<<

小ボタン ↓ ↑ 大ボタン

9月19日(月)　午後　3:05
1002
受話音　<<<

小ボタン ↓ ↑ 大ボタン

9月19日(月)　午後　3:05
1002
受話音　<<

小ボタン ↓ ↑ 大ボタン

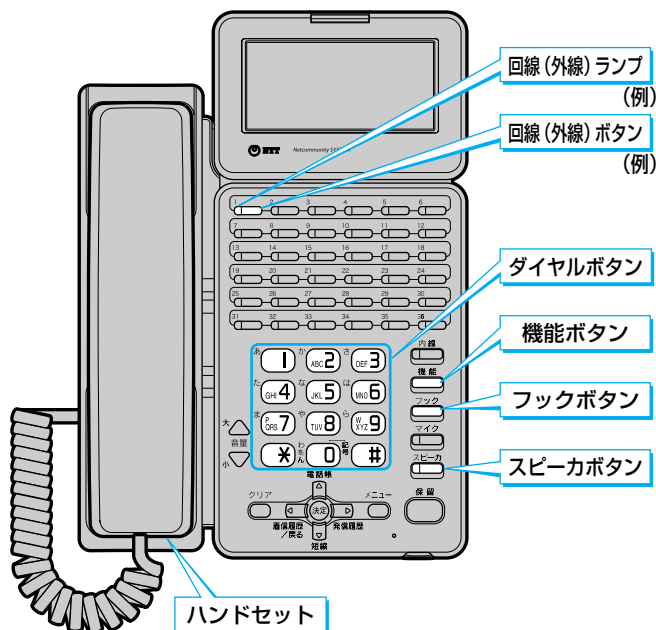
9月19日(月)　午後　3:05
1002
受話音　<

お知らせ

受話音量の明瞭設定は、次の場合自動的に解除され通常の音量に戻ります。

●お話しを終了したとき（ハンドセットを置いたとき）
●スピーカ受話に変えたとき

電話をかけるには（外線発信）IP

ハンドセットを上げてかける方法と、ハンドセットを置いたままかける方法（オンフックダイヤル）、押した電話番号を確認してかける方法（プリセットダイヤル）があります。天気予報や時報を聞くときなどは、ハンドセットを置いたままかけると便利です。

ハンドセットを上げてかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

外線

2 ハンドセットを上げます。

外線

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。

03○○○○XXXX

4 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 通話時間は、最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
- 「システム設定」によって、お話しが終わったときにISDN回線をご利用の場合、通話料金を表示させることもできます。
- 手順3でディスプレイの2段目に表示される電話番号は20桁までです。21桁以上になるときは、1段目の右から左へ順次表示されます。ただし、「システム設定」により携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号を自動付与する場合は、2段目のみの表示となります（21桁入力で最初の1桁は消え22桁以降も2桁目以降が消え右から左へ表示されます）。
- 手順1を行わないでハンドセットを上げたとき、またはスピーカボタンを押したときには、「システム設定」によって次のどちらかの状態になります。
  - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
    この取扱説明書では、さしつかえない限り、オフフック内線捕捉の状態での説明をしています。
  - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）
    オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。**この取扱説明書では、さしつかえない限り、オフフック内線捕捉の状態での説明をしています。**
- 「システム設定」により、マイラインまたはマイラインプラスの契約内容に対応した発信規制を行うことができます。

ワンポイント

○外線ランプが赤く点灯しているときは
他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。

○PBX（構内交換機）などに収容されているときは
PBXの外線発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

○ISDN回線（INSネット64／1500）を利用して電話をかけるときは
外線ボタンを押すと、ディスプレイに「ISDN」と表示されます。（☛P72）

○VoIP回線を利用して電話をかけるときは
外線ボタンを押すと、ディスプレイに「VoIP」と表示されます。（☛P70）

外線ボタンの回線名称（電話番号）を確認するには
「システム設定」により、外線ボタンの回線名称（電話番号）を登録しておくことができます。登録されている回線名称（電話番号）を確認するときは、ハンドセットをおいたまま機能ボタン、外線ボタンの順に押します。外線ランプが点灯しているときでも操作できます。

○ハンドセットを上げてから電話をかけるには
ハンドセットを上げてから、外線ボタンを押しても電話をかけることができます。

●続けて電話をかけるときは（切断再捕捉）
次のどちらかの方法で、電話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。どちらの方法を使うかは「システム設定」で選択できます。ISDN回線およびVoIP回線ではご利用になれません。

- フックボタンを押す
- 機能ボタン、フックボタンの順に押す（お買い求め時の設定）

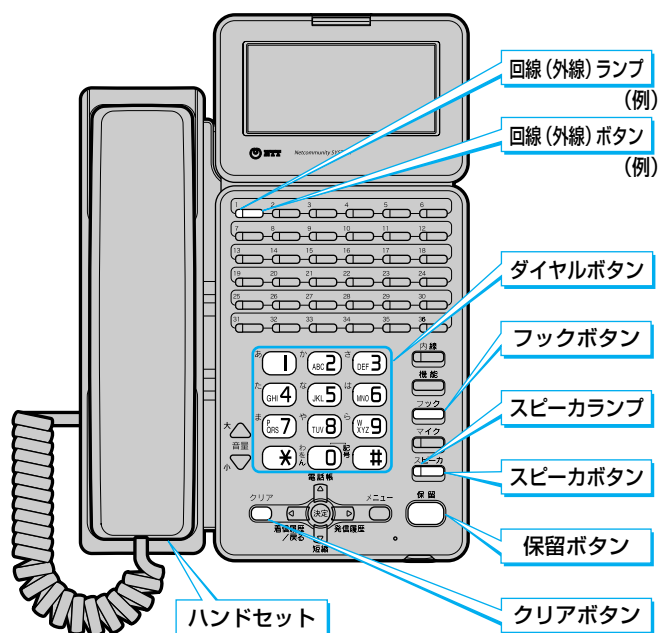
切断再捕捉はオンフックダイヤル（☛P34）のときにもできます。

●一定の間隔で同一の相手へ再発信を繰り返すには（簡易自動再発信）
簡易自動再発信をセットすると、一定の間隔で同じ相手の方に再発信を繰り返すことができます。（☛P41）

○お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）
ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを上げると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

通話時間が一定時間を超えたときは（長時間通話警報）
「システム設定」によって内線電話機ごとに長時間通話警報を設定すると、外へ電話をかけたときに、「システム設定」された通話時間が経過すると「ピピ」という警報音が鳴ります。ディスプレイには「チョウジカン ケイホウ」と表示されます。その後、「システム設定」された時間ごとに警報音が鳴ります。

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには
「システム設定」により、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。
自動付与した事業者識別番号（「システム設定」により名称が登録されている場合は名称も）をディスプレイの1段目の左端から表示します（内線電話機のみ）。
ご利用はすべての携帯電話会社（着信側）に有効で、PHSへの通話は対象外です。また、一部ご利用になれない携帯電話番号があります。
一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に事業者識別番号自動付与解除用の特番（0 0 0 0 [　　　　]）を押します。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

電話をかけるには　（外線発信）IP

ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

外線

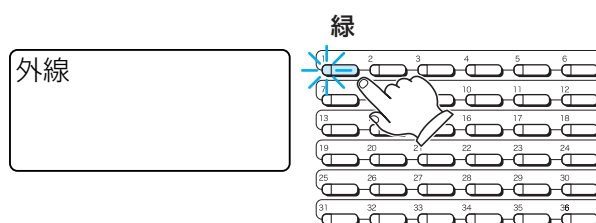
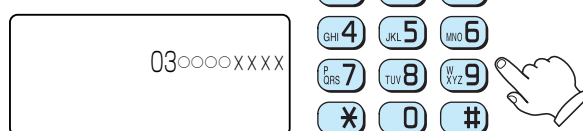
2 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。

03○○○○XXXX

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

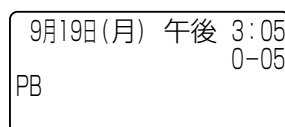
通話時間が表示されます。

9月19日（月） 午後 3:05
0-05
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○**オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには**
スピーカボタンを押します。スピーカランプ、外線ランプが消えます。

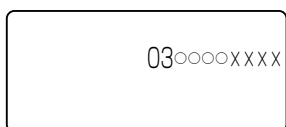
○**コンソールの外線ボタンで電話をかけるには**
標準電話機と同様の操作で電話をかけることができます。標準電話機の外線ボタンを押す代わりに、ランプが消灯しているコンソールの外線ボタンを押してください。

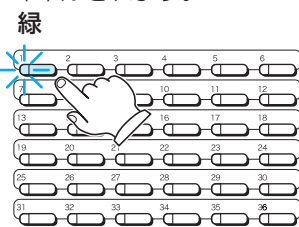
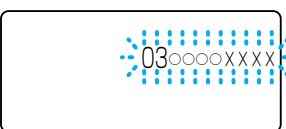
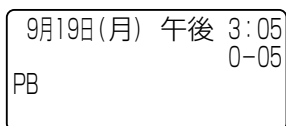
お知らせ

●手順3で相手の方が出たあと、ハンドセットを上げてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。
●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

1 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。

03○○○○XXXX

2 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
表示されている電話番号がダイヤルされます。

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○**電話番号を間違えて入力したときは**
電話番号を入力したあとで保留ボタンを押すと、最後に入力した文字が1文字ずつ削除されます。すべてを削除するには、クリアボタンを押します。

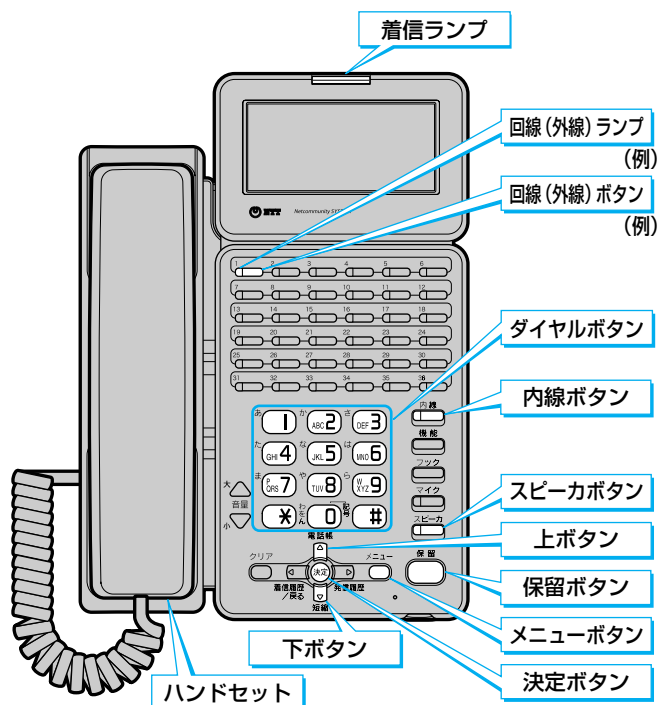
○**電話番号にポーズ（待ち時間）を入れるには**
1〜9秒のポーズを入れることができます。手順1で、ポーズを入れたいところでフックボタンを押したあと、ポーズを入れたい秒数（1 〜 9）を押します。

○**入力した電話番号をクリアするには**
手順1のあとでクリアボタンを押すと、表示されている電話番号がクリアされます。
また、手順1のあと手順2を行わず、「システム設定」した時間が経過すると、自動的にプリセットダイヤルが解除されます。

お知らせ

- 手順2で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順3へ進んでください。
- 手順1の電話番号は、32桁まで入力できます。それ以上の入力は無視されます。
- プリセットダイヤルは、「システム設定」でサービス利用の可否を電話機ごとに設定します。
  利用できない設定の場合は、ダイヤルボタンを押しても、ディスプレイの表示は日付・時刻表示のままです。
- プリセットダイヤルをご利用されていても、プリセレクションサービスをご利用いただけます（同時に動作できます）。
- PBX（構内交換機）に収容されているときは、電話番号を入力する前にPBXの外線発信番号を押してください。

電話がかかってきたときは（外線着信）IP

外から電話がかかってくると、着信音が鳴るように設定した電話機の着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

外線着信に応答する

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

9月19日（月） 午後 3:05
1001

赤

2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

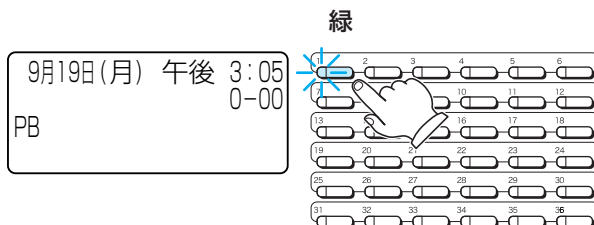
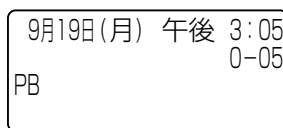
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日（月） 午後 3:05
0-00
PB

緑

3 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日（月） 午後 3:05
0-05
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- ●外の相手の方とお話し中に、保留にしないで他の外線ボタンを押すと電話が切れてしまいますのでご注意ください。
- ●「システム設定」により、着信音が鳴らないように設定することができます。
- ●他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- ●プリセレクションサービスを利用されている場合は、P37のワンポイントの「電話機ごとに着信音の音色を切り替えるには」および「内線、外線の着信音が鳴らないようにするには（着信拒否）」の特番操作の手順①で、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- ●ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイをご利用になると、かけてきた方の電話番号や発信企業名を表示させることができます。（☛P106）

ワンポイント

一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答通知）

「システム設定」によって内線電話機ごとに着信未応答通知を設定すると、「システム設定」した一定時間内に応答しなかったときに、着信先が他の内線電話機や音声メールに切り替わります。

回線または着信した種別ごとに着信音を切り替えるには（着信音識別）

「システム設定」で回線または着信した種別ごとに着信音を切り替えることができます。（☛P191）

○電話機ごとに着信音の音色を切り替えるには

8種類の音色の中から選択できます。

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「3：外線着信」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「1：着信音色設定」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで設定したい着信音色を選択し、決定ボタンを押す
⑥上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す
「0：外線番号指定」：
特定の外線／内線ボタンの着信音を設定
「1：全外線（内線含む）」：
外線、内線の両方の着信音を設定
「2：外線のみ」：外線の着信音を設定
「3：内線のみ」：内線の着信音を設定
⑦手順⑥で「0：外線番号指定」を選択したときは、外線／内線ボタンを押す
⑧スピーカボタンを押す

特番操作で着信音の音色を切り替えることもできます。

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③着信音色設定用の特番（6 4 [　　]）を押す
④音色番号（1～8）を押す
⑤ #、*、0、外線ボタン、内線ボタンのどれかを押す
：内線の着信音を切り替えるとき
* ：外線の着信音を切り替えるとき
0 ：内線、外線の両方の着信音を切り替えるとき
外線ボタンまたは内線ボタン：
押した外線ボタンまたは内線ボタンの着信音を切り替えるとき
⑥決定ボタンを押す
⑦スピーカボタンを押す

電話がかかってきたときに複数の電話機で着信音を鳴らすには（放送着信）

「システム設定」によって、電話がかかってきたときに、同時に複数の電話機で着信音を鳴らすことができます。

●内線、外線の着信音が鳴らないようにするには（着信拒否）

着信拒否ができるように「システム設定」されているとき、着信音が鳴らないように設定することができます。

＜着信拒否を設定／解除する＞

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「3：外線着信」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「2：外線毎着信拒否」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す
「0：着信拒否解除」：着信拒否を解除する
「1：外／内線着信拒否」：
外線、内線ともに着信拒否する
「2：外線着信拒否」：外線のみ着信拒否する
「3：内線着信拒否」：内線のみ着信拒否する
⑥スピーカボタンを押す

特番操作で設定／解除を行うこともできます。

①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③着信拒否用の特番（7 0 [　　]）を押す
④項目番号（0～3）のどれかを押す
⑤決定ボタンを押す
⑥スピーカボタンを押す

○電話帳グループ毎に着信拒否にするには

「システム設定」により、ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）着信時、電話番号が登録された電話帳が所属する電話帳グループ毎に着信拒否することができます。（☛P139）

○ハンドセットを上げてから応答するには

ハンドセットを上げて、ランプが点滅している外線ボタンを押すと、その外線ボタンに割り付けられた回線の着信に応答できます。先に外線ボタンを押しても応答できます。また、外線着信自動応答を「システム設定」しているときは、ハンドセットを上げるだけで応答できます。（☛P191）

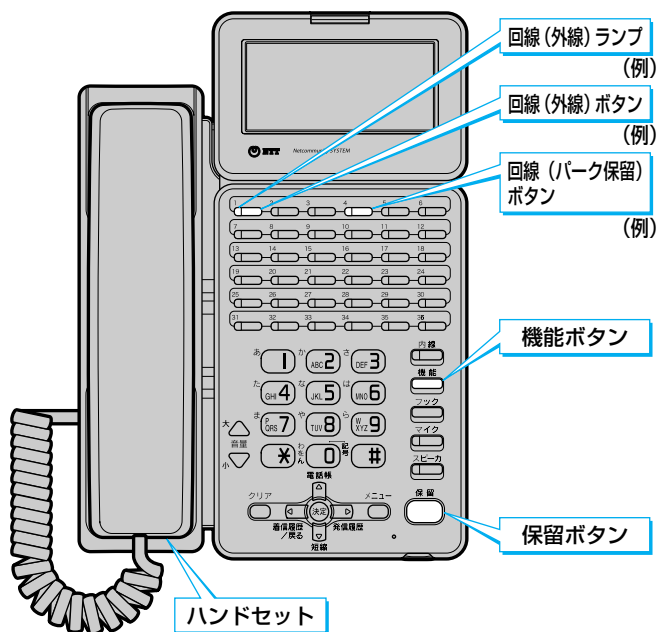
○続けてかかってきた電話に応答するには

お話し中の相手の方に一時待っていただく場合は、保留ボタンを押してから、ランプが点滅している外線ボタンを押します。お話しが終了している場合は、そのままランプが点滅している外線ボタンを押します。このとき、それまでの通話は切れます。

○コンソールの外線ボタンで電話を受けるには

標準電話機と同様の操作で電話を受けることができます。標準電話機の外線ボタンを押す代わりに、ランプが赤く点滅しているコンソールの外線ボタンを押してください。

相手の方に待っていただくには(保留) IP

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができる共通保留、他の電話機では出られない個別保留と、同一パーク保留ボタンを設定した電話機であれば電話に出ることができるパーク保留があります。

ワンポイント

保留忘れを防止するために(長時間保留警報)

保留にした電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように「システム設定」することができます。次の時間、周期を設定できます。

- 保留警報音が鳴るまでの時間
- 保留警報音が鳴っている時間
- 保留警報音を鳴らす周期
- 警報開始から他の電話機に保留警報を通知するまでの時間

保留警報音が鳴ると、保留中の外線ランプが緑色で点滅します。
保留警報音は、鳴動指定の有無に関係なく鳴ります。

保留警報音が鳴っても電話に出ないときは

保留警報音が鳴ってから一定時間が経過したときは、次のように「システム設定」することができます。

- 他の内線電話機に長時間保留警報を通知する(保留元もそのまま継続する)
- 自動的に電話が切れるようにする
- そのまま保留元への警報を継続する

○ **保留警報音が鳴っているときに電話に出るには**

ハンドセットを上げます。

○ **保留音を変えるには(保留音設定)**

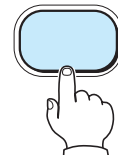
「システム管理者」に設定されている電話機ではメニュー設定で、保留音の設定が行えます。(☛P138)
ただし、IP電話機の保留音は変えることができません。

○ **コンソールの外線ボタンで受けた電話を普通に保留するには(共通保留・個別保留)**

標準電話機と同様の操作で電話を保留することができます。

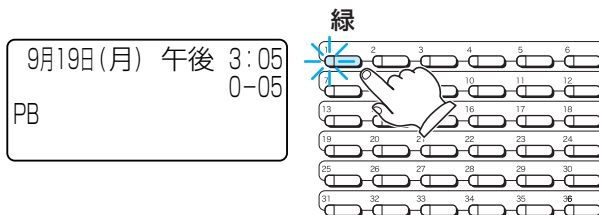
普通に保留する(共通保留)

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。

内線

3 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB

4 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

お知らせ

- 索線ボタン(☛P76)に登録されている外線を保留したときは、個別保留になります。
- 外線ボタンと拡張内線ボタン(☛P202)以外でお話し中に、共通保留の手順1、2の操作を行うと、個別保留になります。

他の電話機で取れないように保留する（個別保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 機能ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
機能

機 能

3 保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

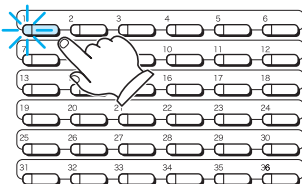
相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。

内線

保 留

4 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

5 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

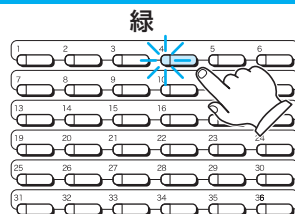
同一パーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように保留する（パーク保留）

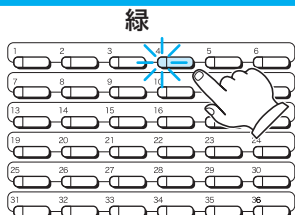
お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留ボタンを設定した電話機であれば保留中の内線／外線に応答することができます。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 パーク保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

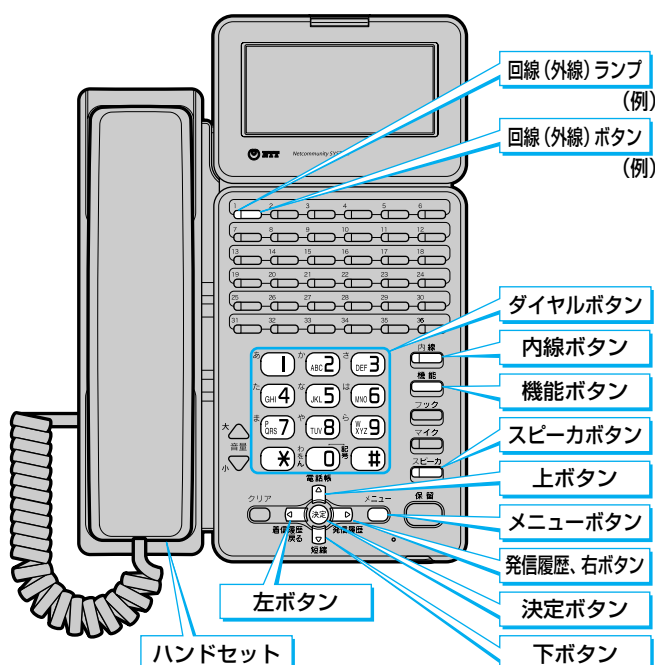
内線

緑

3 もう一度お話しするときは、保留中のパーク保留ボタンを押します。

同じパーク保留ボタンを設定した電話機であれば、どの電話機でパーク保留ボタンを押してもかまいません。

緑

4 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

発信履歴を使って電話をかけるには（発信履歴ダイヤル）IP

以前に電話をかけた相手の方に、簡単な操作でかけ直すことができます。発信履歴は内線発信の記憶も含めて各内線電話機ごとに20件まで、1件につき32桁まで記録されます。

発信履歴を使って電話をかける

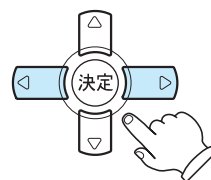
1 ハンドセットを置いたまま、発信履歴ボタンを押します。

一番新しい発信履歴の一覧画面が表示されます。目的の発信履歴が表示されているときは、手順3に進みます。

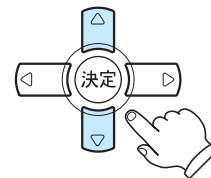
01☐日本電信電話(株)
02☐101
03☐0312345678
04☐NTT太郎

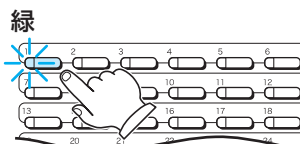
2 左右ボタンでかけたい相手の方を表示します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。

05☐営業直通
06☐0451234567
07☐201
08☐NTT二郎

3 上下ボタンでかけたい相手の方を選択します。

選択した発信履歴が反転表示されます。

05☐営業直通
06☐0451234567
07☐201
08☐NTT二郎

4 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

5 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

お知らせ

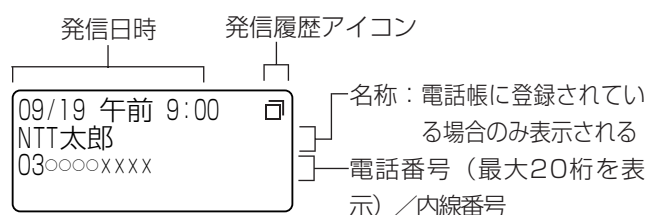
- 他の内線電話機の発信履歴を使って電話をかけることはできません。
- 手順4で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順5へ進んでください。
- プリセットダイヤルは、「システム設定」でサービス利用の可否を電話機ごとに設定します。利用できない設定の場合は、発信履歴は表示されますが、その後発信することはできません。
- 内線ダイレクトコールおよび内線ホットラインでおかけになったときは、発信履歴ダイヤルの対象とはなりません。
- 発信履歴には、外線ダイヤル中に行ったダイヤル入力（プッシュホンサービスの利用など）も記憶されます。
- 「最後にかけた相手の方に再ダイヤルするには」で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタン／内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

ワンポイント

○**発信履歴に表示される名称について**

発信履歴の名称は、記録した電話番号から次の検索方法で検索し、個別電話帳または共通電話帳にない場合は名称を表示しません。
「システム設定」で「個別電話帳のみ検索」または「共通電話帳のみ検索」、「個別および共通電話帳検索」が指定できます。

○**発信履歴の詳細を確認するには**

手順3のあと決定ボタンを押すと、発信履歴の詳細画面が表示されます。この画面が表示されている状態で手順4に進んでも、電話をかけることができます。

○**最後にかけた相手の方に再ダイヤルするには**

①ハンドセット置いたまま、発信履歴ボタンを押す
②外線ボタンを押す
③相手の方の声がスピーカから聞こえたらハンドセットを上げてお話する

特番操作で再ダイヤルすることもできます。
①内線ボタンを押す
②再ダイヤル用の特番（9 0 0 [　　　]）を押す

○**PBX（構内交換機）に収容されているときは**

発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

○**発信履歴ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）**

発信履歴ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。ただし、内線へのダイヤルの追加はできません。

○**発信履歴の電話番号を個別／共通の電話帳に登録するには**

①手順1～3と同様の操作で登録したい発信履歴を反転表示させる
②メニューボタンを押す
③上下ボタンで「1：個別電話帳登録」／「2：共通電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押す
④「電話帳を登録する」（☛P47）と同様の操作で名前やグループなどを登録する

「システム設定」で個別電話帳操作が禁止の場合、「1：個別電話帳登録」が、共通電話帳操作が禁止の場合、「2：共通電話帳登録」が選択できません。

○**発信履歴を1件消去するには**

①手順1～3と同様の操作で消去したい発信履歴を反転表示させる
②メニューボタンを押す
③上下ボタンで「3：1件削除」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す

○**発信履歴をすべて消去するには**

①発信履歴ボタンを押す
②メニューボタンを押す
③上下ボタンで「4：全件削除」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す

自動的に再ダイヤルするには（簡易自動再発信）

簡易自動再発信ができるように設定すると、外線発信の際、相手の方がお話し中や応答しないときに、自動的に再ダイヤルすることができます。
簡易自動再発信をセットすると、「システム設定」された時間が経過したあと、自動的に再発信します。相手の方がお話し中か応答しないと、設定された時間だけ呼び出し、待機します。簡易自動再発信は、設定された呼出回数まで繰り返しても相手の方が応答しないときは、解除されます。

＜簡易自動再発信をセット／解除する＞
①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「2：外線発信」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「1：簡易自動再発信」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで「1：はい」（セットする）または「2：いいえ」（解除する）を選択し、決定ボタンを押す

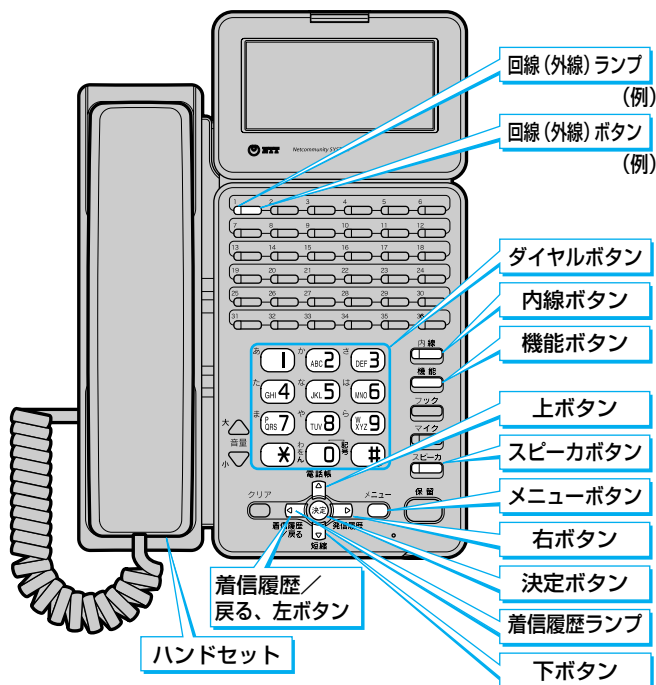
特番操作で簡易自動再発信をセットすることもできます。
①機能ボタンを押す
②簡易自動再発信用の特番（7 1 [　　　]）を押す

＜簡易自動再発信中に解除する＞
①簡易自動再発信中にハンドセットを上げる
簡易自動再発信で相手の方を呼び出しているときに、スピーカボタンを押すと呼び出しを中断し、待機状態になります。

○**停電になったとき、またはPOWERスイッチをオフにしたときは**

発信履歴ダイヤルの内容も消えます。

着信履歴を使って電話をかけるには（着信履歴ダイヤル）IP

「システム設定」により、かかってきた電話の着信時刻や発信者の電話番号（発信者電話番号が通知されたとき）、内線番号などを記憶することができます。着信履歴は内線着信の記憶も含めて各内線電話機ごとに32件まで、1件につき32桁まで記録されます。

着信履歴を使って電話をかける

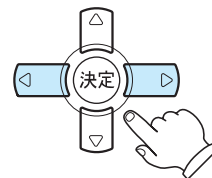
1 ハンドセットを置いたまま、着信履歴ボタンを押します。

一番新しい着信履歴の一覧画面が表示されます。目的の着信履歴が表示されているときは、手順3に進みます。

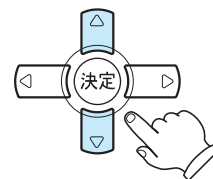
01応日本電信電話(株)
02不101
03他0312345678
04応NTT太郎

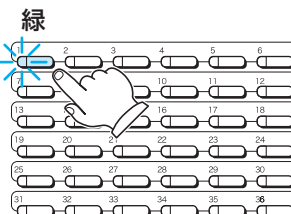
2 左右ボタンでかけたい相手の方を表示します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。

05応公衆電話
06不0451234567
07他201
08応NTT二郎

3 上下ボタンでかけたい相手の方を選択します。

選択した着信履歴が反転表示されます。

05応公衆電話
06不0451234567
07他201
08応NTT二郎

4 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

お知らせ

手順4で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順5へ進んでください。また、同様にP43のワンポイントの「最後にかけてきた相手の方に電話をかけるには」の操作でも、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

5 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

着信履歴を記録させるには

電話機の内線ボタン、外線ボタンごとに着信履歴を残す／残さないを設定することができます。

さらに、着信応答しなかった時に着信履歴ランプを点灯させる／点灯させないを設定することができます。

着信に応答した時は残す／残さないの設定にかかわらず着信履歴は残ります。

外線ボタンの着信履歴を記録するには、ナンバー・ディスプレイ（発番号表示）、ネーム・ディスプレイ（発信企業名表示）の契約が必要です。

<着信履歴／ランプ制御を設定する>

①メニューボタンを押す

②上下ボタンで「1:電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す

③上下ボタンで「3:外線着信」を選択し、決定ボタンを押す

④上下ボタンで「3:着信履歴／ランプ制御」を選択し、決定ボタンを押す

⑤上下ボタンで「2:履歴を残す／ランプOFF」または「3:履歴を残す／ランプON」を選択し、決定ボタンを押す

⑥履歴を残したい外線ボタンまたは内線ボタンを押す

⑦上下ボタンで、他の外線ボタンを続けて設定したい場合は「1:はい」、終了する場合は「2:いいえ」を選択し、決定ボタンを押す(「1:はい」を選択した場合は⑥に戻る)

「2:履歴を残す／ランプOFF」を選択した場合、着信履歴は残り着信履歴ランプは点灯しません。

「3:履歴を残す／ランプON」を選択した場合、着信履歴は残り着信履歴ランプは点灯します。

履歴を残さない場合は、⑤で「1:履歴を残さない」を選択し⑥で残したくない外線ボタンまたは内線ボタンを押します。

また、同様の設定はWebシステム設定でも可能です(☛P145)。

着信履歴に表示される名称について

着信履歴の名称表示は、記録した電話番号から「システム設定」により共通電話帳、個別電話帳を検索し、なかった場合はネーム・ディスプレイ着信の名称を表示します。

着信履歴表示中の着信は記録されません。

○停電になったとき、またはPOWERスイッチをオフにしたときは

着信履歴ダイヤルの内容は消えます。

○着信履歴の詳細を確認するには

手順3のあと決定ボタンを押すと、着信履歴の詳細画面が表示されます。この画面が表示されている状態で手順4に進んでも、電話をかけることができます。

着信日時　着信履歴アイコン

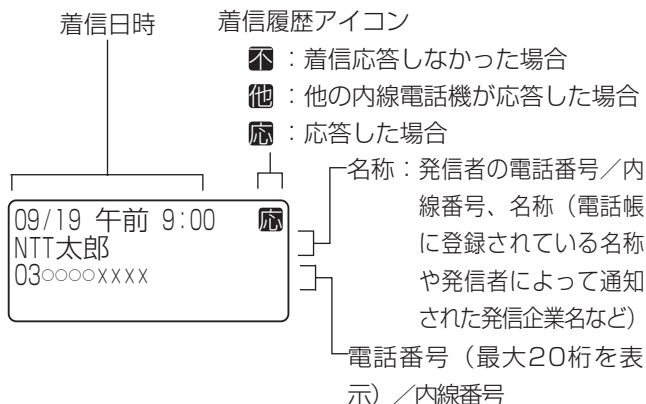
不：着信応答しなかった場合

他：他の内線電話機が応答した場合

応：応答した場合

09/19 午前 9:00 応
NTT太郎
03○○○○XXXX

名称：発信者の電話番号／内線番号、名称（電話帳に登録されている名称や発信者によって通知された発信企業名など）

電話番号（最大20桁を表示）／内線番号

○最後にかけてきた相手の方に電話をかけるには

①ハンドセットを置いたまま、着信履歴ボタンを押す

②外線ボタンを押す

③相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しする

特番操作で最後にかけてきた相手の方に電話をかけることもできます。

①機能ボタンを押す

②着信履歴表示用の特番（4 3 [　　]）を押す

③外線ボタンを押す

④相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しする

○着信履歴の電話番号を個別／共通の電話帳に登録するには

①手順1～3と同様の操作で登録したい着信履歴を反転表示させる

②メニューボタンを押す

③上下ボタンで「1：個別電話帳登録」／「2：共通電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押す

④「電話帳を登録する」（☛P47）と同様の操作で名前やグループなどを登録する

「システム設定」で個別電話帳操作が禁止の場合、「1：個別電話帳登録」が、共通電話帳操作が禁止の場合、「2：共通電話帳登録」が選択できません。

○着信履歴を1件消去するには

①手順1～3と同様の操作で消去したい着信履歴を反転表示させる

②メニューボタンを押す

③上下ボタンで「3：1件削除」を選択し、決定ボタンを押す

④上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す

○着信履歴をすべて消去するには

①ハンドセットを置いたまま、着信履歴ボタンを押す

②メニューボタンを押す

③上下ボタンで「4：全件削除」を選択し、決定ボタンを押す

④上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す

特番操作で着信履歴をすべて削除することができます。

①内線ボタンを押す

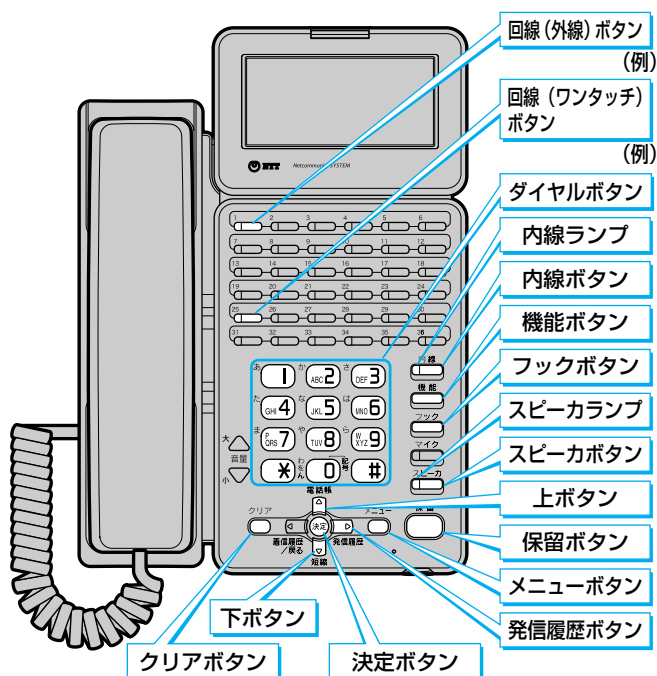
②決定ボタンを押す

③着信履歴全件削除特番（6 5 [　　]）を押す

④決定ボタンを押す

⑤スピーカボタンを押す

ワンタッチボタンで電話をかけるには（ワンタッチダイヤル）IP

よくかける相手の方の電話番号をワンタッチボタンに登録しておくと、簡単に電話をかけられます。ワンタッチボタンには32桁までの電話番号やボタン操作を各内線電話機ごとに12か所まで登録できます。

ワンポイント

●同様の登録を行うには

Webシステム設定　：可（☛P145）

●ワンタッチボタン機能が割り当てられているボタンは

お買い求め時には、下2列の回線ボタンにワンタッチボタンが割り当てられています。割り当ては、「システム設定」によって変更できます。

○登録できるボタン操作

ワンタッチボタンには、以下のボタンを除く、すべてのボタン操作を登録することができます。

・ワンタッチボタン　・電話帳ボタン　・着信履歴ボタン
・メニューボタン
・サービスボタン（「システム設定」した外線ボタン）

○登録桁数が32桁を超えたときは

登録桁数が32桁を超えると、話中音が聞こえます。保留ボタンを1回押すと、話中音が止まり、続けて手順7の操作を行うと、32桁の登録ができます。保留ボタンを2回押すと、32桁目を削除することができます。

○コンソールのワンタッチボタンに登録するには

標準電話機と同様の登録操作で登録することができます。標準電話機のワンタッチボタンを押す代わりに、コンソールのワンタッチボタンを押してください。

ワンタッチボタンに登録する

1 メニューボタンを押します。

2 決定ボタンを押します。

1:電話機毎設定
2:システム一括設定

決定

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守／転送

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

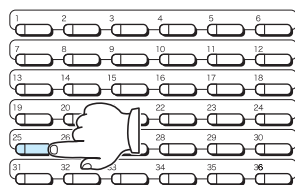
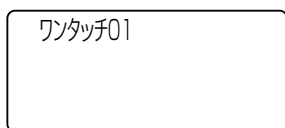
3 上下ボタンで「5：ワンタッチ」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（5）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

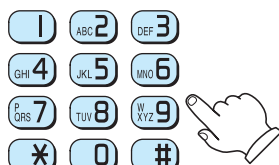
4 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

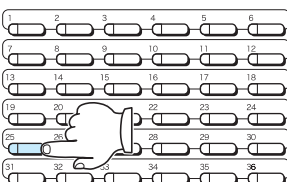
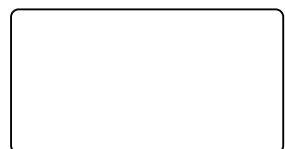
5 登録するワンタッチボタンを押します。

ワンタッチ01

すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押します。

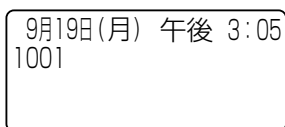
03○○○○XXXX

ボタン操作、電話番号は合わせて32桁まで登録できます。

7 手順5で押したワンタッチボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。
ワンタッチボタンが登録されます。

続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

8 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日(月)　午後　3:05
1001

ワンポイント

○ **登録中に、以前登録されていたワンタッチボタンを確認するには**
ワンタッチボタンに登録中に、発信履歴ボタンを2回押します。以前登録されていた内容が表示されます。

○ **登録されているワンタッチボタンを確認するには**
ハンドセットを置いたまま、機能ボタン、ワンタッチボタンの順に押します。登録内容が表示されます。

○ **電話番号を間違えて入力したときは**
<1文字ずつ削除する>
手順6のあとで保留ボタンを2回押すと、数字が最後の桁から1文字ずつ削除されます。
<全部削除する>
クリアボタンの長押しで、入力した数字がすべて削除されます。

○ **電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには**
電話番号のポーズを入れたいところで、フックボタンを2回押し、ポーズを入れたい秒数（1 ～ 9）を押します。

○ **ワンタッチボタンに内線番号を登録するには（内線番号の登録）**
① 手順1～5の操作を行う
② 内線ボタンを押す
③ 登録する内線番号を押す
④ 手順7～8の操作を行う

○ **ワンタッチボタンに外線ボタンから電話番号を登録するには**
① 手順1～5の操作を行う
② 外線ボタンを押す
③ 手順6～8の操作を行う

○ **ワンタッチボタンに登録されている内容を消去するには**
登録操作を行い、手順6でクリアボタンを2回押し、または長押しで登録内容を消去してください。

● **決定ボタンを使って登録するには**
① 内線ボタンを押す
② 決定ボタンを押す
③ 手順5～8の操作を行う

○ **PBX（構内交換機）に収容されているときは**
発信時に、自動的にPBXの外線発信番号とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

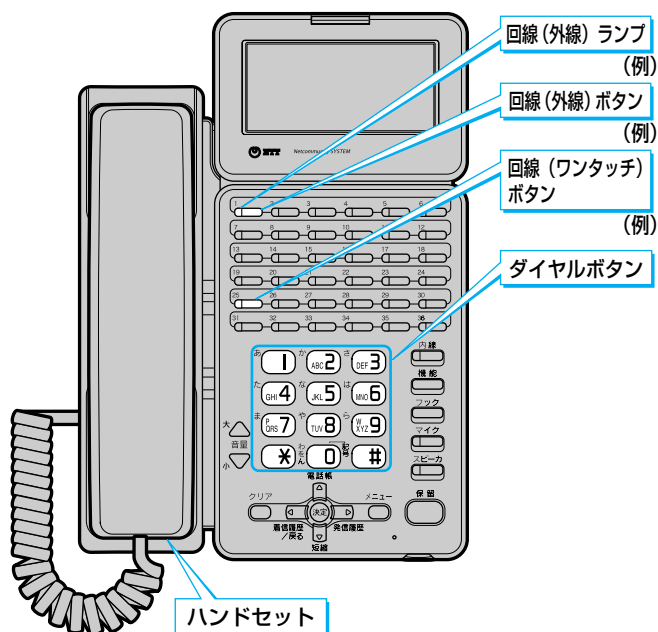
○ **一般回線とPBX／CES回線を混在収容しているときは**
PBX／CES回線で発信するときに、PBX／CESの外線発信番号が自動的に入ります。相手の方の電話番号のみ登録してください。

○ **登録した番号を変更するには**
最初から登録し直します。

○ **システムに接続しているPBX、CESの内線を登録するには**
相手先内線番号の前に ＊ ＊ を登録します。

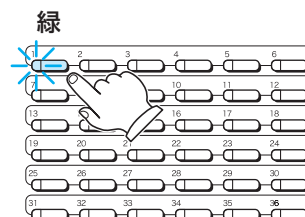
お知らせ

「ワンタッチボタンに内線番号を登録するには」および「決定ボタンを使って登録するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

ワンタッチボタンで電話をかけるには（ワンタッチダイヤル）IP

ワンタッチボタンで電話をかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

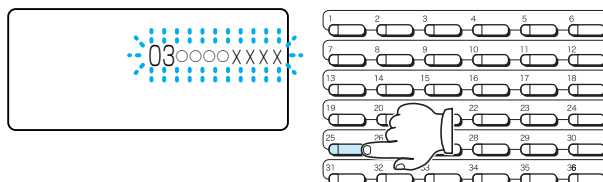
外線

2 ワンタッチボタンを押します。

登録されている電話番号が表示されます。

03○○○○XXXX

3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

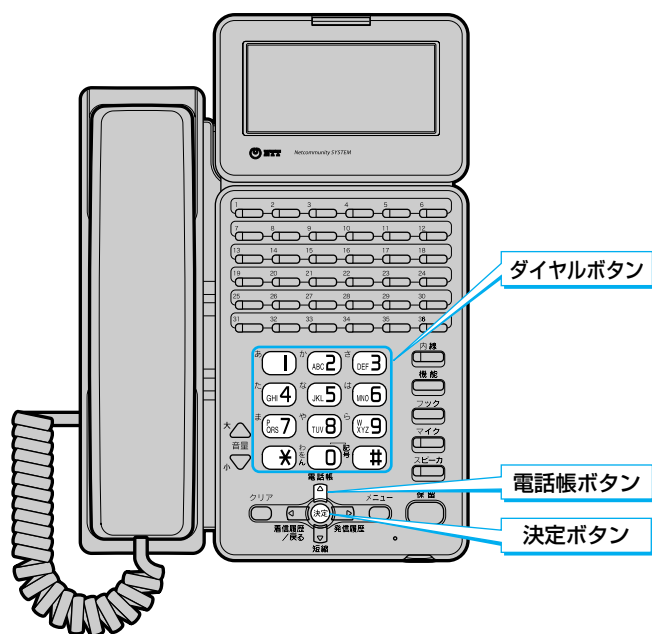
通話時間が表示されます。

9月19日（月） 午後 3:05
0-05
PB

ワンポイント

○ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）
ワンタッチボタンを押したあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

○コンソールのワンタッチボタンで電話をかけるには
①外線ランプが消えていることを確認し、ペア電話機の外線ボタンを押す
ペア電話機のスピーカで「ツー」という音を確認します。
②コンソールのワンタッチボタンを押す
登録されている電話番号が、ペア電話機のディスプレイに表示されます。
③相手の方の声がペア電話機のスピーカから聞こえたら、ペア電話機のハンドセットを上げてお話しする

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単にダイヤルすることができます。すべての内線電話機で利用できる共通電話帳（最大800件）のほかに、個々の内線電話機ごとに登録できる個別電話帳（最大200件）があります。

ワンポイント

●同様の登録を行うには
Webシステム設定　：可（☛P144、148）
特番操作　：可（☛P124）

○登録できる電話帳の件数は
お買い求め時には、共通電話帳はメモリ番号000～799の800件、個別電話帳は800～999の200件登録できるように設定されています。「システム設定」を変更して、個別電話帳を800～899の100件のみとすることもできます。

○電話帳に登録できる内容は

項目	機　能
名称	全角最大10文字。漢字（全角）、カナ／英字／数字（半角）が使用できる
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）が使用できる
電話番号	最大32桁。ダイヤル（0～9、＊、＃）およびポーズを登録できる
グループ	個別／共通電話帳それぞれの9個のグループ、または「グループなし」に分類できる
アイコン	9種類のアイコンまたは「アイコンなし」を選択できる
メモリ番号	共通電話帳：000～799 個別電話帳：800～999（「システム設定」によっては800～899）

「システム設定」により内線番号を電話帳に登録し、発信することができます。その場合、外線に発信するには、外線発信用の特番（0［　　］）と相手の方の番号を登録してください。また、内線番号に発信する場合でも電話帳ダイヤル発信用の特番（9 0 1［　　］）は発信できません。（電話帳への登録はできますが発信ができません。）

○共通電話帳を登録するには
手順2で「2：共通電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押します。

電話帳を登録する

共通電話帳の登録は「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機で、個別電話帳の登録はそれぞれの内線電話機で行います。

<例>個別電話帳を登録する場合

1 電話帳ボタンを長く押します。

1:個別電話帳登録
2:共通電話帳登録

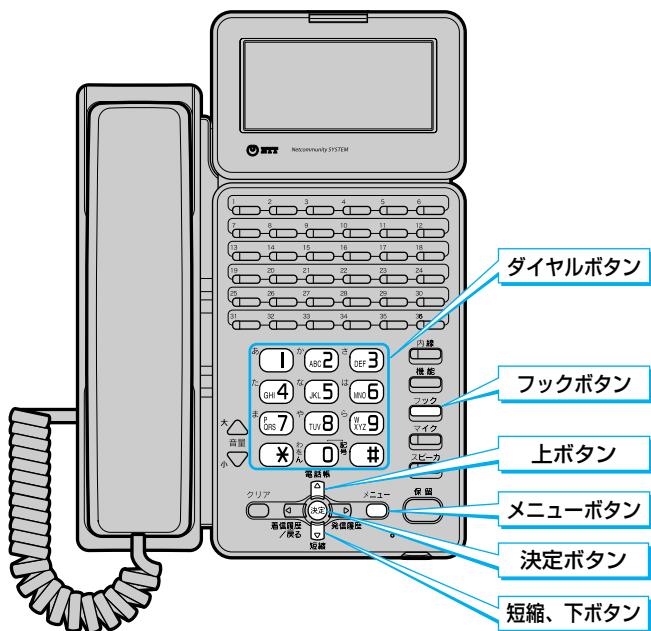
2 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

3 名称を入力します。

「文字を入力する」（☛P50）を参照して名称を入力してください。また、名称の登録を省略する場合は、名称を入力せずに手順4に進みます。

次ページへ続く

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

ワンポイント

○グループ名を設定するには
「グループなし」～「グループ9」の名称を変更することができます。（☛P60）

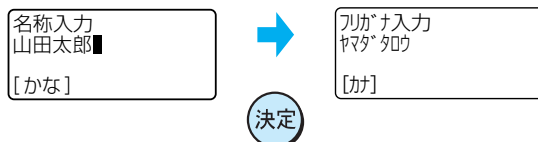
○電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには
電話番号のポーズを入れたいところで、フックボタンを押し、ポーズを入れたい秒数（1～9）を押します。このときポーズは2桁と数えます。

○登録されている電話帳を確認／修正／削除するには
電話帳の詳細画面を確認するには、次のように操作します。
①ハンドセットを置いたまま、短縮ボタンを押す
②メモリ番号を押す
③上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定ボタンを押す
このあと、修正／削除を行うには、次のように操作します。ただし、共通電話帳の修正／削除は、特定の内線電話機でのみ行えます。
①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：修正」または「2：削除」を選択し、決定ボタンを押す
修正する場合は、このあと「電話帳を登録する」と同様の操作で内容を登録し直します。削除する場合は、このあと上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押します。

○PBX（構内交換機）に収容されているときは
発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

4 決定ボタンを押します。

名称として入力した文字が、そのままフリガナとして表示されます。

名称入力
山田太郎
[かな]
→ 決定 →
ﾌﾘｶﾞﾅ入力
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
[ｶﾅ]

フリガナを変更する場合は、「文字の割り当て一覧表」（☛P55）を参照して文字を修正してください。

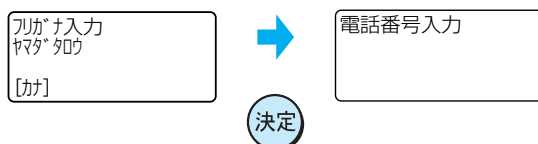
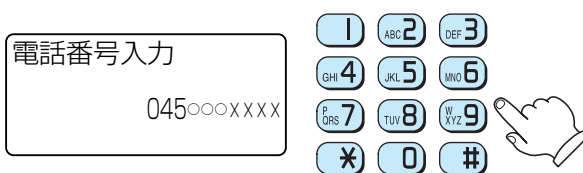
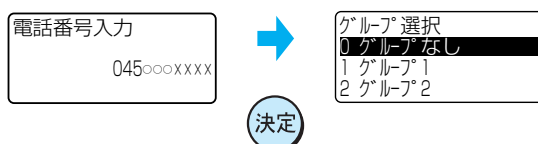
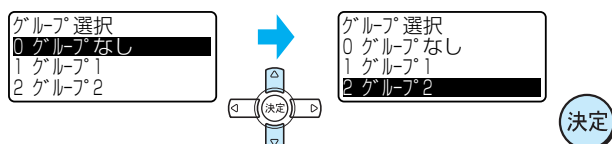
5 決定ボタンを押します。

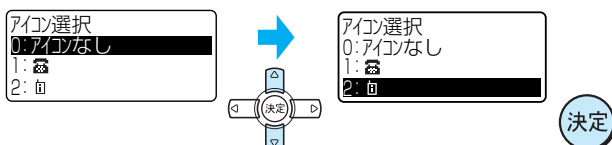
ﾌﾘｶﾞﾅ入力
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
[ｶﾅ]
→ 決定 →
電話番号入力

6 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号入力
045○○○XXXX

7 決定ボタンを押します。

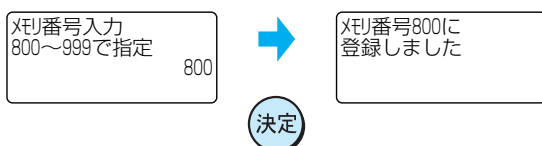
電話番号入力
045○○○XXXX
→ 決定 →
ｸﾞﾙｰﾌﾟ選択
0 ｸﾞﾙｰﾌﾟなし
1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2

8 上下ボタンで登録先のグループを選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（0〜9）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

9 上下ボタンで「アイコンなし」または登録したいアイコンを選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（0〜9）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

10 決定ボタンを押します。

空いている一番若いメモリ番号に登録されます。

ﾒﾓﾘ番号入力
800〜999で指定
800

ﾒﾓﾘ番号800に
登録しました

表示されているメモリ番号に登録しない場合は、登録したいメモリ番号を押してから決定ボタンを押します。

お知らせ

●「システム設定」で、サービスクラスによる共通電話帳ダイヤル発信の可否、および発信対地規制の対象とするかどうかを設定することができます。

●「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、電話帳登録画面が表示されません。

ワンポイント

○メニューを使って個別電話帳登録を行うには

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「1：個別電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押す
⑤手順2以降の操作を行う

○メニューを使って共通電話帳登録を行うには

共通電話帳の登録は、「システム管理者」に設定されている特定の電話機でのみ行えます。

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「1：共通電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押す
⑤手順2以降の操作を行う

○一般回線とPBX／CES回線を混在収容しているときは

PBX／CES回線で発信するときに、PBX／CESの外線発信番号が自動的に入ります。相手の方の電話番号のみ登録してください。

○システムに接続しているPBX、CESの内線を登録するには

相手先内線番号の前に ＊ ＊ を登録します。

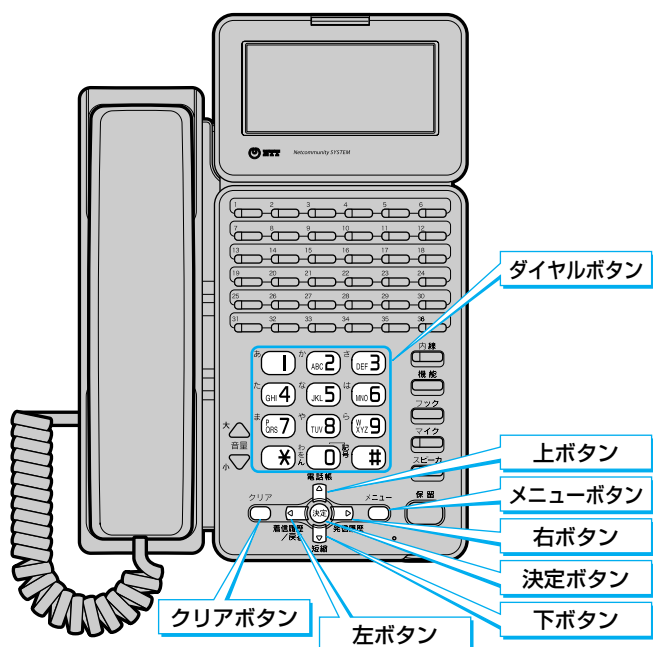
○個別電話帳をすべて削除するには

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「5：個別電話帳全消去」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで「1：消去する」を選択し、決定ボタンを押す

○共通電話帳をすべて削除するには

共通電話帳の全消去は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「3：共通電話帳全消去」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで「1：消去する」を選択し、決定ボタンを押す

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

文字を入力する

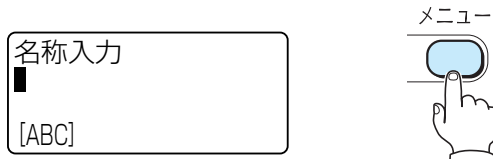
全角文字のひらがな、漢字、および半角文字のカタカナ、アルファベット、数字、記号を入力できます。

＜例＞電話帳の名称登録画面で「NTT太郎」と入力する場合

1 メニューボタンを押して入力モードを切り替えます。

名前の入力画面が表示されます。
最初はかな入力モードになっています。

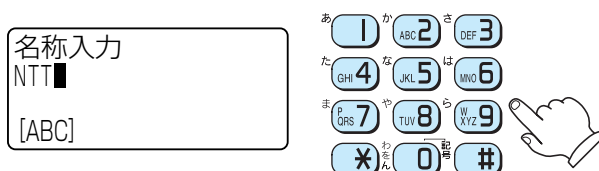
名称入力
█

[ABC]

名称登録画面では、最初は漢字・かなモードになっています。メニューボタンを押すごとに、「かな」→「ｶﾅ」→「ABC」→「123」の順に切り替わります。

2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

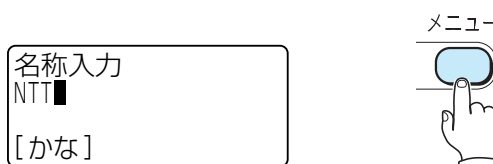
「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。（☛P51）

名称入力
NTT█

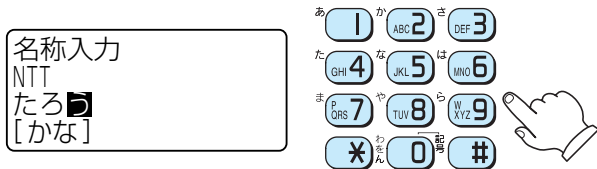
[ABC]

ここでは次のように押します。
① 「N」 ： 6 を2回押す
② 「T」 ： 8 を1回押す
③ カーソルを右に移動：右ボタンを1回押す
④ 「T」 ： 8 を1回押す

3 メニューボタンを押して入力モードを切り替えます。

名称入力
NTT█

[かな]

4 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

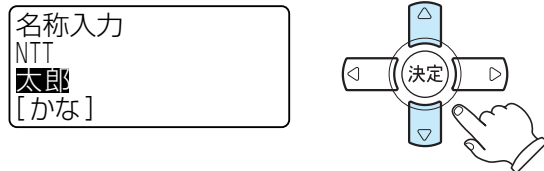
「文字と機能の割り当て一覧表」（下記）を参照してください。

名称入力
NTT
たろう
［かな］

ここでは次のように押します。

①「た」：GHI4 を1回押す
②「ろ」：WXYZ9 を5回押す
③「う」：1 を3回押す

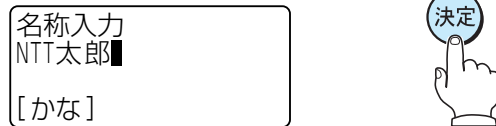
5 上下ボタンを押します。

変換候補が表示されます。

名称入力
NTT
太郎
［かな］

目的の候補が表示されなかったときは、繰り返し上下ボタンを押します。また、「たろう」の「た」だけの変換候補を表示させたい場合は、左ボタンを押して変換範囲を「た」のみにして、再度上下ボタンを押します。

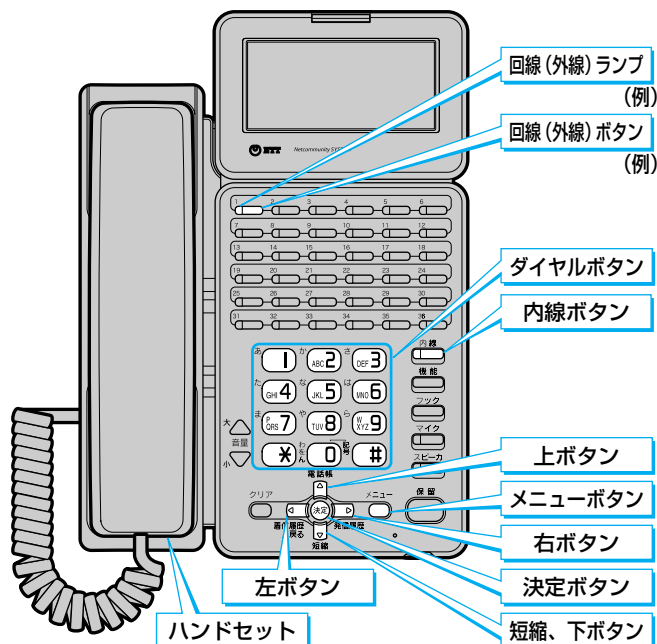
6 決定ボタンを押します。

漢字が確定されます。

名称入力
NTT太郎
［かな］

ワンポイント

○文字と機能の割り当て一覧表
1つのボタンに複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。
文字の組み合わせによっては表示されない文字があります。

ボタン	入力モード			
	漢字・かな	カナ	英字	数字
1	おいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ		1
ABC2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
DEF3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
GHI4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
JKL5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
MNO6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
PQRS7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
TUV8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
WXYZ9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	わをんー	ワヲン゛゜（空白）ー	.@_()ー	0
＊	濁点、半濁点付与	—		＊
#	—			#
右ボタン	カーソルを右に移動	カーソルを右に移動（未決定文字は決定）		カーソルを右に移動
左ボタン	カーソルを左に移動	カーソルを左に移動（未決定文字は決定）		カーソルを左に移動
上下ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	—		—
決定ボタン	選択された漢字変換候補を決定	決定		—
クリアボタン	短く押したとき：1文字消去 長く押したとき：すべての文字消去			

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

電話帳ダイヤルで電話をかける

電話帳検索方式には次のものがあります。

（1）メモリ番号検索　：メモリ番号を押して電話帳ダイヤルします。

（2）フリガナ全検索　：個別電話帳と共通電話帳に登録されているフリガナで個別／共通電話帳の両方を全検索します。

（3）フリガナ検索　　：個別電話帳と共通電話帳に登録されているフリガナで電話帳を検索します。

（4）グループ検索　　：個別電話帳または共通電話帳のグループの中から目的の電話帳を検索します。

■メモリ番号検索する

メモリ番号を押して電話帳ダイヤルします。共通／個別のどちらの電話帳も、同様に使えます。

1 ハンドセットを置いたまま、短縮ボタンを押します。

メモリ番号入力

2 メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

800　NTT太郎
801　03○○○○xxxx
802　NTT西日本
803　NTT営業部

3 上下ボタンで、かけたい相手の方を選択します。

選択した電話帳が反転表示されます。

800　NTT太郎
801　03○○○○xxxx
802　NTT西日本
803　NTT営業部

800　NTT太郎
801　03○○○○xxxx
802　NTT西日本
803　NTT営業部

左右ボタンを押すと、前後の4件を表示することができます。

お知らせ

- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押しても、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができます。（「システム設定」で電話帳捕捉回線が内線の設定のときは、内線ボタンを押すと内線へ電話をかけることができます。）
- プリセレクションサービスを利用されている場合は、目的の電話帳を反転表示させたあと、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、メモリ番号入力画面が表示されません。

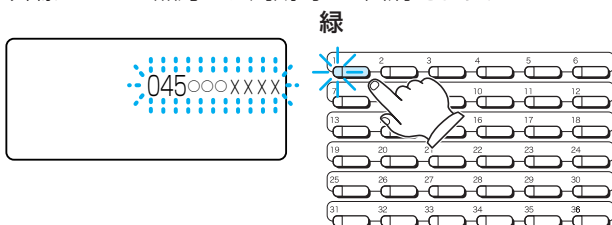
4 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

5 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB

ワンポイント

○メニューを使ってメモリ番号検索をするには

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「2：電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで「2：メモリ番号検索」を選択し、決定ボタンを押す
⑥手順1以降の操作を行う

「システム設定」で共通電話帳操作が禁止の設定のときは、カレンダ／時計表示に戻ります。

○電話をかける前に登録内容を確認するには

手順3のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順4～5の操作が行えます。

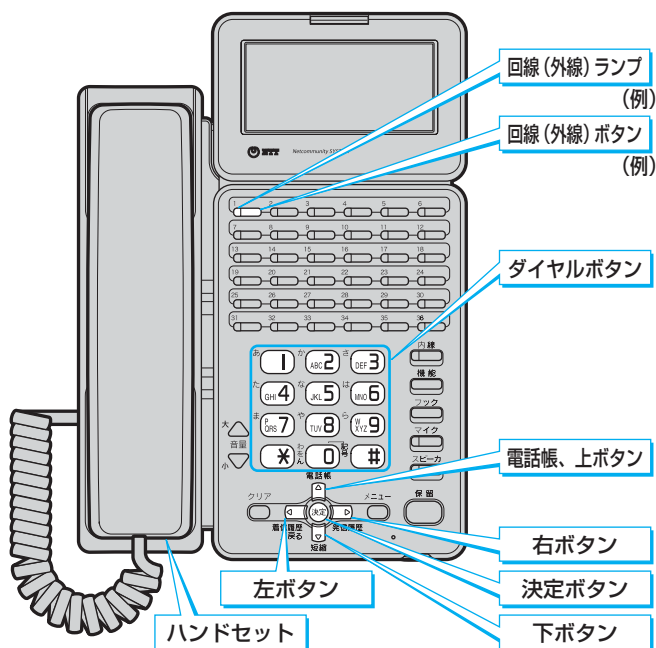
○特番操作で電話帳ダイヤルするには

①内線ボタンを押す
②ハンドセットを上げる
③電話帳ダイヤル発信用の特番（ 9 0 1 [ ]）を押す
④メモリ番号をダイヤルボタンで押す

○電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）

電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 各種登録／設定
5 オプションを使う
6 ご参考に

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

■フリガナ全検索する

個別電話帳と共通電話帳に登録されているフリガナで個別／共通電話帳の両方を全検索します。

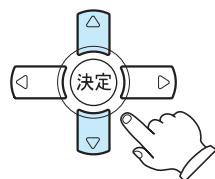
1 ハンドセットを置いたまま、電話帳ボタンを押します。

フリガ ナ入力

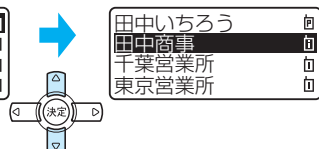
[カナ]

2 フリガナ（1～12文字）を入力します。

フリガ ナ入力
タナカ

[カナ]

3 上下ボタンを押します。

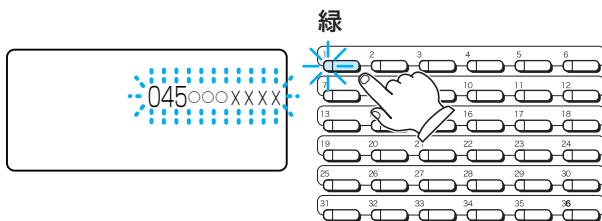
4 上下ボタンでかけたい電話帳を選択します。

選択した電話帳が反転表示されます。

左右ボタンを押すと、前後の4件を表示することができます。

お知らせ

- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押しても、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができます。（「システム設定」で電話帳捕捉回線が内線の設定のときは、内線ボタンを押すと内線へ電話をかけることができます。）
- プリセレクションサービスを利用されている場合は、目的の電話帳を反転表示させたあと、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ全検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。（☛P136）
- 手順1の画面で左ボタンを押すと、検索方法の選択画面を表示することができます。
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、フリガナ入力の画面が表示されません。

5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

```
9月19日(月) 午後 3:05
                 0-05
PB
```

ワンポイント

○文字の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

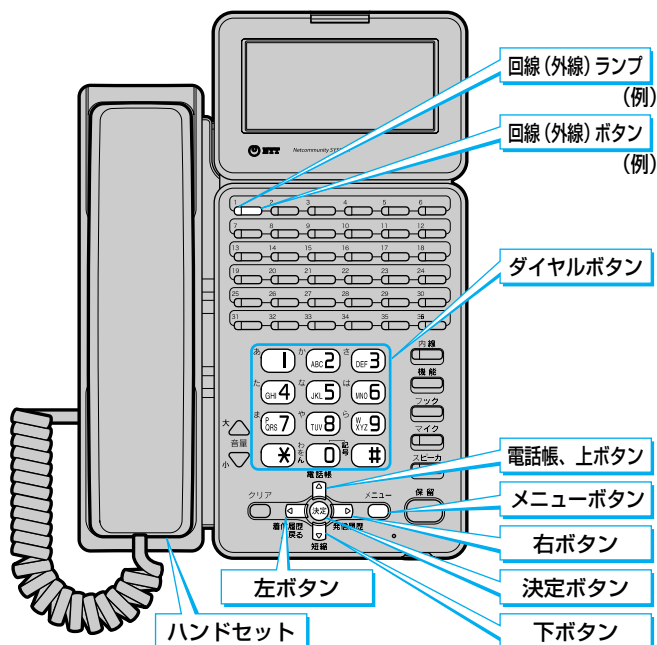
		カタカナ入力モード										アルファベット入力モード										数字入力モード
ダイヤルボタン	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ											1
	ABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ						A	B	C	a	b	c					2
	DEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ						D	E	F	d	e	f					3
	GHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ					G	H	I	g	h	i					4
	JKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ						J	K	L	j	k	l					5
	MNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ						M	N	O	m	n	o					6
	PQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ						P	Q	R	S	p	q	r	s			7
	TUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ					T	U	V	t	u	v					8
	WXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ						W	X	Y	Z	w	x	y	z			9
	0	ワ	ヲ	ン	゛	゜		ー	・	?	／	.	:	&	(	)	@	_	*	#	!	0

○電話をかける前に登録内容を確認するには

手順4のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順5～6の操作が行えます。

○電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）

電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

■フリガナ検索する

個別電話帳または共通電話帳に登録されているフリガナで電話帳を検索します。

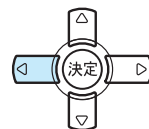
1 ハンドセットを置いたまま、電話帳ボタンを押します。

フリガナ入力

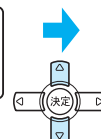
[カナ]

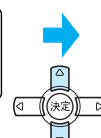
電話帳

2 左ボタンを押します。

電話帳検索
0:フリガナ検索
1:グループ検索
2:フリガナ全検索

3 上下ボタンで「0：フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押します。

グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。

電話帳検索
0:フリガナ検索
1:グループ検索
2:フリガナ全検索

項目番号（0）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 上下ボタンで「1：個別電話帳」または「2：共通電話帳」を選択し、決定ボタンを押します。

決定

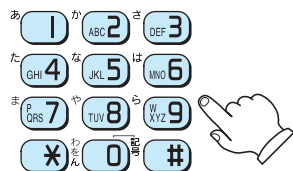
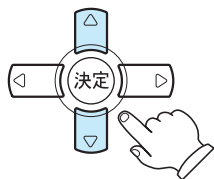
項目番号（1または2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

お知らせ

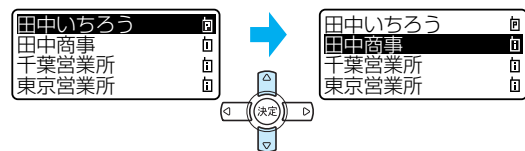
- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押しても、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができます。（「システム設定」で電話帳捕捉回線が内線の設定のときは、内線ボタンを押すと内線へ電話をかけることができます。）
- プリセレクションサービスを利用されている場合は、目的の電話帳を反転表示させたあと、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ全検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。（☛P136）
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、フリガナ入力の画面が表示されません。

5 フリガナ（1～12文字）を入力します。

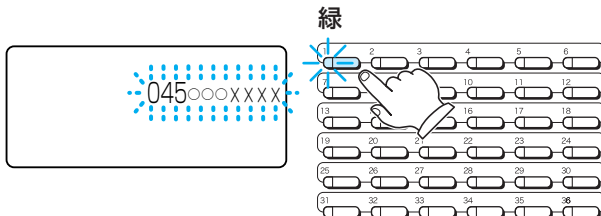
フリガ゛ナ入力
タカ

[カナ]

6 上下ボタンを押します。

7 上下ボタンでかけたい電話帳を選択します。

選択した電話帳が反転表示されます。

左右ボタンを押すと、前後の4件を表示することができます。

8 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月)　午後　3:05
0-05
PB

ワンポイント

○文字の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

ダイヤルボタン	カタカナ入力モード										アルファベット入力モード										数字入力モード
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ											1
ABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ						A	B	C	a	b	c					2
DEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ						D	E	F	d	e	f					3
GHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ					G	H	I	g	h	i					4
JKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ						J	K	L	j	k	l					5
MNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ						M	N	O	m	n	o					6
PQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ						P	Q	R	S	p	q	r	s			7
TUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ					T	U	V	t	u	v					8
WXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ						W	X	Y	Z	w	x	y	z			9
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜		ー	・	?	／	.	:	&	(	)	@	_	*	#	!	0

○メニューを使ってフリガナ検索をするには

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「2：電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで「0：フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押す
⑥手順4以降の操作を行う

「システム設定」で個別電話帳操作が禁止の場合、③で「1：電話帳」を選択できません。
「システム設定」で共通電話帳操作が禁止の場合であっても、フリガナ検索できます。

○電話をかける前に登録内容を確認するには

手順7のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順8～9の操作が行えます。

○電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）

電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

■グループ検索する

個別電話帳または共通電話帳のグループの中から、目的の電話帳を検索します。

1 ハンドセットを置いたまま、電話帳ボタンを押します。

ﾌﾘｶﾞﾅ入力
[ｶﾅ]

2 左ボタンを押します。

電話帳検索
0:ﾌﾘｶﾞﾅ検索
1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
2:ﾌﾘｶﾞﾅ全検索

3 上下ボタンで「1：グループ検索」を選択し、決定ボタンを押します。

グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。

電話帳検索
0:ﾌﾘｶﾞﾅ検索
1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
2:ﾌﾘｶﾞﾅ全検索

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

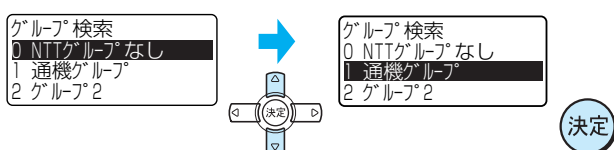
4 上下ボタンで「1：個別電話帳」または「2：共通電話帳」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（1または2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

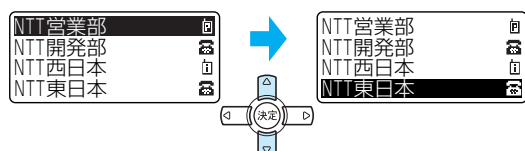
お知らせ

- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押しても、自動的に外線発信番号とポーズが入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができます。（「システム設定」で電話帳捕捉回線が内線の設定のときは、内線ボタンを押すと内線へ電話をかけることができます。）
- プリセレクションサービスを利用されている場合は、目的の電話帳を反転表示させたあと、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ全検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。（☛P136）
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、フリガナ入力の画面が表示されません。

5 上下ボタンで検索したいグループを選択し、決定ボタンを押します。

グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。

項目番号（0～9）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

6 上下ボタンでかけたい電話帳を選択します。

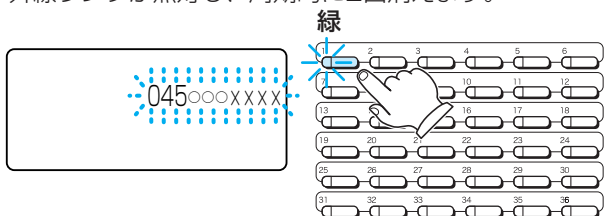
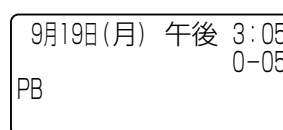
選択した電話帳が反転表示されます。

左右ボタンを押すと、前後の4件を表示することができます。

7 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

8 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日（月） 午後 3:05
0-05
PB

ワンポイント

○**メニューを使ってグループ検索をするには**

①メニューボタンを押す
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
④上下ボタンで「2：電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
⑤上下ボタンで「1：グループ検索」を選択し、決定ボタンを押す
⑥手順4以降の操作を行う

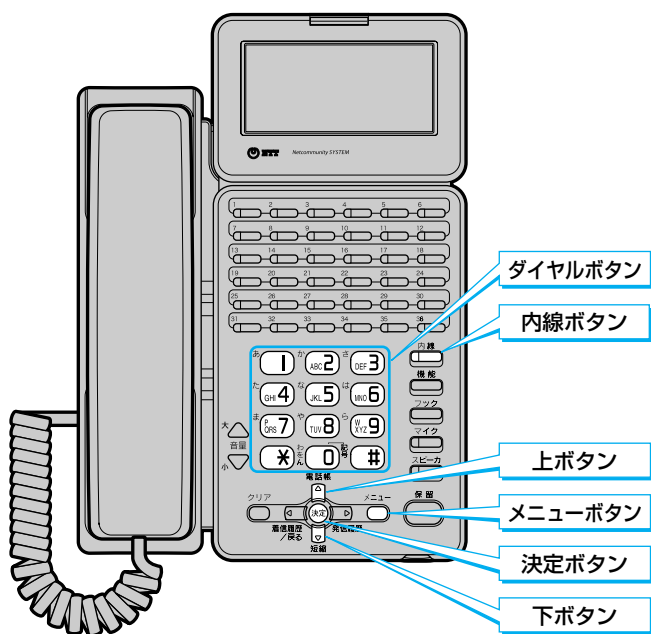
「システム設定」で個別電話帳操作が禁止の場合、③で「1：電話帳」を選択できません。
「システム設定」で共通電話帳操作が禁止の場合であっても、グループ検索できます。

○**電話をかける前に登録内容を確認するには**

手順6のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順7～8の操作が行えます。

○**電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには（追加ダイヤル）**

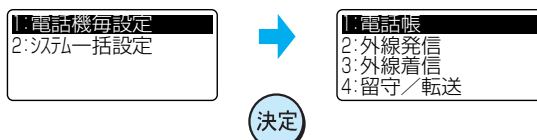
電話帳ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。

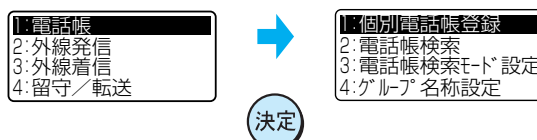
電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）IP

グループ名を設定する

個別電話帳および共通電話帳の「グループ0」～「グループ9」に、わかりやすい名称をつけることができます。共通電話帳のグループ名登録は、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話でのみ行えます。

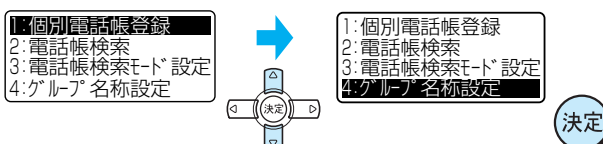
＜例＞個別電話帳のグループ名を登録する場合

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

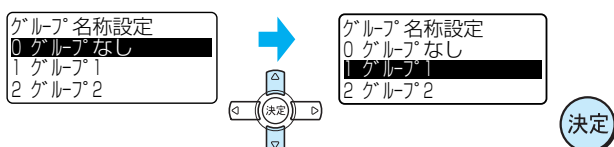
2 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

3 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 上下ボタンで「4：グループ名称設定」を選択し、決定ボタンを押します。

1:個別電話帳登録
2:電話帳検索
3:電話帳検索ﾓｰﾄﾞ設定
4:ｸﾞﾙｰﾌﾟ名称設定

項目番号（4）をダイヤルボタンで押しても同様の画面を表示できます。

5 上下ボタンで名前を設定したいグループを選択し、決定ボタンを押します。

決定

項目番号（0〜9）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

6 名称を編集します。

名称入力
NTTｸﾞﾙｰﾌﾟ

[ABC]

「文字を入力する」（☛P50）を参照して名称を入力してください。

7 決定ボタンを押します。

グループ名が設定されます。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ名称設定
0 ｸﾞﾙｰﾌﾟなし

2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2

ワンポイント

○同様の登録を行うには

Webシステム設定　：可（☛P144、P148）
特番操作　　　　　：不可

○共通電話帳のグループ名を設定するときは

手順2で「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。また、手順4では「2：グループ名称設定」を選択し、決定ボタンを押します。

○他の電話機の個別電話帳を確認するには

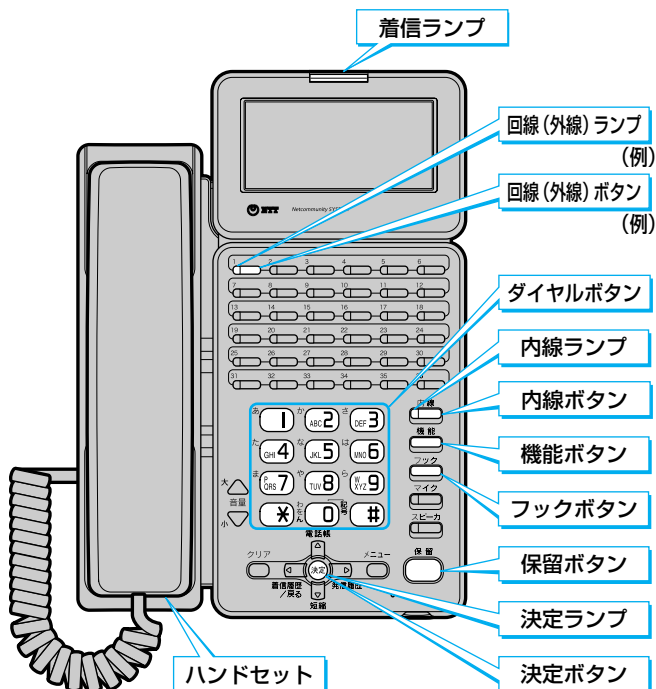
特定の電話機で、同一テナント内の他の電話機の個別電話帳を確認することができます。

① ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
② 他電話機電話帳ダイヤル確認用の特番（9 0 4 [　　　]）を押す
③ 他の電話機の内線番号を押す
④ メモリ番号（8 0 0 〜 9 9 9）を押す
　登録内容が表示されます。

お知らせ

- ●「他の電話機の個別電話帳を確認するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- ●「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、手順3で「1：電話帳」を選択しても画面が表示されません。

電話を取りつぐには　（保留転送）IP

外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

ワンポイント

○ 呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）
共通保留（☛P38）の操作のあと、口頭で連絡してください。ハンドセットを上げて保留中の外線ボタンを押すと、どの電話機でも電話に出ることができます。

他の外線に転送するには
「システム設定」によって、他の外線に転送するように設定することができます。ただし、決定ランプが点灯しているときは転送できません。
① お話し中に保留ボタンを押す
② 空いている外線ボタンを押す
③ 相手の方の電話番号を押す
④ 相手の方が出たら決定ボタンを押す、またはハンドセットを置く
（決定ボタンを押して転送が終了したあとで、お話し中の外線ボタン、決定ボタンの順に押すと、三者会議通話となります。（4人目の追加はできません。）もう一度決定ボタンを押すと、2外線の通話に戻ります。
または、決定ボタンを押して転送が終了したあとで、お話し中の外線ボタンを押すと、通話モニタとなります。ただし、空いている会議用の回線がないときは通話モニタできません。）
手順④で、相手の方が出る前にハンドセットを置くと、外線の呼び出しは放棄され、保留の状態になります。または、手順④で相手の方が出る前に決定ボタンを押すと、決定ランプが点灯します。

お知らせ

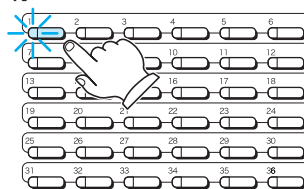
● 「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
● 「システム設定」で転送先が外線捕捉できない設定のとき、転送先が転送制限されているときなどは、決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。
● ディジタル回線からディジタル回線に転送するとき以外は、オプションが必要になります。

電話を取りつぐ（保留転送）

呼び出す方

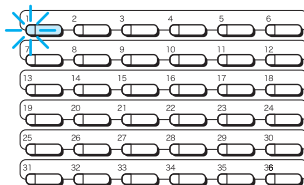
1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押します。

相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。
外線ランプが周期的に2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

緑

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

9月19日(月)　午後　3:05
1010

3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置きます。

赤

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。ハンドセットを上げて、お話しください。

9月19日(月) 午後 3:05
1011
PB

2 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながりますから、相手の方とお話しください。

ワンポイント

● **別の電話機で応答するには（代理応答）**
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに自分の近くの電話機で応答することができます。（☛P66）

グループの電話機および外部スピーカを一斉に呼び出すには（音声ページング）
「システム設定」されたグループの電話機および外部スピーカを、同時に音声で呼び出せます。
<呼び出す方>
① ハンドセットを上げる
② 音声ページング呼出用の特番（9 3 1 [ ]）を押す
③ 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く
<呼び出される方>
① 呼び出されたら、ハンドセットを上げる
② 応答用の特番をダイヤルボタンで押す

ページンググループ応答用の特番	：	9 3 2 [ ]
特殊代理応答用の特番	：	# 3 [ ]
統合代理応答用の特番	：	# # [ ]

③ お話しする
④ 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながるので、相手の方とお話しする

内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）
「呼び出す方」の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

○ **保留音を変えるには（保留音設定）**
「システム管理者」に設定されている電話機でのメニュー操作で、保留音の設定が行えます。（☛P138）

○ **コンソールのダイレクトボタンで他の電話機に転送するには**
① お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、転送先のダイレクトボタンを押す
② 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝える
なお、「システム設定」で、ダイレクトボタンを押すと自動的に保留になる設定（自動保留）されている場合は、この手順を省略することができます。
転送先が電話に出ないときや保留警報音が鳴った場合は、ペア電話機の保留にしている外線ボタンを押すと外線通話に戻ります。
③ ペア電話機の決定ボタンを押す
ペア電話機の外線ランプが赤く点灯し、「ピーピー」という確認音がします。
④ ペア電話機のハンドセットを置く

ワンポイント

● **呼び出された方が応答する前に転送するには（呼出状態転送）**
「呼び出す方」の手順3で、呼び出された方が応答する前にハンドセットを置いて転送することもできます。呼び出された方は外線ランプが緑色で点滅し、着信音が鳴ります。ランプが点滅している外線ボタンを押し、ハンドセットを上げてお話しください。待っている方の保留メロディは、転送操作を行うと呼出音に変わります。
「システム設定」によって呼出状態転送を行えないようにすることができます。
音声呼出でも行えます。
拡張内線番号呼出による転送はできません。（☛P202）

保留したままにしておくと（長時間保留警報）
保留にした電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように「システム設定」することができます。保留警報音が鳴るまでの時間を変更することもできます。（☛P38）

保留警報音が鳴っても電話に出ないときは
保留警報音が鳴ってから一定時間が経過したときは、次のように「システム設定」することができます。
- 他の内線電話機に長時間保留警報を通知する（保留元もそのまま継続する）
- 自動的に電話が切れるようにする
- そのまま保留元への警報を継続する

○ **お話し中に他の電話機に転送するには（自動保留）**
外線でお話し中に、内線ボタンを押すと、相手の方には保留メロディが流れ、他の内線電話機に転送することができます。

● **内線の呼出方法を変えるには**
内線の呼出方法は、「システム設定」で信号呼出、音声呼出のどちらかにすることができます。また、内線で呼び出し中に、信号／音声呼出切替用の特番（0 [ ]）を押す、または機能ボタン、信号／音声呼出切替用の特番（5 7 [ ]）の順に押すと、呼出方法を切り替えることができます。
お買い求め時は、信号呼出に設定されています。

○ **内線の呼出方法が音声呼出に設定されているときは**
ディスプレイ表示は、「呼び出される方」の手順1のディスプレイ表示と同じです。

音声呼出ができないようにするには
「システム設定」で電話機ごとに音声の呼び出しができないようにすることができます。

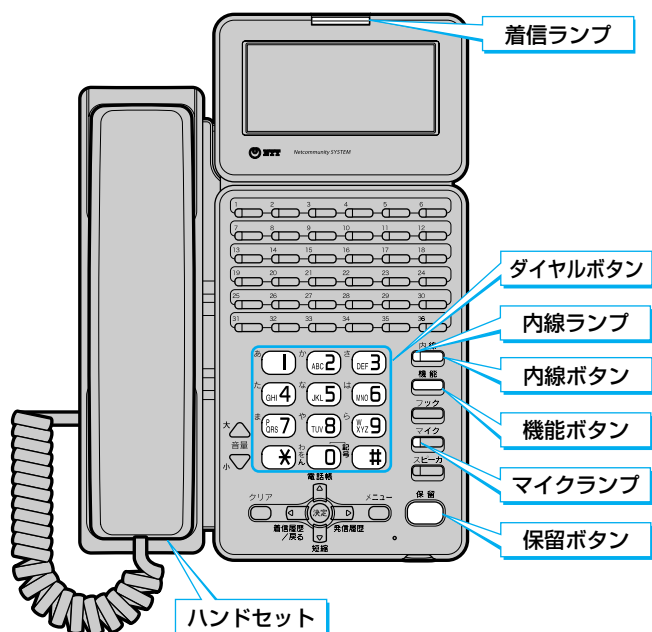
CESやPBXで、ネットコミュニティシステムαGX typeL以外に接続された内線電話機に転送するには
次の方法で、CESやPBXの転送機能を使うことができます。
<外線に瞬断信号（フッキングパルス）を送出して転送する方法>
① お話し中にフックボタンを押す
② 内線番号を押す
③ 取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く
または
① お話し中に機能ボタンを押す
② フックボタンを押す
③ 内線番号を押す
④ 取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く
「システム設定」により、どちらかの操作を行います。

○ **転送先がお話し中のときは**
転送先の内線電話機がお話し中のときは、転送されません。保留のままとなります。

オンフック転送できないときは
「システム設定」でオンフック転送が設定されていない場合は、ハンドセットを置いても転送できません。保留のままとなります。

○ **転送できない内線電話機に転送したときは**
転送できない内線電話機に転送すると、決定ランプが点灯し、呼出音が鳴り、転送されません。保留中の外線ボタンを押すと、保留が解除されます。

内線でお話しするには　（内線通話）IP

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。

内線でお話しする（内線通話）

呼び出す方

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

9月19日（月）午後 3:05
1010

3 呼び出された方が応答したら、ハンドセットを上げてお話しください。

9月19日（月）午後 3:05
1010
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）
「呼び出す方」の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

呼び出し中の内線番号の下1桁または下2桁を変更するには（クリアコール）
クリアコール1（下1桁の置き替え）またはクリアコール2（下2桁の置き替え）が「システム設定」されているとき、内線の呼び出し中にダイヤルボタンを押すと呼び出しを終了し、下1桁または下2桁を置き替えた内線を呼び出すことができます。
クリアコール2のとき、1桁入力したあと一定時間が経過すると、再び1桁目からの入力となります。

話中呼出をするには
「システム設定」で相手の方がお話し中のときに、話中呼出ができるようにすることができます。

○ **お話し中の方を呼び出すには**
相手の方がお話し中のときに、話中呼出用の特番（＊［　　］）を押します。
相手の方には、通常より小さな音で着信音が聞こえます。

○ **お話し中に内線がかかってきたときは（通話中着信）**
お話し中に内線がかかってきたときは、内線ランプが点滅し、小さな音で着信音が聞こえます。応答するには、お話し中の相手の方に待っていただく場合は、保留ボタンを押してから内線ボタンを押します。お話しを終了する場合は、一度ハンドセットを置いてから再びハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

○ **自分の電話機の内線番号を確認するには**
機能ボタン、内線ボタンの順に押すと、内線番号が表示されます。

お知らせ

- 「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出す方」の手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。ハンドセットを上げて、お話しください。

9月19日(月) 午後 3:05
1011
PB

ワンポイント

○ **ハンドセットを上げずに応答するには（内線ハンズフリー応答）**
内線の呼出方法が音声呼出に設定されている場合、マイクをオン（マイクランプ点灯）にしておくと、呼び出される方はハンドセットを上げずに応答することができます。マイクに向かってお話しください。マイクがオフのとき（マイクランプ消灯）は、マイクをオンにすると、ハンズフリー応答できます。
ハンズフリー応答中、6秒ごとに確認音が鳴ります。「システム設定」で鳴らないようにすることもできます。
ハンズフリー応答中は、スピーカランプは点灯しません。

ワンポイント

● **内線の呼出方法を変えるには**
内線の呼出方法は、「システム設定」で信号呼出、音声呼出のどちらかにすることができます。また、内線で呼び出し中に、信号／音声呼出切替用の特番（0 [　　]）を押す、もしくは機能ボタン、信号／音声呼出切替用の特番（5 7 [　　]）の順に押すと、呼出方法を切り替えることができます。
お買い求め時は、信号呼出に設定されています。

○ **内線の呼出方法が音声呼出に設定されているときは（内線個別音声呼出）**
ディスプレイ表示は、「呼び出される方」の手順1のディスプレイ表示と同じです。

● **呼び出した方を確認するには（発信者番号表示）**
「システム設定」すると、2段目に呼び出した方の内線番号と名前が表示されます。

● **内線、外線の着信音が鳴らないようにするには（着信拒否）**
着信拒否が「システム設定」されているとき、内線の着信音が鳴らないように設定することができます。（☛P37）

○ **内線番号を設定するには（内線番号変更）**
Webシステム設定または「システム設定」により、内線番号を変更することができます。

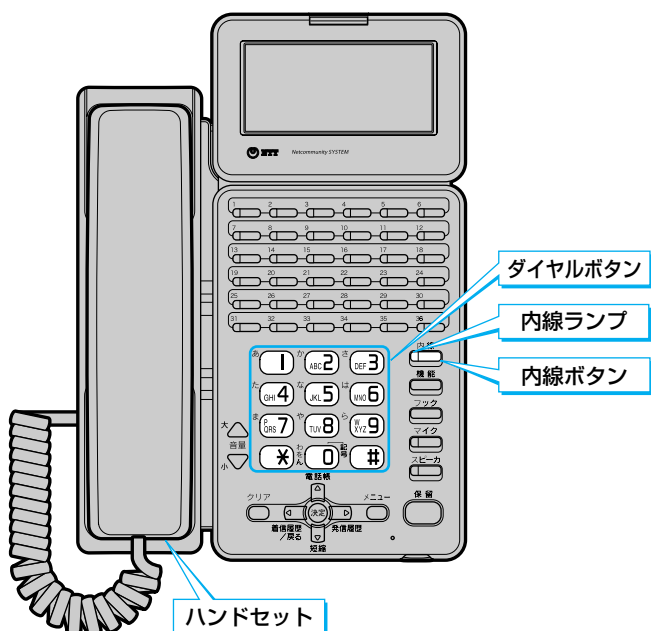
自動的に相手の方に内線をかけるには（内線ホットライン）
電話機ごとに相手の方の内線番号を「システム設定」すると、ハンドセットを上げたときに自動的に相手の方にかかります。
外線ボタン、内線ボタンを押してからハンドセットを上げると、内線ホットラインにはなりません。
電話がかかってきてハンドセットを上げたときは、内線ホットラインにはなりません。

グループの電話機および外部スピーカを一斉に呼び出すには（音声ページング）
「システム設定」されたグループの電話機および外部スピーカを、同時に音声で呼び出せます。
<呼び出す方>
①ハンドセットを上げる
②音声ページング呼出用の特番（9 3 I [　　]）を押す
③相手の方が応答したら、お話しする
<呼び出される方>
①呼び出されたら、ハンドセットを上げる
②応答用の特番をダイヤルボタンで押す
ページンググループ応答用の特番：9 3 2 [　　]
特殊代理応答用の特番　　　　：# 3 [　　]
統合代理応答用の特番　　　　：# # [　　]
③相手の方とお話しする

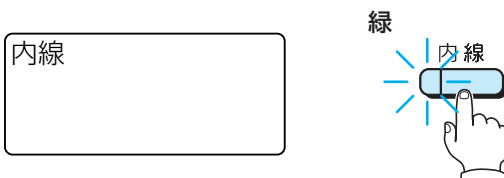
● **別の電話機で応答するには（代理応答）**
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに自分の近くの電話機で応答することができます。（☛P66）

○ **コンソールのダイレクトボタンで内線を呼び出すには**
①呼び出したいダイレクトボタンのランプが消えていることを確認し、ボタンを押す
ペア電話機のスピーカから相手を呼び出す音が聞こえます。
②ペア電話機のスピーカから相手の方の声が聞こえたら、ペア電話機のハンドセットを上げてお話しする

別の電話機で応答するには（代理応答）IP

着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに自分の近くの電話機で応答することができます。

同一電話機グループ内の着信に応答する

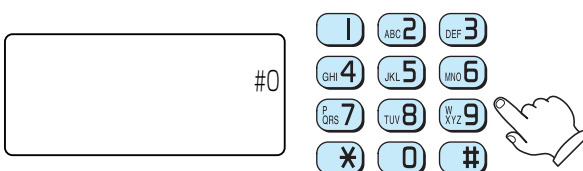
1 同一電話機グループ内の電話機で着信音が鳴ったとき、ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 自グループ代理応答用の特番（# 0 [　　　]）を押します。

#0

3 ハンドセットを上げてお話しください。

9月19日(月) 午後 3:05
1010
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

代理応答ができないようにするには

「システム設定」により、代理応答ができないようにすることができます。

代理応答の対象となる着信を指定するには

「システム設定」により、代理応答の対象となる着信を「内線／外線優先指定なし」、「外線優先」、「内線優先」、「外線のみ応答可」、「内線のみ応答可」のいずれかに指定することができます。

お知らせ

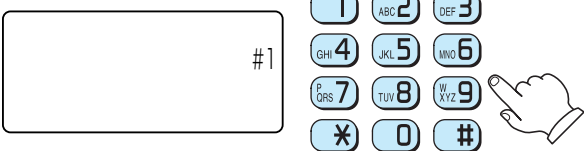
手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

他のグループの着信に応答する

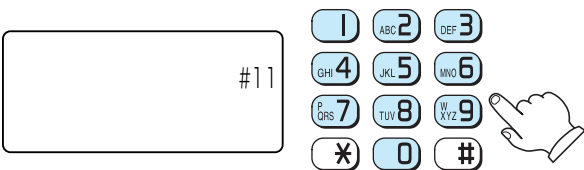
1 他のグループの電話機で着信音が鳴ったとき、ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 他グループ代理応答用の特番（# 1 [　　　]）を押します。

#1

3 応答するグループの番号（1 ～ 9）を押します。

#11

4 ハンドセットを上げてお話しください。

9月19日(月)　午後　3:05
1010
PB

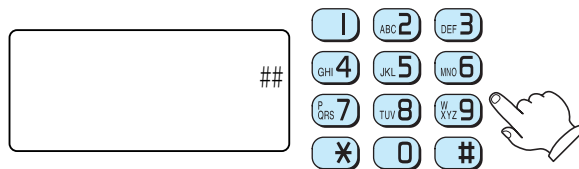
5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

音声ページング、ドアホン、同一電話機グループ内および他電話機グループ内の着信に応答する

1 音声ページング、ドアホン、同一電話機グループ内および他電話機グループ内の電話機で着信音が鳴ったとき、ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

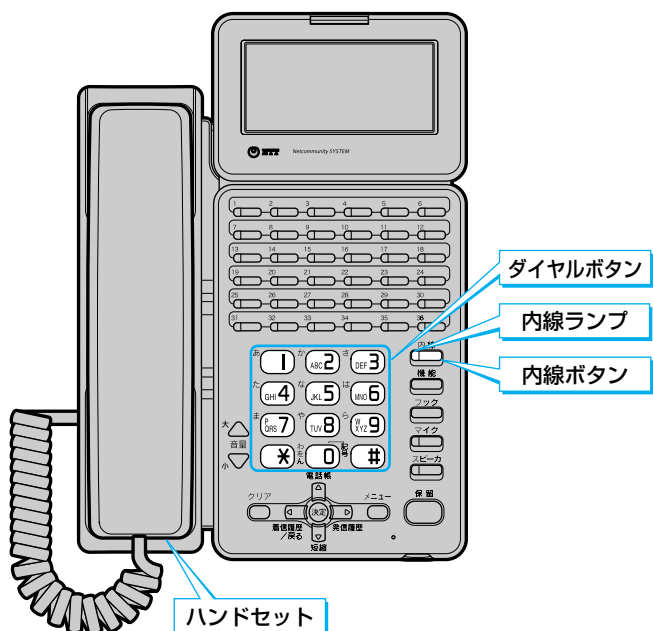
内線

2 統合代理応答用の特番（# # [　　　]）を押します。

##

3 ハンドセットを上げてお話しください。

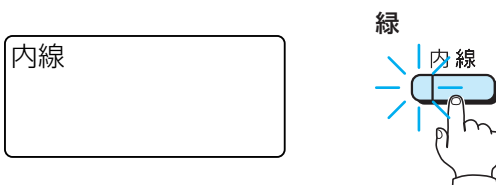
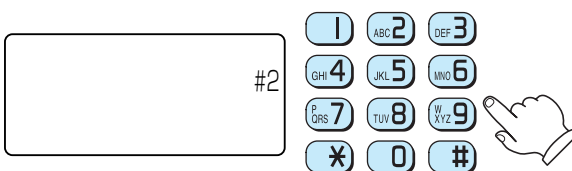
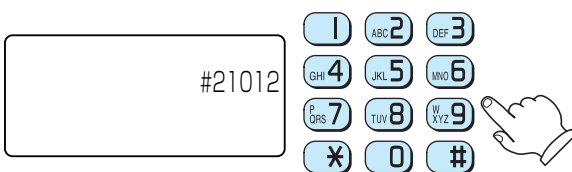
9月19日(月)　午後　3:05
1010
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

別の電話機で応答するには（代理応答） IP

着信中の電話機を指定して応答する

1 他の電話機で着信音が鳴ったとき、ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 指定代理応答用の特番（ # 2 [　　　]）を押します。

3 着信中の電話機の内線番号を押します。

#21012

4 ハンドセットを上げてお話しください。

9月19日(月) 午後 3:05
1010
PB

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

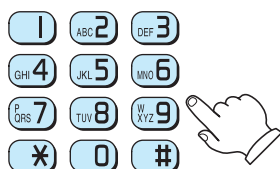
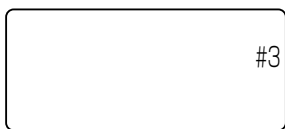
手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

音声ページングの着信およびドアホンに応答する

1 音声ページングの着信またはドアホンが鳴ったとき、ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 特殊代理応答用の特番（ # DEF3 [　　　]）を押します。

#3

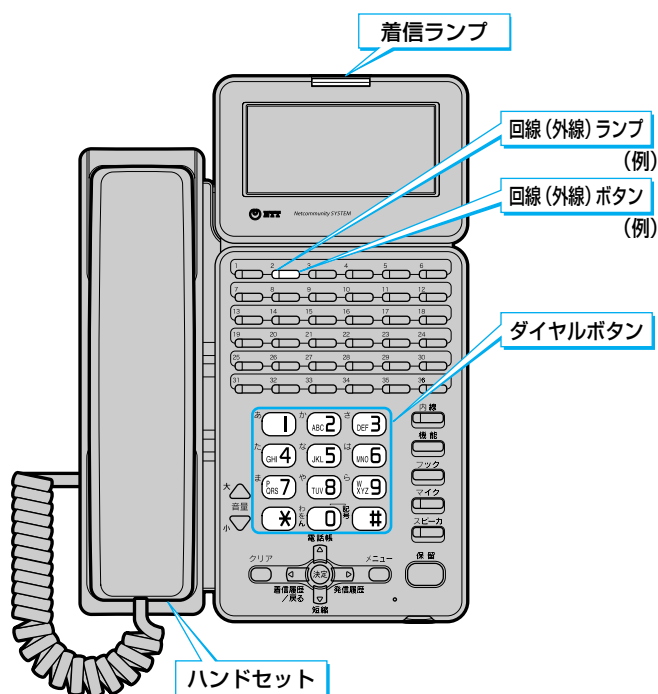
3 ハンドセットを上げてお話しください。

9月19日(月) 午後 3:05
1010
PB

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

VoIP回線をご利用になるには

IP

VoIP回線を使用し、電話をかけることができます。
VoIP回線をご利用になるには、ADSL等のサービスやプロバイダ等との利用契約が必要です。

VoIP回線を利用して電話をかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、VoIP回線が割り付けられている外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

外線
VoIP

緑

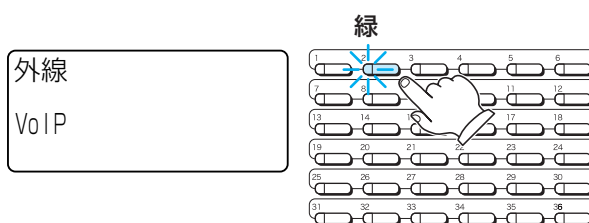
2 ハンドセットを上げます。

外線
VoIP

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

06○○○○XXXX
VoIP

4 ＃ を押して発信します。

06○○○○XXXX#
VoIP

お知らせ

- ●VoIP回線とは、ブロードバンド回線を使って電話の発着信がご利用になれる回線のことです。VoIP回線をご利用になるには、フレッツADSLやBフレッツ等のブロードバンド回線とプロバイダ等との利用契約が必要となります。
- ●契約しているIP電話サービスのプロバイダによって、発信できない番号があります。発信できない番号をダイヤルすると「ププッ、ププッ」という音が聞こえる場合があります。このとき他の外線でかけ直してください。発信できない番号に関しては、各プロバイダにお問い合わせください。
- ●VoIP回線利用時は、回線状況により通話途切れや通話遅延等が発生する場合があります。
- ●「システム設定」により110番や118番、119番などに電話をかけるときは、自動的に一般加入電話回線に切り替えて発信することができます。
- ●手順4で ＃ を押さなかったときは、「システム設定」した時間が経過したあと、自動的に発信します。
- ●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- ●オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを上げてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

5 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB
VoIP

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○**ハンドセットを上げてから電話をかけるには**

ハンドセットを上げてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。

○**ハンドセットを置いたまま電話をかけるには（オンフックダイヤル）**

ハンドセットを置いたまま電話をかけることができます。

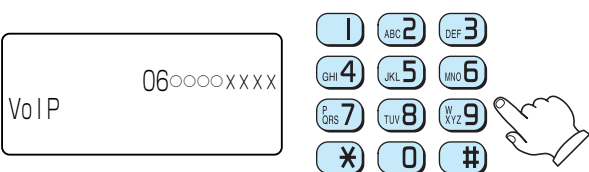
①外線ランプが消えていることを確認し、VoIP回線が割り付けられている外線ボタンを押す

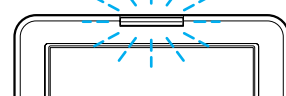
②電話番号を押す

③ (#) を押して発信する

④相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しする

お知らせ

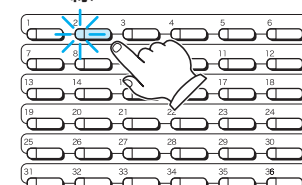
「ハンドセットを置いたまま電話をかけるには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

VoIP回線を利用して電話がかかってきたときは

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-00
PB
VoIP

3 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB
VoIP

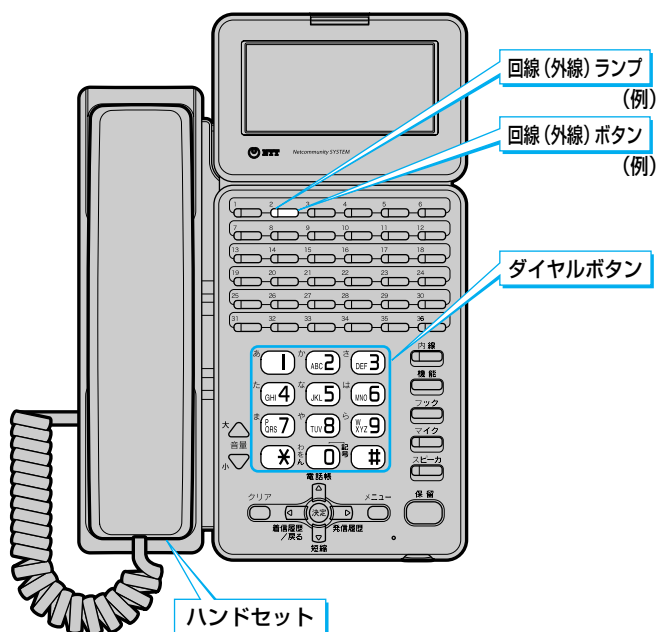
4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●**かけてきた方の電話番号や名前を表示するには**

ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイを利用するには（☛P106）

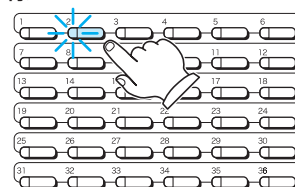
INSネット64／1500をご利用になるには IP

当社のISDN回線（INSネット64／1500）をご利用になると、電話をかけるだけでなく、高精細なファクス通信も行えます。
INSネット64／1500をご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

INSネット64／1500を利用して電話をかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、ISDN回線が割り付けられている外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

外線
ISDN

緑

2 ハンドセットを上げます。

外線
ISDN

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

4 (#) を押して発信します。

お知らせ

- 手順4で (#) を押さなかったときは、「システム設定」した時間が経過したあと、自動的に発信します。
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを上げてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

5 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

```
 9月19日(月) 午後 3:05
              0-05
PB
ISDN
```

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○ハンドセットを上げてから電話をかけるには

ハンドセットを上げてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。

○サブアドレスを指定してかけるには

手順3のあとに、(＊)を押し、続けてサブアドレスを押してから、手順4を行ってください。

○ハンドセットを置いたまま電話をかけるには（オンフックダイヤル）

ハンドセットを置いたまま電話をかけることができます。

①外線ランプが消えていることを確認し、ISDN回線が割り付けられている外線ボタンを押す

②電話番号を押す

③(＃)を押して発信する

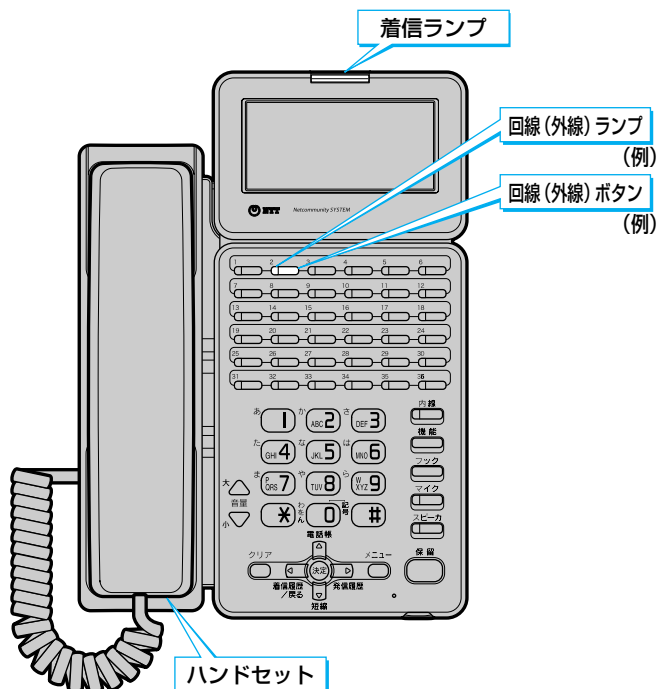
④相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを上げてお話しする

○停電中に電話をかけるには

ISDN停電用電話機をご利用になると、停電中にバックアップ電池による動作ができなくなっても、ISDN回線（INSネット64）を使って電話をかけることができます。（☛P198）

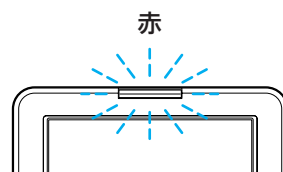
お知らせ

「ハンドセットを置いたまま電話をかけるには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

INSネット64／1500をご利用になるには IP

INSネット64／1500を利用して電話がかかってきたときは

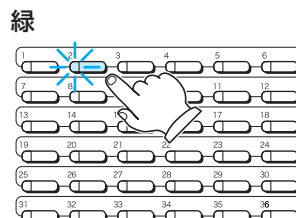
1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

赤

2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-00
PB
ISDN

緑

3 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB
ISDN

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●かけてきた方の電話番号や名前を表示するには

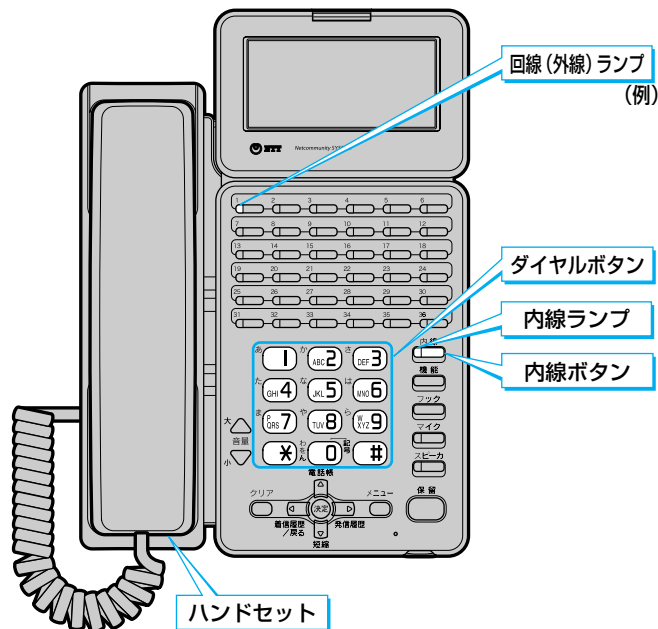
ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイを利用するには（☛P106）

○停電中に電話を受けるには

ISDN停電用電話機をご利用になると、停電中にバックアップ電池による動作ができなくなっても、ISDN回線（INSネット64）を使って電話を受けることができます。（☛P198）

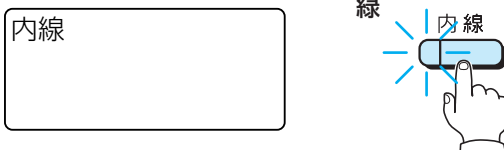
空いている外線を選んで電話をかけるには（空き外線自動捕捉）IP

空いている外線を自動的に選んで、電話をかけることができます。「システム設定」により、外線発信と、自動発信可能な外線の中から選ぶ方法（外線群指定発信）があります。

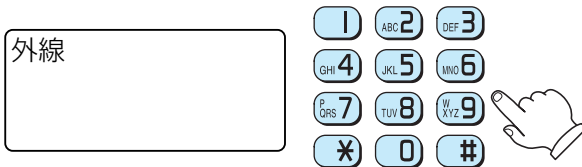
回線（外線）ランプ（例）
ダイヤルボタン
内線ランプ
内線ボタン
ハンドセット

空いている外線を選んで電話をかける（空き外線自動捕捉）

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

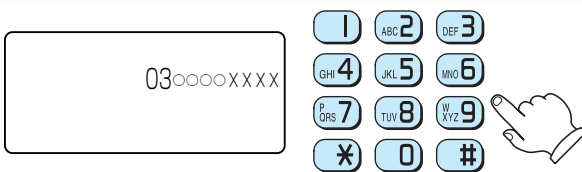
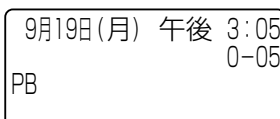
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 外線発信用の特番または外線群指定発信用の特番をダイヤルボタンで押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

外線

外線発信用の特番　：0 [　]
外線群指定発信用の特番：[　]

3 ハンドセットを上げます。

4 電話番号をダイヤルボタンで押します。

03○○○○XXXX

5 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日（月）午後 3:05
0-05
PB

ワンポイント

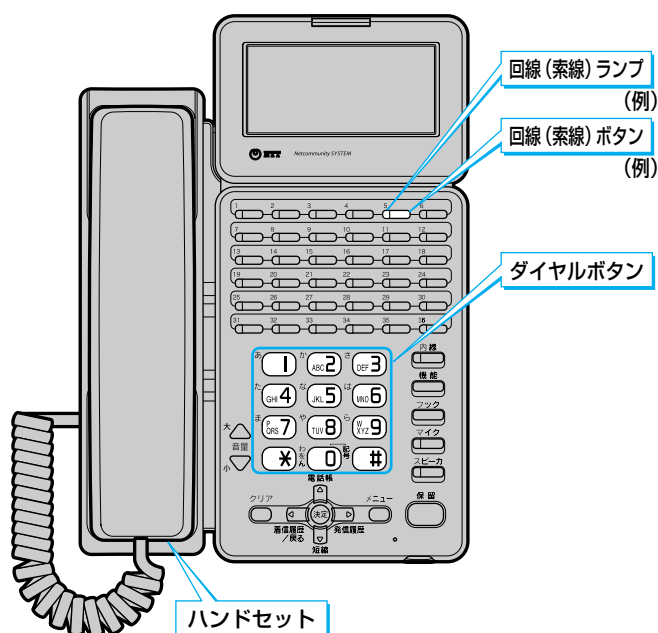
外線群とは
「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。外線群指定発信用の特番は、お買い求め時には設定されていません。

○捕捉できる外線がないときは
手順2で「プープー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。しばらく待ってからかけ直してください。

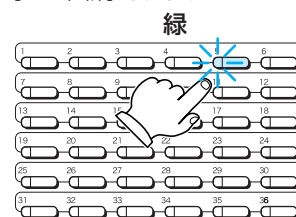
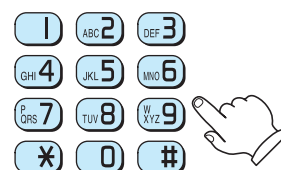
お知らせ

- オンフックダイヤルで電話をかけることもできます。
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

索線ボタンを使って電話をかけるには IP

「システム設定」で複数の外線を索線グループに分け、電話機に「索線ボタン」を設定しておくと、索線グループ内の空き外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

索線ボタンを使ってかける

1 索線ランプが消えていることを確認し、索線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
索線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

外線

2 ハンドセットを上げます。

外線

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。

03○○○○XXXX

4 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

9月19日（月） 午後 3:05
0-05
PB

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

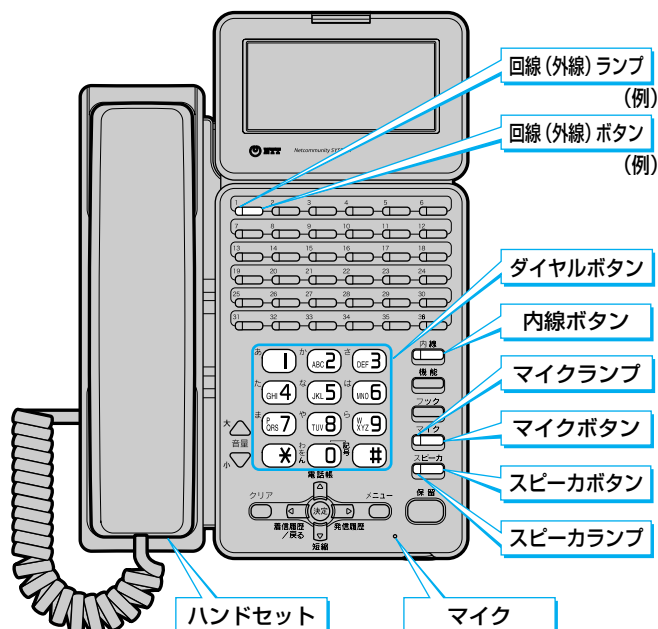
○**索線ランプが赤く点灯しているときは**
索線グループ内の外線が全部お話し中のため、電話をかけることはできません。

○**PBX（構内交換機）などに収容されているときは**
PBXの外線発信用の特番を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、索線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 1つの電話機に、索線ボタンを複数設定することができます。

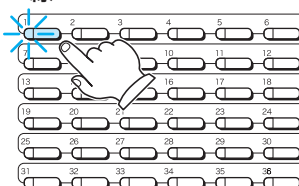
ハンズフリーで電話をかけるには（ハンズフリー通話）IP

ハンドセットを置いたままで、外線通話、内線通話をすることができます。

ハンズフリーで電話をかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

外線

緑

2 マイクボタンを押します。

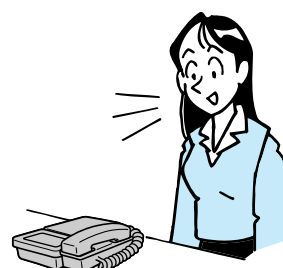
マイクランプが点灯します。

外線

赤

3 相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押します。

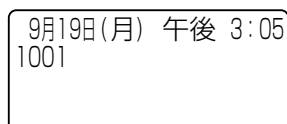
03○○○○XXXX

4 相手の方の声が聞こえたら、電話機のマイクに向かってお話しください。

お知らせ

- ●ハンズフリー通話中は、マイクランプ、スピーカランプが点灯しています。
- ●通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- ●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

5 お話しが終わったら、スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、外線ランプが消えます。

```
 9月19日(月) 午後 3:05
1001
```

ワンポイント

○ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには

ハンドセットを上げると、ハンドセットでお話しできます。

ハンドセットを上げたまま、ハンズフリー通話していたときは、スピーカボタンを押すとハンドセットでお話しできます。

○ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには

お話し中にスピーカボタン、マイクボタンの順に押します。ハンドセットを置くと、ハンズフリー通話ができます。

○マイクランプが点灯中にハンズフリーで電話をかけるには

①マイクランプ点灯中（マイクがオンのとき）に、スピーカボタンを押す

②外線ボタンまたは内線ボタンを押す

③電話番号を押す

○マイクランプが点灯中に電話がかかってきたときは

マイクランプが点灯中（マイクがオンのとき）に電話がかかってきたら、外線ボタンまたは内線ボタンを押してからスピーカボタンを押すと、ハンズフリー通話ができます。

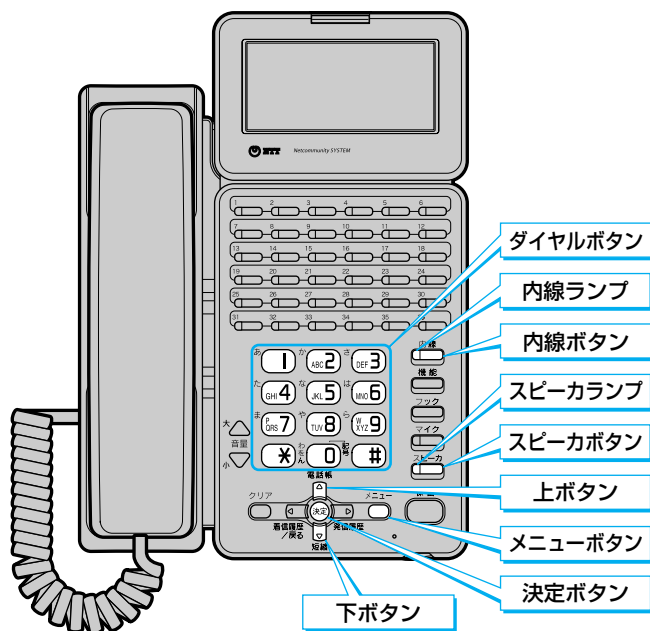
○マイクランプが点灯中に音声着信で呼び出されたときは

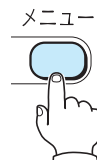
そのままハンズフリー応答になります。（☛P65）

○ハンズフリー通話中にマイクボタンを押したときは

マイクがオフとなり、スピーカから相手の方の声は聞こえますが、こちらの声は相手の方には聞こえません。

不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）IP

離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。個別着信だけを転送するか、放送着信と個別着信の両方を転送するかを選ぶことができます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。

不在着信転送を登録する

1 メニューボタンを押します。

2 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

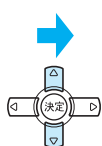
3 上下ボタンで「4：留守／転送」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（4）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

5 上下ボタンで「1：個別／放送着信転送」または「2：個別着信転送」を選択し、決定ボタンを押します。

不在着信転送設定
0:転送解除
1:個別／放送着信転送
2:個別着信転送

不在着信転送設定
0:転送解除
1:個別／放送着信転送
2:個別着信転送

項目番号（1または2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

6 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押します。

不在着信転送設定
転送先入力
1011

7 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。
不在着信転送が登録されます。

不在着信設定
##-1011
不在着信転送

手順5で「1：個別／放送着信転送」を選択したときは内線番号の前に「##-」が、「2：個別着信転送」を選択したときは「-」が表示されます。**

8 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
1010
不在着信転送

ワンポイント

○同様の登録を行うには

Webシステム設定　：不可
特番操作　：可（下記参照）

○不在時の表示について

不在着信転送で着信したとき、呼び出した方と転送先の電話機に、内線番号が同時に表示されます。
例として、呼び出した方の内線番号を1012、呼び出し先の内線番号を1010、転送先の内線番号を1011とした場合は下記のように表示されます。

<呼び出した方の表示>

1010 から転送
1011

<転送先の表示>

1010 から転送
1012

○特番操作で登録するには

①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③不在着信転送用の特番（4 2［　　］）を押す
④ # #（個別と放送着信を転送）または * *（個別着信のみ転送）を押す
⑤転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す
⑥決定ボタンを押す
⑦スピーカボタンを押す
手順②～③の代わりに不在着信転送用の特番（9 2 2［　　］）を押すこともできます。

不在着信転送の対象となる放送着信とは

「システム設定」された放送着信のみ、不在着信転送の対象となります。

不在着信転送が登録されている電話機で応答するには

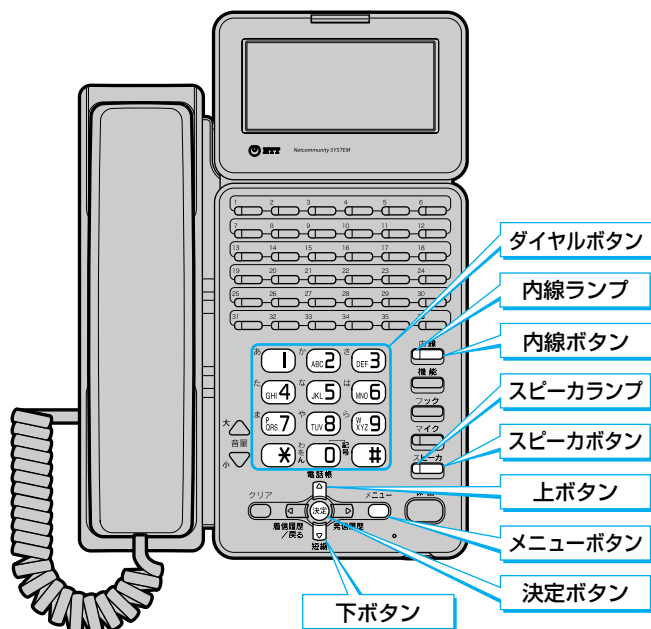
転送前に転送元で応答するために「システム設定」された時間の間、転送元に着信させることができます。

○代表着信があったときは

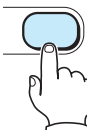
不在着信転送が登録されている電話機には着信しません。

お知らせ

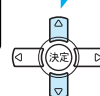
- 「特番操作で登録するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。
- 転送先で不在着信転送の登録が行われていても、その先への転送はされません（転送は1度まで）。
- 複数の電話機から、同じ電話機に不在着信転送を登録することができます。
- 転送元、転送先の関係にある電話機は、逆の設定はできません。
- 放送着信を不在着信転送に設定すると、転送元・転送先両方の電話機の着信音が鳴るようになります。

不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）IP

不在着信転送を解除する

1 メニューボタンを押します。

1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

2 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

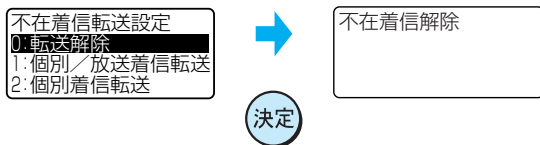
3 上下ボタンで「4：留守／転送」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（4）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

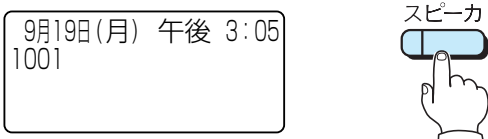
5 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。
不在着信転送が解除されます。

不在着信解除

項目番号（0）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

6 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

ワンポイント

○同様の登録を行うには

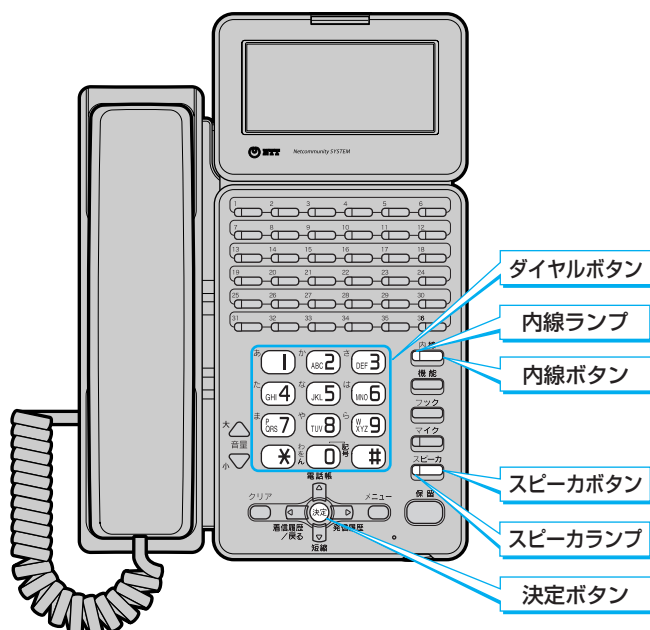
Webシステム設定	：不可
特番操作	：可（下記参照）

○特番操作で登録するには

①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③不在着信転送用の特番（4 2 [ ]）を押す
④決定ボタンを押す
⑤スピーカボタンを押す
手順②～③の代わりに不在着信転送用の特番（9 2 2 [ ]）を押すこともできます。

お知らせ

「特番操作で登録するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）IP

転送先で不在着信転送を登録する

「システム設定」で設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。

内線

3 不在着信転送用の特番（4 2［　　］）を押します。

「プププププ」という音を確認してください。

不在着信
不在着信転送

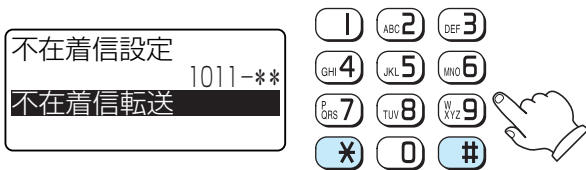
4 転送元の内線番号をダイヤルボタンで押します。

不在着信設定
1011-
不在着信転送

お知らせ

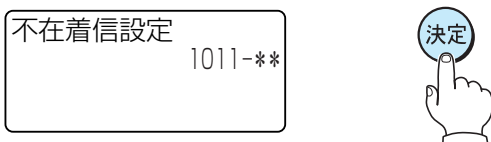
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 複数の電話機から、同じ電話機に不在着信転送を登録することができます。
- 転送元、転送先の関係にある電話機は、逆の設定はできません。

5 ＊ ＊ または ＃ ＃ を押します。

不在着信設定
1011-＊＊
不在着信転送

＊ ＊ ：個別着信のみ転送する

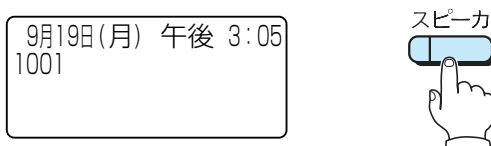
＃ ＃ ：個別着信と放送着信を転送する

6 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。
転送元に不在着信転送が登録されます。

不在着信設定
1011-＊＊

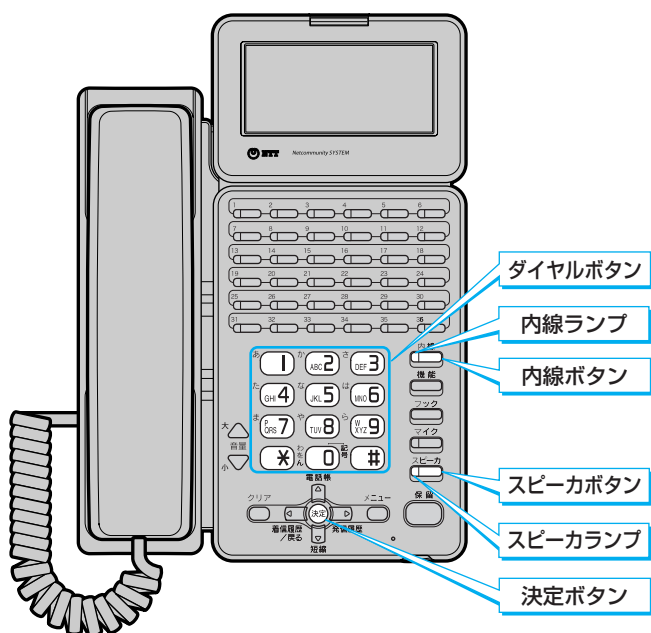
7 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

ワンポイント

○**他の方法で登録するには**

手順2、3の代わりに、不在着信転送用の特番（ 9 2 2 ［　　　］）を押します。

不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）IP

転送先で不在着信転送を解除する

「システム設定」で設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

緑

2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。

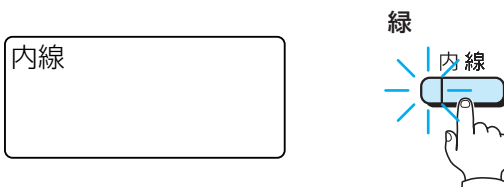
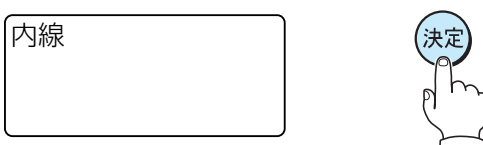
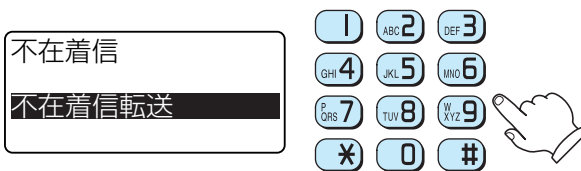
内線

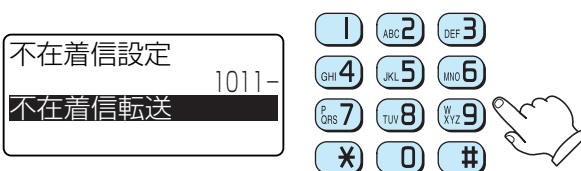
3 不在着信転送用の特番（4 2［　　］）を押します。

「プププププ」という音を確認してください。

不在着信
不在着信転送

4 転送元の内線番号をダイヤルボタンで押します。

不在着信設定
1011-
不在着信転送

お知らせ

手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

5 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。
転送元の不在着信転送が解除されます。

```
不在着信解除
```

6 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

```
 9月19日(月) 午後 3:05
1011
```

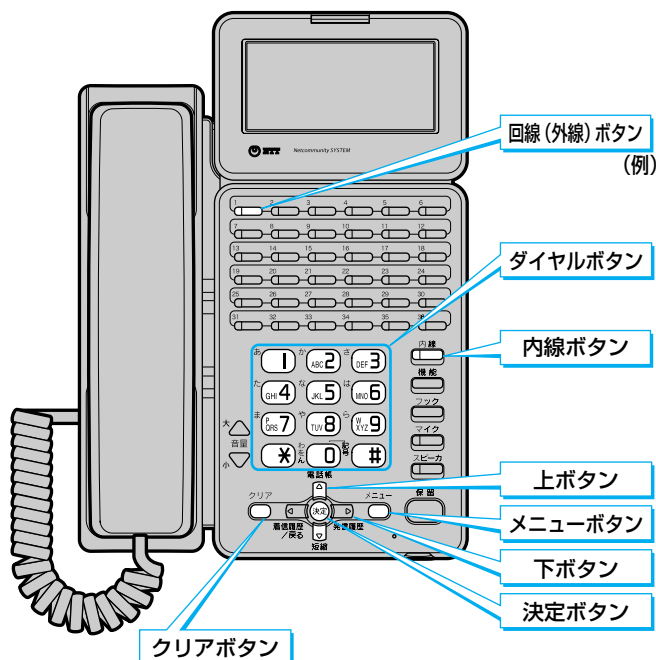
ワンポイント

○**他の方法で登録するには**

手順2、3の代わりに、不在着信転送用の特番（9 2 2［　　　］）を押します。

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 各種登録／設定
5 オプションを使う
6 ご参考に

転送電話を利用するには

かかってきた電話を、あらかじめ登録されている電話番号に自動的に転送させることができます。

転送先を登録する

「システム設定」で設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。転送先は3か所まで登録できます。

1 メニューボタンを押します。

2 決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

3 上下ボタンで「4：留守／転送」を選択し、決定ボタンを押します。

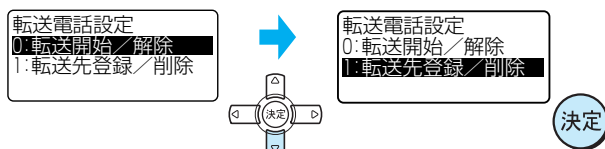
項目番号（4）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 下ボタンで「2：転送電話設定」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

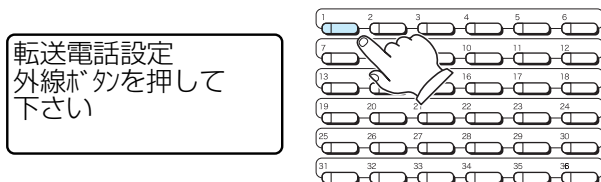
お知らせ

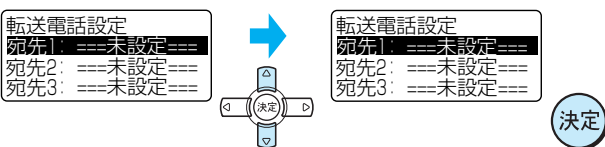
P89のワンポイントの「特番操作で転送先を登録するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

5 下ボタンで「1：転送先登録／削除」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

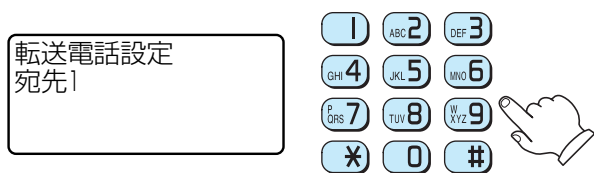
6 外線ボタンを押します。

選択された外線ボタンへの着信を転送します。

転送電話設定
外線ボタンを押して
下さい

外線ボタンごとに転送先の電話番号を設定できます。

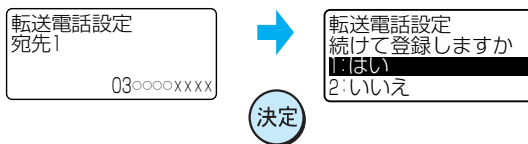
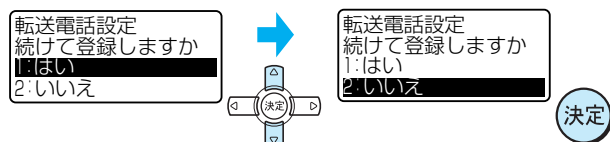
7 上下ボタンで「宛先1」～「宛先3」のいずれかを選択し、決定ボタンを押します。

宛先を登録すると、電話帳名称または電話番号が表示されます。未登録のときは、「===未設定===」と表示されます。

8 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押します。

転送電話設定
宛先1

番号を間違えたときは、クリアボタンを押して削除することができます。

9 決定ボタンを押します。

転送電話設定
宛先1
03○○○○XXXX

転送電話設定
続けて登録しますか
1:はい
2:いいえ

10 上下ボタンで「2：いいえ」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

ワンポイント

●同様の登録を行うには

Webシステム設定　：不可
特番操作　　　　　：可（下記参照）

●転送先の登録内容を削除するには

①手順1～7の操作を行う
②決定ボタンを押す

●特番操作で転送先を登録するには

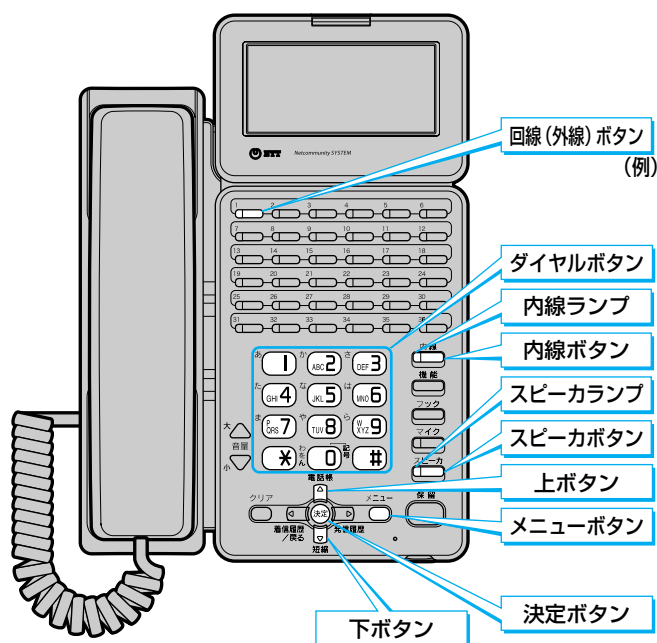
①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③転送先登録用の特番（＊ 6 [　　]）を押す
④外線ボタンを押す
⑤上下ボタンで宛先1～3を選択する
⑥転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す
⑦決定ボタンを押す
（④～⑦までの表示および操作は、メニュー設定から操作した場合と異なります。また、転送先を連続して登録する場合は、⑥の操作のあとで上下ボタンで宛先を変更し登録することができます。）

●特番操作で転送先を削除するには

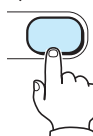
「特番操作で転送先を登録するには」の⑥でクリアボタンを押して決定ボタンを押します。連続して削除する場合は、クリアボタンを押したあとで上下ボタンで宛先を変更して削除することができます。

●転送先に携帯電話番号を登録するには

転送電話を利用する場合、転送先が携帯電話番号の場合で固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する場合は、事業者識別番号を携帯電話番号の前に登録してください。

転送電話を利用するには

転送を開始／解除する

「システム設定」で設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。
転送が開始されているときは解除され、解除されているときは開始されます。

1 メニューボタンを押します。

2 決定ボタンを押します。

1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:留守／転送

項目番号（1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

3 上下ボタンで「4：留守／転送」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（4）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

4 下ボタンで「2：転送電話設定」を選択し、決定ボタンを押します。

項目番号（2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

お知らせ

P91のワンポイントの「特番操作で転送を開始／解除するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

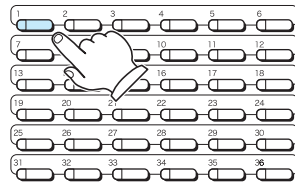
5 決定ボタンを押します。

転送電話設定
外線ﾎﾞﾀﾝを押して
下さい

項目番号（0）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

6 外線ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。選択された外線ボタンへの着信の転送が開始／解除されます。

L-L 転送設定
宛先:03○○○○XXXX

外線ボタンごとに転送を開始／解除できます。
宛先が2件以上ある場合、その宛先も表示されます。

7 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

ワンポイント

●同様の登録を行うには

Webシステム設定　：不可
特番操作　　　　　：可（下記参照）

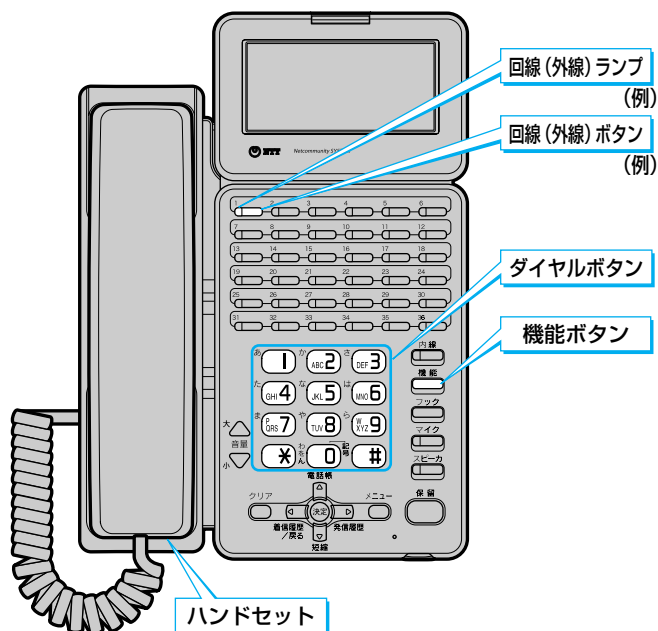
●特番操作で転送を開始／解除するには

①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③転送電話開始／解除用の特番（＊ 5 ［　　　］）を押す
④外線ボタンを押す
⑤決定ボタンを押す
⑥スピーカボタンを押す

●転送電話順次転送機能

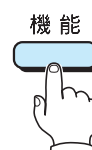
宛先1から「システム設定」により設定された呼出時間経過後、宛先2へ転送されます。宛先2が呼出時間経過後は、宛先3へ転送されます。宛先3が呼出時間経過後は、自動的に呼出が終了します。

3人でお話しするには （会議通話）IP

外線でお話し中、または内線でお話し中に、他の人を入れて3人または4人でお話しすることができます。外線との会議通話、内線での会議通話は、そばにいる人に声をかける方法、内線で他の人を呼び出す方法があります。また、2つの外線と会議通話することもできます。

口頭で呼び、1つの外線と3人でお話しする（口頭招集）

呼び出す方

1 お話し中に機能ボタンを押します。

9月19日（月） 午後 3:05
0−05
機能

2 口頭招集用の特番（ 1 # [ ]）を押します。

口頭招集
0−35
PB

3 そばにいる人に声をかけます。

4 3人でお話しください。

ワンポイント

○3人目の方の呼び出しを中止するには
機能ボタン、口頭招集用の特番（ 1 # [ ]）の順に押します。

○会議通話中に電話を切ったときは
会議通話中に1人の方が電話を切っても、残りの方でお話しを続けることができます。

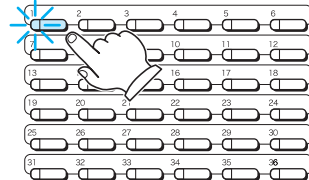
呼び出される方

1 ハンドセットを上げます。

内線

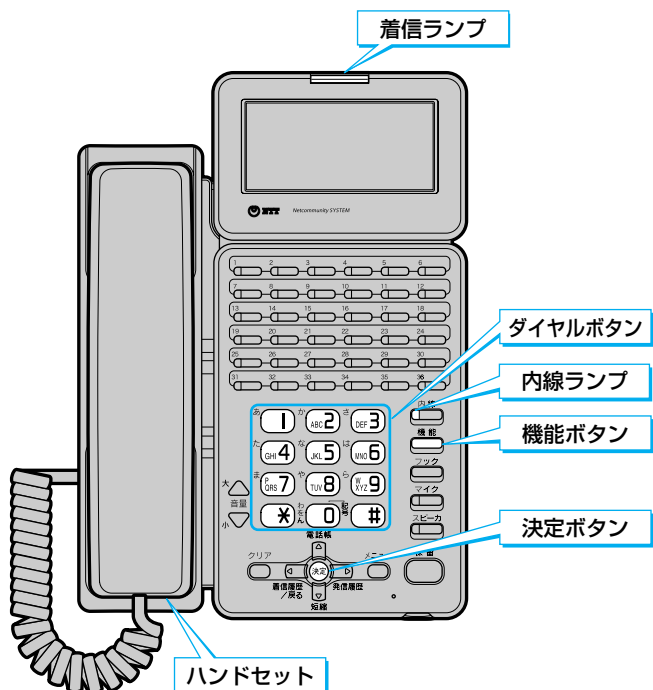
2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

口頭招集
3者通話

赤

3 3人でお話しください。

お知らせ

- ●口頭による招集は、外線でお話し中の場合にできます。内線でお話し中の場合はできません。
- ●口頭による招集は、内外線合わせて3人までです。
- ●会議通話を行う場合、すべての方がお互いに電話を転送できることが必要です。
- ●口頭招集中は、主催者のディスプレイに次のように表示されます。

<口頭招集中>

口頭招集
0−45
PB

<口頭招集会議中>

口頭招集
3者通話

3人でお話しするには　（会議通話）IP

ワンポイント

○4人でお話しするには
「呼び出す方」の手順で、3人目の方と同様に4人目の方を呼び出すと、4人でお話しできます。
会議通話中のどなたでも、4人目の方を呼び出すことができます。

○3人目の方を呼び出しているときは
待っている方には、保留メロディが流れます。

○4人目の方を呼び出しているときは
待っている方どうしでお話しできます。ただし、待っている方の2人のうち1人が電話を切ったときは、残っている方に保留メロディが流れます。

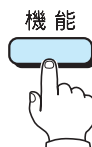
○会議通話中に電話を切ったときは
会議通話中に1人の方が電話を切っても、残りの方でお話しを続けることができます。

お知らせ

●3人目の方を呼び出した方が会議通話の主催者となります。
●会議通話を行う場合、すべての方がお互いに電話を転送できることが必要です。
●3人目の方の呼び出し中に、待っている方が4人目の方を呼び出すことはできません。

内線で呼び、1つの外線と3人でお話しする（会議招集）

呼び出す方

1 お話し中に機能ボタンを押します。

9月19日(月)　午後　3:05
0-30
機能

2 会議招集用の特番（[ ] [ ] [ ]）を押します。

「ツツツ…」という音が聞こえます。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

9月19日(月)　午後　3:05
1010

4 相手の方が応答したら、決定ボタンを押します。

9月19日(月)　午後　3:05
3 者通話

5 3人でお話しください。

呼び出される方

1 **呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。ハンドセットを上げて、お話しください。**

```
9月19日(月) 午後 3:05
1011
PB
```

2 **呼び出した方が決定ボタンを押すと、外との電話がつながりますから、3人でお話しください。**

3人でお話しするには　（会議通話）IP

2つの外線と3人でお話しする

1 お話し中に機能ボタンを押します。

9月19日（月） 午後 3:05
0−30
機能

2 会議招集用の特番（ 1 1 [ ]）を押します。

「ツツツ…」という音が聞こえます。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

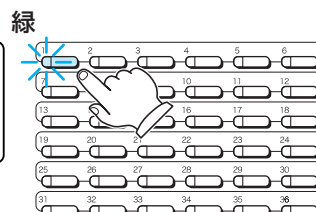
3 ランプの消えている外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

外線

4 相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押します。

03○○○○XXXX

ワンポイント

○4人でお話しするには
「2つの外線と3人でお話しする」の手順で、3人目の方と同様に4人目の方を呼び出すと、4人でお話しできます。
会議通話中、4人目の方を呼び出すことができます。

○3人目の方を呼び出しているときは
待っている方には、保留メロディが流れます。

○4人目の方を呼び出しているときは
待っている方どうしでお話しできます。ただし、待っている方の2人のうち1人が電話を切ったときは、残っている方に保留メロディが流れます。

○会議通話中に電話を切ったときは
会議通話中に1人の方が電話を切っても、残りの方でお話しを続けることができます。ただし、残っている方が2人とも外線のときは、電話は切れます。

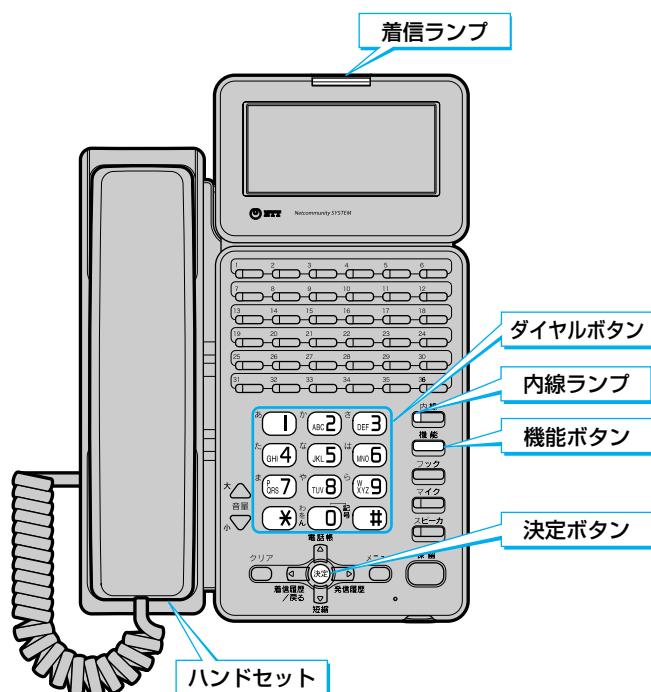
5 相手の方が出たら、決定ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
3 者通話

6 3人でお話しください。

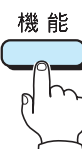
お知らせ

- 「システム設定」によって、2つの外線と会議通話することができます。
- 会議通話を終了するときに、残りの方すべてが外線の場合、会議通話の継続はできません。
- 3人目の方を呼び出した方が会議通話の主催者となります。
- 会議通話を行う場合、すべての方がお互いに電話を転送できることが必要です。

3人でお話しするには（会議通話）IP

内線で呼び、内線の3人でお話しする

呼び出す方

1 お話し中に機能ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
1011
機能

2 会議招集用の特番（1 1 [　　]）を押します。

「ツツツ…」という音が聞こえます。

内線

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

9月19日(月) 午後 3:05
1010

4 相手の方が応答したら、決定ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
3 者通話

5 3人でお話しください。

ワンポイント

○**4人でお話しするには**
「呼び出す方」の手順で、3人目の方と同様に4人目の方を呼び出すと、4人でお話しできます。
会議通話中のどなたでも、4人目の方を呼び出すことができます。

○**3人目の方を呼び出しているときは**
待っている方には、保留メロディが流れます。

○**4人目の方を呼び出しているときは**
待っている方どうしでお話しできます。ただし、待っている方の2人のうち1人が電話を切ったときは、残っている方に保留メロディが流れます。

○**会議通話中に電話を切ったときは**
会議通話中に1人の方が電話を切っても、残りの方でお話しを続けることができます。

呼び出される方

1 **呼び出されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。ハンドセットを上げて、お話しください。**

9月19日(月) 午後 3:05
1012
PB

2 **呼び出した方が決定ボタンを押すと、内線電話がつながりますから、3人でお話しください。**

お知らせ

- ●3人目の方を呼び出した方が会議通話の主催者となります。
- ●会議通話を行う場合、すべての方がお互いに電話を転送できることが必要です。
- ●3人目の方の呼び出し中に、待っている方が4人目の方を呼び出すことはできません。

ご利用になれる各種ネットワークサービス

ネットコミュニティシステムαGX typeLは、アナログ回線、ISDN回線のどちらでもご利用いただけます。それぞれ次のようなサービスがあります。

主なネットワークサービスの対応状況

アナログ回線をお使いの場合は、ネットコミュニティシステムαGX typeLに接続された内線電話機で当社のネットワークサービスを活用したさまざまな機能をご利用になることができます。各サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

■アナログ回線のネットワークサービスを利用した機能（2007年9月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示）	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○ 注1	☛P106
ネーム・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであり、着信時に発信電話番号とともに発信企業名（氏名）情報を受信し、ディスプレイに表示する機能です。	○ 注1	☛P106
ナンバー・リクエスト	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○ 注1	—
短縮ダイヤル	プッシュ回線をご利用の場合、20か所までの短縮ダイヤルを登録することができます。	○	—
でんわばん／でんわばんW（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
キャッチホン／キャッチホンII（通話中着信）	外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、フッキング操作で切り替えることができます。	○	☛P104
キャッチホン・ディスプレイ	外の相手の方とお話し中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、電話をかけてきた方の電話番号（発信電話番号）や電話番号を通知できない理由を表示することができます。	×	—
トリオホン（簡易会議電話）	外の相手の方とお話し中にいったん保留し、第三者を呼び出して三者間通話ができます。	○	☛P104
ダイヤルイン（モデムダイヤルイン含む）	契約者回線番号のほかに番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から特定の電話機を直接呼び出せるようにします。	○	☛P108
ボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、いったん応答した電話を簡単な操作で別の番号へ転送したり、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○ 注1	—
迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
マジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話にでられないとき、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定する、センタ以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。	○ 注1	—
Lモード	電話機やファクスでメールのやりとりや、各種情報の閲覧をすることができるサービスです。	×	—

注1：単体電話機ではご利用できません。

主なINSネットサービスの対応状況

ISDN回線をお使いの場合、ネットコミュニティシステムαGX typeLに接続された内線電話機では、INSネット64／1500の基本サービスや付加サービス※を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。なお、付加サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

■INSネット64／1500の基本サービスを利用した機能（2007年9月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
発信者番号通知	INSネット64／1500を利用して電話をかけるとき、自分の電話番号、サブアドレスを相手の方に通知する、または通知しないようにすることができます。	○	☛P106
サブアドレス通知	サブアドレスを登録しておくと、特定の内線電話機を指定して着信させることができます。	○	☛P108
料金情報通知	INSネット64／1500で電話をかけたとき、お話しを終えて電話を切ると、INSネット64/1500の通信料を表示することができます。	○	—
ユーザ間情報通知	通信の開始時などにDチャネルを通じて情報の送受信が行えます。送信された情報はそのまま相手の方へ送られます。	○	—
通信中機器移動	通信を一時中断して通信機器をコネクタから取り外し、同一のINSネット64／1500回線上の他のコネクタに接続して、通信を再開することができます。同一種類の通信機器が複数あるときは、他の機器から通信を再開することができます。	×	—

※ネットワークサービスの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ご利用になれる各種ネットワークサービス

■INSネット64／1500の付加サービスを利用した機能（2007年9月現在）

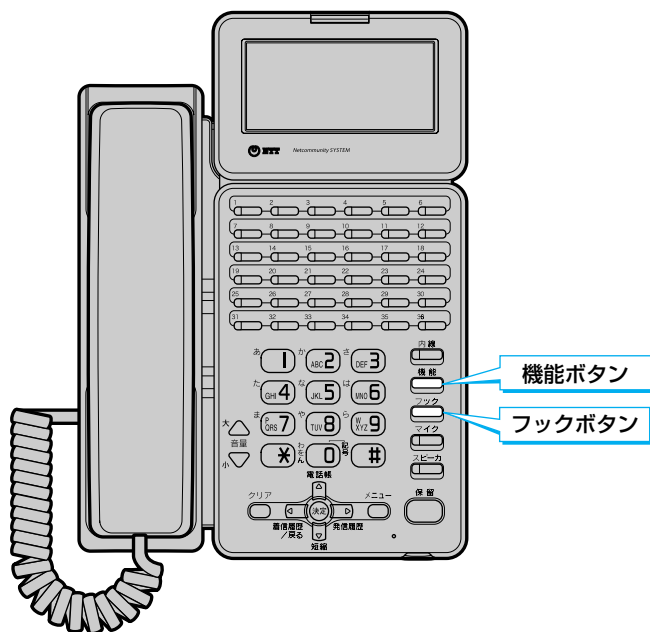
サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
フレックスホン	<INSキャッチホン> 外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。 <三者通話（ミキシングモード）> 外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で同時にお話しすることができます。 <三者通話（切替モード）> 外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます。 <通信中転送> 外からかかってきた電話を別の相手の方に転送することができます。 <着信転送> 外からかかってきた電話を、本装置にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。	×	—
通信中着信通知	お話し中にさらにINSネット64／1500からの着信があると、その着信を通知します。	×	—
発信専用制御	電話機からの操作により、契約者回線番号単位に着信を受けないようにすることができます。	×	—
ダイヤルイン	契約者回線番号のほかに番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から電話機を直接呼び出せるようにします。	○	☛P108
でんわばん／でんわばんW（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	×	—
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○ 注1	☛P106
INSネーム・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスであり、着信時に発信電話番号とともに発信企業名（氏名）情報を受信し、ディスプレイに表示する機能です。	○ 注1	☛P106
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○ 注1	—
INSボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○ 注1	☛P109

注1：単体電話機ではご利用できません。

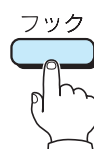
サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
転送元電話番号受信	ボイスワープなどにより、転送されてきた転送元の電話番号を着信者が受信できるようにするサービスです。どこの電話から転送されてきたのか、電話を受ける前に知ることができます。	○	☛P107
迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○ 注1	—
ｉ・ナンバー	契約者回線番号のほかに番号（ｉ・ナンバー追加番号）を追加して、外から電話機を直接呼び出せるようにします。	○ 注2	☛P108
INSマジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話にでられないとき、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定する、センタ以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。	○ 注1	—
Lモード	電話機やファクスでメールのやりとりや、各種情報の閲覧をすることができるサービスです。	×	—

注1：単体電話機ではご利用できません。
注2：i・ナンバーはINSネット64のみの付加サービスです。

キャッチホンサービスを利用するには

アナログ回線をお使いの場合にキャッチホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。また、トリオホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中にいったん保留し、第三者を呼び出して三者間通話ができます。
これらのサービスを利用するためには、別途、当社との利用契約が必要です。

キャッチホンサービスを利用する

1 「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
0-05
PB

2 2番目にかけてきた相手の方とお話しください。

もう一度フックボタンを押すと、前の方とお話しすることができます。

9月19日(月) 午後 3:06
1-05
PB

ワンポイント

●フックボタンの操作方法には
「システム設定」により、フックボタンを押す操作を、機能ボタン、フックボタンの順に押す操作にすることができます。

お知らせ

キャッチホンサービスおよびトリオホンサービスをご利用になるとき以外で、お話し中にフックボタンを押すと、通話が切れてしまいますのでご注意ください。

プッシュホンサービスを利用するには（DP→PB自動切替）

ダイヤル回線をご利用の場合でも、電話で利用できるプッシュホンサービスをご利用になれます。

プッシュホンサービスを利用する（DP→PB自動切替）

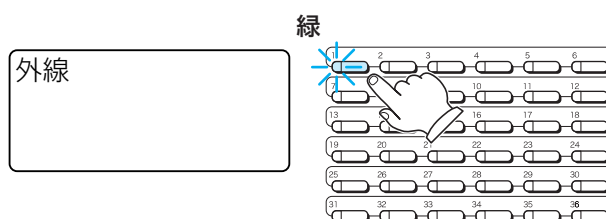
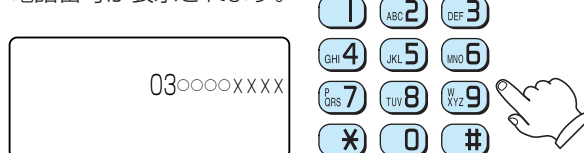
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

緑

2 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。

03○○○○XXXX

3 電話がつながったら必要なダイヤルボタンを押します。

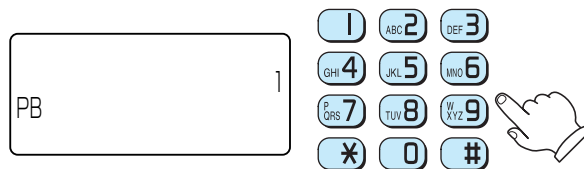
PBのピクトグラムが表示されます。

1
PB

ワンポイント

○ プッシュホンサービスの種類
- ポケットベルサービス
- 銀行ANSERサービス
- 留守番電話へのリモコン操作　など

お知らせ

- ●ダイヤル回線をご使用時、「システム設定」により内線電話機ごとに通話中のDP→PB自動切替をしないようにすることもできます。その場合、手順3でPBのピクトグラムは表示されません。PBダイヤルを送出するには、通話中にPB送出用の # を押します。PBのピクトグラムが表示され、PBダイヤルが送出できるようになります。
- ●回線種別（ダイヤル回線、プッシュ回線、INSネット64／1500回線、VoIP回線等）に関係なく、「システム設定」により、内線電話機ごとに通話中にダイヤル送出ができないようにすることもできます。
- ●銀行ANSERサービスなどの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
- ●ダイヤル回線をご使用の場合、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。

ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、かけてきた相手の方の電話番号が、応答する前に電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。アナログ回線、ISDN回線のどちらをお使いの場合もご利用になれます。また、電話番号とともに発信企業名（または氏名）が表示されるネーム・ディスプレイもご利用になれます。

■相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

アナログ回線をお使いの場合は、当社とのナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。
ISDN回線をお使いの場合は、ISDN回線からの着信については、INSネット64／1500の基本サービスの1つである「発信者番号通知サービス」により相手の方の電話番号の表示が可能です。ただし、アナログ回線（電話網）からの相手の方の電話番号を表示するには、当社とのINSナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。

		受信側（αGX typeL）			
		アナログ回線		ISDN回線	
		ナンバー・ディスプレイ		INSナンバー・ディスプレイ	
		契約	非契約	契約	非契約
発信側	アナログ回線	◎	×	◎	×
	ISDN回線	◎	×	○	○

◎：ナンバー・ディスプレイの契約により表示可能
○：ナンバー・ディスプレイの契約がなくても表示可能
（INSネット64/1500の基本サービスとして提供）
×：表示不可能

■相手の方の電話番号が表示されないとき

相手の方の電話番号が表示されないときは、次のように表示されます。

ディスプレイ	理　由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」を提供していないエリアから電話がかかってきたときまたはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときに表示します。

「システム設定」により、上記の各表示ごとに着信を拒否することができます。（非通知着信拒否）

■自分の電話番号が通知される条件と契約について

発信者番号通知サービスを利用すると、自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。ただし、電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

		自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
契約内容	通常通知（通話ごと非通知）	相手の方の電話番号	1 8 4 ＋相手の方の電話番号
	通常非通知（回線ごと非通知）	1 8 6 ＋相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

■着信中に相手の方の電話番号を手動で表示する

機能ボタンを押してから、着信中の外線ボタンを押します。

■着信通話中のとき

着信に応答して通話中となった場合、「システム設定」により相手の方の電話番号、あるいは発信企業名（名称）、電話帳に登録されている名称が表示されます。

■電話に出なかったとき

着信履歴を記憶させておく設定をしておくと、相手の方の電話番号が記憶され、簡単な操作でこちらからかけ直すことができます。（☛P42）

■転送したとき

転送された外線と通話中の場合も、相手の方の電話番号が表示されます。

ワンポイント

●**ネーム・ディスプレイとは**

ネーム・ディスプレイ（発信企業名（氏名）情報通知サービス）とは、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、電話をかけた方の発信企業名（氏名）が、応答する前に電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。

このサービスを利用するには、当社とのナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。

●**サブアドレス表示**

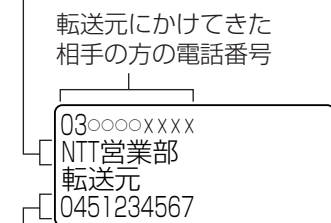
ISDN回線で着信したとき、相手の方がサブアドレスを設定している場合は、相手の方の電話番号の後ろに、相手の方のサブアドレスが表示されます。

相手の方の電話番号　相手の方のサブアドレス

●**ボイスワープの転送元番号を表示させるには**

ボイスワープまたはINSボイスワープを契約されている方から転送された着信の場合、転送した方の番号（転送元番号）をディスプレイの4行目に表示することができます。

転送元にかけてきた相手の方の発信企業名（名称）または電話帳に登録されている名称

転送元にかけてきた相手の方の電話番号

転送元番号（または電話帳に登録されている名称）

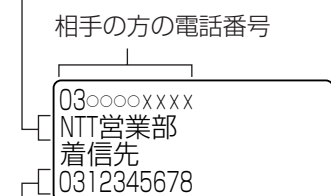
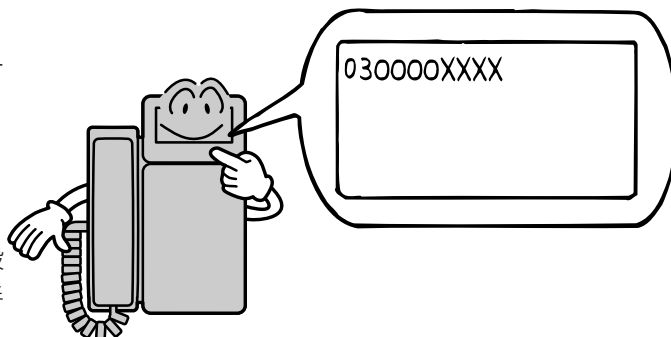
※転送元番号表示は着信先番号表示よりも優先されます。

このサービスを利用するには、INS回線で、転送元電話番号受信サービス (有料)の申し込みが必要です。

●**着信先番号を表示させるには**

「システム設定」によりダイヤルイン契約された着信の場合、着信先番号をディスプレイの4行目に表示することができます。

相手の方の発信企業名（名称）または電話帳に登録されている名称

相手の方の電話番号

着信先番号（または電話帳に登録されている名称）

お知らせ

●ナンバー・ディスプレイをご利用になる場合は、「システム設定」が必要です。

●外線ランプが赤く点灯しているときは、電話に出ることも電話をかけることもできません。

●同時に複数の着信があると、ディスプレイに表示されている発信電話番号と異なる相手に応答することがあります。

●PBX（構内交換機）や他の通信機器などに収容されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用になれないことがあります。

●ナンバー・ディスプレイを利用中は、着信音が聞こえるまでに時間がかかります。

●停電時は、ナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用になれません。

停電になったときは（☛P198）

●ナンバー・ディスプレイをご利用になるには、アナログ回線のみオプションの追装が必要です。

●単体電話機では、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。

外から特定の電話機を呼び出すには（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／サブアドレス通知サービス）

特定の電話機を呼び出すには、ダイヤルインサービス／i・ナンバー（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定する方法と、INSネット64／1500の基本サービスの1つであるサブアドレス通知サービス（無料）を利用してサブアドレスを指定する方法があります。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

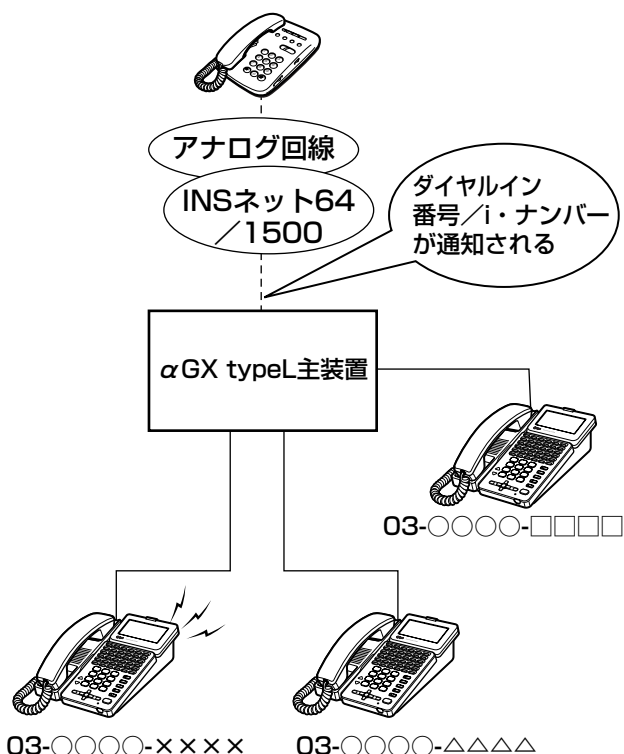
■ダイヤルインサービス／i・ナンバーを利用する

ダイヤルインサービス／i・ナンバーをご契約になると、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号／i・ナンバーを電話機ごとに割り当てることにより、外から特定の電話機を呼び出すことができます。
ダイヤルインサービスは、アナログ回線、ISDN回線のどちらをお使いの場合でもご利用になれます。

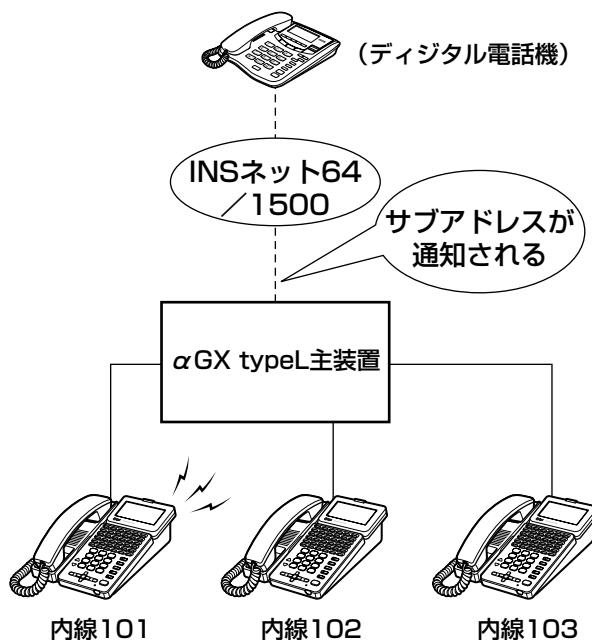
● 1つの回線に03-○○○○-××××、03-○○○○-△△△△、03-○○○○-□□□□のダイヤルイン番号／i・ナンバーを設定したとき

■サブアドレス通知サービスを利用する

サブアドレスは、INSネット64／1500のサブアドレス通知サービスを利用するときに必要な番号です。電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすると、特定の電話機を呼び出すことができます。
また、外の相手の方が、電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機で電話を受けることができます。（サブアドレスダイヤルイン）

● 03-○○○○-××××の契約者回線番号にサブアドレス101、102、103を設定したとき

ワンポイント

●**ダイヤルインサービスをご利用になるには**
当社のダイヤルイン回線を接続する場合は、オプションの追装が必要です（ISDN回線の場合は不要）。

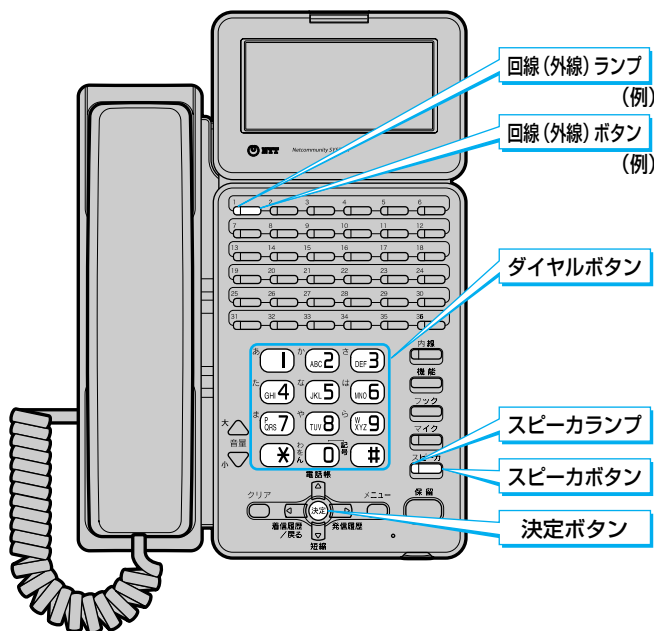
●**INSネット64／1500への着信の場合には**
相手の方の電話番号の後に、「／」と相手の方のサブアドレスが表示されます。

お知らせ

i・ナンバーはINSネット64のみの付加サービスです。

ボイスワープを利用するには

ボイスワープをご利用になるとき、下記のサービスを利用することができます。

①転送サービスの開始（転送方法の選択）／停止
②転送先電話番号の登録
③転送先リストの選択（転送先の選択）
④無応答時の転送の起動時間（転送待ち時間）の設定
⑤リモートコントロール機能の設定（暗証番号の設定）
⑥転送トーキの設定
⑦転送元電話番号通知の設定

ボイスワープサービスは、アナログ回線、ISDN回線のどちらをお使いの場合でもご利用になれます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。ボイスワープの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
以下では、INSボイスワープの転送先電話番号登録の操作を例にご説明します。

回線（外線）ランプ（例）
回線（外線）ボタン（例）
ダイヤルボタン
スピーカランプ
スピーカボタン
決定ボタン

INSボイスワープの転送先電話番号を登録する

＜例＞転送先リストへ登録する場合

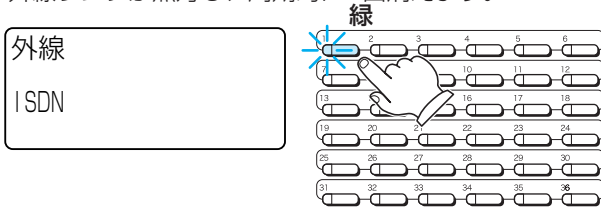
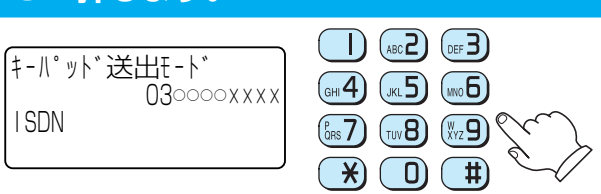
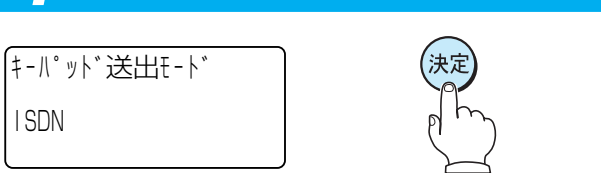
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

外線
ISDN

緑

2 を押します。

1422#
PB
ISDN

3 転送先電話番号をダイヤルボタンで押します。

4 決定ボタンを押します。

ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ送出ﾓｰﾄﾞ
ISDN

5 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、外線ランプが消えます。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 手順2の操作のあと、ディスプレイに「キーパッド送出モード」が表示されない場合は、機能ボタン、キーパッド送出モード切替用の番号（＊ ＊ [　　]）を押してください。
- 手順3で最後のボタンを押してから「システム設定」した時間が経過するか、32桁まで入力すると、入力したデータが送信されます。
- 手順3で押す電話番号はあらかじめワンタッチボタンに登録しておき、ワンタッチボタンを押すことでも入力できます。
- 転送先電話番号は、交換センタに登録されるので、転送サービスをセット中にシステムが停電になっても、電話は転送されます。
- INSボイスワープをご利用になる場合は、「システム設定」が必要です。

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 各種登録／設定
5 オプションを使う
6 ご参考に

ISDN端末をご利用になるには

ネットコミュニティシステムαGX typeLでは、内線電話機としてISDN端末もご利用になれます。

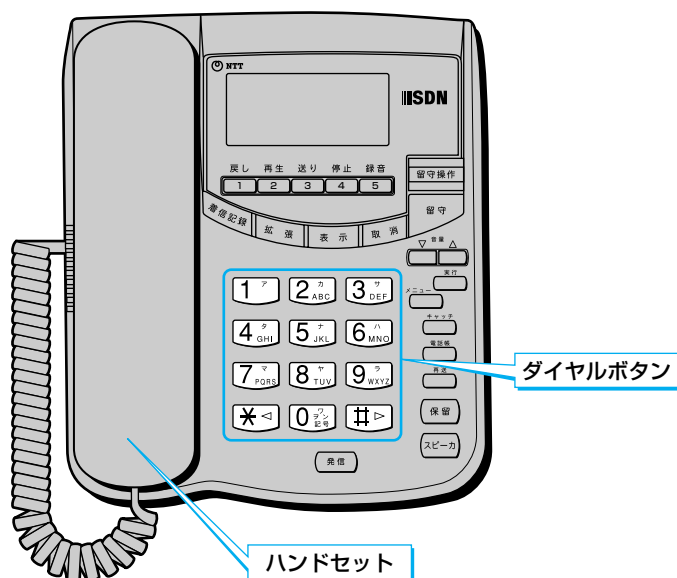
ワンポイント

外線群とは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。
外線群指定発信用の特番は、お買い求め時には設定されていません。

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには
（☛P33）

お知らせ

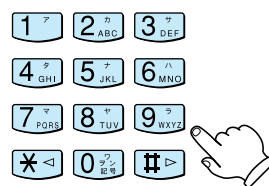
- ISDN端末により操作が異なる場合があります。
- **お使いのISDN端末の種類により、端末のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ディジタルでんわS-2000を例に説明しています。**

ISDN端末を利用する

電話をかける

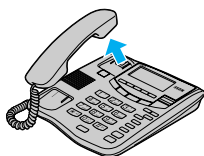
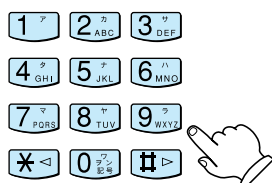
1 ハンドセットを上げます。

2 外線発信用の特番または外線群指定発信用の特番をダイヤルボタンで押します。

外線発信用の特番　　　：0 [　　]
外線群指定発信用の特番：[　　　]

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

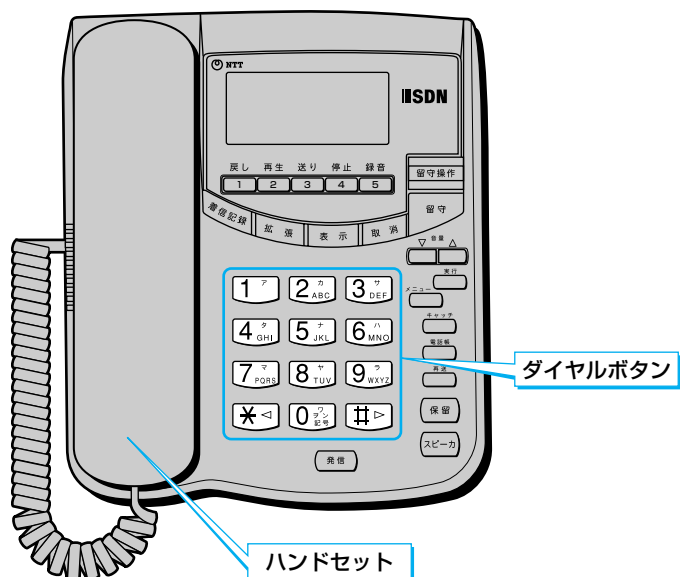
内線でお話しする

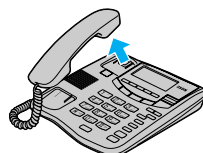
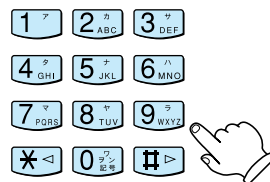
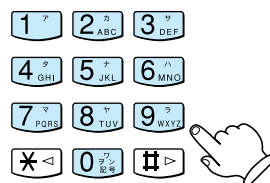
1 ハンドセットを上げます。

2 内線番号をダイヤルボタンで押します。

3 相手の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）

「内線でお話しする」の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

ISDN端末をご利用になるには

電話帳ダイヤルでかける

1 ハンドセットを上げます。

2 電話帳ダイヤル発信用の特番（9 0 1 [　　　]）を押します。

3 メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

共通電話帳：
0 0 0 ～ 7 9 9
個別電話帳：
8 0 0 ～ 9 9 9
「システム設定」により800～899となります。

4 相手の方が出たら、お話しください。

お知らせ

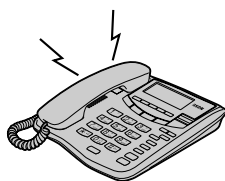
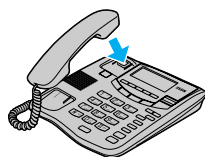
- ISDN端末により操作が異なる場合があります。
- お使いのISDN端末の種類により、端末のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ディジタルでんわS-2000を例に説明しています。

電話を受ける

1 **着信音が鳴ります。**

2 **ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。**

3 **お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。**

自動着信呼分配機能をご利用になるには

■自動着信呼分配機能とは

コールセンタなどのように複数の相手から一斉に電話を受ける場合、自動着信呼分配機能を利用すると、効率よく受けることができます。

自動着信呼分配機能には次の機能があります。

① **着信呼均等分配**
着信呼を指定された端末グループの中で空いている端末に着信させます。
また、着信呼が一つの端末に集中しないよう均等に着信させます。

② **自動応答**
受付担当者がハンドセットの取り上げやスピーカボタンのオンなどをすることなく着信と同時に通話状態にすることができます。

③ **遅延アナウンス**
着信時に空いている端末がなかった場合、遅延アナウンスのメッセージを流して保留させます。
複数の着信呼が保留になりその後端末が空いたときには、先に保留された着信呼から順次空いた端末に接続されます。
遅延アナウンスは「システム設定」の遅延アナウンス設定で、自動着信呼分配機能を利用する端末グループに対して設定します。設定項目は次のとおりです。
・遅延アナウンスのメッセージ
・着信後遅延アナウンスのメッセージを流すまでの時間
・保留できる着信呼の数と保留時間
・遅延アナウンスのメッセージを流している時間

④ **切断アナウンス**
切断アナウンスのメッセージを流したあと、着信呼を切断します。
切断アナウンスのメッセージは次の場合に流します。
・遅延アナウンスを設定していないとき
・設定した保留できる着信呼の数を超えたとき
・遅延アナウンスのメッセージを流したあと、設定した保留時間を過ぎても接続することができないとき
切断アナウンスは「システム設定」の切断アナウンス設定で、自動着信呼分配機能を利用する端末グループに対して設定します。設定項目は次のとおりです。
・切断アナウンスのメッセージ
・切断アナウンスのメッセージを流している時間（切断するまでの時間）

⑤ **時間外アナウンス**
業務時間外の着信呼に対して、時間外アナウンスのメッセージを流します。
システムモードを変更することによって、自動着信呼分配機能運用時の時間外に、業務中とは別のアナウンスを行うことができます。

⑥ **通話モニタと割込通話**
管理者用端末から、受付担当者の通話をモニタすることができます。
また、管理者用端末の録音端子（オプション）にテープレコーダなどを接続すれば通話内容を録音することができます。
さらに、管理者用端末からモニタ中の通話に割り込みし、三者通話をすることもできます。

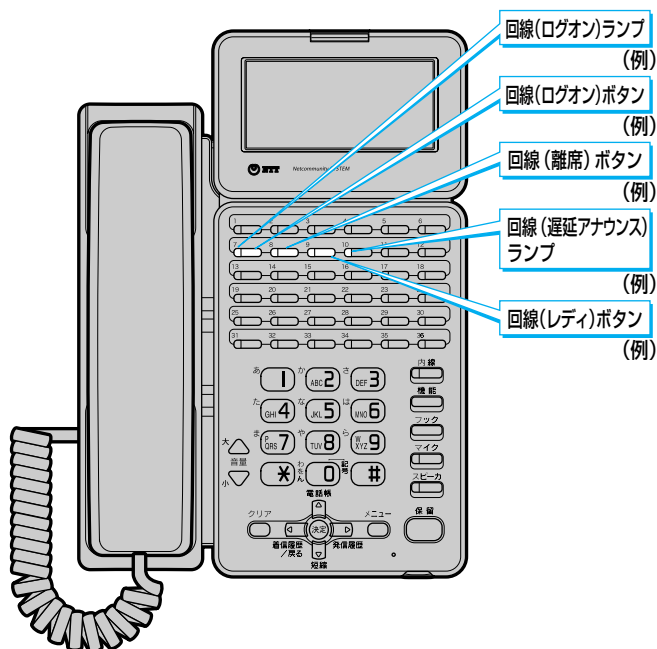
ワンポイント

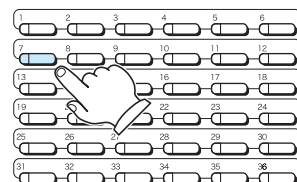
●端末から通話モニタをする場合は
「モニタボタン」と「通話割込ボタン」を使用します。
①モニタボタンを押す
②通話モニタする受付担当者の内線番号を押す
　通話モニタが開始されます。
③さらに通話割込ボタンを押す
　三者通話ができるようになります。

お知らせ

自動着信呼分配機能は、各着信方式で端末グループを自動着信呼分配グループとして設定することによって利用できます。この設定をした端末グループが、呼分配の対象となります。

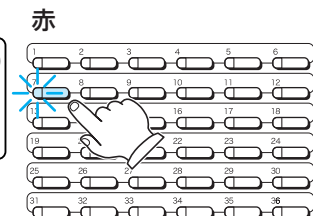
内線電話機を自動着信呼分配端末として使用するには

内線電話機を自動着信呼分配端末として使用するには、自動着信呼分配機能に登録（ログオン）する必要があります。
ログオンが完了すると、内線電話機は自動着信呼分配着信の対象となります。
なお、自動着信呼分配端末としてログオンしても通常の電話機として使用できます。

1 ログオンボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

2 ログオンが完了すると、「ログオンカンリョウ」が表示され、ログオンランプが点灯します。

これで自動着信呼分配機能が利用できるようになります。

赤

9月19日(月) 午後 3:05
ログ オンカンリョウ

ワンポイント

○自動着信呼分配端末の登録を解除（ログオフ）するには
ログオン中にログオンボタンを押します。ログオンランプが消えて、ログオフされます。

○「ログオントウロクスウオーバー」が表示されたときは
自動着信呼分配機能を利用できる端末の数は決まっており、それ以上はログオンできません。その数を超えてログオンすると、このメッセージが表示されます。

○自動着信呼分配端末の各ボタン操作と状態は

状態＼ボタン操作	ログオンボタン	離席ボタン	レディボタン	状態の意味
ログオフ	レディ	－	－	業務が開始されていない状態
レディ	ログオフ	離席中	－	着信できる状態
ビジー	－	－	－	着信中および通話中
後処理中	ログオフ	離席中	レディ	通話終了後の後処理中
離席中	ログオフ	レディ	－	席を外している状態

○遅延アナウンスに接続されているときは
自動着信呼端末の遅延アナウンスランプが点滅します。

○オペレータ番号（利用者を識別するための番号）を利用するには
「システム設定」によって、手順1でログオン時にオペレータ番号を入力することができます。オペレータ番号を利用することにより、コミュニケータ業務支援装置と連動させ、オペレータ別の運用状況をモニタリングすることができます。（☛P161）

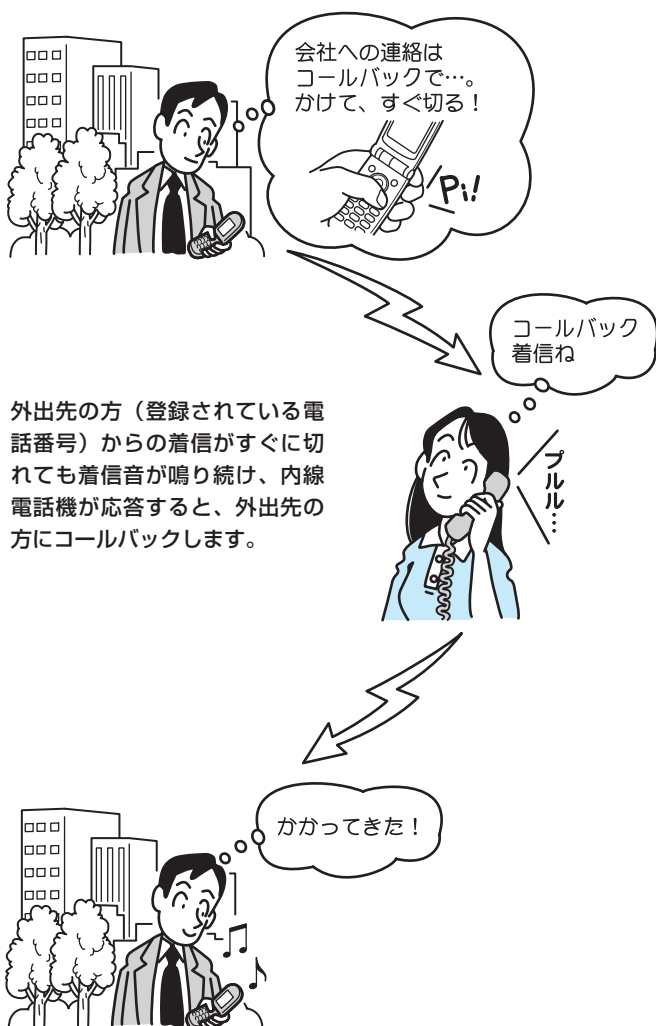
○「オペレータＮｏシヨウチュウ」が表示されたときは
ログオン時にオペレータ番号が重複していると、このメッセージが表示されます。

発信元に自動コールバックする

あらかじめ登録している電話番号に対し、システムが自動的に折り返し電話をかける機能（コールバック）を利用できます。外出先からでも、事業所（システム設置所）の料金負担で通話することができます。
コールバックを利用するには、「システム設定」が必要です。

外出先からコールバックを利用して内線電話機と通話する（システム内線着信）

携帯電話で事業所（システム設置所）と通話したいときに、事業所の料金負担で通話できる機能です。携帯電話の通話料はかかりません。（事業所（システム設置所）側での通話料金負担にて電話をかけられます。）

外出先の方（登録されている電話番号）からの着信がすぐに切れても着信音が鳴り続け、内線電話機が応答すると、外出先の方にコールバックします。

外出先の方

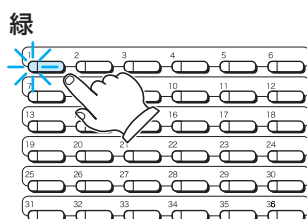
1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐ（6秒[　　　]以内）に切ります。

2 電話がかかってきたら応答操作をし、お話しください。

社内の方

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅したら、点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
「システム設定」により、着信音の音色を変えることができます。

鈴木NTT男
09012345678

2 ハンドセットを取りあげます。

着信に応答すると、コールバックが開始され、呼び出し状態になります。「プップップップッ」から「プルル…」という音になります。
外出先の方が電話に出るまでお待ちください。

ｺｰﾙﾊﾞｯｸ発信中
09012345678
ISDN

3 相手の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

コールバック（システム内線着信）を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線グループに「システム内線着信」を設定します。
コールバック用の回線は、設定された回線グループの所属する全ての回線が適用されます。

また、「コールバックサービス設定」で特定の共通電話帳グループに「可」を設定します。
コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「コールバックサービス設定」で「可」を設定したグループを選択してください。

コールバックサービスを設定するには

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）着信の時など、電話番号が登録された電話帳が所属する電話帳グループ毎にコールバックサービスを行うか設定することができます。
<コールバックサービスを設定する>
① メニューボタンを押します。
② 上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③ 上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押します。
④ 上下ボタンで「5：コールバックサービス設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤ 上下ボタンで「0：グループなし」～「9：グループ9」までのいずれかを選択し、決定ボタンを押します。
項目番号（0～9）をダイヤルボタンで押してもかまいません。
⑥ 上下ボタンで「0：不可」、「1：可」のいずれかを選択し、決定ボタンを押します。
項目番号（0または1）をダイヤルボタンで押してもかまいません。

コールバックの各動作のタイミングを変更するには

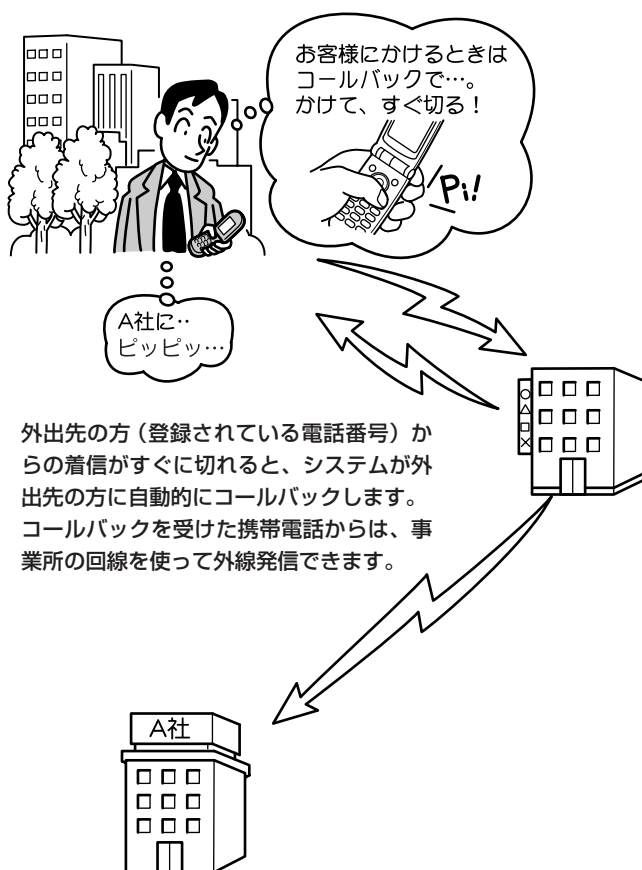
「システム設定」によって、次のタイミングを変更できます。

- 対象とする電話番号からの着信を「コールバック着信」と判定する着信秒数（お買い求め時：6秒）
- 「外出先の方」が電話を切ったあと「社内の方」を呼び出す秒数（お買い求め時：30秒）

発信元に自動コールバックする

外出先からコールバックを利用して電話をかける（中継発信）

外出先で電話をかけたいときに、事業所（システム設置所）の料金負担で通話できる機能です。事業所の外（外線）へも、内線電話機へも、携帯電話側では通話料金を負担せずに、事業所（システム設置所）側での通話料金負担にて電話をかけられます。

外出先の方（登録されている電話番号）からの着信がすぐに切れると、システムが外出先の方に自動的にコールバックします。コールバックを受けた携帯電話からは、事業所の回線を使って外線発信できます。

外出先から外線発信する

1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐ（6秒[　　　]以内）に切ります。

2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をします。

ガイダンスが聞こえます。

3 サービス番号（1）を押します。

暗証番号とシャープをどうぞ。
というガイダンスが聞こえます。

4 暗証番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押します。

転送先番号とシャープをどうぞ。
というガイダンスが聞こえます。

5 転送先番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押します。

外線転送は×××ですね？
よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。
というガイダンスが聞こえます。

6 0 を押します。

転送します。お待ちください。
というガイダンスが聞こえます。

7 相手の方が出たら、お話しください。

外出先からシステム内線着信する

1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐ（6秒[　　　]以内）に切ります。

2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をします。

ガイダンスが聞こえます。

3 サービス番号（0）を押します。

内線番号とシャープをどうぞ。
というガイダンスが聞こえます。

4 内線番号をダイヤルボタンで押し、続けて # を押します。

内線番号は○○○ですね？
よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。
というガイダンスが聞こえます。

5 0 を押します。

転送します。お待ちください。
というガイダンスが聞こえます。

6 社内の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

コールバック（中継発信）を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線グループに「中継発信」を設定します。
コールバック用の回線は、設定された回線グループの所属する全ての回線が適用されます。
また、「コールバックサービス設定」で特定の共通電話帳グループに「可」を設定します。
コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「コールバックサービス設定」で「可」を設定したグループを選択してください。

コールバックサービスを設定するには（☛P117）

コールバックの各動作のタイミングを変更するには

「システム設定」によって、次のタイミングを変更できます。
- 対象とする電話番号からの着信を「コールバック着信」と判定する着信秒数（お買い求め時：6秒）
- コールバック「外出先の方」を呼び出す秒数（お買い求め時：30秒）

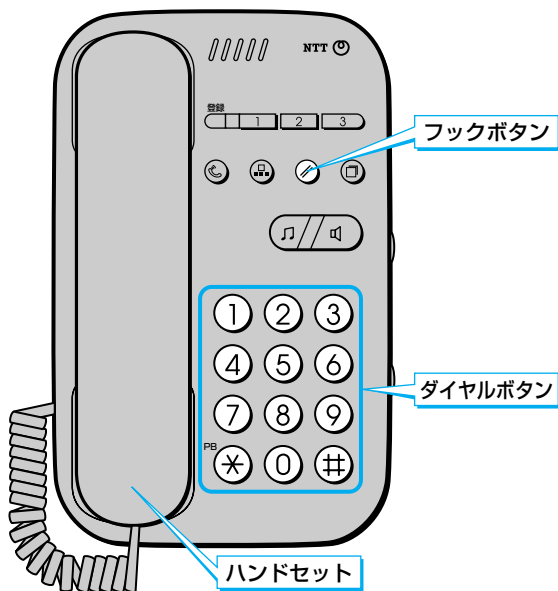
お願い

ガイダンスが聞こえている間に携帯電話を操作した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してから操作してください。

お知らせ

●「外出先から外線発信する」の手順3で、空いている外線がなかったときは、発信できません。
●コールバック（中継発信）で使用中の外線の外線ランプは、赤く点灯します。
●手順4で誤った内線番号を入力した場合、確認ガイダンスの後に 1 を押します。

単体電話機をご利用になるには

ネットコミュニティシステムαGX typeLでは、内線電話機として単体電話機もご利用になれます。

ワンポイント

○**プッシュホンサービスを利用するには**
ダイヤル回線をご利用の場合でも、電話で利用できるプッシュホンサービスをご利用になれます。
ただし、電話機によりご利用いただけないことがあります。

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用するには
（☛P33）

お知らせ

- 手順2で外線発信番号を押して、空いている外線がないときは、「プープー…」という話中音が聞こえますので、ハンドセットを置いてください。しばらく待ってから、かけ直してください。
- 手順1でハンドセットを上げたときは、「システム設定」によって次のどちらかの状態になります。
  - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
  - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）

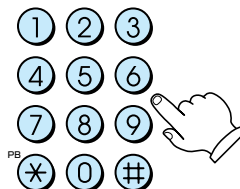
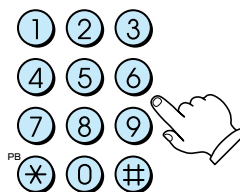
  オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、⓪［　］を押す必要はありません。
  オフフック外線自動捕捉のときは、ハンドセットを上げたあとにダイヤルボタンを押さないで、(フック)ボタンを押す、または、フッキング操作を行うと、内線の呼び出しができるようになります。
  フッキング操作とは（☛P121）
- すぐに次の電話をかけるときは、ハンドセットを確実に置き、電話が切れていることを確認してください。
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。**

電話をかける（外線発信）

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 外線発信用の特番（⓪［　］）を押します。

「ツー」という発信音を確認してください。

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

電話を受ける（外線着信）

1 着信音が鳴ります。

2 ハンドセットを上げて、相手の方とお話しください。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

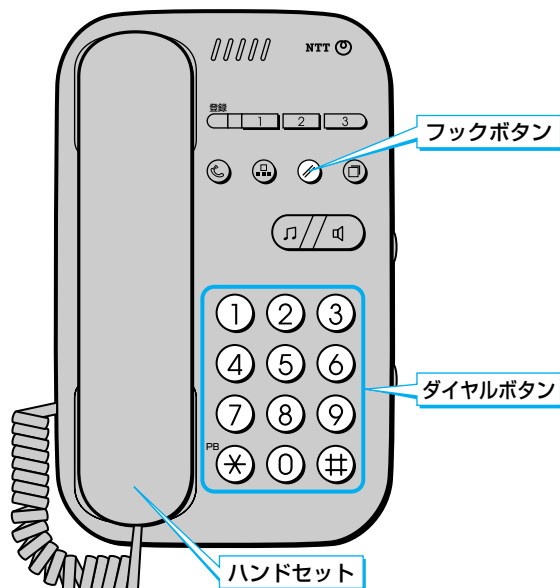
ワンポイント

着信音が鳴る電話機を設定するには（着信鳴動電話機指定）
「システム設定」により、外から電話がかかってきたときに着信音が鳴る電話機を設定できます。昼モード、夜モード、休憩モードを設定し、それぞれのモードで鳴る電話機を設定することもできます。

●着信音がすぐに鳴る電話機を設定するには（着信即時表示）
外から電話がかかってきたとき、すぐに着信音が鳴るかどうかを、電話機ごとに「システム設定」することができます（お買い求め時には、着信即時表示が設定されています）。
また着信音を長い周期で鳴るようにすることもできます（長周期鳴動）。
長周期鳴動を設定した場合は、着信音識別はできません。

●内線、外線の着信音が鳴らないようにするには（着信拒否）
着信拒否が「システム設定」されているとき、内線、外線の着信音が鳴らないように設定することができます。
＜着信拒否を設定／解除する＞
①ハンドセットを上げる
②着信拒否用の特番（⑨ ② ③ ［　　　］）を押す
③ ⓪、①、②、③のどれかを押す
⓪：着信拒否を解除するとき
①：内線の着信を拒否するとき
②：外線の着信を拒否するとき
③：内線、外線の両方の着信を拒否するとき
④ ⊘（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行う
⑤ハンドセットを置く

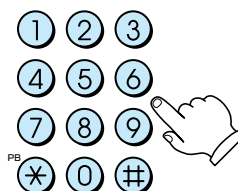
○フッキング操作とは
単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

単体電話機をご利用になるには

同じ相手にかけ直す（再ダイヤル）

最後にかけた相手の方に、簡単にかけることができます。再ダイヤルは各内線電話機ごとに32桁まで記憶されます。

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 再ダイヤル用の特番（⑨⓪⓪［　　　］）を押します。

3 相手の方が出たら、お話しください。

お知らせ

- 他の内線電話機でかけた電話番号を再ダイヤルすることはできません。
- オフフック外線自動捕捉を利用されているときは、外線自動捕捉後、ダイヤルボタンを押さないで（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行ってください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。**

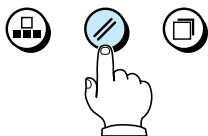
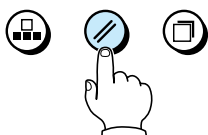
相手の方に待っていただく（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。

他の電話機で取れないように保留する（個別保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 ⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

「ツツツ…」という音を確認してください。
相手の方には保留メロディが流れます。

3 もう一度お話しするときは、⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

4 相手の方とお話しください。

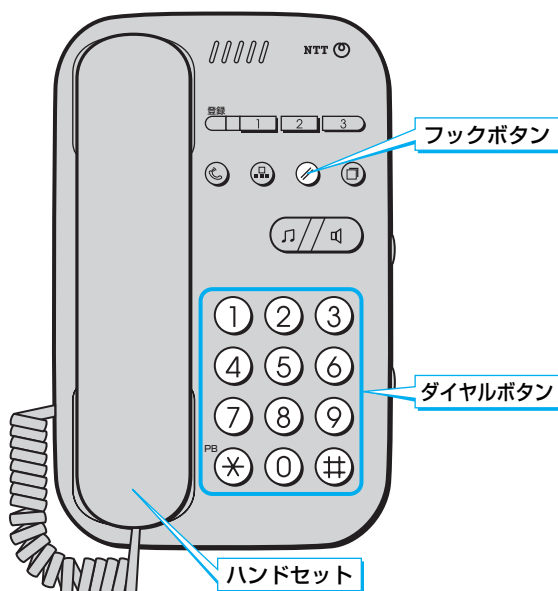
ワンポイント

○相手の方に待っていただくには（パーク保留）
パーク番号（01～99）を「システム設定」することにより、パーク保留用の特番（⑨④⑤[　　　]）＋パーク番号（01～99）を押すと、内線／外線をパーク保留することができます。また、パーク保留応答用の特番（⑨④⑥[　　　]）＋パーク番号（01～99）を押すと、パーク保留中の内線／外線に応答することができます。
<パーク保留する>
①お話し中に相手の方に待っていただくように伝える
②⊘（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行う
③パーク保留用の特番（⑨④⑤[　　　]）を押す
④「システム設定」したパーク番号（01～99）を押す
⑤「プープー」と確認音が鳴り、パーク保留になる
<パーク保留中の内線／外線に応答する>
①ハンドセットを上げる
②パーク保留応答用の特番（⑨④⑥[　　　]）を押す
③パーク保留したパーク番号（01～99）を押す
④相手の方とお話しする

○フッキング操作とは
単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

お知らせ

単体電話機では、共通保留（☛P38）はできません。

単体電話機をご利用になるには

電話帳を使って電話をかける

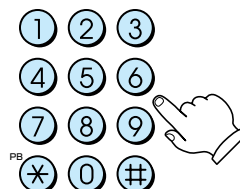
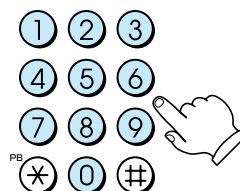
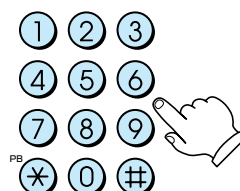
単体電話機でも、システムの電話帳をご利用になれます。個別電話帳は、200件まで登録できます。共通電話帳の登録は行えませんが、電話をかけるときには共通電話帳もご利用になれます。

個別電話帳を登録する

1 ハンドセットを上げます。

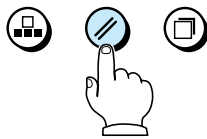
「ツーツー…」という音を確認してください。

2 電話帳登録用の特番（⑨ ⓪ ②［　　　　］）を押します。

「プププププ」という音を確認してください。

3 登録するメモリ番号（⑧ ⓪ ⓪～⑨ ⑨ ⑨）を押します。

4 登録する電話番号をダイヤルボタンで押します。

お知らせ

- 単体電話機からは、共通電話帳を登録することはできません。
- お使いの単体電話機個別の電話帳機能をご利用になるときは、単体電話機の取扱説明書を参照してください。
- オフフック外線自動捕捉を利用されているときは、外線自動捕捉後、ダイヤルボタンを押さないで（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行ってください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
  フッキング操作とは（☛P123）
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。**
- 「システム設定」で個別電話帳操作が禁止の設定のときは、個別電話帳の登録および発信はできません。

5 ⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。

続けて登録するときは、手順3から繰り返します。

6 ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○同様の登録を行うには

Webシステム設定　：可（☛P144）

○登録できる電話帳の件数は

お買い求め時には、メモリ番号800〜999の200件の個別電話帳を登録できるように設定されています。「システム設定」を変更して、個別電話帳を800〜899の100件のみとすることもできます。

○個別電話帳に登録できる内容は

名称、フリガナ、グループ、アイコンは登録できません。

項目	登録内容
電話番号	最大32桁。ダイヤル（0〜9、＊、＃）を登録できる
メモリ番号	800〜999（「システム設定」によっては800〜899）

○PBX（構内交換機）に収容されているときは

発信時に、自動的にPBXの外線発信用の特番とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

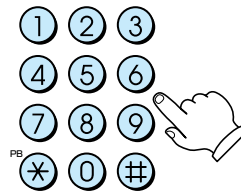
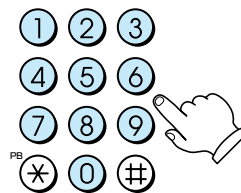
○登録した番号を変更するには

最初から登録し直します。

電話帳ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 電話帳ダイヤル発信用の特番（⑨⓪①［　　　］）を押します。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
PB ⊛ ⓪ ⊕

3 メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
PB ⊛ ⓪ ⊕

個別電話帳： ⑧⓪⓪〜⑨⑨⑨

共通電話帳： ⓪⓪⓪〜⑦⑨⑨

4 相手の方が出たら、お話しください。

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 各種登録／設定
5 オプションを使う
6 ご参考に

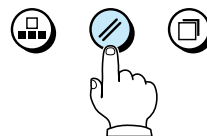
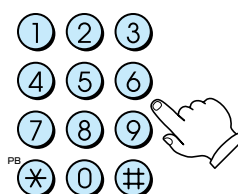
単体電話機をご利用になるには

電話を取りつぐ（保留転送）

外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

相手の方には保留メロディが流れます。
「ツツツ…」という音を確認してください。

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○**フッキング操作とは**
単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

○**転送できない電話機に転送したときは**
転送するためにハンドセットを置くと、呼出音が鳴ります。

○**「ツツツ…」という音が聞こえないときは**
「呼び出す方」の手順1で「ツツツ…」という音が聞こえないときは、再度（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行ってください。

お知らせ

お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。

呼び出される方

1 **呼び出されると、着信音が鳴ります。ハンドセットを上げてお話しください。**

2 **呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながりますから、相手の方とお話しください。**

ワンポイント

○待っていただいた方と再びお話しするには

「呼び出す方」の手順1で「ツツツ…」という音を確認したあと、ハンドセットを置くと、保留呼び返しとなります。このときハンドセットを上げると、待っていただいた方とお話しすることができます。

○相手の方が出なかったときは

「呼び出す方」の手順2で相手の方が出なかったり、ダイヤルを間違えたときなどは、そのままの状態で再度（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行うと、待っていただいた方とお話しすることができます。

○相手の方が応答する前にハンドセットを置いたときは

「呼び出す方」の手順3で相手の方が応答する前にハンドセットを置いたときは、転送できる場合は、呼出状態転送となります。呼び出された方は、呼出音が鳴っている電話機のハンドセットを上げるとお話しできます。待っている方の保留メロディは、転送操作を行うと呼出音に変わります（転送できない状態の場合は、保留呼び返しとなります）。

別の電話機で応答するには（代理応答）

着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに自分の近くの電話機で応答することができます。「システム設定」により、代理応答ができないようにすることもできます。また、「システム設定」により、代理応答の対象となる着信を「内線／外線優先指定なし」、「外線優先」、「内線優先」、「外線のみ応答可」、「内線のみ応答可」のいずれかに指定することができます。

ただし、ダイヤル式電話機の場合、お買い求め時の設定のままではご利用になれません。

<同一電話機グループ内の着信に応答する>

①ハンドセットを上げる

②自グループ代理応答用の特番（# 0 [　　]）を押す

③応答する

<「システム設定」された他のグループの着信に応答する>

①ハンドセットを上げる

②他グループ代理応答用の特番（# 1 [　　]）を押す

③応答するグループの番号（1～9）を押す

④応答する

○CESやPBXで、ネットコミュニティシステムαGX typeL以外に接続された内線電話機に転送するには

次の方法で、CESやPBXの転送機能を使うことができます。

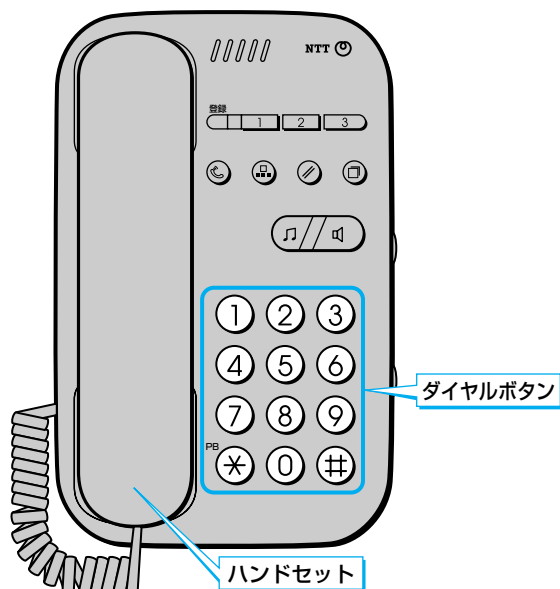
<外線に瞬断信号（フッキングパルス）を送出して転送する方法>

①お話し中に（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行う

②フッキングパルス送出用の特番（9 1 6 [　　]）を押す

③内線番号を押す

④取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く

単体電話機をご利用になるには

ワンポイント

○フッキング操作とは

単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

フックスイッチ

お知らせ

- オフフック外線自動捕捉を利用されているときは、外線自動捕捉後、ダイヤルボタンを押さないで⊘（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行ってください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。**

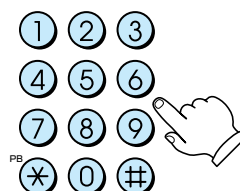
内線でお話しする（内線通話）

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。

呼び出す方

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

3 呼び出された方が応答したら、お話しください。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴ります。ハンドセットを上げてお話しください。

ワンポイント

内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）

「呼び出す方」の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

●内線の呼出方法を変えるには

内線の呼出方法は、「システム設定」で信号呼出、音声呼出のどちらかにすることができます。内線で呼び出し中に、信号／音声呼出切替用の特番（⓪ [ ]）を押すと、呼出方法を切り替えることができます。
お買い求め時は信号呼出に設定されています。

自動的に相手の方を内線で呼び出すには（内線ホットライン）

電話機ごとに相手の方の内線番号を「システム設定」すると、ハンドセットを上げたときに自動的に相手の方にかかります。（☛P190）

グループの電話機および外部スピーカを一斉に呼び出すには（音声ページング）

「システム設定」されたグループの電話機および外部スピーカを、同時に音声で呼び出せます。

<呼び出す方>

① ハンドセットを上げる
② 音声ページング呼出用の特番（⑨ ③ ① [ ]）を押す
③ 相手の方が応答したら、お話しする

<呼び出された方を単体電話機で代理応答する>

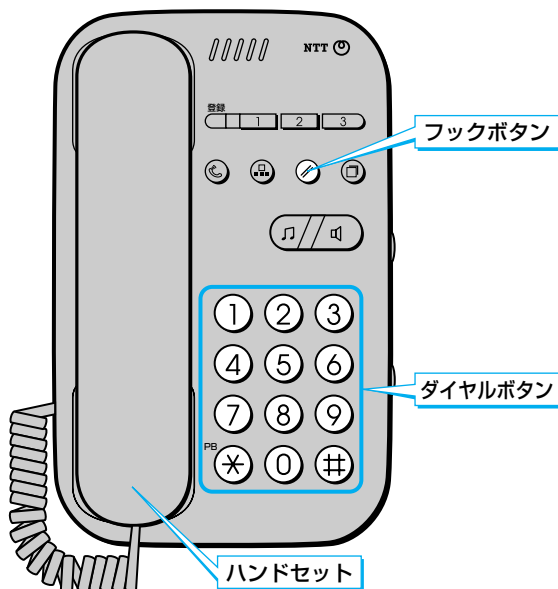
① ハンドセットを上げる
② 応答用の特番をダイヤルボタンで押す
特殊代理応答用の特番：㊯ ③ [ ]
統合代理応答用の特番：㊯ ㊯ [ ]
③ 相手の方とお話しする

単体電話機をご利用になるには

ワンポイント

○**フッキング操作とは**
単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

お知らせ

- ダイヤル式電話機では、不在着信転送を登録することはできません。
- オフフック外線自動捕捉を利用されているときは、外線自動捕捉後、ダイヤルボタンを押さないで⊘（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行ってください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。**

不在のときの電話を転送する（不在着信転送）

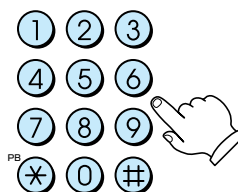
離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。

不在着信転送を登録する

1 ハンドセットを上げます。

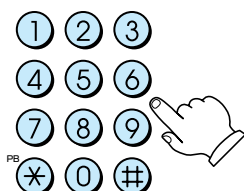
「ツーツー…」という音を確認してください。

2 不在着信転送用の特番（⑨②②［　　］）を押します。

「ププププププ」という音を確認してください。

3 ㊉㊉または㊊㊊を押します。

＊＊：個別着信のみ転送する
＃＃：個別着信と放送着信を転送する

4 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押します。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
PB ⊛ ⓪ ⊕

5 ⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。

6 ハンドセットを置きます。

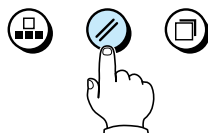
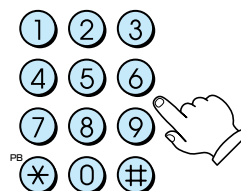
不在着信転送を解除する

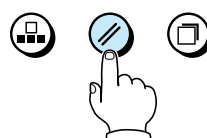
1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

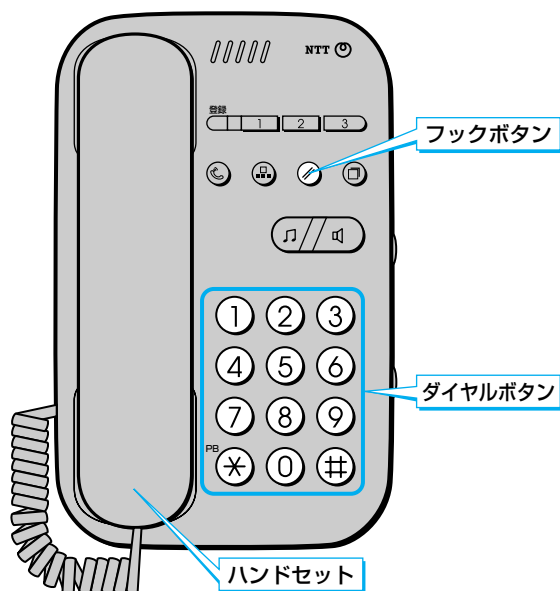
2 不在着信転送用の特番（⑨ ② ②［　　］）を押します。

「プププププ」という音を確認してください。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
PB ⊛ ⓪ ⊕

3 ⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

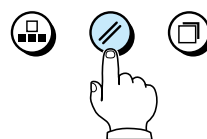
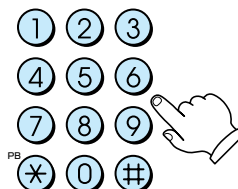
「ピーピー」という確認音が聞こえます。

4 ハンドセットを置きます。

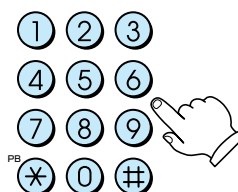
単体電話機をご利用になるには

3人でお話しする（会議通話）

外線でお話し中、または内線でお話し中に、他の人を内線で呼び出し、3人でお話しすることができます。

呼び出す方

1 お話し中に、（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

2 会議招集用の特番（⑨ ④ ②［　　］）を押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

4 相手の方が応答したら、再度（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

5 3人でお話しください。

ワンポイント

○フッキング操作とは

単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

お知らせ

- 単体電話機から4人目の方を呼び出すことはできません。
- お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディクローバーホンSⅢを例に説明しています。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴ります。ハンドセットを上げてお話しください。

2 呼び出した方が⊘（フック）ボタンを押す、または、フッキング操作を行うと、電話がつながりますから、3人でお話しください。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

ディスプレイを見ながらメニューを操作することにより、ネットコミュニティシステムαGX typeLのさまざまな機能を登録・設定することができます。

メニュー設定で行える登録・設定

メニューボタンを押したときに最初に表示されるメニューは、次の2つ※に分かれています。

「1：電話機毎設定」	電話機ごとに登録・設定できる
「2：システム一括設定」	「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ登録・設定できる

※録音電話機をご利用の場合は、「3：録音電話機設定」が追加されます。詳しくは録音電話機の取扱説明書を参照してください。

	分　類	設定名	概　　要	○:Webシステム設定あり ◎:特番操作あり
1 電話機毎設定	1.電話帳	1.個別電話帳登録	個々の内線電話機で使用する電話帳を登録する（☛P49）	○（☛P144） ◎（☛P124）
		2.電話帳検索	検索方法を選択して、個別／共通電話帳を検索する（☛P53、57、59）	－
		3.電話帳検索モード設定	電話帳ボタンを押したときに優先的に表示される検索画面をフリガナ／グループ／フリガナ全検索画面のどれにするかを設定する（☛P136）	－
		4.グループ名称設定	個別電話帳のグループに名前を設定する（☛P60）	○（☛P144）
		5.個別電話帳全消去	登録されている個別電話帳をすべて消去する（☛P49）	－
	2.外線発信	1.簡易自動再発信	相手の方がお話し中だったときや応答しなかったときに自動的に再ダイヤルする機能を設定／解除する（☛P41）	◎（☛P194）
	3.外線着信	1.着信音色設定	外線・内線の着信音を設定する（☛P37）	○（☛P143） ◎（☛P195）
		2.外線毎着信拒否	外線の着信音が鳴らないようにする（☛P37）	◎（☛P195）
		3.着信履歴／ランプ制御	外線・内線の着信時刻や発信者の電話番号などを記録する機能を設定／解除する（☛P43）	○（☛P145）
	4.留守／転送	1.不在着信転送設定	不在のときにかかってきた電話を特定の内線番号に転送する（☛P80）	◎（☛P195）
		2.転送電話設定	かかってきた外線電話をあらかじめ設定された3か所の電話番号に順次転送する（☛P88）	◎（☛P195）
	5.ワンタッチ	1.ワンタッチダイヤル登録	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する（☛P44）	○（☛P145）
	6.時計／アラーム	1.時計アラーム（1回）	電話機のアラーム（1回のみ）をセット／解除する（☛P136）	◎（☛P137、195）
		2.時計アラーム（毎日）	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）をセット／解除する（☛P136）	◎（☛P137、195）
	7.その他	1.主装置IPアドレス表示	主装置のLAN1（保守）とLAN2のIPアドレスを表示する（☛P136）	－
		2.自端末IPアドレス表示	自端末(IP電話機)のIPアドレスを表示する（☛P136）	－
		3.ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用する／使用しないを設定する（☛P136）	○（☛P145） ◎（☛P137）
		4.バックライト設定	ディスプレイのバックライト点灯／消灯を設定する（☛P137）	○（☛P146）

	分　類	設定名	概　　要	○:Webシステム設定あり ◎:特番操作あり
2 システム一括設定	1.電話帳	1.共通電話帳登録	すべての内線電話機で使用できる共通の電話帳を登録する（☛P49）	○（☛P148）
		2.グループ名称設定	共通電話帳のグループに名前を設定する（☛P60）	○（☛P148）
		3.共通電話帳全消去	登録されている共通電話帳をすべて消去する（☛P49）	−
		4.グループ着信拒否設定	登録されている電話帳グループ毎に着信拒否の設定をする（☛P139）	○（☛P149）
		5.コールバックサービス設定	登録されている電話帳グループ毎にコールバックの設定をする（☛P117）	−
	2.外線発信	1.簡易自動再発信設定	簡易自動再発信機能の使用および使用する場合に再ダイヤルする回数を設定する（☛P138）	−
		2.事業者識別番号付与	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与を設定する（☛P138）	○（☛P151）
	3.外線着信	1.話中着信設定	通話中に外線着信または内線着信があったときの内線電話ごとの動作を設定する（☛P138）	−
	4.保留	1.保留音設定	保留メロディを選択する（☛P138）	○（☛P148） ◎（☛P139,195）
	5.時計／アラーム	1.日付設定	時計機能の日付を設定する（☛P26）	○（☛P150） ◎（☛P195）
		2.時刻設定	時計機能の時刻を設定する（☛P28）	○（☛P150） ◎（☛P195）
	6.機能登録／設定	1.システムモード設定	システムモードを手動で切り替える（☛P139）	◎（☛P139,193）
		2.電話帳検索桁数設定	電話帳検索時の検索桁数を設定する（☛P139）	○（☛P151）

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

個々の電話機で行う登録・設定

■電話帳検索モードを設定する

電話帳を検索するときに表示される検索画面の優先順位を切り替えることができます。お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示される「フリガナ全検索優先」に設定されています。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「3：電話帳検索モード設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「0：フリガナ検索優先」または「1：グループ検索優先」または「2：フリガナ全検索優先」を選択し、決定ボタンを押します。

■時計アラームを設定／解除する

時計アラームをセットしておくと、その時刻に電話機のスピーカからアラームを鳴らすことができます。時計アラームには1回限りのワンショットアラームと、毎日同じ時刻に鳴るデイリーアラームの2種類があります。両方をセットすることもできます。

＜時計アラームをセットする＞
①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「6：時計／アラーム」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「1：時計アラーム（1回）」または「2：時計アラーム（毎日）」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「0：設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑥時刻（24時間制）をダイヤルボタンで押します。
⑦決定ボタンを押します。
⑧スピーカボタンを押します。

＜時計アラームを解除する＞
①「時計アラームをセットする」の手順①～④の操作を行います。
②上下ボタンで「1：解除」を選択し、決定ボタンを押します。
③スピーカボタンを押します。

■主装置のIPアドレスを表示する

主装置のLAN1（保守）、LAN2のIPアドレスを表示することができます。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「7：その他」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「1：主装置IPアドレス表示」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「1：LAN1（保守）」または「2：LAN2」を選択し、決定ボタンを押します。

■お使いの電話機（IP電話機）のIPアドレスを表示する

お使いの電話機(IP電話機)のIPアドレスを表示することができます。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「7：その他」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「2：自端末IPアドレス表示」を選択し、決定ボタンを押します。

■ヘッドセットを使用するかハンドセットを使用するかを設定する

お使いの電話機で、ヘッドセットを使用しない（ハンドセットを使用する）／ヘッドセットを使用する（ハンドセットを使用しない）を選択することができます。サービスキー（ヘッドセット）を設定しておくと、ヘッドセット選択時にはサービスキーが赤点灯します。ハンドセット選択時にはサービスキーが消灯します。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「1：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「7：その他」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「3：ヘッドセット設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「0：使用しない」または「1：使用する」を選択し、決定ボタンを押します。
⑥スピーカボタンを押します。

■バックライトの点灯／消灯を設定する

ディスプレイの照明（バックライト）の点灯／消灯を選択することができます。また、ハンドセットを上げたとき、ボタンを押したとき、電話がかかってきたときなどに、指定した時間のみ点灯するようにも設定できます。お買い求め時は、「常時消灯」に設定されています。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「1 ：電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「7 ：その他」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「4 ：バックライト設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「0 ：常時消灯」、「1 ：常時点灯」、「2 ：動作時点灯」のいずれかを選択し、決定ボタンを押します。
⑥手順⑤で「2 ：動作時点灯」を選択したときは、消灯するまでの時間（01 秒～99 秒）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押します。

ワンポイント

○アラームを止めるには
お買い求め時はアラーム音が約10秒間鳴るように設定されています。また、ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押すと、アラームが止まります。「システム設定」によって、アラーム鳴動の秒数やアラームを止めたときの動作（確認音を出す、音声で時刻をお知らせするなど）を設定することもできます。

○特番操作で時計アラームを設定／解除するには
①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③ワンショットアラーム用の特番（ 6 0 [ ]）またはデイリーアラーム用の特番（ 6 1 [ ]）を押す
④時刻（24時間制）をダイヤルボタンで押す
⑤決定ボタンを押す
⑥スピーカボタンを押す
解除するときは、手順④でクリアボタンを押します。

○特番操作でヘッドセットを使用するかハンドセットを使用するかを設定するには
①内線ボタンを押す
②ヘッドセットを使用するための特番（ 9 5 8 [ ]）またはヘッドセットを使用しないための特番（ 9 5 9 [ ]）を押す
③スピーカボタンを押す
サービスキー（ヘッドセットを設定しておくと、ヘッドセット選択時にはサービスキーが赤点灯します。ハンドセット選択時にはサービスキーが消灯します。

お知らせ

●「特番操作で時計アラームを設定／解除するには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。
●メニュー設定または特番操作でヘッドセットを使用するに設定した場合は、ドアホンからのチャイム音は小さく鳴ります。ディジタルシステムコードレス電話機およびディジタルシステムKT形コードレス電話機は、ヘッドセットを使用する設定はできません。
●「電話帳検索モードを設定する」の手順③で、「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、選択できません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

システム一括で行う登録・設定

登録・設定操作は、システム設定によって「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機でのみ行えます。

■簡易自動再発信の使用およびダイヤル回数を設定する

簡易自動再発信機能を使用するかどうかを設定します。また、発信を繰り返す回数を設定することができます。お買い求め時は再発信しないように設定されています。

<再発信する回数を設定する>

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「2：外線発信」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「1：簡易自動再発信設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「1：再発信回数設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑥回数（1～255回）をダイヤルボタンで押します。
⑦決定ボタンを押します。

<簡易自動再発信機能を使用できないようにする>

①「再発信する回数を設定する」の手順①～④の操作を行います。
②上下ボタンで「0：再発信なし」を選択し、決定ボタンを押します。

■話中着信を設定する

通話中に着信があったときの動作を設定することができます。設定は、特定の内線電話機を指定して変更できます。お買い求め時は話中着信不可に設定されています。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「3：外線着信」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「1：話中着信設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「0：話中着信不可」、「1：話中着信可（自動）」、「2：話中着信可（手動）」のいずれかを選択し、決定ボタンまたはダイヤルボタンを押します。
⑥内線番号をダイヤルボタンで押します。
⑦決定ボタンを押します。

■保留音を設定する

保留メロディを変更することができます。お買い求め時は「I NEED TO BE IN LOVE」に設定されています。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「4：保留」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「1：保留音設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押します。

0 ：保留音なし
1 ：「瞳がほほえむから」（今井美樹）
ABC 2 ：「HERE COMES THE SUN」（ビートルズ）
DEF 3 ：「ハイ・ホー」（ディズニー）
GHI 4 ：「未来予想図Ⅱ」（Dreams Come True）
JKL 5 ：「I NEED TO BE IN LOVE」(カーペンターズ)
MNO 6 ：「パッフェルベルのカノン」
PQRS 7 ：チャイム1
TUV 8 ：チャイム2
WXYZ 9 ：保留1
* ：保留2
# ：外部音源（オプション）

※IP電話機では、保留音を設定することはできません。

■事業者識別番号付与を設定する

携帯電話に電話をかけるとき、「システム設定」によってあらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与することができます。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「2：外線発信」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「2：事業者識別番号付与」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「0：自動付与しない」または「1：自動付与する」を選択し、決定ボタンまたはダイヤルボタンを押します。

■システムモードを切り替える

システムモード（昼、夜、休憩）を手動で切り替えることができます。また、時刻によって自動的にシステムモードが切り替わる「自動モード」に切り替えることもできます。システムモードの詳細（サービスクラスや着信方法など）は、あらかじめ「システム設定」で設定しておきます。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「6：機能登録／設定」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「1：システムモード設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押します。
0：自動モード　1：昼モード
2：夜モード　3：休憩モード
⑥スピーカボタンを押します。

■電話帳検索桁数を設定する

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）着信の時など、電話番号から電話帳を検索して名称表示するときに検索する桁数を設定することができます。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「6：機能登録／設定」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「2：電話帳検索桁数設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤検索桁数2桁(04〜12)をダイヤルボタンで押します。
⑥決定ボタンを押します。

■電話帳グループ着信拒否を設定する

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）着信の時など、電話番号が登録された電話帳が所属する電話帳グループ毎に着信拒否を行うか設定することができます。

①メニューボタンを押します。
②上下ボタンで「2：システム一括設定」を選択し、決定ボタンを押します。
③上下ボタンで「1：電話帳」を選択し、決定ボタンを押します。
④上下ボタンで「4：グループ着信拒否設定」を選択し、決定ボタンを押します。
⑤上下ボタンで「1：個別電話帳」、「2：共通電話帳」のいずれかを選択し、決定ボタンを押します。
項目番号（1または2）をダイヤルボタンで押してもかまいません。
⑥上下ボタンで「0：グループなし」〜「9：グループ9」までのいずれかを選択し、決定ボタンを押します。
項目番号（0〜9）をダイヤルボタンで押してもかまいません。
⑦上下ボタンで「1：なし」、「2：着信拒否」、「3：音声メールトーキ」、「4：指定内線」（「3：音声メールトーキ」、「4：指定内線」は、共通電話帳のみ）のいずれかを選択し、決定ボタンを押します。
項目番号（1〜4）をダイヤルボタンで押してもかまいません。
（「3：音声メールトーキ」、「4：指定内線」を選択した場合、次に内線番号をダイヤルボタンで入力し、決定ボタンを押してください。）

お知らせ

●保留音設定で、「保留音なし」および「外部音源」を設定したときは、外線の保留音のみが切り替わります。
●「電話帳グループ着信拒否を設定する」の手順③で、「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、選択できません。
●「特番操作で保留音を設定するには」および「特番操作でシステムモードを切り替えるには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順②へ進んでください。

ワンポイント

○「システム管理者」に設定されている内線電話機は
「システム一括設定」のメニュー設定が行えるように設定されている内線電話機を記入してお使いください。

内　線　番　号

○特番操作で保留音を設定するには
あらかじめ「システム設定」が必要です。
①内線ボタンを押す
②決定ボタンを押す
③保留音設定用の特番（＊ 9）を押す
④ 0 0 〜 1 1 を押す
0 0：保留音なし
0 1：「瞳がほほえむから」（今井美樹）
0 2：「HERE COMES THE SUN」（ビートルズ）
0 3：「ハイ・ホー」（ディズニー）
0 4：「未来予想図Ⅱ」（Dreams Come True）
0 5：「I NEED TO BE IN LOVE」(カーペンターズ)
0 6：「パッフェルベルのカノン」
0 7：チャイム1　0 8：チャイム2
0 9：保留1　1 0：保留2
1 1：外部音源（オプション）
⑤決定ボタンを押す
⑥スピーカボタンを押す

○特番操作でシステムモードを切り替えるには
①内線ボタンを押す
②システムモード切り替え用の特番を押す
9 5 0 [　　　　] ：自動モード
9 5 1 [　　　　] ：昼モード
9 5 2 [　　　　] ：夜モード
9 5 3 [　　　　] ：休憩モード
自動モードとは、「システム設定」された時間になると昼／夜／休憩のモードが自動的に切り替わるモードのことです。
③スピーカボタンを押す

パソコンを使って登録・設定をするには（Webシステム設定）

主装置と同じネットワークにパソコンを接続し、ネットコミュニティシステムαGX typeLのさまざまな機能をブラウザ上で登録・設定することができます。

Webシステム設定で行える登録・設定

主装置と接続する際のログインパスワードによって、登録・設定できるデータ項目が異なります。
Web設定を行うパソコンは、以下の条件を満たす必要があります。

・ブラウザ ：Microsoft Internet Explorer 6.0
・その他 ：Sun Microsystems社のVM バージョン1.6
（バージョン1.6以外は正しい動作は保証されません）

分　類	データ項目	概　　要	△:メニュー設定あり ◎:特番操作あり
一般ユーザ向け（個々に使用する電話機について簡単なデータを設定できます）	端末名称	内線番号とともにディスプレイに表示させる端末の名称を設定する（☛P143）	−
	着信音設定	外線の着信音を設定する（☛P143）	△（☛P37） ◎（☛P195）
	発信自動捕捉キー	ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押したときに自動捕捉する回線ボタンの順番を設定する（☛P143）	−
	着信自動捕捉キー	ハンドセットを上げる操作によって自動応答する回線ボタンの順番を設定する（☛P144）	−
	個別電話帳登録	個々の内線電話機で使用する電話帳や個別電話帳のグループ名の登録を行う（☛P144）	△（☛P49） ◎（☛P124）
	ワンタッチダイヤル登録	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する（☛P145）	△（☛P44）
	ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用しない／使用するを設定する（☛P145）	△（☛P136） ◎（☛P137）
	着信履歴／ランプ制御	外線・内線の着信時刻や発信者の電話番号などを記録する機能を設定／解除する（☛P145）	△（☛P43）
	SIP端末設定	SIP端末の関連内容を設定する（☛P146）	◎（☛P193）
	バックライト設定	ディスプレイのバックライト点灯／消灯を設定する（☛P146）	△（☛P137）
	一般パスワード変更	一般ユーザ向けのログインパスワードを変更する（☛P146）	−
保守ユーザ向け（システムで共通のデータを設定できます）	内線番号変更	内線電話機の内線番号の変更を行う（☛P147）	−
	端末着信鳴動設定	放送着信時に着信音を鳴らす回線ボタンを設定する（☛P147）	−
	保留音設定	保留メロディを選択する（☛P148）	△（☛P138） ◎（☛P139,195）
	共通電話帳登録	すべての内線電話機で使用できる共通の電話帳や共通電話帳のグループ名の登録およびグループ毎の着信拒否を行う（☛P148）	△（☛P49）
	カレンダ／時計設定	時計機能の日付および時刻を設定する（☛P150）	△（☛P26、28） ◎（☛P195）
	システムリブート予約／解除	システムに対し、日時を指定してリブート指示を行う（☛P150）	−
	事業者識別番号付与	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与を設定する（☛P151）	△（☛P138）
	電話帳連動名称表示	電話帳連動対象および電話帳検索時の桁数を設定する（☛P151）	△（☛P139）
	IP電話機のアドレス読み出し	IP電話機のアドレスの読み出しを行う（☛P151）	−

分　類	データ項目	概　　要	△:メニュー設定あり ◎:特番操作あり
保守ユーザ向け（システムで共通のデータを設定できます）	主装置ファームウェアの更新	主装置ファームウェアのチェックおよびダウンロードを行う（☛P152）	◎（☛P154）
	保守パスワード変更	保守ユーザ向けのログインパスワードを変更する（☛P152）	–
	一般パスワード初期化	一般ユーザ向けのログインパスワードをお買い求め時の設定にする（☛P152）	–
ホテルユーザ向け（祝日と料金テーブルを設定できます）	祝日設定	祝日を設定する（☛P153）	–
	料金テーブル設定	客室から国内／国際／携帯電話などへ発信した通話料金を計算するときに使用する料金テーブルを設定する（☛P153）	–
	ホテルパスワード変更	ホテルユーザ向けのログインパスワードを変更する（☛P153）	–

お知らせ

Webシステム設定については、当社ホームページでも最新の情報を提供しています。
NTT東日本エリア：http://web116.jp/ced/
NTT西日本エリア：http://www.ntt-west.co.jp/kiki/download/business/index.html
記載されているURLは予告なく変更される場合があります。

パソコンを使って登録・設定をするには（Webシステム設定）

主装置と接続してWebシステム設定を行う

①パソコンでインターネットエクスプローラ（6.0）を起動します。

②［アドレス］ボックスに主装置のURLを入力し、［移動］ボタンをクリックします。
URLは、http://10.0.0.1/gxl-web.htm（お買い求め時）です。
IPアドレスは設置時に工事担当者とご相談のうえ、お決めください。

IPアドレス（控え）	

③ログインパスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
一般ユーザ向け、保守ユーザ向け、ホテルユーザ向けのいずれかのパスワードを入力します。入力するログインパスワードによって、操作できるWebシステム設定のデータ項目が異なります。

④画面左側の項目一覧で、目的のデータ項目をクリックします。
クリックしたデータ項目の設定画面が表示されます。

⑤データ設定を行います。
設定操作については、データ項目のページを参照してください。

⑥［書込］ボタンをクリックすることで、データが主装置に設定されます。

お知らせ

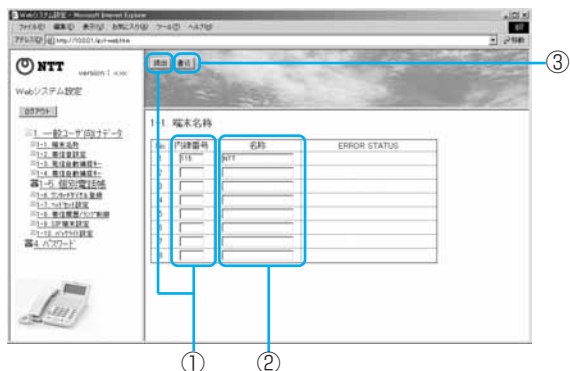
●ログインパスワードは、お買い求め時には次のように設定されています。画面左側の項目一覧にある「パスワード変更」によって変更できます。
一般ユーザ向け　：「ippan1」、「ippan2」、「ippan3」～「ippan12」
保守ユーザ向け　：「hosyu」
ホテルユーザ向け：「hotel」

●内線番号を指定する項目については、その内線番号の電話機からWebデータ設定許可用の特番（9 5 7［　　　　］）または「システム設定」によりWebデータ設定許可にしておくことが必要です。Webデータ設定禁止用の特番（9 5 6［　　　　］）または「システム設定」により、Webデータ設定禁止にするとその内線番号の電話機に対してデータを設定することができなくなります。

●インターネットエクスプローラの標準のボタン［戻る］や［更新］には対応していませんので、次の条件下でご利用ください。
・メニュー［表示］の［ステータスバー］のチェックを外してください。
・メニュー［表示］→［ツールバー］の［標準のボタン］と［リンク］のチェックを外してください。

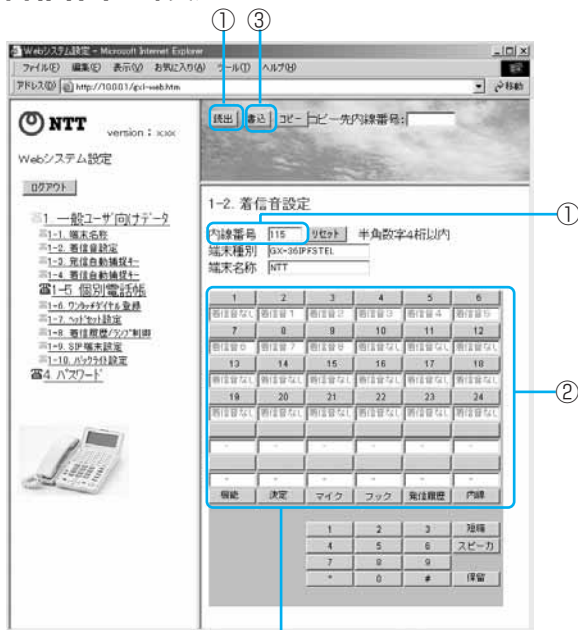
一般ユーザ向けデータ項目の登録・設定

個々の電話機について登録・設定します。保守ユーザのパスワードでログインしたときにも操作できます。

■端末名称を設定する

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。読み出しをせずに内線番号と名称を書き込むこともできます。

②最大全角6文字、半角12文字を入力します。端末名称なしにするときは名称を消去して書き込みを実行してください。

③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■着信音を設定する

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②設定する回線ボタンをクリックし、着信音の音色番号（「着信音1」～「着信音8」、「着信音なし」）を選択します。

③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■発信自動捕捉キーを設定する

オフフックまたは、スピーカキー押下による発信操作で、外線を自動捕捉する順序を設定します。

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②「捕捉順変更開始」ボタンをクリックします。

③優先して捕捉したい回線ボタンから順番にクリックしてください。

④設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

※捕捉順を修正する場合は、「捕捉順変更開始」ボタンをクリックし、捕捉順1から設定し直します。

お知らせ

内線番号を指定する項目については、その内線番号の電話機からWebデータ設定許可用の特番（9 5 7［　　　　］）または「システム設定」によりWebデータ設定許可にしておくことが必要です。Webデータ設定禁止用の特番（9 5 6［　　　　］）または「システム設定」により、Webデータ設定禁止にするとその内線番号の電話機に対してデータを設定することができなくなります。

パソコンを使って登録・設定をするには（Webシステム設定）

■着信自動捕捉キーを設定する

オフフックまたは、スピーカキー押下による着信応答操作で、自動捕捉する外線を設定します。着信自動捕捉と端末着信鳴動が設定されている外線着信のみ、発信者番号・発信者氏名表示がされます。

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

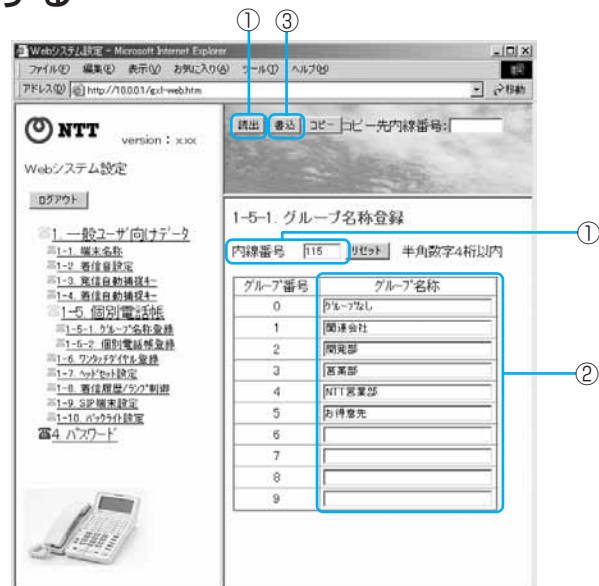
①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②「捕捉順変更開始」ボタンをクリックします。

③優先して捕捉したい回線ボタンから順番にクリックしてください。

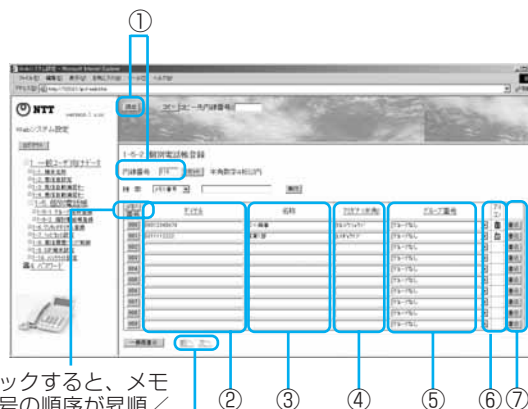
④設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

※捕捉順を修正する場合は、「捕捉順変更開始」ボタンをクリックし、捕捉順1から設定し直します。

■個別電話帳のグループ名を登録する

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②最大全角10文字、半角20文字を入力します。

③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■個別電話帳を登録する

クリックすると、メモリ番号の順序が昇順／降順に切り替わります。

前後のデータを表示させるときにクリックします。

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②電話番号：最大32桁（「＊」、「#」、「P（ポーズ：2桁に相当（P1s～P9s））」も含む）を入力します。

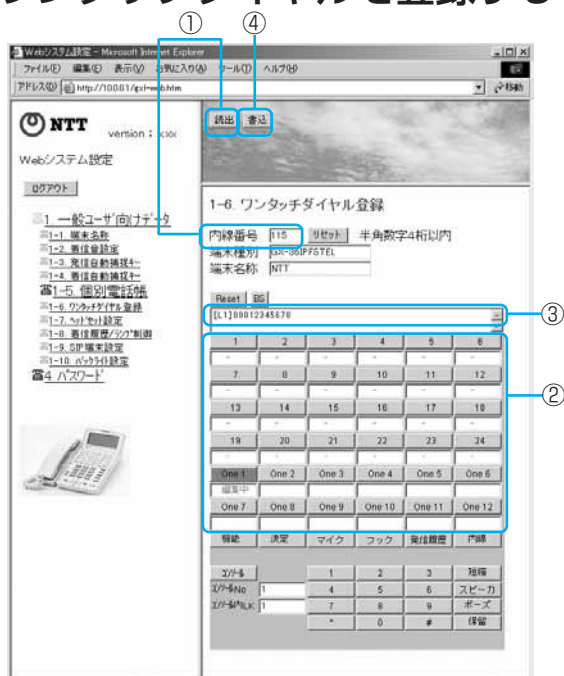
③最大全角10文字、半角20文字を入力します。

④最大半角12文字を入力します。

⑤グループを選択します。

⑥アイコンを選択します。

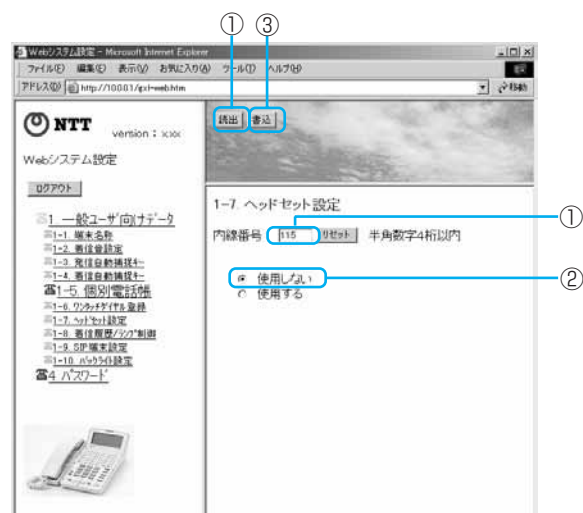
⑦設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■ワンタッチダイヤルを登録する

① [内線番号] ボックスに内線番号（半角）を入力して [読出] ボタンをクリックします。

②設定するワンタッチボタンの場所をクリックすると、現在のデータが表示され、変更できます。

③最大32桁（「＊」、「#」、「P（ポーズ：3秒固定）」等も含む）を指定します。

④ [書込] ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■ヘッドセットを使用しない／使用するを設定する

① [内線番号] ボックスに内線番号（半角）を入力して [読出] ボタンをクリックすると、現在の内容が表示されます。

②「使用しない」「使用する」のボタンをクリックしてオンにします。

③設定後、[書込] ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■着信履歴／ランプ制御を設定する

内線ボタン、外線ボタンごとに着信履歴を残す／残さないを設定することができます。なお、残す場合は着信履歴ランプを点滅させる／点滅させないを設定することができます。

①[内線番号]ボックスに内線番号（半角）を入力して[読出]ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②回線ボタンまたは[内線]ボタンをクリックするごとに、「残さない」→「残す／OFF」→「残す／ON」が切り替わります。

残さない　：着信履歴を残さない

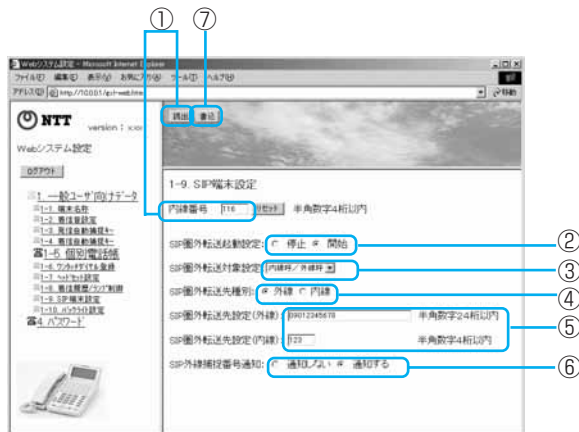
残す／OFF：着信履歴を残し、未応答時に着信履歴ランプを点滅しない

残す／ON　：着信履歴を残し、未応答時に着信履歴ランプを点滅させる

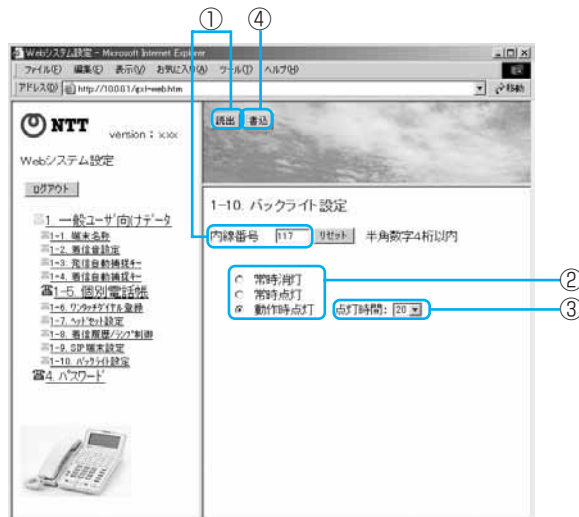
③設定後、[書込]ボタンをクリックして書き込みを実行します。

パソコンを使って登録・設定をするには（Webシステム設定）

■SIP端末設定

SIP端末が圏外になった時に、外線または内線の電話に転送することができます。
圏外転送の開始／停止、転送する着信の種類、転送先の種類、転送先の電話番号を設定します。
また、発信番号の先頭に外線捕捉番号を通知しない／通知するを設定します。

①[内線番号]ボックスに内線番号（半角）を入力して[読出]ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。
②SIP圏外転送起動設定の［停止］または［開始］ボタンをクリックしてオンにします。
③圏外転送先の対象となる着信を指定します（全着信、外線からの着信のみ、内線からの着信のみから選択できます）。
④SIP圏外転送先種別の［外線］または［内線］ボタンをクリックしてオンにします。
⑤SIP圏外転送先種別が外線の場合は、SIP圏外転送先設定（外線）（半角数字24桁以内）を設定し、SIP圏外転送先種別が内線の場合は、SIP圏外転送先設定（内線）（半角数字4桁以内）を設定します。
⑥SIP外線捕捉番号通知の［通知しない］または［通知する］ボタンをクリックしてオンにします。
⑦設定後、[書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■バックライト設定を行う

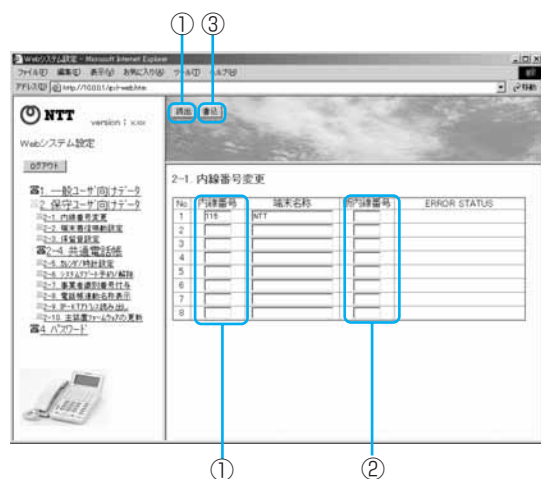
ディスプレイの照明（バックライト）の点灯／消灯を選択することができます。また、動作時に指定した時間のみ点灯するようにも設定できます。

①［内線番号］ボックスに内線番号(半角)を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。
②「常時消灯」、「常時点灯」、「動作時点灯」のいずれかをクリックします。
常時消灯：常時消灯する
常時点灯：常時点灯する
動作時点灯：ハンドセットを上げたとき、ボタンを押したとき、電話がかかってきたときなどに指定した時間点灯する。
③「動作時点灯」をクリックした場合は「点灯時間」を入力（01秒〜99秒）します。
④設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■一般ログインパスワードの変更

①新規のパスワードを入力します。
※入力できるパスワードは、4〜8桁です。
②確認用のパスワードを入力します。
③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

保守ユーザ向けデータ項目の登録・設定

内線電話機に共通の登録・設定を行います。一般ユーザやホテルユーザのパスワードでログインしたときには操作できません。

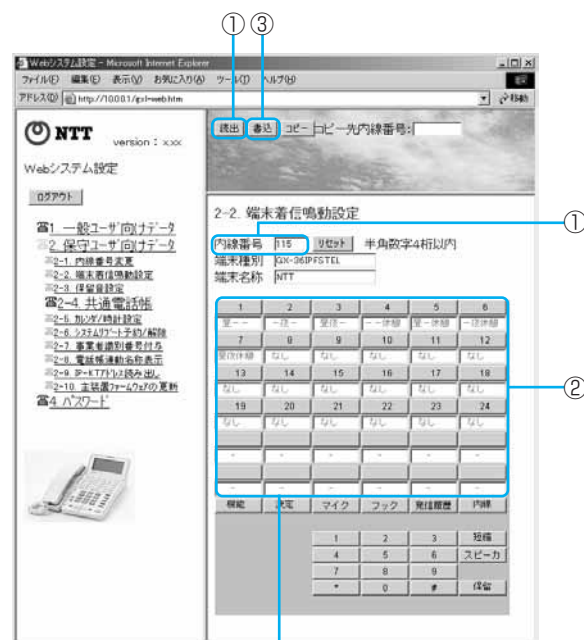
■内線番号を変更する

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②最大4桁の新しい内線番号を入力します。

※内線番号の桁数は「システム設定」で決められています。

③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■放送着信時に着信音を鳴らす回線ボタンを設定する（端末着信鳴動設定）

外線着信時に、鳴動させる回線キーを設定します。鳴動する着信音は、着信音設定で設定します。

回線ボタンの表示は、読み出した電話機の回線数により変わります。

①［内線番号］ボックスに内線番号（半角）を入力して［読出］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。

②回線ボタンをクリックするごとに、「昼」→「夜」→「休憩」→「昼夜―」→「昼―休憩」→「―夜休憩」→「昼夜休憩」→「なし」が切り替わります。

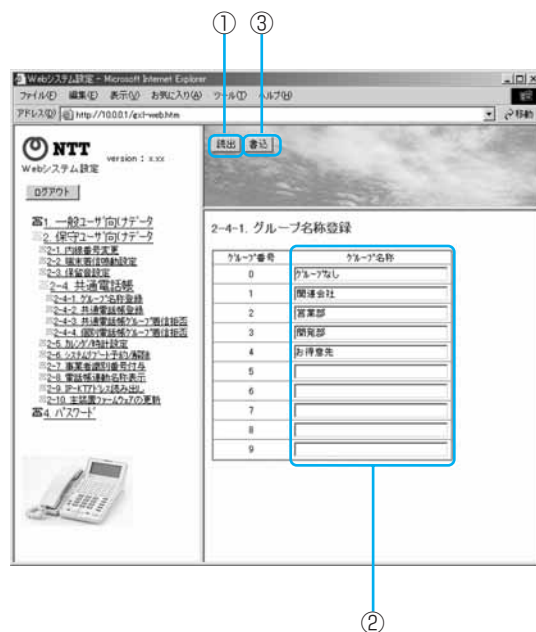
※昼／夜／休憩は、システムモードを表します。

③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

パソコンを使って登録・設定をするには（Webシステム設定）

■外線保留音を設定する（保留音設定）

①選択する曲名のボタンをクリックしてオンにします。
②設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■共通電話帳のグループ名を登録する

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②最大全角10文字、半角20文字を入力します。
③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■共通電話帳を登録する

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②電話番号：最大32桁（「＊」、「#」、「P（ポーズ：2桁に相当（P1s〜P9s））」も含む）を入力します。
③最大全角10文字、半角20文字を入力します。
④最大半角12文字を入力します。
⑤グループを選択します。
⑥アイコンを選択します。
⑦設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■共通電話帳グループ着信拒否を設定する

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。

②設定する電話帳グループを選択します。

③「音声メールトーキ」、「指定内線」のいずれかを選択した場合、最大4桁の内線番号を入力します。

※ 内線番号の桁数は「システム設定」で決められています。

④設定後、[書込]ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■個別電話帳グループ着信拒否を設定する

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。

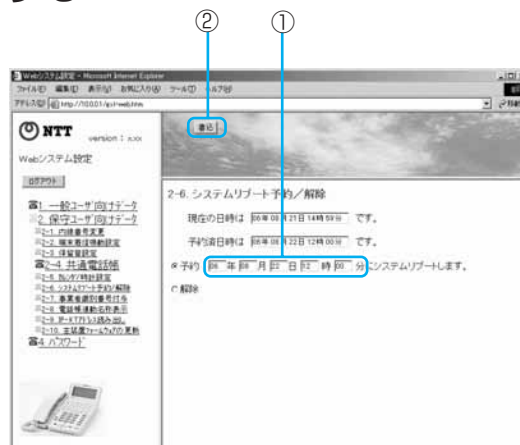
②設定する電話帳グループを選択します。

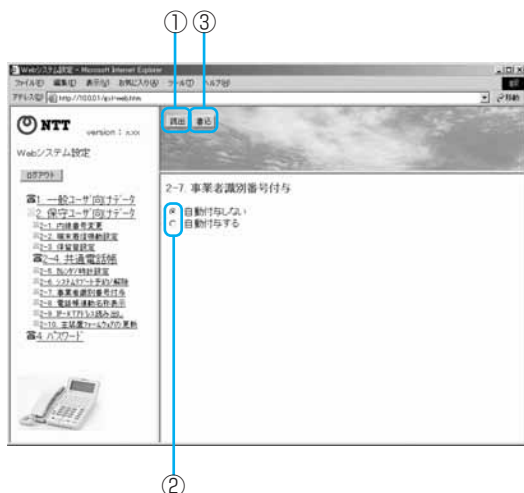
③設定後、[書込]ボタンをクリックして書き込みを実行します。

パソコンを使って登録・設定をするには（Webシステム設定）

■日付・時刻を設定する（カレンダ／時計設定）

①読み出しを実行すると、現在の日時が表示されます。
②時刻表示は、24時間制（初期値）か12時間制（AM/PM）を選択できます。
③西暦の下2桁、月（2桁）、日（2桁）を入力します。
④時（2桁）、分（2桁）を入力します。
⑤設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

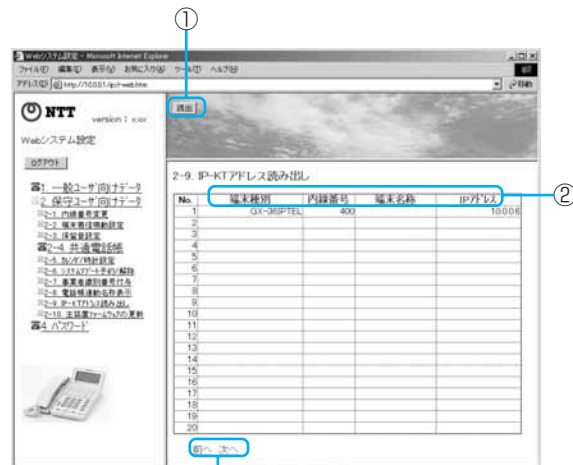
■システムリブートを予約／解除する

①リブートする日時を指定します。
②設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。
※現在の日時と予約した日時が表示されます。
※リブート予約されていない場合は、リブート予約済日時に「－－年－月－日－時－分」と表示されます。
※予約中に解除を選択して書き込みをすると、予約が解除されます。
※リブート予約した場合には、主装置がリブートする前に必ずログアウトしてください。

事業者識別番号付与を設定する

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②「自動付与しない」「自動付与する」のボタンをクリックしてオンにします。
③設定後、[書込]ボタンをクリックして書き込みを実行します。

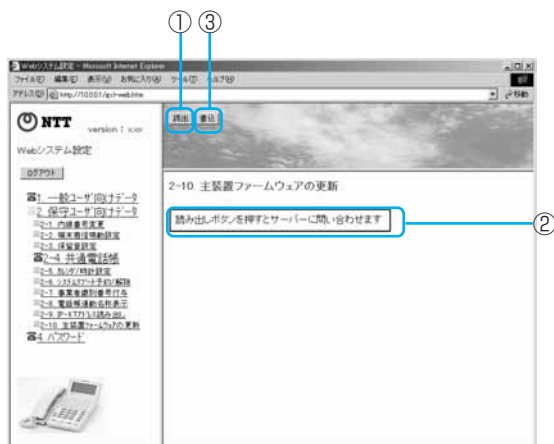
電話帳連動名称表示の設定

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②連動される電話帳を選択します。
③電話帳検索桁数（4～12）を選択します。
④設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

IP電話機のアドレス読み出しを行う

接続されているIP電話機について、端末種別、内線番号、端末名称、IPアドレスを表示することができます。

前後のデータを表示させるときにクリックします。

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②「端末種別」、「内線番号」、「端末名称」、「IPアドレス」のいずれかをクリックすると、クリックした項目の昇順／降順に切り替わります。

■主装置ファームウェアの更新

①［読出］ボタンをクリックしてバージョンアップセンターに新しいファームウェアがあるかチェックします。

②チェックの結果、次のいずれかのメッセージが表示されます。

(1)最新ファームウェア有：
［書込］ボタンでダウンロードを開始します。

(2)重要最新ファームウェア有：
［書込］ボタンでダウンロードを開始します。

(3)最新ファームウェア無し

③メッセージが(1)か(2)のとき、［書込］ボタンをクリックすると、最新ファームウェアのダウンロードを開始します。正常にダウンロードが開始すると、②の位置に「ダウンロードを開始しました」とメッセージが表示されます。

※ダウンロード中は、システムデータ設定端末およびメニュー設定システム管理者端末のディスプレイに「ファームウェアダウンロード中」と表示されます。ダウンロードが終了すると、「ファームウェアダウンロード済」と表示されます。また、通信エラーなどでダウンロードが失敗した場合は、「ファームウェアダウンロード失敗」と表示されます。

※②の問い合わせ結果は、システムデータ設定端末およびメニュー設定システム管理者端末のディスプレイにも表示されます（ただし、最新ファームウェアなしの場合はディスプレイには表示されません）。

※サーバーへの問い合わせ、およびダウンロードは、システムで同時に複数の操作で実行することはできません。
システムデータ設定端末およびメニュー設定システム管理者端末からの操作で、もうすでにサーバーへの問い合わせやダウンロードが開始されている場合、②の位置に「他の方法で問い合わせ中またはダウンロード中です」と表示されます。システムデータ設定端末およびメニュー設定システム管理者端末での操作を確認してください。

■保守ログインパスワードの変更

①新規のパスワードを入力します。
※入力できるパスワードは、半角英数4～8桁です。
全角文字をコピーし貼り付けた場合の入力は可能ですが、Webブラウザがフリーズする場合があるため行なわないで下さい。

②確認用のパスワードを入力します。

③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

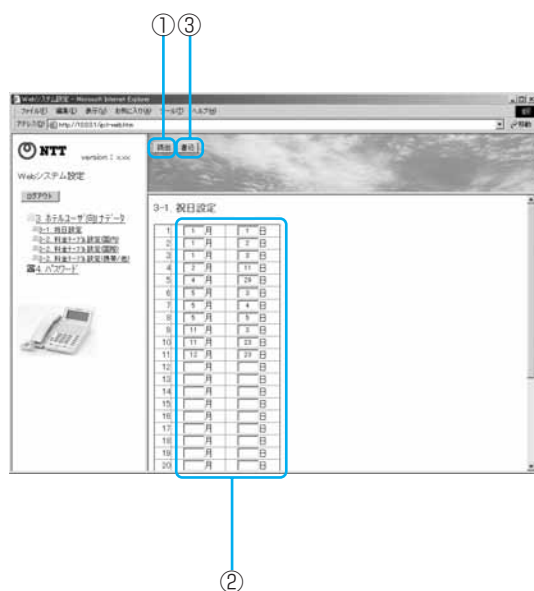
■一般ログインパスワードの初期化

一般ユーザ向けパスワードがわからなくなったとき、一般ユーザ向けパスワードをすべて初期化します。

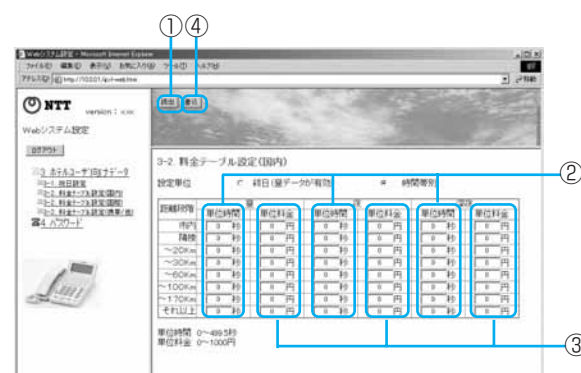
①［書込］ボタンをクリックすることで、一般向けのパスワードがすべてお買い求め時の設定になります。

ホテルユーザ向けデータ項目の登録・設定

祝日設定と料金テーブルの設定を行います。操作するには、ホテルユーザのパスワードでログインする必要があります。

■祝日を設定する

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②月日を入力します。
③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

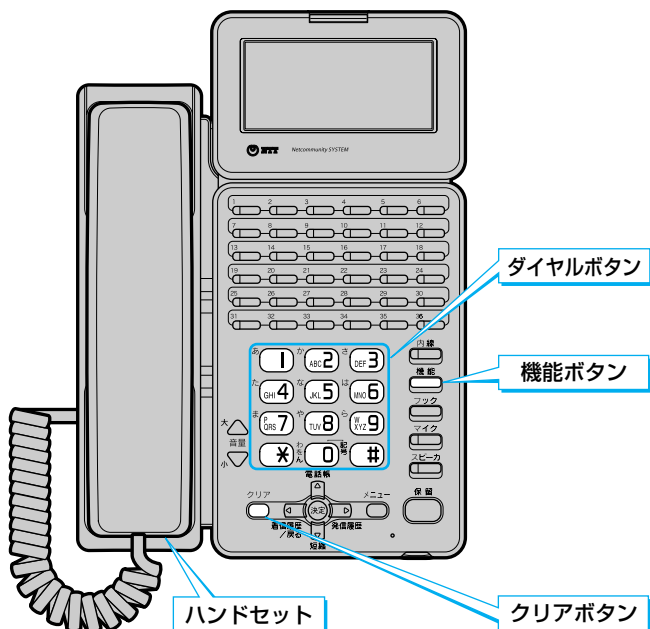
■料金テーブルを設定する（国内、国際、携帯／他）

国内、国際、携帯／他ともに、設定方法は同じです。

①読み出しを実行すると、現在の設定内容が表示されます。
②単位時間（0～499.5秒）を入力します。
③単位料金（0～1000円）を入力します。
④設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

■ホテルログインパスワードの変更

①新規のパスワードを入力します。
※入力できるパスワードは、4～8桁です。
②確認用のパスワードを入力します。
③設定後、［書込］ボタンをクリックして書き込みを実行します。

主装置ファームウェアを更新するには

ネットコミュニティシステムαGX typeLのファームウェア更新が必要かどうかをチェックし、必要な場合にはファームウェアをダウンロードして更新する機能を利用できます。このサービスをご利用になるには、オプションとシステム設定が必要です。

最新ファームウェアがあるかどうかを手動でチェックする

手動でチェックするには、「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P139）で次のように操作します。

1 ハンドセットを置いたまま、機能ボタンを押します。

9月19日（月） 午後 3:05
1001

2 最新バージョン問合せの特番（＊ 1 [　　]）を押します。

チェックが行われたあと、結果により「重要最新ファームウェア有」、「最新ファームウェア有」、「最新ファームウェアなし」のいずれかが表示されます。

9月19日（月） 午後 3:05
1001
機能

9月19日（月） 午後 3:05
1001
重要最新ファームウェア有

または

9月19日（月） 午後 3:05
1001
最新ファームウェア有

または

9月19日（月） 午後 3:05
1001
最新ファームウェアなし

自動ダウンロードするように設定されている場合、自動ダウンロードの時刻になるとダウンロードが開始されます。ダウンロード中は「ファームウェアダウンロード中」と表示され、終了時は「ファームウェアダウンロード済」と表示されます。ダウンロードに失敗した場合は、「ファームウェアダウンロード失敗」と表示されます。
自動ダウンロードしないように設定されている場合は、必要に応じて「最新ファームウェアを手動でダウンロードする」（☛P155）の操作を行ってください。

ワンポイント

●チェック結果やダウンロード失敗の表示をクリアするには
チェックの結果や「ファームウェアダウンロード失敗」などのお知らせは、「システム管理者」に設定されている内線電話機すべてに表示されます。表示を消すには、機能ボタン、クリアボタンの順に押します。ただし、「ファームウェアダウンロード中」の表示を手動で消すことはできません。

お知らせ

最新ファームウェアの有無のチェックは、Webシステム設定からも行えます。（☛P152）

最新ファームウェアを手動でダウンロードする

手動または自動でチェックを行った結果、ディスプレイに「重要最新ファームウェア有」または「最新ファームウェア有」と表示されたときは、ファームウェアのダウンロードおよび更新ができます。「システム管理者」に設定されている特定の内線電話機（☛P139）で次のように操作します。

1 ハンドセットを置いたまま、機能ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

2 ファームウェアダウンロード実行の特番（＊ 2 [　　　]）を押します。

ダウンロードが実行されます。

9月19日(月) 午後 3:05
1001
機能

9月19日(月) 午後 3:05
1001
ﾌｧｰﾑｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ中

9月19日(月) 午後 3:05
1001
ﾌｧｰﾑｳｪｱﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ済

3 主装置の電源を一度切ってから入れ直します。

ファームウェアの更新が完了します。

お知らせ

- 最新ファームウェアの有無のチェックは、Webシステム設定からも行えます。（☛P152）
- ファームウェアのダウンロード中は、主装置の電源を切らないでください。
- 主装置の電源の切りかたは、P25のワンポイントの注意を参照してください。

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

ネットコミュニティシステムαGX typeLには、オプション装置／オプションユニットとして次のものが用意されています。ご利用になるときや詳細については、当社のサービス取扱所へご相談ください。

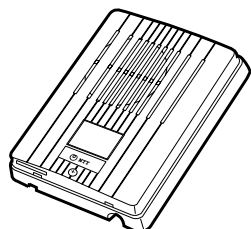
●構内放送用設備
◎外部アンプスピーカ

構内放送用設備や外部アンプスピーカを主装置に接続すると、「システム設定」した内線電話機から構内放送ができます。また、録音ジャックユニットへ接続すると、外線・内線の着信音などを拡声することができます。

○ドアホン

ドアホンとドアホン接続装置を主装置に接続すると、どの電話機からもドアホンからの呼び出しに答えたり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。

○カラーカメラドアホン

玄関先の方を一般のテレビまたは、カラーモニタテレビに映し出し、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。カラーカメラドアホンは2台まで接続できます。映像を映し出すにはカラーカメラドアホン用テレビアダプタが必要です。

ワンポイント

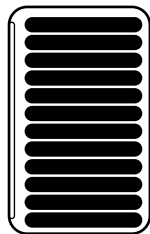
○**オプションについて**

- ○：当社で用意しています。
- ◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。
- ●：お客さまでご用意していただきます。

◎外部音源

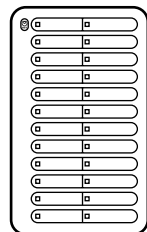
外部の保留音源装置、トーキ装置を接続できます。接続した音源は、「システム設定」により選択します。外部の保留音源を主装置に接続すると、お好みのメロディやアナウンスを保留音として相手の方に流すことができます。

◯外線表示盤

外線表示盤を接続すると、外線使用状況を表示することができます。

ランプ表示は次のようになります。

外線着信中　：点滅
外線使用中　：点灯
外線を保留中　：遅い点滅

◯状態表示盤

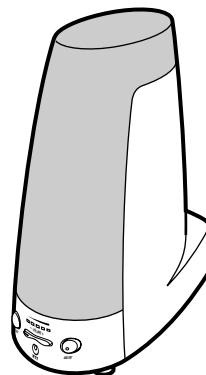
状態表示盤を接続すると、外線使用状況や音声メールの受信状態を表示することができます。

◯録音ジャックユニット

内線電話機に録音ジャックユニットを搭載すると、次のような装置を接続することができます。

- **通話録音装置やテープレコーダなどの録音装置を接続**

  電話でのお話しを録音することができます。重要な用件を録音するときや、メモを必要とするときに便利です。

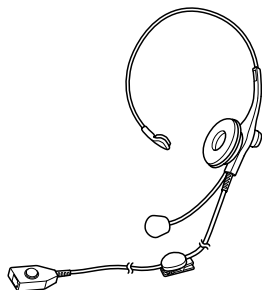
- **音声会議装置などの外部音声入出力装置を接続**

  接続した装置から、音声の入出力をすることができます。離れた場所との会議通話などで、ハンドセットを使わずに電話でお話しする場合に便利です。

- **外部アンプスピーカなどの放送装置を接続**

  アンプ内蔵スピーカ、またはアンプとスピーカを電話機に接続すると、外線・内線の着信音や音声呼出の声を外部スピーカで聞くことができます。電話機がある場所から離れることが多い場合や、周囲に騒音がある場合などに便利です。

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

○ヘッドセット

内線電話機にヘッドセットを接続すると、ハンドセットを上げなくてもお話しできます。

◎単体電話機

現在お使いの電話機を接続することができます。種類によっては接続できないものもありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。接続した単体電話機の機能・操作については、単体電話機の説明を参照してください。（☛P120）

○双方向アンプユニット

双方向アンプユニットを接続すると、転送電話機能がご利用になれます。「システム設定」により内線電話機に転送電話の機能を設定すると、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定しておいた転送先に電話を転送することができます。

○内線延長装置（バス電話機用）

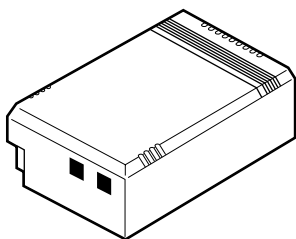
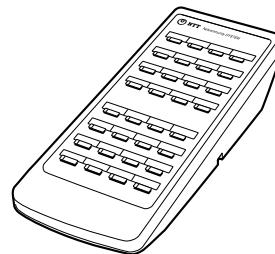
内線延長装置を接続すると、内線を延長して広い範囲で内線電話機を使うことができます。

ワンポイント

○オプションについて

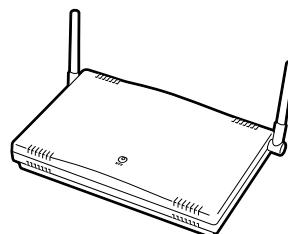
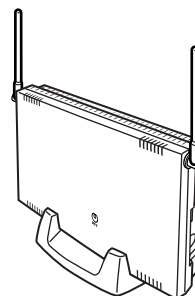
○：当社で用意しています。

◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

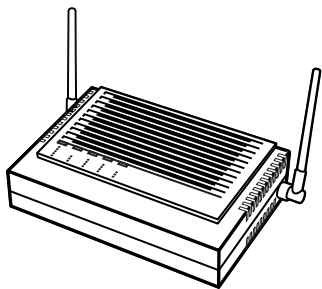
●：お客さまでご用意していただきます。

○コンソール（☛P22）

○音声メール

音声メールユニットを接続すると、通話録音などのいろいろな音声メールサービスがご利用になれます。詳しくは音声メールの取扱説明書を参照してください。

○ディジタルシステムコードレス接続装置

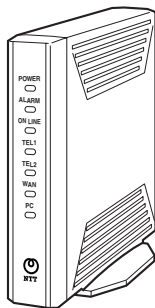
ディジタルシステムコードレス接続装置を収容することにより、ディジタルシステムコードレス電話機、ディジタルシステムKT形コードレス電話機を収容することができます。

○IPディジタルシステムコードレス接続装置

LANネットワーク上にIPディジタルシステムコードレス接続装置を収容することにより、ディジタルシステムコードレス電話機、ディジタルシステムKT形コードレス電話機を収容することができます。

○ワイヤレスアクセスポイント

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、携帯電話（無線LAN対応FOMA）をSIP端末として内線収容することやIPコードレス電話機を内線収容することができます。
SIP端末によっては受話音量を上げると通話エコーが気になる場合があります。その場合は、受話音量を小さくしてください。

○IPコードレス電話機

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、内線電話機として収容することができます。

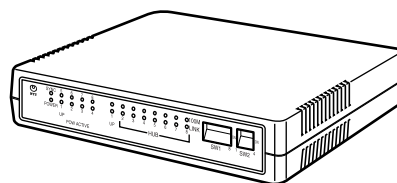
○IP電話機能内蔵ターミナルアダプタ VG210

LANネットワーク上に収容し、電話機やファクスをSIP端末として内線収容することができます。電話機やファクスの種類によっては接続できないものもありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。

○ディジタルシステムコードレス電話機

○ディジタルシステムKT形コードレス電話機

内線電話として、各コードレス電話機を増設することができます。この増設にはコードレス電話機接続装置の収容が必要です。詳しくは各取扱説明書を参照してください。

○給電HUB

HUBとしての機能に加え、電源供給する・しないを使用するポートごとに制御することができます。詳しくは給電HUBの取扱説明書を参照してください。

○IP電話機

LANネットワーク上に内線電話機として、IP電話機を増設することができます。
一部機能を除いては、標準電話機と同じようにお使いいただけます。

ワンポイント

IPマーク IP について

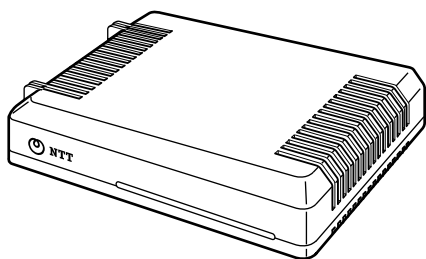
IP電話機あるいはIPディジタシステムコードレス接続装置を用いて、接続したコードレス電話機からお使いいただける機能 IP を付けています。

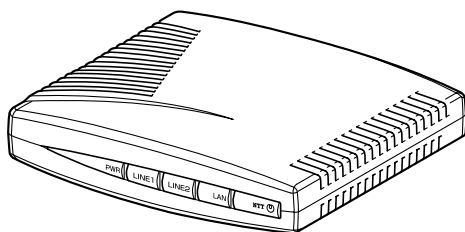
ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

○パソコンアダプタ

パソコンアダプタは、内線またはISDN回線を使用して、パソコンなどをサーバやインターネットなどに接続するターミナルアダプタです。詳しくはパソコンアダプタの取扱説明書を参照してください。

○αLANルータ

αLANルータを接続すると、内線またはISDN回線（INSネット64/1500）を使用し、イーサネットLANをルータ接続することができます。詳しくはαLANルータの取扱説明書を参照してください。

○防水電話機

内線電話機として、防水電話機を増設することができます。防水電話機は、電気機械器具および配線材料の防水試験（JIS C 0920）の保護等級4（防まつ形）の規格に適合した電話機です。水の飛まつを受けてもご使用になれます。詳しくは防水電話機の取扱説明書を参照してください。

○録音電話機

内線電話機として、録音電話機を増設することができます。標準電話機の機能とともに、ディスプレイを見ながら簡単な操作で留守・録音機能をご利用になれます。詳しくは録音電話機の取扱説明書を参照してください。

○カールコードレス電話機

内線電話機として、カールコードレス電話機を増設することができます。ベースセットから半径約80 mの範囲（見通し距離）で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用になれます。詳しくはカールコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。

ワンポイント

○オプションについて

- ○：当社で用意しています。
- ◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。
- ●：お客さまでご用意していただきます。

○ホテル管理装置

ホテル等での客室管理や通話料金の管理をするアプリケーション用品です。主装置に接続したパソコンにセットアップして、通話料金印字用プリンタ等を組み合わせて使用します。詳しくはホテル管理装置の取扱説明書を参照してください。

○客室電話機

フロントとの連絡、モーニングコールの設定などの操作を可能とした、ホテル等の客室で利用するための電話機です。詳しくは客室電話機の取扱説明書を参照してください。

○DESKPORT for αGX

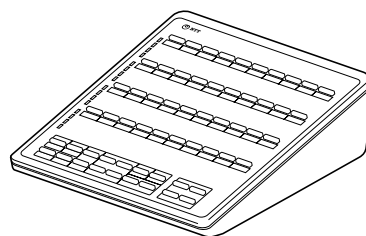
主装置に接続されたパソコンにインストールしてパソコンと電話機を一組にしたCTIサービスを可能とするアプリケーション用品です。

詳しくはDESKPORT for αGXの取扱説明書を参照してください。

○ホテルコンソール

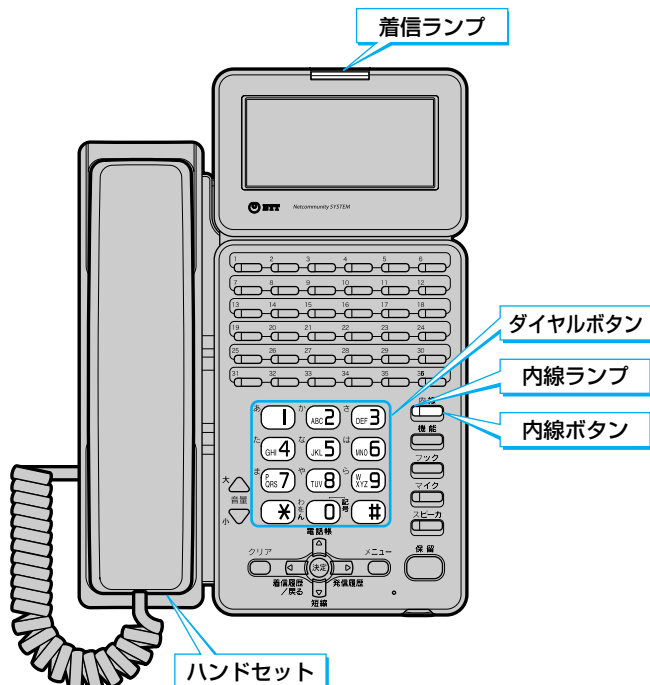
フロント電話機とホテルコンソールを接続すると、次のような機能を利用することができます。

- フロントメッセージの設定
- モーニングコールの設定
- チェックイン／チェックアウトの設定
- 客室電話機の管理

詳しくはホテルコンソールの取扱説明書を参照してください。

○コミュニケータ業務支援装置

コミュニケータ業務を支援するためのアプリケーション用品です。主装置に接続したパソコンにセットアップします。自動着信呼分配ごとの着信状況や、オペレータ別の運用状況をモニタリングすることができます。また、プリンタを接続して、運用状況を集計して印刷することも可能です。詳しくはコミュニケータ業務支援装置の取扱説明書を参照してください。

ドアホンとお話しするには

ドアホンを接続しているときは、どの内線電話機でもドアホンからの呼び出しに応答したり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。

ワンポイント

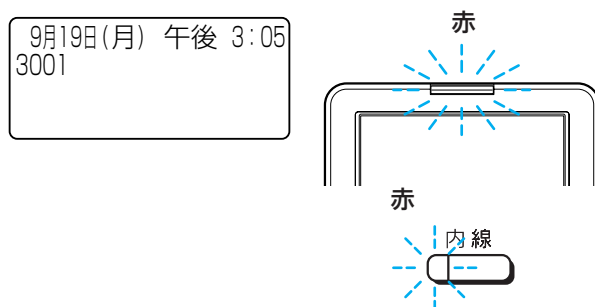
○チャイム音が鳴らない電話機で応答するには

ハンドセットを上げて、特殊代理応答用の特番（# 3 [　　　]）、または統合代理応答用の特番（# # [　　　]）を押すと応答できます。

お知らせ

- ドアホンからの呼び出しに応答するときは、内線ランプ、着信ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを上げても応答することはできません。内線ランプが点滅している時間は「システム設定」することができます。
- チャイム音が鳴るように設定した電話機がお話し中のときは、チャイム音が鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機やチャイム音が鳴る時間は、「システム設定」で変更できます。
- 「システム設定」により、テレビドアホンをご利用になれます。
- 「ドアホンの周囲の音を聞く」の手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 内線電話機がヘッドセットを使用するように設定されている場合、チャイム音は小さく鳴ります。

ドアホンからの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。

ドアホンを2台以上接続したときは、チャイム音が異なります。

2 ハンドセットを上げて、お話しください。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ドアホンの周囲の音を聞く

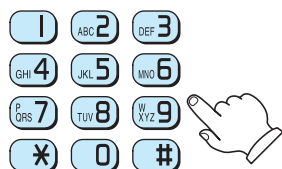
1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

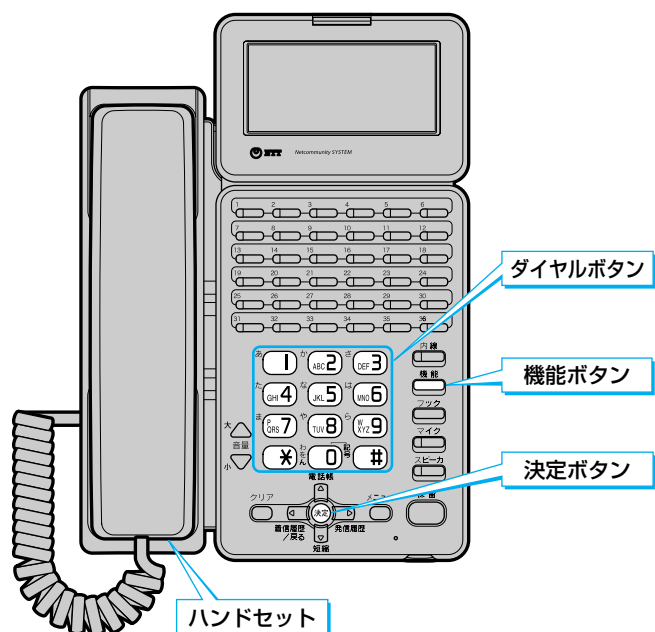
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 ドアホンの内線番号をダイヤルボタンで押します。

ドアホンの周囲の音が聞こえます。ハンドセットを上げると、ドアホン側の方とお話しすることもできます。

9月19日(月) 午後 3:05
3001

ドアの電子錠を操作するには（施錠コントロール）

ドアの電子錠と連動させると、電話機からの操作で電子錠の解除や施錠が行えます。

通話中のドアホンの電子錠を解除／施錠する

1 ドアホンとのお話し中に機能ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
3001
PB

2 電子錠解除／設定用の特番（7 3 [ ]）を押します。

現在の状態が表示されます。

テレコントロール
テレコン1状態 オフ

0:オフ/1:オン

3 解除／施錠の指定番号（0 または 1）を押します。

テレコントロール
テレコン1状態 オフ

0 ：オフ（電子錠を解除する）
1 ：オン（電子錠をかける）

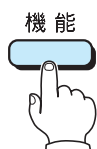
4 決定ボタンを押します。

テレコントロール
テレコン1状態 オフ
設定しました

5 ハンドセットを置きます。

ドアホンの電子錠を指定して確認／解除／施錠する

1 ハンドセットを置いたまま、機能ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

2 電子錠解除／設定用の特番（7 3 [　　]）を押します。

テレコントロール
リレー番号
（1〜8）

3 リレー番号（1 〜 8）を押します。

現在の状態が表示されます。

テレコントロール
テレコン1状態　　　オフ
0：オフ/1：オン

4 解除／施錠の指定番号（0 または 1）を押します。

テレコントロール
テレコン1状態　　　オン

0 ：オフ（電子錠を解除する）
1 ：オン（電子錠をかける）

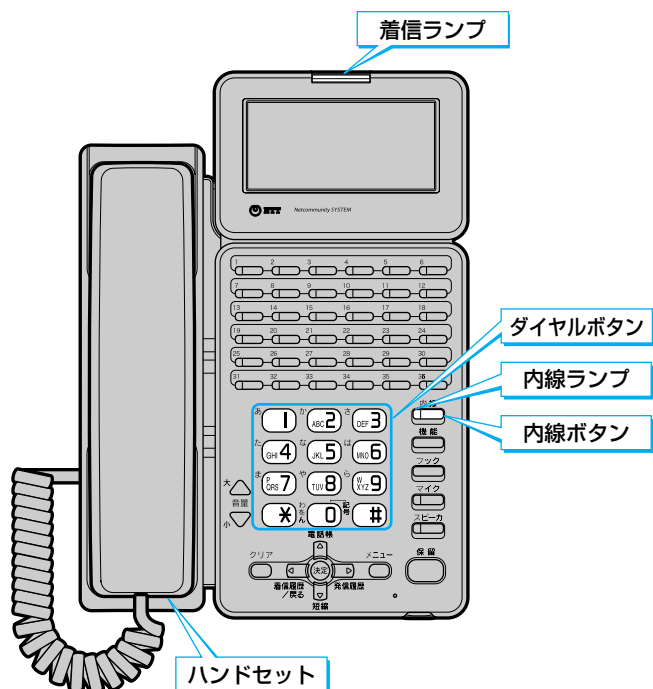
5 決定ボタンを押します。

テレコントロール
テレコン1状態　　　オン
設定しました

お知らせ

リレー番号の設定は、「システム設定」で行います。

外部スピーカで音声ページングするには

「システム設定」した内線電話機から、構内放送用のスピーカで音声ページングができます。
「システム設定」によって内線電話機も同時に音声ページングすることができます。

音声ページングする

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 音声ページング呼出用の特番（9 3 1 [ ]）を押します。

ページンググループ応答用の特番（932［　　　］）が表示されます。

9月19日(月) 午後 3:05
932

3 ハンドセットを上げて、お話しください。

お知らせ

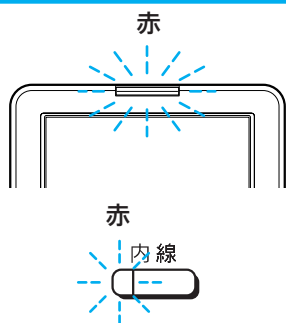
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 手順2で音声ページング呼出用の特番を押したあとに聞こえる確認音は、「システム設定」で選択できます。
- 内線電話機がヘッドセットを使用するように設定されている場合、確認音は小さく鳴ります。

音声ページングに応答する

1 音声ページングがあると、着信ランプと内線ランプが点滅します。

9月19日(月) 午後 3:05
1001

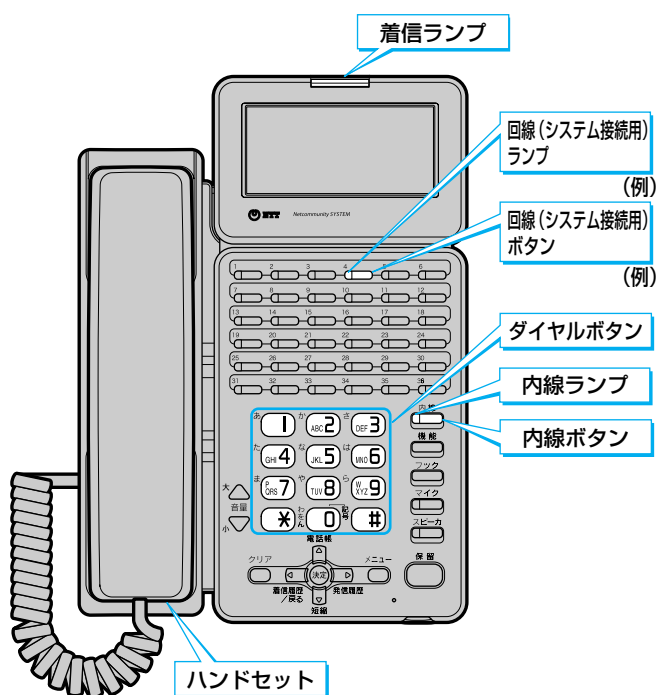
赤

赤
内線

2 ハンドセットを上げ、ページンググループ応答用の特番（9 3 2 [　　　]）を押してお話しください。

9月19日(月) 午後 3:05
1010
PB

特殊代理応答用の番号（# 3 [　　　]）、または統合代理応答用の番号（# # [　　　]）を押して応答することもできます。

専用線をご利用になるには

ネットコミュニティシステムαGX typeLの2つのシステムを専用線で接続すると、システム間で内線通話をしたり、外線通話を転送することができます。専用線で接続されている相手の方とは、通話時間の多少にかかわらず、定額料金でご利用になれます。社屋が独立しているときや、多数の内線電話機を接続したいときなどに便利です。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

ワンポイント

○**専用線のご利用について**
アナログ専用線、ディジタル専用線、IP専用線がご利用になれます。

●**接続方式を設定するには**
接続方式を、「システム設定」で方路番号方式または着局符号方式のどちらかに設定することができます。
お買い求め時は方路番号方式に設定されています。

○**方路番号方式とは**
発信者がPBXのルート指定用の番号（方路番号）を入力することにより、接続経路を指定する方式です。
IP専用線をご利用の場合は、IPネットワークの構成によっては、「システム設定」により、外線ボタンを押すだけで接続経路を指定することもできます。

○**着局符号方式とは**
PBXごとに割り付けられた番号（着局符号）により、着信PBXを指定する方式です。

お知らせ

IP専用線をご利用の場合は、手順4で内線番号をダイヤル後、 # を押してください。 # を押さなかったときは、「システム設定」した時間が経過したあと、自動的に # が押されたものとみなされます。

システム間で内線通話する

呼び出す方

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 着局符号をダイヤルボタンで押します。

〈例〉

81

3 ハンドセットを上げます。

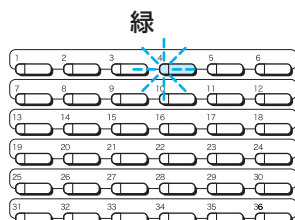
外線

4 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

2010

5 呼び出された方が応答したら、お話しください。

呼び出される方

1 **呼び出されると、着信音が鳴り、システム接続用の外線ランプと着信ランプが点滅します。**

2 **外線ボタンを押し、ハンドセットを上げてお話しください。**

ワンポイント

発着独立にダイヤル方式、ダイヤルスタート方式を設定するには

「システム設定」で、発着独立にダイヤル方式、ダイヤルスタート方式を設定することができます。IP専用線では利用できません。

回線捕捉操作で相手のシステムにDIL着信するには

「システム設定」すると、回線捕捉操作で相手のシステムにDIL着信できます。IP専用線では利用できません。

電話機から入力する着局符号と私設網の着局符号を独立して設定するには

「システム設定」に対向システム番号を設定すると、電話機から入力する着局符号と私設網の着局符号を独立して設定することができます。

着局符号による発信時に電話機から発信音を鳴らすには

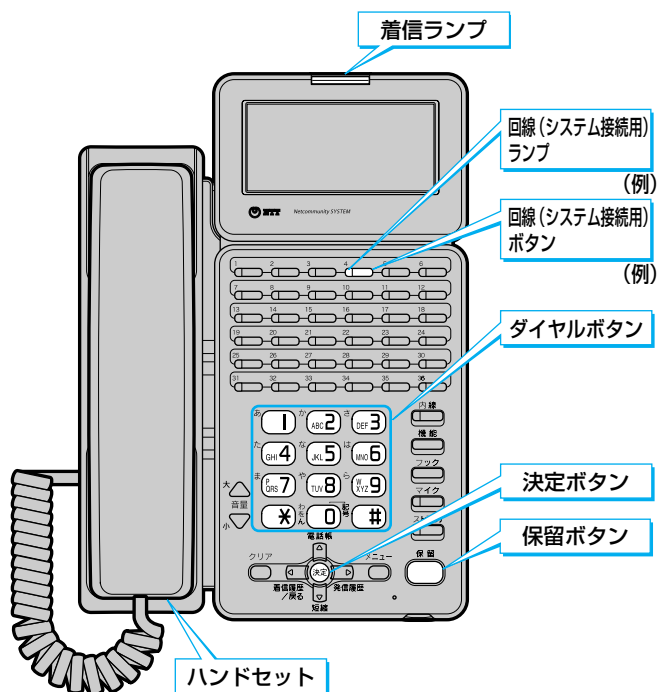
「システム設定」で、着局符号による発信時に電話機から特殊な発信音が鳴るように設定することができます。

着局符号方式に対応していない装置へ電話をかけたときは

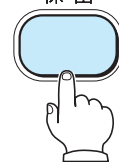
「システム設定」により、着局符号方式に対応していない装置へは、内線で電話をかける場合にご利用になれます。

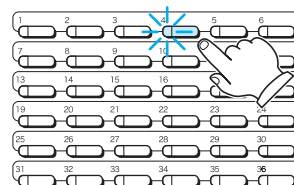
お知らせ

- 「呼び出す方」の手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- IP専用線をご利用の場合は、手順1と手順2で対向システムの着局符号と内線番号が表示されます。

専用線をご利用になるには

別のシステムに外線通話を転送する

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくよう伝え、保留ボタンを押します。

2 システム接続用の外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。

9月19日（月） 午後 3：05
0−30

5 ハンドセットを置きます。

お知らせ

ディジタル回線からディジタル回線に転送するとき以外は、オプションが必要になります。

呼び出される方

1 呼び出されると、着信音が鳴り、システム接続用の外線ランプと着信ランプが点滅します。外線ボタンを押し、ハンドセットを上げて、お話しください。

```
 9月19日(月) 午後 3:05
                 0-30
PB
```

2 呼び出した方が決定ボタンを押すと、外からの電話がつながりますから、相手の方とお話しください。

```
 9月19日(月) 午後 3:05
                 0-30
PB
```

お知らせ

IP専用線をご利用の場合は、手順1と手順2で対向システムの着局符号と内線番号が表示されます。

ホテルサービス機能をご利用になるには

客室から発信された通話料金を計算することができます。通話料金を計算するには、料金情報を設定する必要があります。料金情報は「システム設定」された特定の内線電話機から設定することができ、初期設定は全て無料（0円）となっています。

■料金情報を設定する

料金情報は、国内料金、国際料金および携帯電話等の特定番号の料金別に設定します。

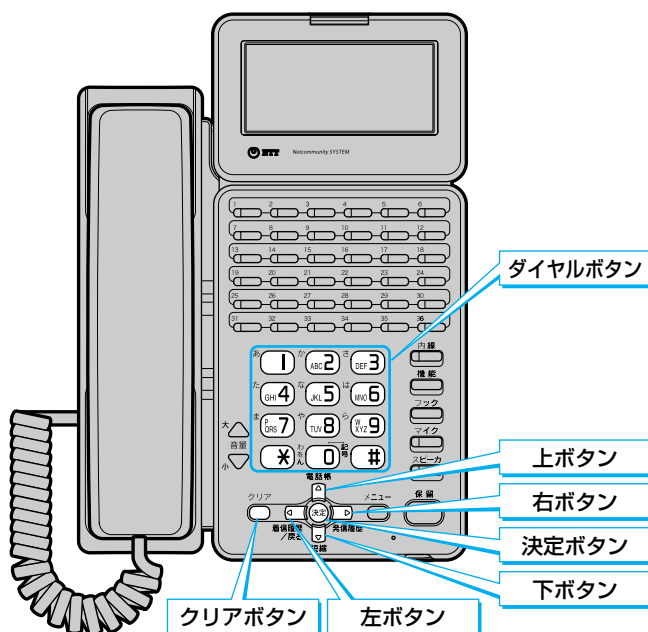
決定ボタン、料金テーブル設定用の特番（ 3 1 [　　]）の順に押した後、項目番号（2桁）を入力することにより、各項目の設定状態となります。
なお、開始後、ボタン操作により他の項目の設定に移行することができます。

ワンポイント

○同様の確認操作を行うには
メニュー設定　：不可
Webシステム設定　：可（☛P153）

○料金テーブル設定の項目番号

	項目番号	設定内容
国内	01	国内　単位時間・単位料金（終日）
	02	国内　単位時間・単位料金（昼）
	03	国内　単位時間・単位料金（夜）
	04	国内　単位時間・単位料金（深夜）
国際	05	国際　単位時間（共通）
	06	国際　開始時単位料金・1分単位料金（終日）
	07	国際　開始時単位料金・1分単位料金（昼）
	08	国際　開始時単位料金・1分単位料金（夜）
	09	国際　開始時単位料金・1分単位料金（深夜）
特定番号	10	携帯／他　単位時間・単位料金（終日）
	11	携帯／他　単位時間・単位料金（昼）
	12	携帯／他　単位時間・単位料金（夜）
	13	携帯／他　単位時間・単位料金（深夜）

■通話料金設定／確認時のボタン操作

ボタン	機　能
右ボタン	次の項目番号に移動する
左ボタン	前の項目番号に移動する
クリアボタン	入力されているデータをクリア（消去）する
上ボタン	前のデータに移動する
下ボタン	次のデータに移動する
決定ボタン	データを書き込む
ダイヤルボタン（1～9、0、#）	データを入力する

■通話料金の算出

本商品では、それぞれ以下のように通話料金を計算します。

○ **国内料金**

あらかじめ本商品が設置されている市外局番が「システム設定」されています。
設定されている市外局番と客室から発信したダイヤルの情報より、システムが次の8つの距離区分に分類します。

1. 市内　2. 隣接　3. ～20 km
4.～30 km　5. ～60 km　6. ～100 km
7.～170 km　8. 170 km以上

それぞれの距離区分に対して、「昼」、「夜」、「深夜」ごとに単位時間および単位料金を設定してください。(☛P174)
設定された料金情報で通話料金を計算します。

○ **国際料金**

あらかじめ国番号ごとに16の地域が「システム設定」されています。（地域と国番号についてはP184、185を参照してください。）
それぞれの地域に対し、「通話開始から1分まで」の単位料金と「通話開始から１分後」の単位料金を、「昼」、「夜」、「深夜」ごとに設定してください。(☛P176)
単位時間は、全ての地域、全ての時間帯（昼、夜、深夜）で同一です。
発信した国番号が登録されている地域に設定された料金情報で通話料金を計算します。

○ **携帯電話などの特定番号**

あらかじめ次の11個の番号が「システム設定」されています。

117	070	0091XX
171	080	
177	090	
104	090302	
0180	050	

それぞれの特定番号に対して、「昼」、「夜」、「深夜」ごとに単位時間および単位料金を設定してください。(☛P178)
発信した特定番号に設定されている料金情報で通話料金を計算します。

お知らせ

●単位時間／料金がそれぞれ0に設定されているときは、次のようになります。
・料金が0に設定されている場合は、0円（無料）となります。
・単位時間に0が設定されて、料金に0以外が設定されている場合は、設定されている料金の固定料金となります。

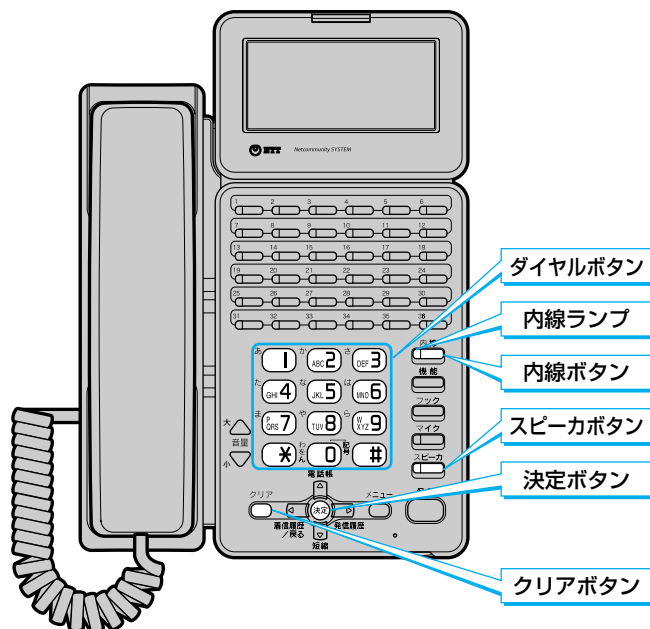
●通話料金の端数は、「システム設定」によって、１通話ごとの端数単位と端数処理が設定できます。
・端数単位：小数点／１円／１0円（お買い求め時は、小数点に設定）
・端数処理：切り上げ／切り捨て／四捨五入（お買い求め時は、切り上げに設定）

●時間帯をまたぐ通話の場合は、次のように計算されます。
・国内通話および特定番号の通話
単位時間ごとに、開始される時間帯に設定されている料金で計算されます。
・国際通話
通話開始時点の時間帯に設定されている料金で計算されます。

●休日の通話料金は、昼の時間帯であっても夜の料金設定で計算されます。
休日の定義は以下のとおりです。
・土曜日および日曜日
・祝日に設定されている日（☛P182）
・月曜日でかつ前日が祝日に設定されている日
※1月4日は平日扱いとしています。

●「終日」で設定すると、「昼」、「夜」、「深夜」の各時間帯に同じ料金情報が登録されます。
「昼」、「夜」、「深夜」別々のデータで登録したあと、「終日」を選択すると、「ーーーー」と表示されます。単位時間と単位料金のどちらか一方でも「ーーーー」と表示されていると書き込みできません。「終日」で上書きするには、単位時間と単位料金の両方にデータを入力してから設定してください。「昼」、「夜」、「深夜」全ての時間帯が上書きされます。

●料金設定できる国番号や特定番号はあらかじめ「システム設定」されています。追加したい場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

ホテルサービス機能をご利用になるには

ワンポイント

●同様の確認操作を行うには

メニュー設定　：不可

Webシステム設定　：可（☛P153）

●国内通話料金テーブルの設定例と計算例

区分	昼		夜		深夜	
	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金
市内	180	9	180	9	240	9
隣接	90	10	90	10	120	10
～20km	90	10	90	10	120	10
～30km	60	10	75	10	90	10
～60km	60	10	75	10	90	10
～100km	30	10	45	10	60	10
～170km	22.5	10	26	10	45	10
170km以上	22.5	10	26	10	45	10

単位時間［秒］

［計算例］

国内の料金テーブルを上記の表のように設定した場合、20km～30kmに距離区分された地域へ昼の時間帯に3分間通話したとすると、以下のように通話料金が計算されます。

10円×3分／60秒＝30円

●国内通話料金設定値を記録するために

お客さまの料金設定値の記録には、「お客様設定値記入テーブル」（☛P185）をご利用ください。

●各時間帯に同じ料金を一括設定するには

「終日」で設定すると、「昼」、「夜」、「深夜」の各時間帯に同じ料金情報が登録されます。

国内料金を設定する

「システム設定」された特定の内線電話機から設定することができます。

<例> 国内の市内料金を単位時間：180秒、単位料金：9円で終日（昼、夜、深夜）に対して設定するとき

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー･･･」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

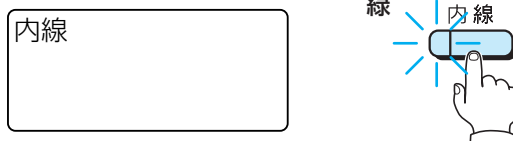
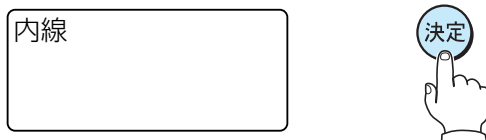
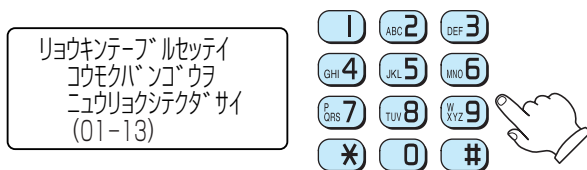
2 決定ボタンを押します。

「ツツツ･･･」という音を確認してください。

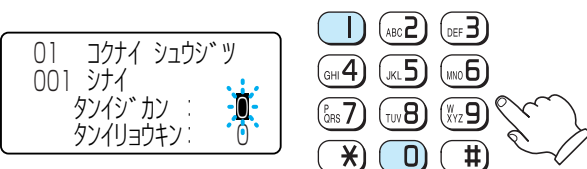
内線

3 料金テーブル設定用の特番（3 1［　　］）を押します。

「プププププ」という音を確認してください。

ﾘｮｳｷﾝﾃｰﾌﾞﾙｾｯﾃｲ
ｺｳﾓｸﾊﾞﾝｺﾞｳｦ
ﾆｭｳﾘｮｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ
(01-13)

4 国内料金（終日）用の番号（0 1）を押します。

2行目に距離区分が表示され、3、4行目にその距離区分の情報が表示されます。
3行目の入力位置のカーソルが点滅します。

01　ｺｸﾅｲ ｼｭｳｼﾞﾂ
001 ｼﾅｲ
　ﾀﾝｲｼﾞｶﾝ　:
　ﾀﾝｲﾘｮｳｷﾝ:

5 単位時間をダイヤルボタンで押します。

秒（0～499.5）

“.5”秒を入力する場合は ＃ を押します。

```
01　コクナイ シュウジ゛ツ
001 シナイ
　タンイジ゛カン　：　180
　タンイリョウキン：　　0
```

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

6 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。4行目の入力位置のカーソルが点滅します。

```
01　コクナイ シュウジ゛ツ
001 シナイ
　タンイジ゛カン　：　180
　タンイリョウキン：　　0
```

7 単位料金をダイヤルボタンで押します。

円（0～1000）

```
01　コクナイ シュウジ゛ツ
001 シナイ
　タンイジ゛カン　：　180
　タンイリョウキン：　　9
```

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

8 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。次の距離区分の情報が表示されます。

```
01　コクナイ シュウジ゛ツ
002 リンセツ
　タンイジ゛カン　：　　0
　タンイリョウキン：　　0
```

9 他の距離区分についても通話料金を設定します。

手順5～8を繰り返し、他の距離区分についても料金を設定します。

10 スピーカボタンを押します。

ワンポイント

●設定可能な距離区分について

番号	ディスプレイ表示	距離区分
001	シナイ	市内
002	リンセツ	隣接
003	20Kmマデ゛	～20 Km
004	30Kmマデ゛	～30 Km
005	60Kmマデ゛	～60 Km
006	100Kmマデ゛	～100 Km
007	170Kmマデ゛	～170 Km
008	ソレイジョウ	170 Km以上

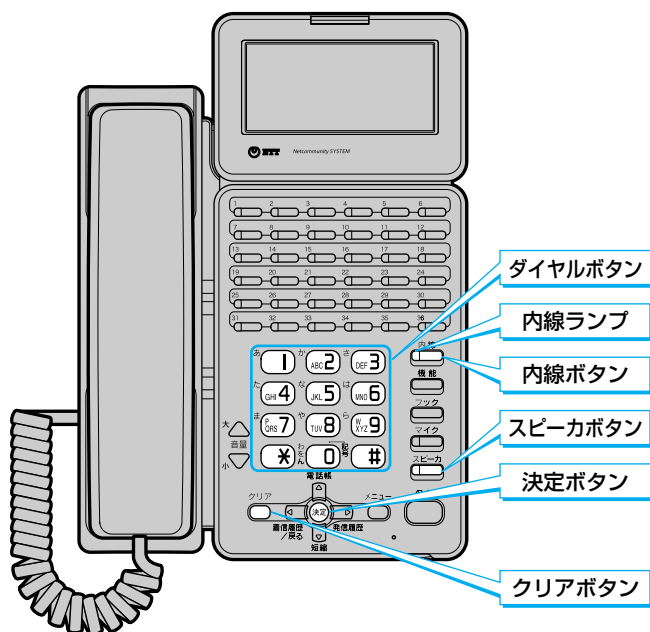
●時間帯ごとに異なる料金を設定するには

手順4で、0 2 ～ 0 4 を押すと「昼」、「夜」、「深夜」別々に設定することができます。

「昼」、「夜」、「深夜」別々のデータで登録したあと、「終日」を選択すると、「－－－－」と表示されます。単位時間と単位料金のどちらか一方でも「－－－－」と表示されていると書き込みできません。「終日」で上書きするには、単位時間と単位料金の両方にデータを入力してから設定してください。「昼」、「夜」、「深夜」全ての時間帯が上書きされます。

お知らせ

- ●手順１で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- ●「昼」、「夜」、「深夜」各時間帯の切り替え時刻は、あらかじめ「システム設定」されています。
- ●手順6や手順8で、書込操作を行わず（決定ボタンを押さないで）他の操作を行った場合、データは登録されませんので、ご注意ください。

ホテルサービス機能をご利用になるには

ワンポイント

●同様の確認操作を行うには

メニュー設定　：不可
Webシステム設定　：可（☛P153）

●国際通話料金テーブルの設定例と計算例

区分	単位時間 6［秒］					
	1分前			1分後		
	昼	夜	深夜	昼	夜	深夜
アメリカ-1	6	5	4	5	5	3
アメリカ-2	11	9	7	8	7	6
アメリカ-3	20	16	13	18	14	10
アメリカ-4	30	24	22	27	21	17
アフリカ-1	28	22	19	25	20	17
アフリカ-2	31	26	24	28	23	20
ヨーロッパ-1	15	13	12	15	13	11
ヨーロッパ-2	17	14	12	16	13	12
ヨーロッパ-3	14	20	17	24	20	16
オセアニア-1	16	14	12	16	13	11
オセアニア-2	24	19	14	21	17	13
アジア-1	11	9	8	11	9	8
アジア-2	15	13	10	15	13	11
アジア-3	18	15	11	16	13	11
アジア-4	24	21	19	22	19	17
アジア-5	31	26	20	28	22	18

［計算例］
国際の料金テーブルを上記の表のように設定した場合、アメリカ-1に区分される国へ昼の時間帯に3分間通話したとすると、以下のように通話料金が計算されます。
6円×1分／6秒＋5円×2分／6秒＝160円

●国際通話料金設定値を記録するために

お客さまの料金設定値の記録には、「お客様設定値記入テーブル」（☛P185）をご利用ください。

●設定可能な地域とは

設定可能な各区分の国名については、「国際料金設定地域一覧」（☛P184、185）を参照してください。

国際料金を設定する

国際料金は、単位時間（全ての地域の全ての時間帯で共通）あたりの料金を「通話開始から1分まで」と「通話開始から1分後」それぞれに設定していきます。「システム設定」された特定の内線電話機から設定することができます。
<例>国際の単位時間を6秒、アメリカ-1の通話料金を、1分までの単位時間：6円、1分後の単位料金：5円で終日（昼、夜、深夜）に対して設定するとき

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー･･･」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 決定ボタンを押します。

「ツツツ･･･」という音を確認してください。

3 料金テーブル設定用の特番（3 1［　　］）を押します。

「プププププ」という音を確認してください。

リョウキンテーブルセッテイ
コウモクバンゴウヲ
ニュウリョクシテクダサイ
(01-13)

4 国際料金（共通）用の番号（0 5）を押します。

国際料金の単位時間が表示されます。
入力位置のカーソルが点滅します。

05　コクサイ
タンイジカン　：

5 単位時間をダイヤルボタンで押します。

6
↑
秒（0～499.5）
“.5”秒を入力する場合は # を押します。

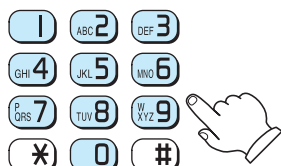
05　コクサイ
タンイジカン　：6

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

6 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。
国際料金（終日）表示に変わります。
2行目に設定する地域名が表示され、3、4行目にその地域の情報が表示されます。

```
06　コクサイ シュウジ゛ツ
001 アメリカ1
 カイシジ゛リョウキン：　0
 1フンゴ゛リョウキン：　0
```

7 通話開始から1分までの単位料金をダイヤルボタンで押します。

↑
円（0～1000）

```
06　コクサイ シュウジ゛ツ
001 アメリカ1
 カイシジ゛リョウキン：　6
 1フンゴ゛リョウキン：　0
```

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

8 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。
4行目の入力位置のカーソルが点滅表示に変わります。

```
06　コクサイ シュウジ゛ツ
001 アメリカ1
 カイシジ゛リョウキン：　6
 1フンゴ゛リョウキン：　0
```

9 通話開始から1分後以降の単位料金をダイヤルボタンで押します。

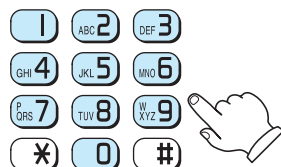
↑
円（0～1000）

```
06　コクサイ シュウジ゛ツ
001 アメリカ1
 カイシジ゛リョウキン：　6
 1フンゴ゛リョウキン：　5
```

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

10 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。次の距離区分の情報が表示されます。

```
06　コクサイ シュウジ゛ツ
002 アメリカ2
 カイシジ゛リョウキン：　0
 1フンゴ゛リョウキン：　0
```

11 他の地域についても通話料金を設定します。

手順7～10を繰り返し、他の地域についても料金を設定します。

12 スピーカボタンを押します。

ワンポイント

●各時間帯に同じ料金を一括設定するには

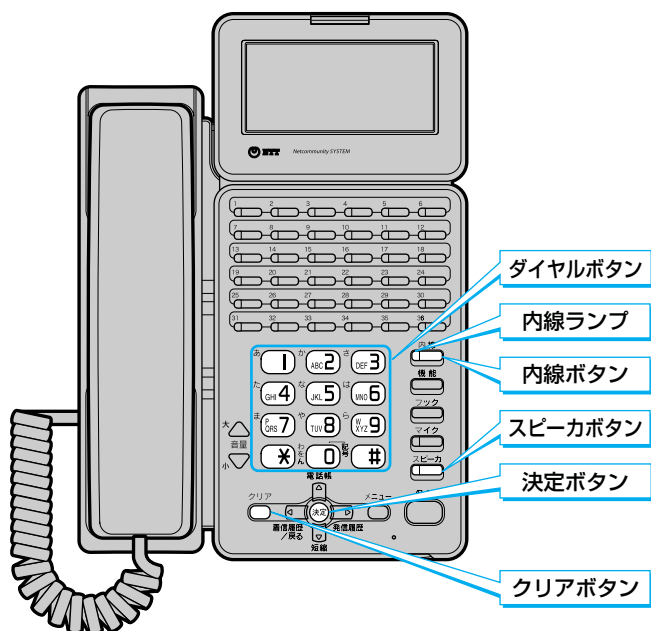
「終日」で設定すると、「昼」、「夜」、「深夜」の各時間帯に同じ料金情報が登録されます。

●時間帯ごとに異なる料金を設定するには

手順4で、 0 PQRS7 ～ 0 WXYZ9 を押すと「昼」、「夜」、「深夜」別々に設定することもできます。
「昼」、「夜」、「深夜」別々のデータで登録したあと、「終日」を選択すると、「ーーーー」と表示されます。単位時間と単位料金のどちらか一方でも「ーーーー」と表示されていると書き込みできません。「終日」で上書きするには、単位時間と単位料金の両方にデータを入力してから設定してください。「昼」、「夜」、「深夜」全ての時間帯が上書きされます。

お知らせ

- ●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- ●「昼」、「夜」、「深夜」各時間帯の切り替え時刻は、あらかじめ「システム設定」されています。
- ●手順6、手順8や手順10で、書込操作を行わず（決定ボタンを押さないで）他の操作を行った場合、データは登録されませんので、ご注意ください。

ホテルサービス機能をご利用になるには

ワンポイント

●同様の確認操作を行うには

メニュー設定　：不可
Webシステム設定　：可（☛P153）

●携帯電話などの特定番号の通話料金テーブル設定例と計算例

特定番号	昼		夜		深夜	
	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金
117	180	9	180	9	240	9
171	20	10	22.5	10	30	10
177	180	9	180	9	240	9
104	0	90	0	90	0	150
0180	0	10	0	10	0	10
070	15.5	10	17	10	25	10
080	15.5	10	17	10	25	10
090	15.5	10	17	10	25	10
090302	6.5	10	12	10	13	10
050	180	8	180	8	180	8
0091XX	180	20	180	20	180	20

単位時間［秒］

［計算例］
携帯などの特定番号の料金テーブルを上記の表のように設定した場合、090−○○○○−××××へ深夜の時間帯に5分間通話したとすると、以下のように通話料金が計算されます。
10円×5分／25秒＝120円

●携帯電話などの特定番号の料金設定値を記録するために

お客さまの料金設定値の記録には、「お客様設定値記入テーブル」（☛P185）をご利用ください。

●各時間帯に同じ料金を一括設定するには

「終日」で設定すると、「昼」、「夜」、「深夜」の各時間帯に同じ料金情報が登録されます。

特定番号の料金を設定する

客室から117、104、090などの特定の番号に発信された場合の通話料金を計算するために設定します。
「システム設定」された特定の内線電話機から設定することができます。
<例>特定番号117の通話料金を単位時間：180秒、単位料金：9円で終日（昼、夜、深夜）に対して設定するとき

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー･･･」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 決定ボタンを押します。

「ツツツ･･･」という音を確認してください。

内線

3 料金テーブル設定用の特番（3 1［　　］）を押します。

「ププププププ」という音を確認してください。

リョウキンテーブルセッテイ
コウモクバンゴウヲ
ニュウリョクシテクダサイ
（01-13）

4 特定番号の料金（終日）用の番号（1 0）を押します。

2行目に特定番号が表示され、3、4行目にその番号の情報が表示されます。
3行目の入力位置のカーソルが点滅します。

10 ケータイホカ シュウジツ
001 117
タンイジカン :
タンイリョウキン:

5 単位時間をダイヤルボタンで押します。

↑
秒（0～499.5）

“.5”秒を入力する場合は ＃ を押します。

10 ｹｰﾀｲﾎｶ ｼｭｳｼﾞﾂ
001 117
ﾀﾝｲｼﾞｶﾝ : 180
ﾀﾝｲﾘｮｳｷﾝ: 0

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

6 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。
4行目の入力位置のカーソルが点滅表示に変わります。

10 ｹｰﾀｲﾎｶ ｼｭｳｼﾞﾂ
001 117
ﾀﾝｲｼﾞｶﾝ : 180
ﾀﾝｲﾘｮｳｷﾝ: 0

7 単位料金をダイヤルボタンで押します。

↑
円（0～1000）

10 ｹｰﾀｲﾎｶ ｼｭｳｼﾞﾂ
001 117
ﾀﾝｲｼﾞｶﾝ : 180
ﾀﾝｲﾘｮｳｷﾝ: 9

押し間違えたときはクリアボタンを押します。

8 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、料金情報が設定されます。次の特定番号の情報が表示されます。

10 ｹｰﾀｲﾎｶ ｼｭｳｼﾞﾂ
002 171
ﾀﾝｲｼﾞｶﾝ : 0
ﾀﾝｲﾘｮｳｷﾝ: 0

9 他の特定番号についても通話料金を設定します。

手順5～8を繰り返し、他の特定番号についても料金を設定します。

10 スピーカボタンを押します。

ワンポイント

●特定番号を追加するには

料金設定できる特定番号はあらかじめ「システム設定」されています。特定番号を追加したい場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

●時間帯ごとに異なる料金を設定するには

手順4で、 1 1 ～ 1 3 を押すと「昼」、「夜」、「深夜」別々に設定することができます。
「昼」、「夜」、「深夜」別々のデータで登録したあと、「終日」を選択すると、「――――」と表示されます。単位時間と単位料金のどちらか一方でも「――――」と表示されていると書き込みできません。「終日」で上書きするには、単位時間と単位料金の両方にデータを入力してから設定してください。「昼」、「夜」、「深夜」全ての時間帯が上書きされます。

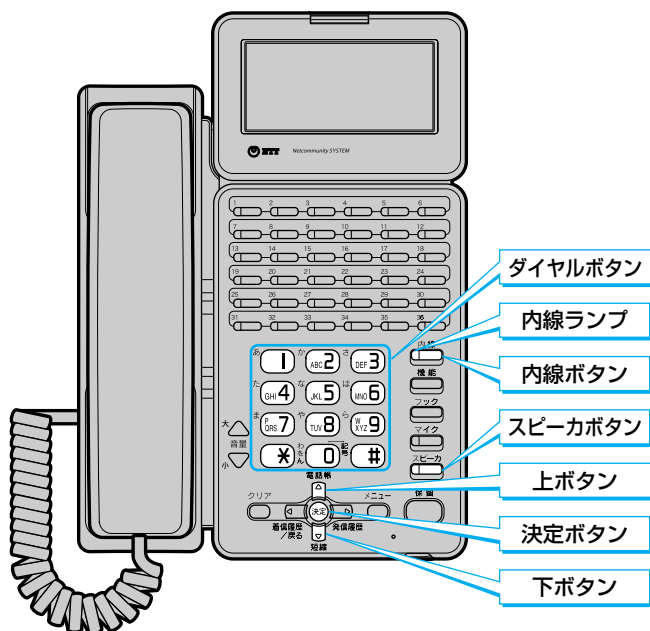
お知らせ

●設定可能な特定番号は、以下のものが「システム設定」されています。

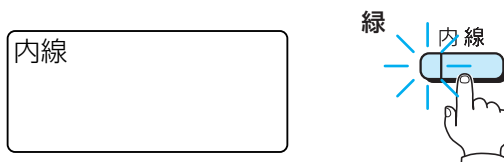
117	070	0091XX
171	080	
177	090	
104	090302	
0180	050	

●手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

●手順6や手順8で、書込操作を行わず（決定ボタンを押さないで）他の操作を行った場合、データは登録されませんので、ご注意ください。

ホテルサービス機能をご利用になるには

設定した料金を確認する

設定した料金を確認します。料金を変更した場合は必ず確認してください。
「システム設定」された特定の内線電話機から設定することができます。

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー･･･」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

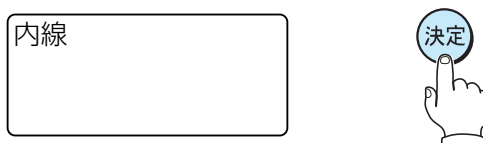
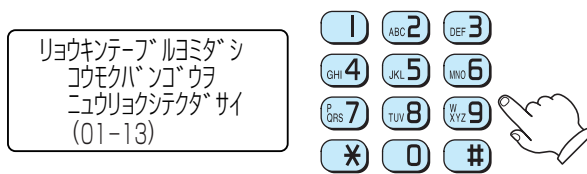
2 決定ボタンを押します。

「ツツツ･･･」という音を確認してください。

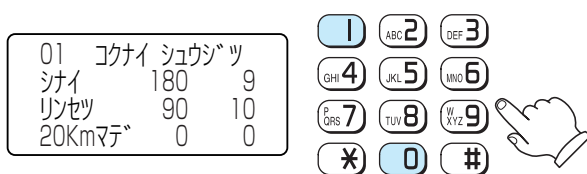
内線

3 料金テーブル読出用の特番（3 2 [　　]）を押します。

「ププププププ」という音を確認してください。

ﾘｮｳｷﾝﾃｰﾌﾞﾙﾖﾐﾀﾞｼ
ｺｳﾓｸﾊﾞﾝｺﾞｳｦ
ﾆｭｳﾘｮｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ
(01-13)

4 国内料金（終日）用の番号（0 1）を押します。

設定されている料金情報が表示されます。

01　ｺｸﾅｲ ｼｭｳｼﾞﾂ
ｼﾅｲ　　180　　9
ﾘﾝｾﾂ　　90　　10
20Kmﾏﾃﾞ　　0　　0

ワンポイント

● **同様の確認操作を行うには**

メニュー設定　：不可
Webシステム設定　：可（☛P153）

● **「昼」、「夜」、「深夜」別々のデータで登録している場合には**

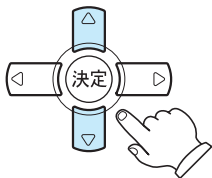
「終日」の料金情報を確認すると、「－－－－」と表示されます。「昼」、「夜」、「深夜」それぞれについてご確認ください。

お知らせ

手順１で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。

5 上下ボタンを繰り返し押します。

料金情報が順次表示されます。
下ボタンを押すと次の料金情報が表示されます。
上ボタンを押すと前の料金情報が表示されます。
上下ボタンを繰り返し押し、すべての料金が正しく設定されているか確認します。

```
01    ｺｸﾅｲ ｼｭｳｼﾞﾂ
30Kmﾏﾃﾞ   60    10
60Kmﾏﾃﾞ   60    10
100Kmﾏﾃﾞ  45    10
```

6 スピーカボタンを押します。

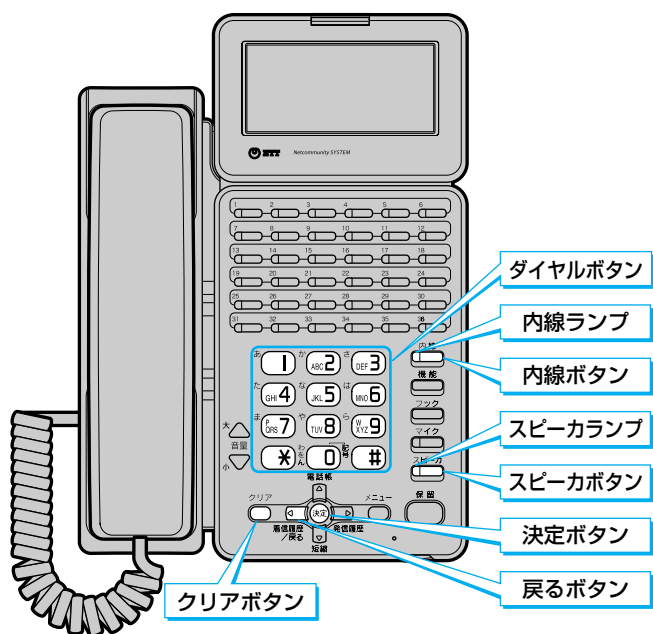
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

```
 9月19日(月) 午後 3:05
1001
```

ワンポイント

●**他の項目番号の内容から確認するには**
手順4で、0 2 ～ 1 3 を押すと他の項目番号の内容から確認することができます。

	項目番号	設定内容
国内	01	国内　単位時間・単位料金（終日）
	02	国内　単位時間・単位料金（昼）
	03	国内　単位時間・単位料金（夜）
	04	国内　単位時間・単位料金（深夜）
国際	05	国際　単位時間（共通）
	06	国際　開始時単位料金・1分単位料金（終日）
	07	国際　開始時単位料金・1分単位料金（昼）
	08	国際　開始時単位料金・1分単位料金（夜）
	09	国際　開始時単位料金・1分単位料金（深夜）
特定番号	10	携帯／他　単位時間・単位料金（終日）
	11	携帯／他　単位時間・単位料金（昼）
	12	携帯／他　単位時間・単位料金（夜）
	13	携帯／他　単位時間・単位料金（深夜）

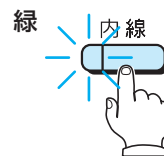
ホテルサービス機能をご利用になるには

祝日を設定する

祝日（休日）情報を「システム設定」された特定の内線電話機から設定することができます。祝日（休日）は30個まで登録できます。

<例>10月11日を祝日に設定するとき

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押します。

「ツーツー･･･」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。

内線

3 祝日設定用の特番（3 0 [ ]）を押します。

ｼｭｸｼﾞﾂｾｯﾃｲ

4 国内用の番号（1）を押します。

ｼｭｸｼﾞﾂｾｯﾃｲ 1
ｺｸﾅｲ -01 01-01

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合は、そのまま手順2へ進んでください。
- 手順6、7で、存在しない月日を指定した場合、入力は無視されます。正しい月日を指定してください。ただし、2月29日はうるう年以外でも存在する日付として扱われます。
- 登録する順序と日付の順序に関係はありません。
- 成人の日や春分の日、秋分の日、体育の日、海の日、敬老の日、振替休日は設定が必要です。
- 祝日情報は次のように初期設定されています。祝日を設定する場合は、データの上書きにご注意ください。

	祝日（初期設定）		祝日（初期設定）
1	1月 1日	8	5月 5日
2	1月 2日	9	11月 3日
3	1月 3日	10	11月23日
4	2月11日	11	12月23日
5	4月29日		
6	5月 3日		
7	5月 4日		

5 決定ボタンを繰り返し押し、祝日情報が設定されていない画面を表示させます。

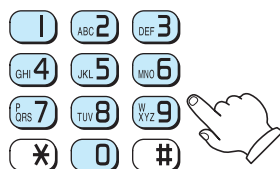
```
シュクジ゛ツセッテイ        1
コクナイ    -14
```

祝日情報の表示が「月-日」表示となっている設定画面で祝日を設定すると、祝日情報を変更したことになります。

6 祝日の月日をダイヤルボタンで押します。

1 0 1 1

↑
月（01～12）

```
シュクジ゛ツセッテイ        1
コクナイ    -14  10-11
```

押し間違えたときは戻るボタンを押します。

7 決定ボタンを押します。

祝日が設定され、次の祝日の設定画面が表示されます。

```
シュクジ゛ツセッテイ        1
コクナイ    -15
```

8 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

```
9月19日(月) 午後 3:05
1001
```

ワンポイント

●同様の確認操作を行うには
メニュー設定　：不可
Webシステム設定　：可（☛P153）

●初期設定されている祝日情報や、新たに設定した祝日情報を変更するには
①手順1～4を行う
②決定ボタンを繰り返し押して、変更したい祝日情報を表示させる
③手順6～8を行う

●祝日情報を続けて登録変更するには
手順5～7を繰り返し行います。

●祝日情報を消去するには
手順5で、消去する祝日情報を表示させてから、クリアボタン、決定ボタンの順に押します。

ホテルサービス機能をご利用になるには

■国際料金設定地域一覧

区分	国番号ダイヤル	国名
アメリカー1	1	アメリカ
	1808	アメリカ(ハワイ)
	1907	アメリカ(アラスカ)
	1900	アメリカ(着信課金)
アメリカー2	1250	カナダ(ブリティッシュ･コロンビア)
	1204	カナダ(マニトバ)
	1306	カナダ(サスカチワン)
	1416	カナダ(オンタリオ)
	1418	カナダ(ケベック)
	1450	カナダ(ケベック)
	1403	カナダ(ユーコン･ノースウエスト)
	1514	カナダ(ケベック)
	1519	カナダ(オンタリオ)
	1506	カナダ(ニューブランスウィック)
	1613	カナダ(オンタリオ)
	1671	グアム
	1670	サイパン
	1604	カナダ(バンクーバ)
	1705	カナダ(オンタリオ)
	1709	カナダ(ニューファンドランド)
	1819	カナダ(ケベック)
	1867	カナダ(ユーコン、ノースウエスト)
	1807	カナダ(オンタリオ)
	1902	カナダ(ノバスコシア)
	1905	カナダ(オンタリオ)
アメリカー3	1441	バミューダ諸島
	52	メキシコ
	508	サンピエール島・ミクロン島
アメリカー4	1242	バハマ
	1246	バルバドス
	1264	アンギラ
	1268	アンティグア・バーブーダ
	1284	英領バージン諸島
	1345	ケイマン諸島
	1340	米領バージン諸島
	1473	グレナダ
	1649	タークス諸島・カイコス諸島
	1664	モンセラット
	1758	セントルシア
	1767	ドミニカ
	1784	セントビンセントおよびグレナディーン諸島
	1787	プエルトリコ
	1868	トリニダード・トバコ
	1869	セントクリストファー・ネイビス
	1876	ジャマイカ
	1809	ドミニカ共和国
	297	アルバ
	51	ペルー
	53	キューバ
	54	アルゼンチン
	55	ブラジル
	56	チリ
	57	コロンビア
	58	ベネズエラ
	591	ボリビア
	592	ガイアナ
	593	エクアドル
	594	フランス領ギアナ
	595	パラグアイ
	596	マルチニーク島
	597	スリナム
	598	ウルグアイ
	599	オランダ領アンティール
	590	グアドループ島
	501	ベリーズ
	502	グアテマラ
	503	エルサルバドル
	504	ホンジュラス

区分	国番号ダイヤル	国名
アメリカー4	505	ニカラグア
	506	コスタリカ
	507	パナマ
	509	ハイチ
	500	フォークランド諸島
アフリカー1	213	アルジェリア
	218	リビア
	225	コートジボワール
	226	ブリキナファソ
	227	ニジェール
	233	ガーナ
	234	ナイジェリア
	237	カメルーン
	238	カーボベルテ
	241	ガボン
	244	アンゴラ
	249	スーダン
	252	ソマリア
	254	ケニア
	255	タンザニア
	256	ウガンダ
	257	ブルンジ
	262	レユニオン
	263	ジンバブエ
	264	ナミビア
	265	マラウイ
	266	レソト
	267	ボツワナ
	268	スワジランド
	2696	マイヨット島
	260	ザンビア
	27	南アフリカ
	290	セントヘレナ島
アフリカー2	212	モロッコ
	216	チュニジア
	221	セネガル
	222	モーリタニア
	223	マリ
	224	ギニア
	228	トーゴ
	229	ベナン
	220	ガンビア
	231	リベリア
	232	シエラレオネ
	235	チャド
	236	中央アフリカ
	239	サントメ・プリンシペ
	230	モーリシャス
	242	コンゴ
	243	コンゴ民主共和国
	245	ギニアビサウ
	246	ディエゴ・ガルシア
	247	アセンション島
	248	セイシェル
	240	赤道ギニア
	251	エチオピア
	253	ジブチ
	258	モザンビーク
	250	ルワンダ
	261	マダガスカル
	269	コモロ
	282	西サハラ
	291	エリトリア
	20	エジプト
ヨーロッパー1	33	フランス
	352	ルクセンブルグ
	44	イギリス
	49	ドイツ

区分	国番号ダイヤル	国名
ヨーロッパー2	298	フェロー諸島
	31	オランダ
	32	ベルギー
	34	スペイン、カナリア諸島、スペイン領北アフリカ
	351	アゾレス諸島･ポルトガル･マディラ諸島
	353	アイルランド
	354	アイスランド
	356	マルタ
	358	フィンランド
	377	モナコ
	378	サンマリノ
	39	イタリア、バチカン
	30	ギリシャ
	41	スイス
	423	リヒテンシュタイン
	43	オーストリア
	45	デンマーク
	46	スウェーデン
	47	ノルウェー
ヨーロッパー3	299	グリーンランド
	355	アルバニア
	359	ブルガリア
	350	ジブラルタル
	36	ハンガリー
	371	ラトビア
	372	エストニア
	373	モルドバ
	374	アルメニア
	375	ベラルーシ
	376	アンドラ
	370	リトアニア
	381	ユーゴスラビア連邦
	385	クロアチア
	386	スロベニア
	387	ボスニア・ヘルツェゴビナ
	389	マケドニア
	380	ウクライナ
	421	スロバキア
	420	チェコ
	48	ポーランド
	40	ルーマニア
	7	ロシア連邦
	731	カザフスタン
	732	カザフスタン
	7331	カザフスタン
	7332	カザフスタン
	7333	カザフスタン
	7334	カザフスタン
	7335	カザフスタン
	7336	カザフスタン
	7330	カザフスタン
	7300	カザフスタン
	992	タジキスタン
	993	トルクメニスタン
	994	アゼルバイジャン
	995	グルジア
	996	キルギス
	998	ウズベキスタン
	90	トルコ
オセアニアー1	61	オーストラリア
	6189162	ココス・キーリング諸島
	6189164	クリスマス島
	64	ニュージーランド
	672	ノーフォーク島
	670	東ティモール

区分	国番号ダイヤル	国名
オセアニア-2	674	ナウル
	675	パプアニューギニア
	676	トンガ
	677	ソロモン諸島
	678	バヌアツ
	679	フィジー
	682	クック諸島
	683	ニウエ
	684	米領サモア
	685	西サモア
	686	キリバス
	687	ニューカレドニア
	688	ツバル
	689	フランス領ポリネシア
	680	パラオ
	691	ミクロネシア連邦
	692	マーシャル諸島
	690	トケラウ諸島
アジア-1	82	韓国
アジア-2	63	フィリピン
	852	香港
	853	マカオ
	86	中国
	886	台湾
アジア-3	62	インドネシア
	65	シンガポール
	66	タイ
	673	ブルネイ
	60	マレーシア
	850	北朝鮮
アジア-4	84	ベトナム
	855	カンボジア
	856	ラオス
	880	バングラデシュ
	91	インド
	92	パキスタン
	93	アフガニスタン
	94	スリランカ
	95	ミャンマー
	960	モルディブ
	975	ブータン
	976	モンゴル
	977	ネパール
アジア-5	357	キプロス
	961	レバノン
	962	ヨルダン
	963	シリア
	964	イラク
	965	クウェート
	966	サウジアラビア
	967	イエメン
	968	オマーン
	971	アラブ首長国連邦
	972	イスラエル
	973	バーレーン
	974	カタール
	98	イラン

■お客様設定値記入テーブル

●国内通話料金テーブル（テーブル内の数値は設定例です）

区分	昼		夜		深夜	
	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金
市内	180 [ ]	9 [ ]	180 [ ]	9 [ ]	240 [ ]	9 [ ]
隣接	90 [ ]	10 [ ]	90 [ ]	10 [ ]	120 [ ]	10 [ ]
～20km	90 [ ]	10 [ ]	90 [ ]	10 [ ]	120 [ ]	10 [ ]
～30km	60 [ ]	10 [ ]	75 [ ]	10 [ ]	90 [ ]	10 [ ]
～60km	60 [ ]	10 [ ]	75 [ ]	10 [ ]	90 [ ]	10 [ ]
～100km	30 [ ]	10 [ ]	45 [ ]	10 [ ]	60 [ ]	10 [ ]
～170km	22.5 [ ]	10 [ ]	26 [ ]	10 [ ]	45 [ ]	10 [ ]
170km以上	22.5 [ ]	10 [ ]	26 [ ]	10 [ ]	45 [ ]	10 [ ]

単位時間［秒］

●国際通話料金テーブル（テーブル内の数値は設定例です）

区分	単位時間					
	6［　］［秒］					
	1分前			1分後		
	昼	夜	深夜	昼	夜	深夜
アメリカ-1	6 [ ]	5 [ ]	4 [ ]	5 [ ]	5 [ ]	3 [ ]
アメリカ-2	11 [ ]	9 [ ]	7 [ ]	8 [ ]	7 [ ]	6 [ ]
アメリカ-3	20 [ ]	16 [ ]	13 [ ]	18 [ ]	14 [ ]	10 [ ]
アメリカ-4	30 [ ]	24 [ ]	22 [ ]	27 [ ]	21 [ ]	17 [ ]
アフリカ-1	28 [ ]	22 [ ]	19 [ ]	25 [ ]	20 [ ]	17 [ ]
アフリカ-2	31 [ ]	26 [ ]	24 [ ]	28 [ ]	23 [ ]	20 [ ]
ヨーロッパ-1	15 [ ]	13 [ ]	12 [ ]	15 [ ]	13 [ ]	11 [ ]
ヨーロッパ-2	17 [ ]	14 [ ]	12 [ ]	16 [ ]	13 [ ]	12 [ ]
ヨーロッパ-3	14 [ ]	20 [ ]	17 [ ]	24 [ ]	20 [ ]	16 [ ]
オセアニア-1	16 [ ]	14 [ ]	12 [ ]	16 [ ]	13 [ ]	11 [ ]
オセアニア-2	24 [ ]	19 [ ]	14 [ ]	21 [ ]	17 [ ]	13 [ ]
アジア-1	11 [ ]	9 [ ]	8 [ ]	11 [ ]	9 [ ]	8 [ ]
アジア-2	15 [ ]	13 [ ]	10 [ ]	15 [ ]	13 [ ]	11 [ ]
アジア-3	18 [ ]	15 [ ]	11 [ ]	16 [ ]	13 [ ]	11 [ ]
アジア-4	24 [ ]	21 [ ]	19 [ ]	22 [ ]	19 [ ]	17 [ ]
アジア-5	31 [ ]	26 [ ]	20 [ ]	28 [ ]	22 [ ]	18 [ ]

●携帯電話などの特定番号の通話料金テーブル（テーブル内の数値は設定例です）

特定番号	昼		夜		深夜	
	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金	単位時間	単位料金
117	180 [ ]	9 [ ]	180 [ ]	9 [ ]	240 [ ]	9 [ ]
171	20 [ ]	10 [ ]	22.5 [ ]	10 [ ]	30 [ ]	10 [ ]
177	180 [ ]	9 [ ]	180 [ ]	9 [ ]	240 [ ]	9 [ ]
104	0 [ ]	90 [ ]	0 [ ]	90 [ ]	0 [ ]	150 [ ]
0180	0 [ ]	10 [ ]	0 [ ]	10 [ ]	0 [ ]	10 [ ]
070	15.5 [ ]	10 [ ]	17 [ ]	10 [ ]	25 [ ]	10 [ ]
080	15.5 [ ]	10 [ ]	17 [ ]	10 [ ]	25 [ ]	10 [ ]
090	15.5 [ ]	10 [ ]	17 [ ]	10 [ ]	25 [ ]	10 [ ]
090302	6.5 [ ]	10 [ ]	12 [ ]	10 [ ]	13 [ ]	10 [ ]
050	180 [ ]	8 [ ]	180 [ ]	8 [ ]	180 [ ]	8 [ ]
0091XX	180 [ ]	20 [ ]	180 [ ]	20 [ ]	180 [ ]	20 [ ]

単位時間［秒］

パソコンを活用する

主装置にLAN接続されたパソコンでWWWブラウザを起動することにより、システム設定の一部を操作する「Webシステム設定」や、電話機の通話履歴を確認する「Web通話履歴表示」が行えます。
Webシステム設定やWeb通話履歴表示を行うパソコンは、表に示す条件があります。条件を満たしていない場合には、正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

項　目	Webシステム設定	Web通話履歴表示
OS	Windows98SE以降	Windows2000 Pro／WindowsXP Pro（IISインストール済み）*1
CPU	PentiumⅢ 500MHz以上　1GHz以上推奨	
表示	SVGA（800×600ドット）以上 XGA(1024×768ドット)以上推奨	
LAN	10BASE-T/100BASE-TXに対応したLANカード／ボード	
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0	
RAM	128MB以上（256MB以上推奨）	256MB以上（512MB以上推奨）
HDD	100MB以上の空き領域	セットアップ時は100MB以上 動作時は500MB以上の空き領域
その他	（必須）Sun Microsystems社のVM（*2）がインストールされていること。 （注意）Microsoft VMでは動作しません。	

*1　IIS　：Internet　Information　Services
*2　VM：Virtual　Machine
　バージョン1.6をお使いください。バージョン1.6以外では正しい動作は保証されません。
（注）Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。
Sun、Sun Microsystemsは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft、Sunの商標は予告なく変更される場合があります。

Web通話履歴表示プログラムをセットアップする

電話機の通話履歴を確認できる「Web通話履歴」をご利用になるには、次のようにプログラムをダウンロードし、セットアップしてください。

① 主装置と同じLANに接続します。
② パソコンでインターネットエクスプローラ（6.0）を起動します。
③［アドレス］ボックスに主装置のURLを入力し、［移動］ボタンをクリックします。
URLは、http://10.0.0.1/gxl-web.htm（お買い求め時）です。
IPアドレスは設置時に工事担当者とご相談のうえお決めください。

④ログインパスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
メニューより「5-1. Web通話履歴表示」をクリックするとWeb通話履歴表示プログラムのダウンロード画面が表示されます。
⑤お使いのパソコンの任意の場所にプログラム（自己解凍型の圧縮ファイル）をダウンロードします。

⑥［閉じる］ボタンをクリックします。
⑦インタネットエクスプローラを終了します。
⑧ダウンロードしたプログラムを実行します。
自動的にセットアップが終了します。
セットアップ終了後にWeb通話履歴プログラムがスタートアップに登録されます。

お知らせ

●Web通話履歴をご利用になるには、パソコンに「IIS：Internet Information Services」がインストールされている必要があります（Windows 2000 Pro/Windows XP Proに付属）。
●通話履歴表示用のログインパスワードは、お買い求め時は「callhist」に設定されています。ログインパスワードは変更できません。

パソコンを活用する

Web通話履歴を表示する

ネットコミュニティシステムαGX typeLに接続している電話機の通話履歴を、最大12万件まで確認することができます。

①パソコンでインターネットエクスプローラ（6.0）を起動します。
［アドレス］ボックスに「Localhost／callhist.htm」と入力しEnterキーを押します。メニュー「ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。
②ログインパスワードを入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。
通話履歴が表示されます。
③Web通話履歴を終了するときは、ログアウトします。

Web通話履歴をファイルに出力する

指定した期間のWeb通話履歴データをCSVファイルに書き出すことができます。

①Web通話履歴表示画面の［ファイル出力］ボタンをクリックします。
②Web通話履歴画面で開始日時および終了日時を指定します。
③［検索開始］ボタンをクリックします。
④［ファイル出力］ボタンをクリックします。

ワンポイント

○ダイヤルカット条件を設定するには
Web通話履歴に対し、ダイヤルカット条件を設定することができます。
お買い求め時には「ダイヤルカット有」になっています。
①Web通話履歴表示画面の［ダイヤルカット設定］ボタンをクリックします。
②ダイヤルカットの項目で「有」または「無」を選択します。
③［設定開始］ボタンに続き、［OK］ボタンをクリックします。
「有」に設定した以降はダイヤル表示の下4桁が「＊＊＊＊」の表示になります。

お知らせ

●通話履歴データは12万件を超えると古いデータから自動的に消去されます。定期的（月に一度など）にCSVファイル出力することをおすすめします。
●Web通話履歴表示については、当社ホームページでも最新の情報を提供しています。
NTT東日本エリア：http://web116.jp/ced/
NTT西日本エリア：http://www.ntt-west.co.jp/kiki/download/business/index.html
記載されているURLは予告なく変更される場合があります。

システム設定によりご利用になれる機能

ネットコミュニティシステムαGX typeLの機能には、メニュー設定やWebシステム設定でお客さまが登録・設定できる機能のほかに、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」すると、次の機能をご利用になることができます。
「システム設定」による機能をご利用になりたいときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

	機　能	ページ
発信	外線への発信を規制する	☛P190
	外線と内線電話機をグループ分けする（テナント）	☛P190
	ハンドセットを上げただけで特定の外線／内線電話機を呼び出す（ホットライン）	☛P190
	登録した通信事業者を利用する（マイライン、マイラインプラス）	☛P190
	ダイレクトボタンで内線電話機を呼び出す（内線ダイレクトコール）	☛P191
	固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する	☛P191
着信・応答	ハンドセットを上げるだけで応答できるようにする（着信自動応答）	☛P191
	着信の種別ごとに異なる着信音を設定する（着信音識別）	☛P191
	電話がかかってきたとき、外線、内線のどちらの着信を優先するか設定する（着信音優先順位）	☛P191
	着信音が鳴る電話機を設定する（着信鳴動電話機指定）	☛P191
	一定時間電話に出ないとき、着信先が他の内線電話機や音声メールに切り替わるように設定する（着信未応答通知）	☛P191
保留・転送	パーク保留ボタンを設定したどの電話機でもパーク保留ボタンで保留応答できる（パーク保留）	☛P191
その他	外線に名称を登録する（回線名称表示）	☛P192
	昼モード、夜モード、休憩モードの時刻を設定する（システムモード切替（自動））	☛P192
	省電力機能を利用する	☛P192
	転送電話機能を利用する	☛P192
	ハンドセット外しの警報音を設定する	☛P192

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 各種登録／設定
5 オプションを使う
6 ご参考に

システム設定によりご利用になれる機能

発 信

■外線への発信を規制する

内線電話機ごとに規制クラス（サービスクラス）を設定し、入力ダイヤルにより外へ電話をかけられる範囲（国際電話、市外電話、共通電話帳ダイヤル、市内電話など）を制限することができます。

○：可　×：不可

規制クラス	国際電話	市外電話	市内電話	1XY系特番	特定番号	共通電話帳ダイヤル	緊急番号	内線
A	○	○	○	○	○	○	○	○
B	○	○	○	○	○	○	○	○
C	×	○	○	○	○	○	○	○
D	×	○	○	○	○	○	○	○
E	×	×	○	○	○	×	○	○
F	×	×	○	○	×	×	○	○
G	×	×	×	×	×	×	○	○
H	×	×	×	×	×	×	×	○

緊急番号　：110、119、118
1XY系特番：緊急番号以外の特番（例104など）
特定番号　：「システム設定」にて発信を許可した番号

■外線と内線電話機をグループ分けする（テナント）

外線と内線電話機を組み合わせてグループに分け、グループに割り当てられた外線以外は使用できないように設定することができます。部門別に外線を割り当ててコスト管理をしたり、特定部門に電話を集中させたくないときなどに便利です。
外からかかってきた電話を他のグループに保留転送できるかどうかも設定することができます。

■ハンドセットを上げただけで特定の外線／内線電話機を呼び出す（ホットライン）

ハンドセットを上げただけで、「システム設定」した外線／内線電話機を呼び出すことができます。

■登録した通信事業者を利用する（マイライン、マイラインプラス）

「システム設定」により、マイラインまたはマイラインプラスの契約内容に対応した発信規制を行うことができます。

ワンポイント

○発信対地規制の電話番号を押したときは
発信対地規制の電話番号を押したときは、話中音が聞こえます。外線発信番号を押したあとのダイヤル入力についても、規制の対象となります。

サービスクラスごとに対地規制条件を登録するには
「システム設定」で外へかけられる範囲の可否を設定すると、サービスクラスごとの対地規制条件を登録できます。

発信対地規制を行うには
「システム設定」で電話機／回線ごとにサービスクラスを設定すると、発信対地規制ができます。

電話帳ダイヤルの登録と発信
規制クラスに関係なく、電話機ごとに発信の可否を設定することができます。

■ダイレクトボタンで内線電話機を呼び出す（内線ダイレクトコール）

外線ボタンを「ダイレクトボタン」として設定しておくと、ハンドセットを上げてダイレクトボタンを押すだけで特定の内線電話機を呼び出すことができます。
応答するときは、ランプが点滅しているダイレクトボタンを押して、ハンドセットを上げます。
また、ダイレクトボタンのランプ表示で、相手の方の電話の状況を確認することができます。

空き	消灯
お話し中	点灯

■固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

「システム設定」により、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。
自動付与した事業者識別番号および名称をディスプレイの1段目の左端から表示します（内線電話機のみ）。
ご利用はすべての携帯電話会社（着信側）に有効で、PHSへの通話は対象外です。また、一部ご利用になれない携帯電話番号があります。
一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に事業者識別番号自動付与解除用の特番（0 0 0 0 [ ]）を押します。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

着信・応答

■ハンドセットを上げるだけで応答できるようにする（着信自動応答）

外から電話がかかってきたとき、ハンドセットを上げるだけで応答できるように設定することができます。

■着信の種別ごとに異なる着信音を設定する（着信音識別）

外線着信、内線着信、PBX／CES内線着信、メンバーズネットなど、着信した種別ごとに異なる着信音が鳴るように設定することができます。
長周期鳴動が設定されている場合は、着信音識別はできません。

■電話がかかってきたとき、外線、内線のどちらの着信を優先するか設定する（着信音優先順位）

複数の着信があったとき、外線、内線のどちらの着信を優先するかを設定することができます。

■着信音が鳴る電話機を設定する（着信鳴動電話機指定）

外から電話がかかってきたときに着信音が鳴る電話機を設定することができます。昼モード、夜モード、休憩モードを設定し、それぞれのモードで鳴る電話機を設定することもできます。

■一定時間電話に出ないとき、着信先が他の内線電話機や音声メールに切り替わるように設定する（着信未応答通知）

電話がかかってきたとき、「システム設定」した時間内に応答しないと、着信先が他の内線電話機や音声メール（オプション）に切り替わるように設定することができます。

保留・転送

■パーク保留ボタンを設定したどの電話機でもパーク保留ボタンで保留応答できる（パーク保留）

あらかじめ複数の電話機の外線ボタンに「パーク保留ボタン」を設定しておくと、同じパーク保留ボタンを設定したどの電話機でも、パーク保留ボタンを押して、保留中の内線／外線に再応答することができます。

システム設定によりご利用になれる機能

その他

■外線に名称を登録する（回線名称表示）

外線ボタンに名称を登録しておくと、その外線ボタンを押したときに回線の名称を表示することができます。

■昼モード、夜モード、休憩モードの時刻を設定する（システムモード切替（自動））

昼モード、夜モード、休憩モードになる時刻を設定することができます。また、次の機能については、昼モード、夜モードと休憩モードで個別に設定することができます。

- サービスクラス
- 着信音色指定
- 電話帳ダイヤル発信規制表示
- 着信鳴動指定
- 外部スピーカによる外線着信表示

■省電力機能を利用する

省電力機能をご利用いただくためには、電話機から省電力対象設定用の特番（9 5 4［　　　］）または「システム設定」により省電力対象の電話機を設定します。

省電力（回線ボタンは消灯、ディスプレイ表示はoff）は「システム設定」により昼モード、夜モードおよび休憩モードになる時刻と同時に開始されます。

このとき、省電力を監視するタイマーも同時に起動されます。

省電力機能を解除する場合は、電話機からの操作（ハンドセットを上げる、スピーカボタンを押す等）で解除できます。なお、省電力対象解除用の特番（9 5 5［　　　］）により解除することもできます。

機能の解除後、電話機の動作が一定時間ない場合には、再び省電力となります。この時間は「システム設定」により変更できます。

■転送電話機能を利用する

転送電話機能をご利用いただくためには「システム設定」で次のうちどれかを選択してください。

- 放送着信で一定時間内に応答がないときに転送されるようにする
- 自動応答サービスで転送されるようにする
- ダイヤルインサービスで着信先を指定したときに転送されるようにする
- ダイヤルインサービスで、発番号が通知されなかったときの着信先を指定し、転送されるようにする
- DIL着信での着信先を設定したときに転送されるようにする
- 内線個別着信のときに転送されるようにする
- 拡張内線ボタンに着信したときに転送されるようにする
- 内線個別着信で一定時間内に応答がないとき、またはお話し中のときに転送されるようにする
- 内線代表グループ着信で一定時間内に応答がないとき、またはお話し中のときに転送されるようにする
- 拡張内線ボタンへの着信で一定時間内に応答がないとき、またはお話し中のときに転送されるようにする

転送電話機能については、システムモードの切替や回線ボタンの選択により有効／無効の設定をすることができます。

■ハンドセット外しの警報音を設定する

ハンドセットを外し、「システム設定」した時間が経過すると、警報音が鳴ります。ハンドセットを戻さずに、「システム設定」した鳴動時間が経過すると、警報音は鳴りやみ、ディスプレイに「ジュワキヲオイテクダサイ」と表示されます。この表示は、ハンドセットを置くまで表示されています。

各種機能を利用するための特番一覧

以下の機能にはあらかじめ特番が設定されています。操作方法については参照先をご覧ください。
（それぞれの特番は、「システム設定」により変更ができます。）

■ダイヤル中特番

「ツーツー…」という内線発信音がしているときに、それぞれの特番を押して操作します。

名　称	機　能	番　号	参照先
再ダイヤル用の特番	同じ相手にかけ直す	9 0 0 [　　]	☞P41,122
電話帳ダイヤル発信用の特番	電話帳ダイヤルで電話をかける	9 0 1 [　　]	☞P53,112 125
電話帳ダイヤル登録用の特番	電話帳を登録する	9 0 2 [　　]	☞P124
他電話機電話帳ダイヤル確認用の特番	他の電話機の個別電話帳ダイヤルを確認する	9 0 4 [　　]	☞P61
フッキングパルス送出用の特番	ネットコミュニティシステムαGX typeL以外に接続された内線電話機に転送する	9 1 6 [　　]	☞P127
不在着信転送用の特番	不在着信転送を登録／解除する	9 2 2 [　　]	☞P81,83,85, 87,130,131
音声ページング呼出用の特番	グループの電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す	9 3 1 [　　]	☞P63,65, 129,166
ページンググループ応答用の特番	音声ページング呼び出しに応答する	9 3 2 [　　]	☞P63,65, 167
SIP圏外転送対象（内外線）の特番	SIP端末圏外転送の対象となる着信を全着信（内線／外線）とする	9 3 6 [　　]	－
SIP圏外転送対象（内線）の特番	SIP端末圏外転送の対象となる着信を内線のみとする	9 3 7 [　　]	－
SIP圏外転送対象（外線）の特番	SIP端末圏外転送の対象となる着信を外線のみとする	9 3 8 [　　]	－
パーク保留解除用の特番	同一パーク保留ボタンを設定した電話機の保留を解除する	9 4 0 [　　]	－
SIP圏外転送開始の特番	SIP端末が圏外に移動した場合、圏外転送を有効にする	9 4 3 [　　]	－
SIP圏外転送停止の特番	SIP端末が圏外に移動した場合、圏外転送を無効にする	9 4 4 [　　]	－
パーク保留用の特番	パーク保留する	9 4 5 [　　]	☞P123
パーク保留応答用の特番	パーク保留中の内線／外線に応答する	9 4 6 [　　]	☞P123
SIP圏外転送先種別（外線）の特番	SIP端末圏外転送の転送先を外線とする	9 4 7 [　　]	－
SIP圏外転送先種別（内線）の特番	SIP端末圏外転送の転送先を内線とする	9 4 8 [　　]	－
自動モード用の特番	自動モードに切り替える	9 5 0 [　　]	☞P139
昼モード切替用の特番	昼モードに切り替える	9 5 1 [　　]	☞P139
夜モード切替用の特番	夜モードに切り替える	9 5 2 [　　]	☞P139
休憩モード切替用の特番	休憩モードに切り替える	9 5 3 [　　]	☞P139
省電力対象設定用の特番	操作中の電話機を省電力設定する	9 5 4 [　　]	☞P192
省電力対象解除用の特番	操作中の電話機を省電力設定の対象から外す	9 5 5 [　　]	☞P192
Webデータ設定禁止用の特番	操作中の電話機がWebデータ設定によって設定変更されることを禁止する	9 5 6 [　　]	☞P142,143
Webデータ設定許可用の特番	操作中の電話機がWebデータ設定によって設定変更されることを許可する	9 5 7 [　　]	☞P142,143

次ページへ続く

各種機能を利用するための特番一覧

名　称	機　能	番　号	参照先
ヘッドセットを使用する設定用の特番	ヘッドセットを使用する設定をする	9 5 8 [ ]	☛P137
ヘッドセットを使用しない設定用の特番	ヘッドセットを使用しない設定をする	9 5 9 [ ]	☛P137
外線発信用の特番	空いている外線を選んで電話をかける	0 [ ]	☛P75,110,120
自グループ代理応答用の特番	同一電話機グループ内の着信に応答する	# 0 [ ]	☛P66,127
他グループ代理応答用の特番	他のグループの着信に応答する	# 1 [ ]	☛P67,127
指定代理応答用の特番	着信中の電話機を指定して応答する	# 2 [ ]	☛P68
特殊代理応答用の特番	音声ページングの着信およびドアホンに応答する	# 3 [ ]	☛P63,65,69,129,162,167
統合代理応答用の特番	音声ページングの着信、ドアホン、同一電話機グループ内の着信および他電話機グループ内の着信に応答する	# # [ ]	☛P63,65,67,129,162,167
外線群指定発信用の特番※	自動発信可能な外線を選んで電話をかける	[ ]	☛P75,110
事業者識別番号自動付与解除用の特番	一時的に事業者識別番号の自動付与を解除する	0 0 0 0 [ ]	☛P33

※外線群指定発信用の特番は、お買い求め時には設定されていません。

■機能特番

機能ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名　称	機　能	番　号	参照先
会議招集用の特番	内線または外線で会議通話を招集する	機能ボタン+ 1 1 [ ]	☛P94,96,98
口頭招集用の特番	口頭で会議通話を招集する	機能ボタン+ 1 # [ ]	☛P92
着信履歴表示用の特番	着信情報記録を表示し、折り返し電話する	機能ボタン+ 4 3 [ ]	☛P43
信号／音声呼出切替用の特番	内線の呼出方法を変える	機能ボタン+ 5 7 [ ]	☛P63,65
簡易自動再発信用の特番	自動的に再ダイヤルする	機能ボタン+ 7 1 [ ]	☛P41
電子錠設定／解除用の特番	ドアの電子錠を施錠／解除する	機能ボタン+ 7 3 [ ]	☛P164,165
キーパッド送出モード切替用の特番	キーパッドの送出モードを切り替える	機能ボタン+ * * [ ]	☛P109
主装置最新ファームウェアチェックの特番	主装置最新ファームウェアがあるかどうかチェックする	機能ボタン+ * 1 [ ]	☛P154
主装置最新ファームウェアダウンロードの特番	主装置最新ファームウェアをダウンロードする	機能ボタン+ * 2 [ ]	☛P155

■設定特番

決定ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

名　　称	機　　能	番　　号	参照先
祝日設定用の特番	国内用の祝日を設定する	決定ボタン＋ 3 0 [ ]	☛P182
料金テーブル設定用の特番	客室から発信する通話料金を設定する	決定ボタン＋ 3 1 [ ]	☛P172,174,176,178
料金テーブル読出時の特番	設定した通話料金を確認する	決定ボタン＋ 3 2 [ ]	☛P180
不在着信転送用の特番	不在着信転送を登録／解除する	決定ボタン＋ 4 2 [ ]	☛P81,83,84,86
ワンショットアラーム用の特番	ワンショットアラームを設定／解除／確認する	決定ボタン＋ 6 0 [ ]	☛P137
デイリーアラーム用の特番	デイリーアラームを設定／解除／確認する	決定ボタン＋ 6 1 [ ]	☛P137
着信音色切替用の特番	着信音の音色を切り替える	決定ボタン＋ 6 4 [ ]	☛P37
着信履歴全件削除の特番	着信履歴を全件数削除する	決定ボタン＋ 6 5 [ ]	☛P43
着信拒否用の特番	内線、外線の着信音が鳴らないようにする	決定ボタン＋ 7 0 [ ]	☛P37
転送電話開始／解除用の特番	転送電話を開始／解除する	決定ボタン＋ ＊ 5 [ ]	☛P91
転送先登録用の特番	転送電話の相手先電話番号を登録する	決定ボタン＋ ＊ 6 [ ]	☛P89
カレンダ設定用の特番	カレンダを設定する	決定ボタン＋ ＊ 7 [ ]	☛P26
時刻設定用の特番	時計を設定する	決定ボタン＋ ＊ 8 [ ]	☛P28
保留音切替用の特番	保留メロディを切り替える	決定ボタン＋ ＊ 9 [ ]	☛P139

■非ダイヤル中特番

「ツーツー…」という内線発信音がしているとき以外に、それぞれの特番を押して操作します。

名　　称	機　　能	番　　号	参照先
信号／音声呼出切替用の特番	内線で呼び出し中に、内線の呼出方法を変える	0 [ ]	☛P63,65,129
話中呼出用の特番	お話し中の方を呼び出す	＊ [ ]	☛P64

■単体電話機用の特番

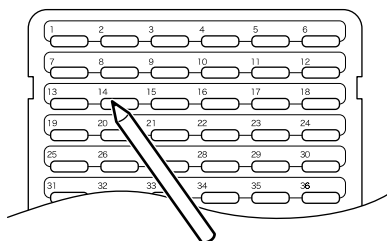
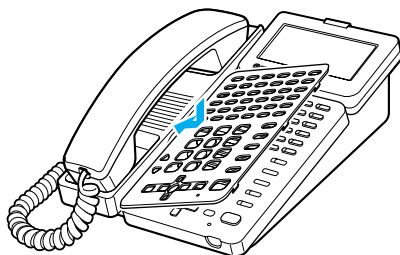
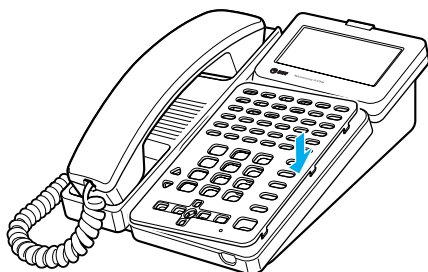
以下の機能を単体電話機でご利用になるときは、それぞれの特番を押して操作します。

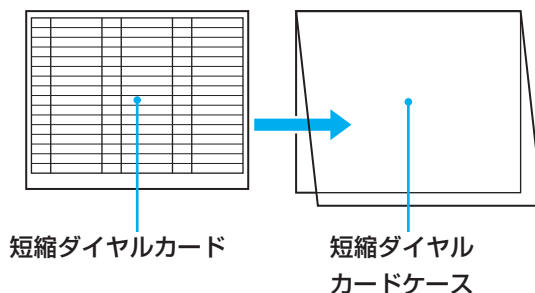
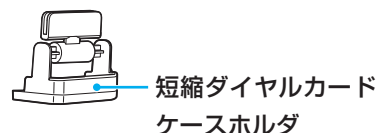
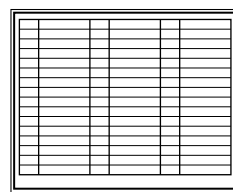
名　　称	機　　能	番　　号	参照先
不在着信転送用の特番	単体電話機で、不在着信転送を登録／解除する	⑨②② [ ]	☛P130
着信拒否用の特番	単体電話機で、内線、外線の着信音が鳴らないようにする	⑨②③ [ ]	☛P121
会議招集用の特番	単体電話機で、内線で会議通話を招集する	⑨④② [ ]	☛P132

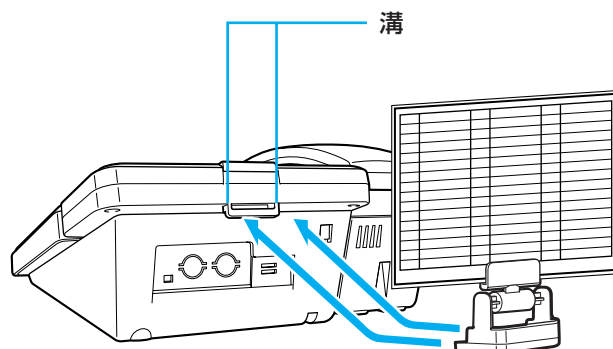
付属品／添付品をご利用になるには

■ワンタッチダイヤルカードを使う

電話機パネルの下側のくぼみに指をかけ、上に引き上げます。

2 ワンタッチダイヤルカードを取り出し、ワンタッチボタンに登録した相手先を記入します。

3 ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込みます。

4 電話機パネルの右側のツメを電話機に差し込みます。

■短縮ダイヤルカードを使う

短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れます。

2 短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れます。

3 短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れます。

短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。

●短縮ダイヤルカードを紛失または損傷したときは、このページのコピーを取ってお使いください。

①外側の点線で切り取ります。

②2つに折って、短縮ダイヤルカードケースに入れます。

番号	相手先名	番号	相手先名	番号	相手先名
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	

番号	相手先名	番号	相手先名	番号	相手先名
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	
短		短		短	

停電になったときは

お話し中に停電になっても、バックアップ電池により、そのままお話しを続けることができます。できるだけ早くお話しを終わらせてください。
停電中に電話をかけたり、受けたりするときは、停電用電話機をお使いください。停電用電話機には、停電用シールが添付されています。
停電中に、停電用電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを利用することはできません。

●停電時には以下の点にご注意ください

バックアップ電池による動作中	すべての内線電話機（ただし、IP電話機は主装置から電源供給を受けていないため、使用できません）	外の相手の方とお話し中は	そのままお話しができます
		保留中は	保留は継続されます 保留を解除すると、引き続きお話しができます
		スピーカ受話中は	そのままお話しができます
		内線やドアホンとのお話し中は	そのままお話しができます
バックアップ電池による動作ができなくなったとき	停電用電話機（ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用できません）	電話をかけるには	ハンドセットを上げて、ダイヤルボタンを押して電話をかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを上げてお話しください 保留はできません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
	停電用電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません

ワンポイント

○**長時間の停電対策のために**
バックアップ電源装置を主装置に接続すると、停電になったときでも長時間にわたりお話しすることができます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

○**バックアップ電池の交換について**
停電になったとき、お話しを続けたり、かかってきた電話に応答するために、鉛蓄電池が使用されています。正常にバックアップを行うためには、定期的な鉛蓄電池の交換が必要です。電池の寿命は約5年です。電池の交換は当社のサービス取扱所へ依頼してください。

○**停電カットスルーについて**
停電中にバックアップ電池による動作ができなくなったとき、あるいは電源がオフのときは、自動的に外線と内線の停電用電話機が直結されます。

○**発信履歴および着信履歴の内容について**
停電になったとき、発信履歴および着信履歴の記憶は消えます。

○**ダイヤルインサービスをご利用のときは**
停電時に外から電話がかかってきたとき、ダイヤルイン着信では正常に電話を受けることができません。

お知らせ

- ●停電中は、日付・時刻表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- ●停電が復旧すると自動的に通常の状態に戻ります。お話し中の停電用電話機は、お話しが終わってから通常の状態に戻ります。
- ●停電中に停電用電話機に電話がかかってきたときは、ブザーでお知らせします。
- ●停電状態になった直後や停電が復旧した直後は、ISDN停電電話機およびISDN回線がすぐには使用できないことがあります。この場合はハンドセットを戻し、数分間お待ちください。
- ●停電が復旧したとき、お話し中の停電用電話機がISDN停電電話機の場合は、お話し中の通話は切れてしまいます。
- ●通常の状態で停電用電話機によるお話し中のとき、停電になった場合は、お話し中の通話は切れてしまいます。
- ●長期間にわたる停電があったときは、停電が復旧しても正常にお使いになれない場合があります。このような場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー…　（内線発信音）	ハンドセットを上げたとき、または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー　（外線発信音）	外線ボタンを押したとき	外に電話をかけられます
	プルルル…　（呼出音）	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー…　（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
登録設定	ツツツ…　（設定登録音）	決定ボタンを押したとき	設定を開始します
	ピーピー　（登録確認音）	登録を受け付けたとき	登録されました
	ププププププ　（登録受付音）	登録を受け付けたとき	登録を開始します
その他	ピピピピ、ピピピピ…　（アラーム音）	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピッ　（キータッチトーン）	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	保留メロディ　（保留音）※1	電話を保留したとき	電話が保留されています
	ピンポーン　（チャイム音）※2	ドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています
	プープー　（警報音）	各種機能で、設定した警報音を送出するまでの時間を超えたとき	各種機能で、設定した警報音を送出するまでの時間を超えています

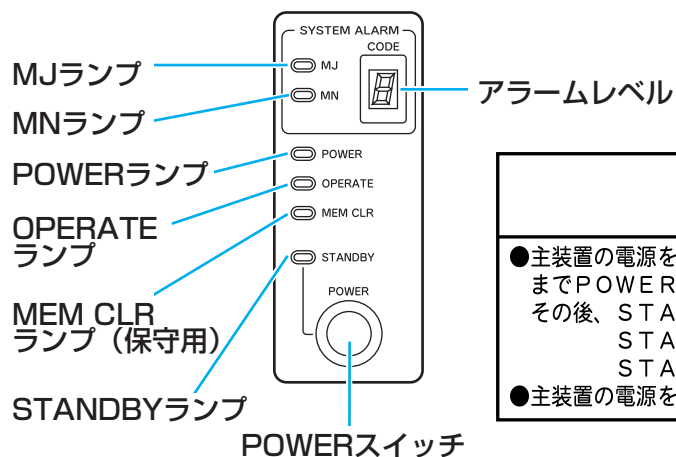
※1　設定により保留メロディを切り替えることができます。(☛P138)

※2　ドアホンを2台以上接続したときは、チャイム音が異なります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	――
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	――
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	――
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけてください	――
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	☛P37
	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	☛P30
	システムモードが切替わっている	故障ではありません	☛P139
	着信拒否を設定している	着信拒否の設定を解除してください	☛P37
「ツー」という発信音が聞こえない	決定ランプが点滅している	しばらく待ってからかけ直してください	――
	ハンドセットコードが抜けている	ハンドセットコードを正しく接続してください	――
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけてください	――
	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	――
電話帳が登録できない	「システム管理者」以外の電話機で共通電話帳を登録しようとしている	共通電話帳は「システム管理者」に設定された電話機で登録してください	☛P139
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☛P47
ワンタッチボタンに登録できない	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	☛P44
内線で呼び出すと他の内線電話機の着信音が鳴る	電話機の位置を変えている	電話機を元の位置に戻してください	――
	内線番号が違う	内線番号を確認してかけ直してください	☛P64
	不在着信転送になっている	不在着信転送の登録を解除してください	☛P82
ドアホンからのチャイム音が鳴らない	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	☛P30
	ドアホンからのチャイム音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	☛P137,162
ダイヤルが終わっても呼出音が聞こえるまで時間がかかる	相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、呼出音が聞こえるまでの時間が長くなることがある	故障ではありません	――

アラームランプ表示、アラームレベル表示について

MJランプ
MNランプ
POWERランプ
OPERATEランプ
MEM CLRランプ（保守用）
STANDBYランプ
POWERスイッチ
アラームレベル
SYSTEM ALARM
CODE
MJ
MN
POWER
OPERATE
MEM CLR
STANDBY
POWER

⚠ 注意

●主装置の電源をＯＦＦする場合には、ＳＴＡＮＤＢＹランプが点滅を始めるまでＰＯＷＥＲスイッチを押し続けて（５秒以上）ください。
その後、ＳＴＡＮＤＢＹランプが点灯状態となるまでお待ちください。
ＳＴＡＮＤＢＹランプ点滅：システムシャットダウン中
ＳＴＡＮＤＢＹランプ点灯：システム電源ＯＦＦ
●主装置の電源をＯＮする場合には、ＰＯＷＥＲスイッチを押してください。

■SYSTEM ALARMについて

アラームランプにはMJ（重要故障）とMN（故障）があり、それぞれにアラームレベル1～9がデジタル表示されます。
MJランプ／MNランプが点灯した場合の対応方法は下表のとおりです。

ランプの種類	アラームレベル	対応方法
MJランプ	1～9	当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へデジタル表示内容を含めて連絡してください。
MNランプ	2、3、4、6、7、8	主装置の電源OFF/ONにより回復することがあります。 電源OFF/ONは、上記の「⚠ 注意」をよく読んで操作してください。
	1、5、9	当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へデジタル表示内容を含めて連絡してください。

用語の説明

アルファベット

DIL着信・・・・・・・・・・・・・・外線着信時に、外線ごとに「システム設定」された内線番号を呼び出せる機能のことです。
DP回線・・・・・・・・・・・・・・ダイヤル回線（パルス回線）のことです。
INSネット64・・・・・・・・INSネットサービスの中で、1回線で情報チャネル（B）2本、信号チャネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
INSネット1500・・・・・INSネットサービスの中で、1回線で情報チャネル（B）23本、信号チャネル（D）1本を同時に、または、情報チャネル（B）24本として利用できるサービスです。
IP電話サービス・・・・・・・IP網を利用して提供する音声電話サービスです。音声とデータの回線を統合することにより、ネットワーク管理コストを削減できます。
ISDN回線・・・・・・・・・・・・ディジタル回線のことです。
PB回線・・・・・・・・・・・・・・プッシュ回線（トーン回線）のことです。
Webシステム設定・・・・・一部のシステム設定を、主装置と同じネットワークに接続したお客さまのパソコンを使って行うことです。
Web通話履歴表示・・・・・電話機の通話履歴を主装置と同じネットワークに接続したお客さまのパソコンで、最大12万件まで確認することができる機能です。

五十音

【ア行】

空き外線・・・・・・・・・・・・・使用していない外線で、発信・着信ができる外線のことです。
エコーキャンセラ・・・・・自分の声が相手システムの回線を介して反響する音（声）を取り除くことです。
オフフック・・・・・・・・・・・ハンドセットを上げることです。
音声メール・・・・・・・・・・・通話録音や再生などの機能を持った装置です。
オンフック・・・・・・・・・・・ハンドセットを置くことです。
オンフックダイヤル・・・ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

外線グループ・・・・・・・・・収容されている外線をいくつかのグループに分けたものです。
外線捕捉・・・・・・・・・・・・「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
拡張内線・・・・・・・・・・・・・電話機の内線番号とは別の仮想的な内線番号を、回線ボタンに割り付けて（拡張内線ボタン）、同じ拡張内線ボタンを割り付けた電話機を同時に呼び出すことができます。
簡易自動再発信・・・・・・・外線発信時に、相手の方がお話し中や応答しないときにセットすると、相手の方が応答するまで自動的に再ダイヤルする機能のことです。
キーアサイン・・・・・・・・・外線ボタンに外線・内線などを自由に割り付けることです。
キーパッド・・・・・・・・・・・INSネット64／1500に送出するデータのことです。
クリアコール・・・・・・・・・内線呼出中または相手の方がお話し中のとき、以前に押した内線番号の下1桁または下2桁を入力数字に置き替える機能のことです。
口頭転送・・・・・・・・・・・・・通話中の相手を保留し、転送先の相手を口頭で呼んで転送することです。
コールバック・・・・・・・・・特定の電話番号からの着信に対し、システムが自動的に折り返し発信する機能です。
個別着信・・・・・・・・・・・・・ダイヤルイン着信などで、着信先が個別となる機能のことです。

【サ行】

サービスクラス ・・・・・・・外線発信時のサービスを、項目ごとに分けた一覧のことです。

索線ボタン ・・・・・・・・・・・指定された外線グループ中の空き外線を捕捉し、着信表示・応答、個別保留ができるように割り付けられた回線ボタンのことです。

サブアドレス ・・・・・・・・・INSネット64／1500を利用するときに、補助的に使用する内線番号のことです。

システム管理者 ・・・・・・「システム設定」によって、システム設定のうちの一部を行う資格を与えられている内線電話機のことです。メニュー設定の「システム一括設定」を操作することができます。

システム設定 ・・・・・・・・・あらかじめいろいろな機能について設置時に設定することです。

システムモード ・・・・・・・時間や曜日などでシステムのモードを昼／夜／休憩に分けることのできる機能です。

自動着信呼分配 ・・・・・・・複数の相手の方から一斉に電話を受ける場合に、効率よく受けることのできる機能です。

スピーカ受話 ・・・・・・・・・スピーカで相手の声を聞くことです。

切断再捕捉 ・・・・・・・・・・・外線ダイヤル中や通話中に、切断後、同一外線を再捕捉する機能です。

【タ行】

ダイヤルインサービス ・・外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。

代理応答 ・・・・・・・・・・・・・他の端末への着信に応答できる機能のことです。

着局符号方式 ・・・・・・・・・専用線着信時の接続方式の1つです。

着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。

追加ダイヤル ・・・・・・・・・発信履歴ダイヤル、着信履歴ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳ダイヤルなどにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。ただし、ISDN回線では追加ダイヤルを行うことはできません。

ディジタル回線 ・・・・・・・ISDN回線、TDM専用線、およびIP専用線のことです。

テナント ・・・・・・・・・・・・・電話機グループと外線グループから構成されるグループのことです。

転送電話機能 ・・・・・・・・・外線通話中の相手を別の外線へ転送することです。

電話機グループ ・・・・・・・電話機（端末など）から構成されるグループのことです。

【ナ行】

内線ダイレクトコール ・・電話機の外線ボタンに内線番号を設定し、外線ボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。

内線捕捉 ・・・・・・・・・・・・・「ツーツー…」という内線発信音が聞こえる状態を内線捕捉の状態といいます。この状態のときに他の内線電話機を呼び出すことができます。

ナンバー・ディスプレイ ・・電話をかけた相手の方の電話番号が受信側のディスプレイに表示されるサービスです。

用語の説明

【ハ行】

パーク保留 ･････････････通話中にパーク保留ボタン（外線ボタンに割り付ける）を押すことにより、通話相手を保留し、任意の電話機（端末）から保留解除ができる機能です。

発アドレス ･････････････発信時に使用する回線の回線番号のことです。

ハンズフリー ･･････････ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話などがあります。

フッキング ･････････････外線を一時的に解放することです。

プリセットダイヤル ･･･オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。

プリセレクション ･････ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを上げるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。

ページング ･････････････電話機や外部スピーカを音声で呼び出すことです。

放送着信 ･･･････････････グループ内のすべての端末を呼び出すことです。

方路番号方式 ･･････････専用線着信時の接続方式の1つです。

ホットライン ･･････････電話機ごとに呼出先の電話番号／内線番号を設定し、ハンドセットを上げるだけで特定の外線／内線を呼び出すことです。

【マ行】

メニュー設定 ･･････････内線電話機でのメニュー操作で、一部のシステム設定を行うことです。個々の内線電話機についての登録・設定を行う「電話機毎設定」と、システム全体に関わる登録・設定を行う「システム一括設定」があります。オプションの録音電話機をご利用の場合は、「録音電話機設定」も行えます。

【ヤ行】

呼出状態転送 ･･････････通話中に相手を保留し、転送先の相手を呼び出したときに、相手が応答する前に転送することです。

【ラ行】

ルーティング機能 ･････専用線接続や公専公接続などのネットワーク機能のことです。

【ワ行】

ワンタッチオンフック
サービス ･･･････････････空いている外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで、スピーカボタンを押さなくてもオンフックダイヤルの操作ができる機能です。

索　引

アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

索　引

【サ行】

索　引

【ナ行】

【ハ行】

仕　様

■仕　様

		基本	最大
使用回線		電話回線、事業所集団電話回線、PBXの内線、専用線（アナログ、ディジタル、IP）、INSネット64、INSネット1500、VoIP回線など	
選択信号種別		PBまたはDP（10 PPS、20 PPS）	
外線容量		最大24回線	最大144回線
最大内線端末数		最大80台	最大480台
配線方式		バス配線・スター配線、LAN配線	
呼出方式		トーンリングおよびランプ	
内線線路長		バス電話機　：最大300 m　レピータ装着時最大　900 m スター電話機：最大800 m	
寸法・質量	主装置（基本）	幅　　：約380 mm 奥行き：約315 mm 高さ　：約434 mm 質量　：約　19 kg	
寸法・質量	主装置（増設）		幅　　：約380 mm 奥行き：約315 mm 高さ　：約284 mm 質量　：約　11 kg
寸法・質量	主装置（最大構成時）		幅　　：約　910 mm 奥行き：約　315 mm 高さ　：約1000 mm 質量　：約　81.5 kg
寸法・質量	標準電話機	幅約185 mm×奥行き約259 mm×高さ約89 mm・約0.9 kg	
使用電源		商用電源AC100 ±10 V、50／60 Hz	
消費電力	主装置（基本）	約550 W 約550 VA 約473 kcal/h	
消費電力	主装置（増設）		約450 W 約450 VA 約387 kcal/h
消費電力	主装置（最大構成時）		約2800 W 約2800 VA 約2408 kcal/h
電磁波妨害		VCCI基準クラスAに適合	
使用環境		温度：5 ℃～35 ℃ 湿度：45 %～85 %（結露のないこと）	
時計精度		平均月差±30秒以内（室温）	

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。お使いになるコンセントについては、当社のサービス取扱所にご相談ください。

保守サービスのご案内

●保証について
保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて
保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障の場合は
故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは
お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他
定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ
■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。　環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2759-5(2007.11)
αGXL-トリセツ-〈2〉